

印度人ノ家屋ノ構造ハ極メテ甚タシキ鼠害ヲ受ケ易キモノナリ、彼ノ「ベスト」研究委員會カ孟買及ブンジヤノ或ル村落ニ於ル「ベスト」流行ノ現況ヲ觀察シタル結果、左ノ如キ事實ヲ見出シタリ、曰ク此等ノ村落ニ鼠ノ棲息スルコト實ニ夥シキモノナリ、一年間ヲ通シテ鼠ヲ捕獲スルトセンカ此等ノ地方ノ人口全數ヨリ以上ノ鼠ヲ捕獲センコト決シテ難キニアラサルヘシ、斯ク多數ノ鼠ヲ捕獲スルモ尙ホ且ツ生キ殘レルモノ多カルヘキナリ、其無數ナルコト得テ想像スヘキナリ、此外或ル家屋ニ於テハ大數ノ鼠ヲ捕獲ヘキナリ、今マ茲ニ掲ケル小形ノ圖ハ「バーレル村」ノ一家屋ノ寫眞ヨリ寫シ取リタルモノナリ、此圖ノ中央部ニアル一家屋ニ就テ格段ニ述ル所アラントス、抑モ此家ハ古代ノ建物ニシテ其昔ハ餘程盛シナリシ由ナルカ今ハ之ニ住居スル借家人七十一人ノ多キニ及ヘリ、而シテ此家ノ下層ニハ二人ノ雜貨商ト穀物商トカ店ヲ開キ居レリ、此家ニテハ一ケ年間ニ三百頭以上ノ鼠ヲ捕獲シタリト云フ、又タ次頁ニ掲ケル圖ハ鼠害ヲ蒙ルコト甚タシキ家屋ヲ示スモノニシテ一ケ年間ニ八十八頭ノ鼠ヲ捕獲シタリトソ、鼠族ノ大數想ヒ見ルヘシ

或ルケ所ニ現存セル鼠ノ數ハ生存競争ノ或ル原則ニ依ル

タルウ井ン氏ノ説ニ曰ク或ルケ所ニ現存セル或ル格段ナル種屬ノ一個々々ノ生存スル數ハ一定ノ原則ニ支配セラレサルヲ得ス、若シ假リニ斯ル原則全ク之レナシトセンカ動物ハ幾何學上ノ増加比例ヲ以テ際限ナク増加シテ終ニハ世界中全ク動物充滿シテ寸地ヲモ餘サ、ルニ至ルヘシ、此ニ於テカ生存競争ハ終ニ避クヘカラサルコト、ナレリ、而シテ此生存競争タルヤ右ニ述ヘタルカ如ク一定ノ原則ニ從ハスンハアラス、

今マ此原則ニ反抗シテ或ルケ所ニ現存セル動物ノ數ヲ減少セシメント欲スルモ到底不可能ノ事ナリ、其不可能ナルコトハ重力ノ原則ヲ無視スルト一般ナルノミ、故ニ今マ吾人カ或ル格段ナルケ所ニ於ル鼠ノ數ヲ減少セシメント欲セハ今日知ラレ得ル限り此等ノ原則ヲ講究スルノ必要ナクンハアラス

人類ニ對スル自然ノ敵ナル疾病等之レナキ場合ニ於テハ鼠ノ生存スル其餌食ト潜伏所ニ比例スヘキナリ

動物ナルモノ餌食ナクンハ生存スルコト能ハス、動物ノ繁殖スル度合ハ其餌食ノ供給如何ニ比例スルモノナリ、蓋シ是レ他ヨリ如何ナル妨害モ受ケサル場合ナリト知ルヘシ、好シ又タ其慣食ハ豊カナル場合ト雖モ其潜伏スル所之レナシトセンカ、或ル格段ナル動物ノ種類ノ數ハ限制セラル、モノナリ、例之ヘハ或ル場所ニ於ル鼠ノ數ハ直接ニ其餌食ノ供給ト潜伏所ノ如何ニ關係スルモノナリ、今マ其レ其餌食ト潜伏所ト兩ツナカラ減少スルトセンカ、其鼠ノ數ハ之ニ比例シテ減少セスンハアラス

「ベスト」ト戰爭スルニ於テ常ニ勝利ヲ得ヘキ手段ハ鼠ノ餌食ト潜伏所ヲ減少セシムヘキ方法ヲ取ルコト是レナリ

上來論述シタル趣旨ニ據リテ之ヲ考フレハ鼠ニ供給セラルヘキ餌食ト潜伏所ヲ減少スヘキ手段ヲ取ランカ「ベスト」ト戰爭スルニ當リテ常ニ勝利ヲ得ルノ方法タルヤ亦タ明カナル事實ナリ、印度人ノ習慣風俗及日常ノ生活法ハ鼠ニ餌食ヲ供給シ潜伏所ヲ與フルニ就テ最モ都合好ノモノニシテ且ツ人ト鼠ト相接觸スルニ便利ナルモノナリ、故ニ鼠ノ餌食ト潜伏所ヲ減少セシムルノ手段ヲ取ランハ、印度人ノ習慣風俗等ヲ變化

セシムルモノト云ハザルヘカラス

永久ノ勝利ヲ得ヘキ手段

「ベスト」ト戰爭スルニ當リテ永久ノ勝利ヲ得ント欲セハ先ツ左ノ如キ方法手段ヲ取ラサルヘカラス、曰ク家屋建築ノ制限法ヲ設ケテ之ヲ勵行セシメント要ス、印度ニ於テハ粗造ナル家屋若クハ破壊セル家屋人ノ居住セサル家屋ハ到ル所ニアリテ珍ラシカラサルナリ、此等ノ家屋ハ獨リ市邑及村落ノ體面ヲ損スルノミナラス、鼠ノ巢窟トナルモノナリ、是レ則チ家屋改築法ノ必要ナル所以ナリ、今マ家屋建築ノ制限法ノ重モナルモノヲ擧ゲンニ穀物倉、物置、厩等ハ人ノ住宅ト離隔セシメサルヘカラス、實際斯ク離隔セシメタランニハ永久ニ「ベスト」ヲ豫防シ得ヘキナリ、且ツ概シテ印度ノ市邑及村落ニテハ日々人ノ家庭内ニ生スル諸種ノ廢棄物ヲ集收シテ之ヲ取り棄ルニ就テ一層好キ方法ヲ取ルヲ最モ急務ナリト云ハサルヘカラス、試ミニ見ヨ印度人ハ食物ノ殘餘杯ヲ溝渠若クハ街路ニ打チ棄テ毫モ顧リミサルナリ、其狀恰カモ溝渠街路ヲ塵芥棄場ト心得居ルモノ、如シ、第一此等ノ習慣ヲ嚴禁セサルヘカラス、各市邑ノ衛生局タルモノハ各借家人ヲシテ獨リ其居室ヲ清潔ニ保タシムルノミナラス、其ノ家屋内ニ於ル段階子及廊下等ヲ合併セテ清潔ナラシムヘキ方法ヲ取ラサルヘカラス、又タ家屋建築取締條例ナルモノヲ制定シテ、衛生局ヲシテ之ヲ勵行スル任ニ當ラシメント要ス、又タ動物ヲシテ人ノ住宅内ニ棲息セシムルコトヲ嚴禁センコトヲ要ス、而シテ右ノ如キ諸種ノ改良法ヲ十分ニ實行セシメンハ一朝一夕ノ能クシ得ヘキ所ニアラス、然レトモ實行ノ端緒ハ早ク之ヲ啓カサルヘカラス、如何ナル規則モ之ヲ避ケ得ヘキ餘地アラシカ、其規則ハ全

ク規則ノ効力ナキモノナリ、右ノ如キ改良法ハ日下ノ急務タリ、勵行セシムヘキ方法ヲ講セサルヘカラス而シテ此改良法實行ノ端緒ハ之ヲ教育ノ稍ヤ發達シタル大市邑ニ啓キタランニハ其効果最モ好カルヘキナリ、之ニ反シテ教育ノ程度低キ村落ニ至リテハ之ヲ實行シ得ヘキ望ミ殆ント之レナキナリ、既ニ市邑カ右ニ述ヘタル如キ不潔其他ノ弊害ヲ改良シタリトセンカ、從ツテ村落ハ之カ爲メニ大ニ利益ヲ得ヘキモノナリ何トナレハ市邑ハ元是レ「ベスト」蔓延ノ中心點ナリシカ改良法實行セラレシヨリ其病勢大ニ衰退シ從ツテ其餘澤直接ニ村落ニ波及スヘケンハナリ、斯クテ此際村落ニ在リテ取ルヘキ手段ハ單ニ海港檢疫法ノ一變體ニ過キササルナリ、即チ「ベスト」流行地ヨリ此村落ニ入り込ムモノアラン場合ニハ其身體若クハ其衣服等ニ附着シ居ル蚤ヲ全ク驅除セシメント要ス、然ラサル以上ハ之ヲ拒絶シテ此村落ニ入ラシメサルコト是レナリ、此等ノ豫防法ハ結局印度ヨリ「ベスト」ヲ驅除シ得ヘキモノナリ、西洋諸國ニ於テ「ベスト」ヲ驅除シタルモ亦是レ斯ル豫防法ニ外ナラサリシナリ、印度人ハ頭固ニシテ舊來ノ風俗習慣ヲ改ムルコト容易ナラス、然レトモ尙ホ耐忍シテ實例ヲ示シタランニハ終ニ改良ノ實効ヲ奏シ得ヘキナリ、印度人中教育アルモノハ實驗上豫防法ノ必要ナルヲ知リテ無智ナルモノヲ感化スルノ傾キアリト云フ、清潔ト秩序トハ「ベスト」豫防法中ノ一政略ト謂ツヘク、鼠族驅除モ亦タ其一政略ナリ、鼠族驅除政略ト鼠族撲滅政略トハ互ニ對照スヘキモノナリ、而シテ鼠族撲滅ノ事ハ請フ之ヲ左ニ論述セン

鼠族撲滅ノ事

鼠族撲滅ノ事ハ毫モ人類ノ怡樂ヲ滅殺スルコトナクシテ、「ベスト」豫防法トシテ最モ効力アルモノナリ、

印度人ハ一時鼠ノ跡ヲ絶チシヨリ其屋内ニ鼠ノ群ヲ爲セシ時ニ比較シテ夜中ノ困難面倒一層少ナクナリ其家具食品等ノ損害ヲ受ルコト一層少ナクナリシヲ實驗シタリシナリ、然レトモ鼠族撲滅法ニモ亦タ一種ノ不便ナクンハアラス、即チ鼠族撲滅法ヲシテ充分實効アラシメント欲セハ、社會全般トシテ共同一致ノ歩調ヲ取ラシメサルハカラサルノ一事是レナリ、鼠族撲滅法ハ化學上ノ殺鼠劑ヲ用フルカ又タ鼠族中ニ一種ノ傳染病ヲ蔓延セシメテ之ヲ殺スノ方法ナリシカ二者共ニ豫想セシ程ノ實効ヲ奏セサリシナリ、鼠ヲ撲滅スルニ「ベスト」以外ノ最良法ハ未ダ曾テ見出サレサリシナリ、殺鼠劑ヲ以テ鼠ヲ撲滅セント欲スルモ左マテニ効果ヲ奏セサリシハ畢竟スルニ僅カニ一時施行セラル、ノミニシテ、莫大ノ費用ヲ掛ケルニアラサル以上ハ決シテ永ク其効ヲ奏スヘキモノニアラサレハナリ、捕鼠器ヲ以テ鼠ヲ生擒シテ後之ヲ殺サンコト日々之ヲ實行シタランニハ毒殺法ヨリハ尙ホ一層ノ好結果アルヘキナリ

捕鼠器使用ノ効果カ果シテ如何ナル程度マテ達セシカハ左ノ如キ事實ニ徴シテ之ヲ見ルヘキナリ、即チ「ベスト」研究委員會カウ、ーリー村ニ於テ捕鼠器ヲ用ヒタルノ結果是レナリ、ウ、ーリー村ノ人口ハ當時二千五百八人アリ、殆ント一ケ年間ヲ通シテ毎日此村ノ人家ヲシテ順次ヲ以テ捕鼠器ヲ使用セシメタリ、而シテ其捕鼠器ハ毎日平均三十五個ヲ使用セシムルモノニシテ此村ノ住民毎七十人ニ就テ一個ツ、ヲ使用セシムルノ比例ニ當レルモノナリ、斯クテ日々使用シタル捕鼠器ノ數ト捕獲シタル鼠ノ數トヲ極メテ精密ニ其筋ヘ届ケ出テシムルコト、シタリ、六十七枚目ノ第二表ヲ見ヨ數字ヲ以テ其結果如何ヲ示シタリ

右ノ表中第一行目ニハ此村ニ於テ毎二週間ニ捕獲シタル鼠ノ總數ヲ示シ、第二行目ニハ斯ル鼠ヲ捕獲センカ爲メニ使用シタル捕鼠器ノ數ヲ示シタルモノナリ、而シテ第三行目ニハ右二行ニ記載サレタル數字ヨリ打算シ、捕鼠器毎百個ニ就テ捕獲サレタル鼠ノ比例數ヲ示シタルモノナリ、抑モ此捕鼠器使用ノ事ハ一千九百五年十一月初旬ニ始マリ一千九百六年十一月初旬ニ終リタルモノナリ、而シテ此間引キ續キテ鼠ヲ捕獲シタル結果如何ト云フニ、其當初二週間内ニ捕鼠器百個ニ就テ捕獲シタル鼠七十頭ナリシカ、最後ノ二週内ニ於テ同シク捕鼠器百個ニ就テ爲獲シタル鼠數減少シテ十七頭トナリタリ、此ニ由リテ之ヲ觀レハ斯ル鼠族退治法ニ依リテ鼠ヲ減少セシメタルコト本來ノ數ノ四分ノ一トナリタルコトヲ知ルニ足ルヘキナリ、斯ク鼠族ヲ減少センメンカ爲メニ捕鼠器ヲ使用スルコト一萬一千三百九十個ノ多キニ達シ、之ヲ以テ捕獲シテ撲殺シタル鼠ハ二千六百三頭ナリシナリ、「ベスト」研究委員會ハ尙ホ其他ノ村落ニ於テ實驗上左ノ如キ事實ヲ見出シタリ、毎日捕鼠器ヲ使用スルノ數カ人口毎五十人ニ就テ一個ノ比例ニ當ラサル以上ハ從ツテ捕獲スレハ從ツテ繁殖シ其數ニ於テハ毫モ減少スル所ナキナリ、斯ル鼠族退治法ノ實行ヲ一時停止スルトセンカ忽チニシテ鼠族大ニ増加スヘキナリ

「ベスト」研究委員會カウ、ーリー村及其他ノ村落ニ於テ爲シタル經驗ニ據リテ斷定ヲ下サンカ孟買ノ如キ市邑ニ於テ一ケ年内ニ鼠族ノ數ヲ減少シテ其四分ノ一ニ爲サント欲セハ凡ソ五十萬頭ノ鼠ヲ捕獲スルノ必要ナクンハアラス、今マ斯ル鼠退治ヲ愈ヨ實行セント欲セハ毎日殆ント二萬個ノ捕鼠器ヲ使用シテ特ニ千人ノ捕鼠掛員ヲ設ケテ其任ニ當ラシメサルヘカラス、斯クテ捕鼠事業ニ着手センカ當初ノ程ハ毎日一萬四千頭ノ鼠ヲ捕獲センコトヲ要シ、一ケ年間繼續シタル後ニハ減少シテ毎日殆ント四千頭ノ鼠ヲ捕獲スルニ

至ルヘキナリ、既ニシテ斯ル捕鼠事業ヲ中止スルトセンカ鼠族忽チニシテ繁殖スヘク、斯ク繁殖シタル大半ハ勢ヒ幼鼠ニシテ「ベスト」ニ感染シ易ク從ツテ其蔓延度合ハ割合ニ甚ハタシカルヘキナリ

場所ヲ空虚ニスル事

或ル場所ニ存在セル鼠族ノ數ヲ減少セシムルコト能ハサル場合ニ於テ、鼠ヲシテ人ニ接觸セシメサル方法ヲ設ケタリトセンカ、是レ亦タ「ベスト」豫防ノ一方法ト謂ツヘキナリ、鼠ヲシテ人ニ接近セシメサル方法ハ一ニシテ足ラスト雖モ中ニ就テ最モ重モナルモノハ有菌鼠ノ發見セラレタルケ所ヲ空虚ニスルコト是レナリ、抑モ人ノ「ベスト」ニ罹ルヤ「ベスト」ノ爲メニ鼠ノ斃レタル時ニ限レルモノナリ、且ツ鼠蚤カ「ベスト」ヲ人ニ傳播スルハ飢餓ニ迫リテ止ムヲ得ス人體中ニ寄生スル場合ニ限ラレタルモノナリ、此等ノ事ハ復タ疑フヘカラサル事實ナルカ故ニ或ル場所ニシテ斃鼠ノ見出サレタランハ、直チニ其場所ヲ空虚ニシテ何人ヲモ住マサラシメンコトヲ要ス、斯クノ如ク爲シタランニハ往々ニシテ「ベスト」ノ感染ヲ免カレ得ハキハ疑フヘカラサルナリ、然レトモ「ベスト」ノ侵入シタル家屋内ヲ如何ニ嚴重ニ搜索スルモ斃鼠ヲ見出スコト能ハサル場合アリ、又タ「ベスト」ニ罹レル鼠蚤ノ何レニ潜伏シ居ルカヲ見出スコト困難ナル場合アリ鼠ハ人ノ近ヨリ見ルコト能ハサル場所ニ於テ斃ル、コト珍ラシカラサルナリ、故ニ斃鼠ハ好シ發見セラレサルモ「ベスト」ノ鼠族事ニ發生シ居ルコトアルハ復タ疑フヘキニアラサルナリ、且ツ鼠ノ斃ル、ハ「ベスト」ノミニ限リタルニアラス、其他ノ原因ヨリ斃ル、コトモアルヘキナリ、然レトモ目今印度ニ於テ或ル家屋内ニ於テ斃鼠發見セラレタリトセンカ其屋内ニ棲息セル鼠族中ニ「ベスト」ノ發生シタルヲト知スルニ

足ルヘキナリ、斯ル家屋ハ空虚ニシテ人ヲシテ住マサラシメンコト安全ナル方法ト謂ツヘシ、然レトモ茲ニ一ノ困難ナル問題起ラヌンハアラス、即チ斯ク家屋ヲ空虚ニシタランニハ從來ノ居住者ハ果シテ何所ニ行クヘキヤ、又タ元ノ住宅ヘ何時立チ歸ルヘキヤノ問題はレナリ、若シ一ノ村落或ハ市邑ニ於テ續々「ベスト」ノ發生シタル家屋アラシカ其慘狀尙ホ一層甚ハタシカルヘキナリ、今マ一ノ村落ニ「ベスト」流行スルトセンカ、印度ノ習慣トシテ全村ノ人民擧ツテ立チ退キ之ヲ無人境ト成サ、レハ止マサルナリ、蓋シ一村ヲ擧ツテ無人境ト成サンハ決シテ容易ノ事ニアラサルナリ、即チ從來ノ住家ヲ立チ退イテ更ニ假寓所ヲ求メンニハ多額ノ金錢ヲ要スルハ云フマテモナク種々ノ困難不愉快之ニ伴ハヌンハアラス
今マ茲ニ掲クル所ノ圖ハ所謂「保健所」ナルモノ是レナリ、即チ「ベスト」流行地ヨリ來レル者ノ一時ノ立退所ナリ、固ヨリ一時ノ立所ノコトナレハ其完全不便ナルコトハ云フヲ要セス、斯ル立退所ニ棲息センコト好天氣ノ時スラ尙ホ且ツ愉快ナルモノニアラス、況ンヤ雨天杯ノ時ニ於テヤ、從來ノ住家ヲ去ツテ斯ル立退所ニ棲息スルノ不便ナルハ勿論、其他「ベスト」蔓延ノ機會一層増加スルモノト謂ツヘキナリ、他ナシスル立退人ノ身體其モノカ「ベスト」流行地ヨリ健康地ヘ病毒ヲ傳播スルノ媒介タレハナリ、斯ル立退所ニ居ルモノハ其不愉快ナルニ耐ルコト能ハスシテ其健康地ノ人々ト共ニ同棲センコトヲ欲スレハナリ、「ベスト」ノ爲メニ死亡スルモノ甚タ多キヨリ人民大ニ恐怖心ヲ懷ケルコトナルカ、彼ノ住宅ヲ空虚ニシテ他所ヘ立チ退クニ際シテ其恐怖心一變シテ大恐慌トナリ四方八面ニ散亂スルヨリ其病毒各所ニ蔓延スルニ至レリ、孟買ニ「ベスト」發生シタル當初斯ル大恐慌アリテ各方面ニ散亂シ、從ツテ其病毒ヲ各所ニ蔓延セ

シメタルハ讀者ノ記憶内ニ存スル所ナラン

最後ニ市邑ニ就テ之ヲ云ハン、市邑ノ如キハ好シ「ベスト」流行スルモ全部ノ住民之ヲ空虛ニシテ他ヘ立チ退カンハ實際不可能ノ事ト謂フヘキナリ、他ナシ獨リ相當ナル立退所ヲ見出スノ困難ナルノミナラス、事實ニ於テ斯ル手段ヲ取ルコト難ケレハナリ、既ニ前述シタルカ如ク或ルケ所ハ好シ斃鼠見出サレサルモ病毒ニ感染セラレタルモアリ、且ツ茲ニ一ノ家屋アリ其屋内ニ於テ一人ノ「ベスト」患者死亡シタリトセンカスル家屋ヲ空虛ニ成スハ全ク不必要ナル場合少ナカラサルナリ

「ベスト」流行ニ就テ或ル箇所ノ立退カ實行セラレタル場合ニ於テ、「ベスト」研究委員會カ其實況ヲ觀察シタル結果、一家屋内ニ於テ一人以上ノ患者ヲ出シタルハ百分ノ二十乃至三十ニ過キサリシコトヲ見出シタリ、好シ又タ一家屋内ニ於テ二名以上ノ患者ノ發シタル場合ヲ觀察スルニ若干ノ期間ヲ隔テ、續發シタルハ極メテ稀レニシテ大概ハ數名同時ニ發シタルモノナリ、其他市邑ニアリテ「ベスト」ニ感染スルハ自分ノ家屋内ニ發スルコト少ナクシテ工業場ニ發スルモノ多キニ居レリ、孟買市ノ一部分ナルハーレル村ニ「ベスト」ノ發シタル時、「ベスト」研究委員會ノ調査シタル所ニ據レハ患者百分ノ六十以上カ工業場ニ發シタルコトヲ見出シタリ

或ル場所ニ「ベスト」ノ流行シタルカ爲メ其住民カ立チ退イテ之ヲ空虛ニスルコトハ其蔓延ヲ避ケル爲メノ一方法ニ相違ナカルヘキナリ、然レトモ濫リニ之ヲ實行シタカラトテ決シテ効力アルモノニアラス、蓋シ其効力ノ有無如何ハ其時期ニ關セサルヲ得ス、「ベスト」ノ初發後速カニ之ヲ實行シタランニハ効力アルヘ

キナリ、例之ヘハ室内ニ於テ「ベスト」ニ罹レル鼠ノ斃レサル前カ若クハ斃レテ後直チニ實行シタランニハ其効力アルヘキモノナリ、然レトモ「ベスト」流行ノ中央點ニ住ミ居タリシモノヲ獎勵シテ彼ノ立退所ノ不愉快ヲ避ケシメンカ爲メニ健康地タル市邑及村落ヘ立チ退カシメンハ嗚呼亦タ危険ナラスヤ、今マ是レ「ベスト」發生シタルカラトテ一村ヲ空虛ニシテ他ヘ立チ退キテ其生命ヲ全フセンコト固ヨリ利益ニハ相違ナカルヘキナリ、然レトモ又タ他ノ一方ヨリ之ヲ見レハ斯ル立退人ノ入り込ミタル健康地ハ之カ爲メニ其病毒傳播ノ危険ナクンハアラス、サレハ一方ニ於テハ利スル所アルモ他ノ一方ニ於テハ之カ爲メニ害ヲ受ケサルヲ得ス、利害得失相半ハスルモノト云ツヘキナリ

「ベスト」血清接種ノ事

幸ヒニシテ近來學術大ニ進歩シ以テ「ベスト」ヲ豫防スルノ方法ヲ案出スルニ至リシナリ、即チ「ベスト」血清ヲ接種シテ以テ免疫セシムルノ方法はレナリ、而シテ此血清接種法ハ甚ハタ簡便容易ノ事ニシテ且ツ其費用ノ如キモ甚ハタ低廉ナルカ故ニ印度ノ如キ國ニ取リテハ極メテ便利ナルモノナリ、而シテ其効果ハ最モ著シキモノナリ、此接種法ヲ行フタルモノト否ラサルモノト間ニ於テ死亡數ノ差異アルヲ以テ之ヲ知ルニ足ルヘキナリ、即チ之ヲ行フタルモノ、死亡數ハ之ヲ行ハサルモノニ比較スレハ僅カニ其六分ノ一ニ過キサルノミ

今マ次ニ掲クル所ノ統計表ハ「ベスト」血清接種法施行ノ結果最良ナルモノヲ示シタルニアラス、其各接種法カ最モ注意ヲ密ニシテ試験セラレタルモノヲ示スモノナリ、即チ其每接種ニ關シテ爲シタル極メテ精密

ナル報告書ニ基キテ作製シタル統計表是レナリ

パロダ州ニ於ルアランドヘウ村ニ於テ劇甚ナル「ベスト」發生シタルニ依リ、直チニ此村ニ出張シテ各家屋ニ住居セル人口ノ概算ヲナシ、凡ソ其半數ニ「ベスト」血清接種法ヲ施行シタリ、其當時此村ニ生存セルモノ總計九百五十人アリ、内若干ノ期間内ニ此血清接種ヲ受ケタルモノ五百十三人アリシナリ、而シテ此血清接種ヲ受ケタルモノト否ラサルモノトノ間ニ於テ其結果ノ差異如何ナリシヤト云フニ左記ノ如キ事實ヲ得タルナリ、曰ク此村ニ於テ血清接種法ヲ施コシタル後「ベスト」ハ尙ホ四十二日間熄マサリシナリ、此間「ベスト」ニ侵サレタル總テノ家屋内ニ住居セシハ二十八家族ナリシカ此等ノ家族中血清接種ヲ受ケタルモノ七十一名ニシテ之ヲ受ケサルモノ六十四名ナリシナリ、而シテ其結果如何ト云フニ受ケタルモノニシテ「ベスト」ニ罹リシハ八名ニシテ内死亡者僅カニ三名ナリシカ受ケサルモノニシテ「ベスト」ニ罹リシハ二十七名ニシテ内死亡者二十六名ナリシナリ、之ニ據リテ推斷ヲ下セハ僅カ此一村内ニ於テ「ベスト」血清接種ノ爲メ生命ノ助カリシ者二十六名以上アリシヲト知スルニ足ルヘキナリ

ブンジャーニ於テハ其人民ノ大數カ「ベスト」血清接種ヲ受ケタリ、「ベスト」ニ係ル前ノ醫務長官マジヨルウ井ルキンソン氏ハ左ノ如キ事實ヲ吾人ニ報告シタリ、曰ク此地方ニ於テ「ベスト」ノ發生前四箇月若クハ四箇月以内ニ血清接種ヲ受ケタルモノ百分ノ十以上ニ當レリ、蓋シ此地方ノ村落ニ於テ此接種ヲ受ケタルモノ十八萬六千七百九十七人ニシテ受ケサルモノ六十三萬九千六百三十人ナリシカ、前者ノ内「ベスト」ニ罹リテ死亡セシモノ三百十四人ニ過キサリシニ後者ノ内「ベスト」ニ罹リテ死亡セシモノハ二萬九千七百二

十三人ノ多キニ達シタリ、是ニ由リテ之ヲ觀レハ此等ノ村落ニ於テ「ベスト」血清接種ノ爲メ助命セラレタルモノ殆ント八千人アリト算定スルハ決シテ不當ノコトニアラサルヘシト信ス

孟買市ニ於テ施行シタル「ベスト」血清接種ノ結果ハ好シ前者ヨリ尙ホ一層好カリシト云フヲ得サルモ全ク同一ナリシト云フヲ得ヘキモノナリ

ピロット、バンダーノ附近ナル一家屋ニ於テ尙ホ未タ「ベスト」ノ發生セサル二箇月前ニ「ベスト」血清接種法ヲ行フタリ、此家屋内ニハ六十一名ノ居住人アリ、内此接種ヲ受ケタルモノ二十四名アリ此二十四名ノ内「ベスト」ニ罹リシモノハ僅カニ一名ニ過キス、其一名モ後全瘉シタリシナリ、然ルニ此接種ヲ受ケサル三十七名ノ結果如何ト云フニ、「ベスト」ニ侵サレタルモノ十九名アリ、内死亡者十二名アリシナリ、此一家屋内ニテ此接種ヲ受ケタルカ爲メ助命セラレタルモノ十二名アリシナリ

ドクトル、ターナー氏及其部下ノ人々ハ或ル市邑ノ住民ノ大數ニ就テ、「ベスト」血清接種法ヲ施シタリ、即チ此市邑中此接種ヲ受ケタルモノ三千三百十七名ニシテ受ケサリシモノハ僅カニ八百三十八名ニ過キサリシナリ、而シテ其結果如何ト云フニ接種ヲ受ケタル大數ノ中ニ於テ、「ベスト」ニ罹リテ死亡シタリシモノハ僅カニ三名ニ過キサリシナリ、然ルニ之ヲ受ケサル小數ノ中ニ於テハ、「ベスト」ニ罹リテ死亡セシモノ十八名アリシナリ、而シテ此接種ノ爲メニ生命ノ助カリシモノ六十名アリシ

カラチニ於テモ亦タ右ニ掲ケタル箇所ト同一ノ結果アリシナリ、即チ此接種ヲ受ケタルモノ一千二百四十五名ノ内「ベスト」ニ罹リテ死亡セシハ僅カニ四名ニ過キサリシカ之ヲ受ケサリシ者六十名ノ内ニテハ死亡

者五名アリシナリ、而シテ此接種ノ爲メ生命ノ助カリシモノ百名アリト算定スルハ決シテ不當ノ事ニアラサルナリ

カンデスノ警官中ニハ「ベスト」血清接種ノ爲メ生命ノ助カリシモノ少ナカラサリシナリ、即チ此接種ヲ受ケタル警官一千五百八人ノ内、「ベスト」ノ爲メニ斃レタルモノハ僅カニ三名ニ過キサリシカ之ヲ受ケサリシモノ二百三十名ノ内ニハ同シク死亡者四名アリシナリ、而シテ此接種ノ爲メ助命セラレシモノ二十三名アリシナリ

鐵道會社モ亦タ右ト同一ナル經驗ヲ爲シタリ、南マラツカ鐵道會社ハフビリトニ於テ會社ニ使用スルモノ一千二百六十人ノ彼ノ血清接種ヲ施行シタリ、然ルニ此血清接種ヲ嫌忌シテ之ヲ受ケサリシモノ七百六十人アリシナリ、而シテ接種ヲ受ケタルモノ、内「ベスト」ニ罹リテ死亡セシモノハ僅カニ二名ニ過キサリシカ之ヲ受ケサリシモノ、内ニハ之カ爲メニ斃レシモノ二十一名アリシナリ、且ツ接種ヲ受ケタル爲メ生命ノ助カリシモノ三十三名ナリシ、水車所有者モ亦タ是レ「ベスト」血清接種ノ利益アルコトヲ確カメ得タリシナリ、ナッグバーニ於ル某水車ノ支配人ナルバズンジー、ダダホー氏ハ左ノ如キ事實ヲ見出シタリ、曰ク此水車ニ使用セラル、モノ、内一千百十六人ハ「ベスト」血清接種ヲ受ケタルモノニシテ、内「ベスト」ノ爲メ斃レタルハ僅カニ六名ニ過キサリシカ、之ヲ受サリシモノ二千六百六十三名ノ内「ベスト」ニ罹リテ死亡セシモノ百七十九人アリシナリ、而シテ此接種ヲ受ケタルモノニシテ生命ノ助カリシモノ六十九人ナリシ

「ベスト」血清接種ノ効力アルコト概ネ右ニ叙述シタルカ如シ、勿論此接種法ヲ施行シタルカラトテ一ノ國一ノ地方中ニ「ベスト」ヲ全ク根絶スルハ不可能ノ事ト云ハサルヘカラス、然レトモ此接種法ノ爲メニ救助セラレタランニハ其救助セラレタル丈ケハ固ヨリ利益タルニ相違ナキナリ、且ツ「ベスト」ニ罹リサ死亡シタルモノ、葬儀ニ臨マントテ隣接セル市邑村落ヨリ來レル朋友達カ病毒傳播ノ媒介者トナリテ健康地ヘ歸リ行クノ惡影響ヲ輕減セシムルノ効力アルモノナリ

又タ此接種法ハ「ベスト」發生ヨリ繼發スル所ノ恐慌ヲ排去セシムルノ効用アルモノナリ、今マ或ル村落ニ於テ住民ノ大半カ此接種ヲ受ケタリトセンカ「ベスト」病毒ヲ減退セシメ之ヲ取り扱フコト容易ナルニ至ルヘク、且ツ隣接セル地方ヘ蔓延スルヲ豫防スル方法ヲ取ルコト困難ナラサルノ利益アルヘキモノナリ

一時的利益ノ方法

鼠撲殺、場所ヲ空虚ニスルコト及「ベスト」血清接種法ハ其益スル所一時的ニ止マリテ所謂其利益永久ニ繼續スヘキモノニアラス、但シ鼠ヲ撲殺スルコト場所ヲ空虚ニスル所ノ結果ハ彼ノ血清接種法ニ及ハサルナリ、然レトモ前二者ハ各人自カラ行ヒ得ヘシト雖モ、血清接種法ニ至リテハ其道ノ専門家ノ手ヲ借ラスンハ能ハサルノ不便アルモノナリ

「ベスト」豫防法一ニシテ足ラスト雖モ其内ノ二方法ノミ其効力ヲ専ラニスルコトヲ得サルモノナリ、各方法皆ナ是レ其場合々々ニ從ツテ其ノ効力ナクンハアラス、中ニ就テ彼ノ血清接種法ノ如キハ「ベスト」ノ勢力最モ猖獗ヲ逞フシ、鼠撲殺ノ如キ方法ノ全ク効力ナキ場合ニ施行シテ最モ効果ノ著シキモノナリ、鼠撲

殺法ノ如キハ或ル村落杯ニ於テ「ベスト」ノ發生シ易キ季節ノ豫防法トシテ之ヲ實行シテ最モ好結果アルモ
ノナリ、此外「ベスト」流行ニ當リテ其住居ヲ空虚ニシテ他ヘ立チ退クハ血清接種法ニ附隨シタルモノトシ
テ之ヲ施シテ最モ結果ノ好キヲ見ルヘキモノト知ルヘシ

第一表 孟 買

(自一九〇五年
至一九〇六年)

今マ左ニ掲クル所ノ表ハ一九〇五年十月一日ヨリ一九〇六年九月廿九日ニ至ルノ間ニ於テ「ベスト」ニ
罹リタル溝鼠、家鼠及人類ノ死亡數ノ中數點以上若クハ以下ノ百分比例ヲ示シタルモノナリ

週	期	間	溝鼠ノ中數點以上若クハ以下ノ百分比例	家鼠ノ中數點以上若クハ以下ノ百分比例	人類ノ死亡數以上若クハ以下ノ百分比例
同	十月一日ヨリ	同	九四	九四	八二
同	八月ヨリ	同	九三	九四	八九
同	十五日ヨリ	同	九二	九一	九三
同	廿二日ヨリ	同	九四	九六	九四
同	廿九日ヨリ	十一月四日	九〇	九四	九三
同	十一月五日ヨリ	同	九三	九七	九六
同	十二月二日ヨリ	同	八七	九三	九四
同	十二月九日ヨリ	同	八五	九四	九四
同	十二月十六日ヨリ	同	八七	九四	九四
同	十二月廿三日ヨリ	同	八一	九〇	九四
同	十二月三十日ヨリ	同	八一	九〇	九四

週	期	間	溝鼠ノ中數點以上若クハ以下ノ百分比例	家鼠ノ中數點以上若クハ以下ノ百分比例	人類ノ死亡數以上若クハ以下ノ百分比例
同	十月一日ヨリ	同	七五	九〇	九五
同	十七日ヨリ	同	七〇	八〇	九五
同	廿四日ヨリ	同	四九	七二	九三
同	十一月一日ヨリ	同	二八	六二	九三
同	十一月八日ヨリ	同	一〇	四四	八六
同	十一月十五日ヨリ	同	一〇	四四	七二
同	十一月廿二日ヨリ	同	一六	四六	七一
同	十一月廿九日ヨリ	同	二〇	九八	四八
同	十二月六日ヨリ	同	二七	一七	二九
同	十二月十三日ヨリ	同	三一	一五	〇五
同	十二月二十日ヨリ	同	三〇	二二	五八
同	十二月廿七日ヨリ	同	二八	二九	一八
同	一月三日ヨリ	同	二四	二九	一八
同	一月十日ヨリ	同	三〇	三〇	一四
同	一月十七日ヨリ	同	二六	二九	一四
同	一月廿四日ヨリ	同	二一	二〇	二六
同	二月一日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	二月八日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	二月十五日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	二月廿二日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	二月廿九日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	三月六日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	三月十三日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	三月二十日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	三月廿七日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	四月三日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	四月十日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	四月十七日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	四月廿四日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	五月一日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	五月八日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	五月十五日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	五月廿二日ヨリ	同	一一	一四	二九
同	五月廿九日ヨリ	同	一一	一四	二九

此微菌ハ着色法ヲ以テ明カニ見ルコトヲ得ヘシ（彼ノ中央ヨリ兩端ニ著シク着色スルグラム氏着色ニ染マ
ス）其形ハ圓廣ノ尾端ヲ有スル短カキ微菌ナリ但シ之ヲ培養スル處ノ器具ニ從ヒ其形一樣ナラス而シテ最
モヨク「チエローズ」(肉汁ノ如キモノ)ヲ與ヘテ繁殖スルモノナリ其ノ初メノ二日間ハ泡沫ヲ呈シ水面ニ垂
下スル小房ノ形ヲ現ハシ水ハ爲メニ極メテ鮮明ナレトモ其後小房ハ漸ク培養器ノ底ニ沈ミ常ニ泡沫ノ醜
醜スルヲ見ルヘシ

數世紀以來常ニ「ベスト」ノ存在セル支那南方ノ各州ニ於テハ其流行ノ前ニ當テ鼠及鼠ノ嚙タシキ死體ヲ
見ルヲ例トセシカイエルサン氏ハ香港ニ於テ同様ノ事實ヲ確カメ又此等四足獸ノ體內機關内ニ全ク人體腺
内ニアル微菌ト同性質ニ出ツル微菌無數ヲ發見セリ氏ハ此理ヲ確ムル爲メ其人間ノ腺内ヨリ取リシ微菌ノ
培養器ヲ以テ其病毒ヲ四足獸ニ感染セシメ又或ハ「ベスト」ニ斃レシ鼠類ノ肉ヲハ健全ナル鼠類ニ喰ハシメ
テ感染セシムル等種々ノ試験ヲナシタリキ一千八百九十七年印度ニアリテシモン氏ハ最モ見易キ事實ニ其
病毒カ動物ヨリ人類ニ感染スル重ナル法ノ一ヲ斷定セリ即チ「ベスト」ニ罹レル鼠ノ斃ル、ヤ其鼠ノ體ニ生
息セシ蚤ハ去テ他ノ鼠或ハ人類ノ體ニ赴クヘシ而シテ此等蚤ノ腸内ニハ長時間其生命ト害毒トヲ貯有スル
處ノ「ベスト」菌ノ屬々充滿セルコトニテ斯ルカ故ニ試ミニ無感染ノ鼠類ヲハ「ベスト」菌アル鼠ト共ニ一瓶
子内ニ置クトキハ鼠類ハ「ベスト」ニ感染スルコト是ナリ右ノ結果ニヨリ人間及ヒ其他動物ノ寄生蟲タル蚤
鼠姑、蚊ノ如キモノハ斯病ノ特性微菌ヲ傳播スヘキモノナリト云ハサルヲ得スト
感染ノ其他ノ方法ハ英魯獨奧佛ノ諸大家ニシテ近代印度ノ流行病研究ヲナシタル人々ニヨツテ明示セラレ

タルモノアリ英國ノ醫士チヤイルド氏及魯國ノ大家ウキツソコウキクス氏及サボロトニーハ「ベスト」ハ人
類及鼠印度豚、兔、殊ニ猿ノ如キ「ベスト」毒ニ感シ易キ動物ニ對シ外形の腫起ノ徵候ヲ呈スルナク其他ノ
徵候即チ肺癆衝ヲ起サシムルコト少ナカラサルヲ以テシ此肺「ベスト」ニ罹レル病者ハ「ベスト」微菌ヨリ充
滿セル染血ノ津唾ヲ吐出スルコト夥クシク之ニ接觸セルル一切ノモノヲ汚カシ彼ノ空中塵埃中ニ混入シタ
ル乾燥セル吐瀉物ノ如キモ傳染上甚タ危險ナル分子ナリト云ヘリ我師ロー博士バザロツフ氏ト共ニ研究ノ
結果印度豚、兔及猿ニ對シテ肺「ベスト」ヲ感染セシメンニハ唯タ「ベスト」菌養生瓶子内ニ浸タシタル細筆
ノ先ヲ彼等ノ鼻口ニ塗ルヲ以テ充分ナルコトヲ明言セリ

呼吸傳染タルヤ其例甚タ尠カラス昨年奧國維伊納府ミュレール化學室ニ於ケル「ベスト」傳染ハ僅少ノ人ノ
ミニ及ヒタリト雖トモ正サシク此方法ニヨレルモノナリ今モ猶世人ノ記憶ニ存スルナルヘシ同化學室ニテ
試験的動物ヲ取扱ヘルバリツシナルモノカ第一ニ感染シタルコトヲ同人ハ「ベスト」病毒ニ潤ヘル指先ヲ鼻
ニ觸レタルヨリ感染シタルモノナリミュレール博士ハ此ノ患者ヲ診察スルコト甚タ手後レタリキ而シテ患
者ノ吐出セル唾液内ノ微菌ヲ試験スルニ當テ感染シ次テ氏モ亦タ死去スルニ至レリ幾モナクシテバリツシ
ノ看護ヲナセル一人モ同様ノ運命ニ遭逢セリ然レトモ交通遮斷其他ノ豫防法ヲ即時ニ施シタル結果トシテ
傳染者ハ右三人ニ止マリテ他ニ傳染スルモノナカリシ

サレハ人間モ他ノ動物ト同シク食管ヨリ破瘡口ヨリ、又寄生蟲ノ媒介ニヨリテ感染スルモノト云フヘク此
等ノ事實ハ學理上爭フヘカラサル所説ニシテ猶實際ノ經驗ニヨリテ益々明カナルモノト云フヘシ「ベスト」

流行地ニ於ケル其傳播ノ自然的作用ハ概ネ上段ノ如キモノナリ
而シテ此ニ研究スヘキハ如何ニシテ「ベスト」カ大距離ヲ通過シテ輸入セラレタルモノナルヤ（即チ印度ヨ
リアアレクサントリヤ或ハホルトニ輸入シタルカ如キ）ノ問題ナリ
余ハ同伴ノ博士サリムベニイ氏ト共ニ第一ニ「ベスト」ト承認シタル最初ノ諸患者ニツキ其侵入ノ原因ヲバ
力ノ及フ限リ取調ヲハナシタリキ

其第一ニ現ハレタルハ六月五日前後ト覺シク邑ノ名譽衛生掛長リカルド、ジヨルジ博士カ自己ノ診察セ
ル病者ニツキテ其病質ヲ疑ヒ始メタルハ七月初旬ニ過キス而シテ微菌試験上確的ニ「ベスト」ト断定セラ
レタルハ八月初旬ニシテ既ニ其ノ際ハ患者ノ數ハ著キニ及ヒ公報ニヨリテ其三十四人ニ達シタルヲ知レリ
余カ一行ノ九月二日ニ「ホルト」ニ到着シタル際ニハ公簿ニハ同患者六十二人死者二十六人ト註セラレタ
リ又サン、アントニ一病院隔離室ニ收容セル患者ハ十五人ニシテ其内五人ハ死去セリ乃チ平均死者ノ數百
分ノ四三、五而シテ病院ノ方ハ百分ノ三三、ノ割合ナリキ

右流行病侵入ノ信據スヘキ原因ニツキテ當時非常ニ爭論スル處アリ何トナレハ印度ヨリ航行セル船舶ハ一
般モ入港シタルコトナク唯タホルト一及倫敦間定期航海船タル英船「シチー、オフ、カーク」號カ六月初
旬ニ稍々疑フヘキ積荷即支那茶ビルマ、ラングーン米、錫蘭、澱粉カルキユツタ孟買、及モータース麻ヲ搭
載シタレトモ此等ハ皆ナ倫敦ニ於テ一度税關倉庫ニ藏セラレテ後送り來リシモノナレハナリ
猶「シチー、オフ、カーク」號ハ五月十三日、同月二十一日及ヒ六月五日碇繋シ此最終ノ碇船中ニニユー、

カツスルノ薪炭ヲ陸上ケシタルノミ

徴表上「ベスト」患者ノ初發トシテ確カメラレタルハ當港バレット商店ニ送り來リタル麥ノ積荷卸人ヲ診斷
シタル時ニアリテ實ニ六月五日ナリトス此麥ハ紐育ヨリ輸入シタルモノニテ前五月二十三日ニ港上ニ運送
セラレタルモノナリ

次ノ患者ハ六月七日ニ「ベスト」ト認定セラレタリ乾鱈運搬ヲ業トセシ西班牙人ノ一擔夫ナリキ右第一患者
ノ住居セル家屋ハフオント、トリーナ街八拾八番地ニシテ六月五日ヨリ同月三十日ニ至ル迄ニ五人ノ「ベ
スト」患者ヲ出シタルガ罹病者ハ此家ニ共同生活ヲナシ擔夫ヲハ職業ト爲ス者ニテ獨リ其内ノ一人ハ銘酒
店ヲ營業トスルモノナリ

此附近ニ於テノ患者ノ發生セシハ同街七拾番地及八十四番地ニシテ五名ノ婦人（妻トナリタル婦女一人少
女四人）殆ント前ト同時ニ「ベスト」ニ罹レルカ病勢ハ次第ニ蔓延シテ恰カモフオント、トリーナ街ノ如ク
港頭ニ接近セル其他ノ街ニ及ヒ殊ニ第一ニ米穀人包囊ノ運搬或ハ修理ニ從事スル男女ヲ襲ヘリ

七月下旬ニハ患者ハ全市街ノ僅少部分ヲ襲撃スルニ過キサリシカ既ニ九月ニ入りテハ嘗テ流行地外ノ地ト
稱セラレタル中央商業繁盛ノ街モ遂ニ免ル、コト能ハサルニ至レリ

一言ニシテ云ハ余輩一行ハ殆ント探究ノ手蔓ヲ失シタリ何トナレハ余ハ其出發前ニ當リテ「ベスト」ノ市
民ニ對シテ發生スル數週前ニハ必ス此等船舶卸積人足ノ雜寓セル河ニ沿ヘル貧乏街内ニ彼ノ鼠類ノ病ニ斃
ル、モノアリタルヘシト想像シタルニ市民ハフオント、トリーナ街ニ鼠類ノ無數ヲ認メタルナルヘキモ一

般ニ毫モ之レニツキテ注意ヲ加ヘタルモノアラサレハナリソハ兎モ角モ此地ノ「ベスト」カ侵入シタルハ初春モーリース島或ハベルシヤ灣アレキサンドル等ヲ經テ入港セル二三船舶ヨリ脱奔セル鼠類ノ上陸シタルモノアルヲ以テ原因トナスノ當テルモノアルカ如トシテ「ベスト」病毒ハポルトノ各船渠ニ又ハ税關附近及フオント、トリーナ街ニ生殖セル鼠及蟻鼠ニ一早ク傳染セシニ相違ナン殊ニフオント、トリーナ街ノ如キハ狹隘ニシテ不潔ナル家屋ハ岸ニ沿フテ累ラナリ曲折セル小市道ノ僅カニ通スルノミナルヲ以テ家屋四方ハ悉ク街衢ヲ見ルノミ水渠小溝アリト雖モ幾百年以來放棄セラレタル汚物塵芥ヲ以テ埋積セラレ一種ノ煙ト臭氣ハ嘔吐ヲ催サシメ太陽ノ光線ハ四時此ヲ照シタルコトナク一室或ハ二室ニ全家族擧ケテ住居シ殆ント尺寸ノ地下ニハ豚、羊、兎ノ如キ獸類養ハレテ人類ト雜居ノ姿ヲ呈スルノ境裡ナレハ殊ニ「ベスト」ノ發生ヲ容易ナラシメタルナルヘク寧ロ「ベスト」カ其ノ割合ニ此ニ大害ヲ與ヘサリシ事コソ不思議ナリト云フ外ナシ

ホルトーニ於テ六月初旬ニ發生シタル當初ノ病性ハ學說上ノ腺「ベスト」即チ創痕ヨリ「ベスト」菌ノ入りテ腐血スルモノ(Pasteur boumiquie Chazique)皮「ベスト」炭疽病(Septicémie Pasteurise à Chazou)ニテ即チ昔時黒死病ト稱スルモノ、二者ナリ其第一ノモノハ激甚ナル頭痛ト共ニ過度ノ熱發ヲ起シヤ病勢俄然危險ヲ來タシ同時ニ筋力ヲ失シ熱ニ浮カサレ又時ニハ苦悶ノ餘殆ント精神ヲ喪失シテ病アル人ニ非ラサルカ如キアリ初日ニアリテハ腫起セル二三ノ硬結ヲ髀白ニ現ハシ又稀ニハ腋下或ハ頸ニ硬結ヲ現スコトアリ然レトモ此腺ノ結腫ハ頗ル判定シ難キモノニテ漸ク二日或ハ三日目ニ至リテ雞卵位ノ大サニ現ハル、モノトス又第二

ノモノハ皮膚面ニ水泡疹ヲ生ス(殊ニ腺所在ノ部分ニ)其他ノ場合ハ身體ノ各處ニ赤カキ圓線ヨリ回繞セラシ、黒色ノ疔疽ヲ生シ又タ或ハチブス病ニ於ケルカ如キ腹部胸部及腿部ニ小赤點即チ「ベテシー」ヲ生スル處ノ所謂炭疽病是ナリ

此罹病者ハ熱血ノ眼蒼白ニシテ光澤ナキ顔貌ハ燒腐セル暗黒色ノ舌ヲ有シ、熱度ハ三十九度ヨリ四十一度ノ間ヲ上下シ呼吸催進脈搏殊ニ著シク重復ヲ呈シ尿液ハ常ニ甚タ酸分ヲ包メル蛋白質ノモノナリ

凡ソ右ニ述タル病者ノ全癒ニ趣クモノハ病勢大抵六日間ヨリ十日間ヲ經過スルモノニシテ此場合ニハ一或ハ數腺ノ膿化スルニヨリテ其硬結ヲ止メ熱度ハ次第ニ減少シ其回復ハ頗ル遅々タルモノナリ然レトモ其危險ナルモノニ有リテハ早キハ三日遅クモ一週間内更ニ投藥ノ效ナク忽チニシテ死シ間々猶之レヨリ短日ニシテ死スルモノアリ

其生者又ハ死者ニツキ其腺内ノ包有物ヲ微菌研究法ニヨリテ試験スルトキハ所謂イエルサン「ベスト」菌ノ夥タシキ數ヲ見ルヲ得ヘシ(余輩ノ其性質ヲ前述セシ處ノモノ)猶病者ノ指先ニ小傷ヲ加ヘテ之ヨリ出タシタル血液中ニモ同一ノ菌ヲ見出スヲ普通トナス而シテ其血液ノ二三滴ヲ培養器中ニ入レテ其ノ菌ノ多少ヲ量ルハ病勢ノ豫後上頗ル鑒要ナル方法ニシテ若シ其血液中ニ微菌ノ多數ヲ含有スルトキハ其豫後ハ頗ル危険ナルモノト云ハサルヘカラス

右ノ外殆ント死ヲ免レ難キ「ベスト」ノ種類ハ無腺或ハ有腺ノ肺「ベスト」ニシテホルトーニ於ケル患者大部分ハ此種類ノ「ベスト」ニ罹リタルモノナリ豫メ之ヲ知ルコトナクシテ診察スルトキハ普通ノ肺病特ニ肺氣

管支ト之ヲ區別スルコトハ非常ニ困難ナルモノナルヲ以テ其徵候ハ到底津液ニヨリテ微菌研究法ニ因ルノ他ナシ即チ通例ノ著色法ニヨリ又或ハ鼠又ハ豚鼠ニ對スル接種法ニヨルトキハ津液中必スヤ「ベスト」菌ニ充満セラル、ヲ見ルヘシ

余等一行ノポルトガルニ到著スル迄ニハ同所ニ於テ病者ニツキテ更ニ血精療法ノ舉ハナカリシ葡萄牙ノ醫師等ハ一千八百九十七年印度ニ於ケル「ベスト」病ヲ研究セル日耳曼派遣委員ノ報告ニヨリテ甚タ感動セラレタルニハ相違ナキモ一千八百九十六年イエルサン氏カ厦門及關東ニ於テ血精療法ニヨリテ幸ニモ有効ナル試験アリタルコトヲ知ラス而カモ渠等ノ信セシ日耳曼委員等ノ行ヒタリシ實驗ハ實ニ平凡ナル效果ヲ奏セシニ過キサリシモノナルヲ知ラス元來最初イエルサン氏カ孟買ニアリテ(シモン氏之ニ次キテ研究セリ)使用セル血精ハ治療的ニハ不充分ナル力ヲ有スルニ過キスシテ獨リコハ「ベスト」豫防的ニ用非テ必要ナルコトヲ信シ得タルノミ即チシモン、ウ井ソコウ井ツクス及ザポロトニー氏ハ猿ニ之ヲ實驗シ後人間ニ用キテ而シテ成效アリ然ルニ此第一效果ニツキテ感奮セルバストール研究所ナル博士ロー氏及其生徒諸氏ハ豫防的ニシテ且治療的ナル血精ヲハ得ントテ其研究ヲハ進メタリ而シテ此研究ハ幾回モ研究者ヲ挫折セシメ長時月ヲ費サシメタルハ事實ナリ

現ニ我カ師ノ如キモ確ニ二十回モ之ヲ放擲セントハシタリキ研究者ハ「ベスト」殺菌劑ヲ得ン爲メニ從來實驗セル凡テノ手段ニヨリテ猶新工夫ヲ費シタレトモ殆ント何等ノ效果ヲ奏セサリキ斯克研究ヲ悉クセル間ニ熱殺セル「ベスト」微菌ノ死屍ノ多量ヲハ馬ノ血管内ニ注入スルノ種毒法ヲナスコトハナレリ然ルニ殆ント一箇年以上ノ日月ヲ經テ後種毒セル馬ハ殺菌血精ヲハ産出セリ此血精ノ百立方積四十分ノ一ハ最モ害毒アル「ベスト」菌ヲ排シテ豚鼠ヲ安全ニ生息セシムルコトヲ得又其百立方積ノ四分ノ一ヲ施セハ最モ害毒アル「ベスト」菌ヲ種毒シテ後十六時間ヲ經過スルモ其血精ノ注入ニヨリ此等ノ動物ヲハ確ニ平癒セシムルコトヲ得タリ

右ノ如ク獸類ニ於ケル試驗ハ確實トナリ今ハ唯「ベスト」患者ニ對シテ此血精ノ實驗ヲハ行ハントスルニアリテ彼ノバストール研究所カポルトール市「ベスト」病蔓延ノ際ニ當テ同市ニサリンベニー氏及余ヲ派遣スルコトヲ決定セシ所以ナリトス

既ニ試驗ノ結果何等ノ疑惑ナキコト明ナルニ拘ハラヌ葡萄牙ノ醫師諸氏ハ兎ニ角先ツ豚鼠及猿ニ對シテ豫防的及治療的ノ實驗ヲ施シテ承服セシメラレシコトヲ以テシタリ而シテ余輩ノ之ニ對セル實驗ハ當時同國内閣總理大臣兼内務大臣ノ命ニヨリテ萬國會議ニ召集セラレタル内國微菌學者ノ目前ニ行ハレタルカ此實驗ノ確的ナリシハ同萬國會議カ其ノ報告ヲ(一千八百九十九年十一月六日醫學雜誌參看)發シテ一般ニ血精療法ヲ用ユヘキヲ以テシタルコト及葡萄牙醫師諸氏カ吾人ヲシテ「ベスト」流行地ノホンフム避病院ニ入院セル全患者ヲ托セシヲ以テ知ルヘシ

右病院ニ於テ吾人ノ得タル結果ハ左ノ如シ

ポルトガルニ於テ血精療法採用前ニハ「ベスト」患者入院者ノ死亡セル割合百分ノ二三、ナリシカ

九月三日ヨリシテ入院患者ニ對シテ血精療法ヲ施セシ以來死亡者ノ割合ハ百分ノ一二ヲ出テス百〇四人ノ

治療者中僅カニ十四人ノ死亡セシニ過キス而シテ右死者ノ十四人ノ其事狀ヲ知レル九人ニツキテ云ハンニ其内ノ三人ハ入院シテ十六時間ヲ經過セサルニ先チ死亡シタル者ニテ其一人ハ同上二十四時間内ニ死亡シタル者、一人ハ「ベスト」腹膜炎二人ハ「ベスト」腦膜炎其他ノ一人ハ「ベスト」ト同時ニ結核症腦膜炎ニ罹レル者而シテ最後ノ一人ハ分娩後日ヲ經サル婦人ニシテ產褥時ノ連鎖狀菌傳染ニ「ベスト」ノ併發シテ之カ爲メニ死亡シタルモノトス

彼ノ前世記ノ中項迄歐羅巴ヲ侵害セル「ベスト」蔓延ノ歴史ヲ紐キ又タ近世印度マタガスカル埃及、ニ於ケル大流行ノ時ニ溯テ考フレハ患者死亡ノ割合ハ百分ノ七八、九十乃至ハ百分ノ九十五ヲ以テ常トセルカ如トシ今ヤポルトーニ於ケル血清療法タル充分ノ安全ヲ得ヘシトハ云フ能ハサルモ死者ノ現在數ノ割合ニツキテハ比較上満足セサルヘカラサルモノアリ

此療法タル其實用上特別ニ何等ノ困難ナルコトナシト雖トモ吾人ノ定メタル或規則ニ從ヒ出來得ヘキ丈ケ綿密ニ行ハサルヘカラス

「ベスト」ハ一種ノ腐血病即最物硬結腫及分泌腺内ニ含營セル腐臭ノ微菌カ其腐血ニ乘シテ全機關内ニ敷蔓スルニ至ヘキモノナルヲ以テ其病者ニ向ヒ血清ノ多量ヲ注入スルノ必要ナルノミナラス熱度カ腐血ノ危險全滅セルヲ示ス迄ハ毎日注射ヲ繰返サ、ルヘカラサルナリ

余輩ハ「ベスト」患者(其血液中ニモ非常ノ微菌ヲ含有セシ患者)血清療法ニツキテハ猶詳細ナル研究ヲハナシタリキ

人若シ血清注射前ニ當テ患者血液ノ一滴ヲ試験器ニ入レ其微菌ノ數ヲ計算セハ著シキ多數ヲ見出スコト少カラス或時ノ如キ余輩ハ「ベスト」微菌ノ三十二ノ殖分子 (Colonia) ニ達スルヲ實見セリ然ルニ血清四〇立方「センチメートル」注入後二十四時間ニシテ患者ノ血液ヲ檢スルニ前ト同分量内ニ最早一乃至二ノ微菌存在スルアルノミ

四十八時間ヲ經過シ血清四〇立方「センチメートル」第二回注射後ニ於テ患者ノ血液ヲ檢スルニ血液内微菌産ヲ失ヒ全ク血管内ニ其痕ヲ絶ツニ至リ而シテ微菌カ一團セル多核白血球ト化スルヲ見ルノミ又血清ヲシテ其力ヲ盛ナラシメ微菌ノ侵入ヲ受ケサランカ爲メニ之ヲ五十八度ニ熱タ、メテ使用スルトキハ「ベスト」患者機關内ニ於テ忽チ「ベスト」微菌ヲハ殲殺スヘキ偉大ナル侵蝕的反動力ヲ高ムルモノトス

余ハ患者ノ全ク癒ユル迄ハ其病勢ノ強弱ニ從ヒ之ニ相當スル血清ノ分量ヲハ毎日缺カ、スヘカラサル旨ヲ前述セシカコハ甚タ鑒要ナル事ナリ何トナレハ長時間内ニハ「ベスト」微菌カ濃球内ニ潜匿シテ滅殺ヲ免ル、コトナシト云フヘカラス而シテ血清ノ力稍々減スルニ及ンテ此微菌ハ血管内ニ再回シ又タモヤ繁殖シテ病勢ヲ復舊スルコトアルヘレハナリ

抑モ血清ナルモノハ決シテ有害物ニアラサルヲ以テ患者ノ危險ニシテ菌ノ全ク絶滅スル迄ハ毎日二〇乃至四〇立方「センチメートル」注入シテ毫モ差支ナキモノナリ余輩ハポルトーニ於テ五十七歳ノ一婦人ニ對シテ六日間ニ三二〇立方「センチメートル」迄ノ血清ヲハ注入シタル事アリ此治療ハ罹病後四日目ニ從事セラレタルモノニシラ且其ノ病質タルヤ有多腺ニシテ最モ重體ナル「ベスト」ナリシカ余輩ハ之ヲ全治スルコト

ヲ得タリ

吾人カ死亡ノ外到底見込ナシトスル處ノ彼ノ肺「ベスト」ノ場合ニアリテハ余輩ハ血精ヲハ一回二〇立方
「センチメートル」ノ分量ヲ以テ患者ノ血管内ニ直接ニ注入スルコトヲ躊躇セザリキ而シテ余輩ハ其効果ノ
善良ナリシコトヲ誇ラサルヲ得ス何トナレハ最モ重體ナル三人ノ同患者ヲハ治療シタレトモ之レカ爲メニ
一人ヲモ失フコトナカリシヲ以テナリ
之ヲ要スルニ今日ニアリテ血精ノ有効ナルハ最早疑フヘカラサル事ナリ彼ノ腺内ノ包有物試験法ニヨルモ
又或ハ津液試験法ニヨルモ其微菌ノ檢斷ヲナスト共ニ直チニ血精注射ノ實ヲ施ストキハ腺「ベスト」ハ勿論
肺「ベスト」モ治療シ得ヘキコト萬々ナリ

蓋シ血精ハ雷ニ罹「ベスト」者ヲ治療スル點ニ於テ有効ナルノミナラス亦斯病ヲ豫防シ其ノ流行區域ノ増大
ヲ防壓スルノ必要ナルモノアリソハ余輩カボルト「ニ」獸類及人間ニ對シテ行ヒタル事實ニ照シテ瞭々タル
モノアリ即チ余輩ハ大凡ソ感染スヘキ境遇ニアリト信スル處ノ多數ノ人例ヘハ微菌研究所ノ醫師及書記檢
疫醫師並ニ檢疫事務員汚物洗滌者「ベスト」死亡者ヲ墓地ニ送ル擔夫等ニ對シテ血精ヲ種植シタルニ此等ノ
モノ、内一人ノ「ベスト」ニ感染スルモノナカリシナリ

此血精ノ種植ハ容易ニ感染スルコトヲ得ヘク何等ノ害アルコトナシ唯通常如何ナル血精注入ヲナスモ必然
ノ結果タル尋麻疹カ注入後七八日ヲ經過シテ發生スルアルニ過キス
此種植ハ直チニ免疫質ヲ與フルモノニテ唯タ遺憾ナカラ時日ノ久シキヲ保ツコト能ハス二十日或ハ二十五

日後ニハ其効力ヲ失スルモノナリ

斯ルカ故ニ若シ種植ヲ受ケタルモノ猶久シク「ベスト」流行地ニ留マラサルヘカラサル際ハ大約三週間毎ニ
血精種植ヲ行ハサルヘカラス

近來學者免疫質ヲ長日月間保持セシムヘキ適當ノ種植ノ研究ニ熱中シツ、アリ然レトモ此問題ハ猶研究所
ニ於テモ試験中ニシテ未タ其結果ヲ得ルコト能ハス

此點ニツキテバストール研究所創立委員ノ一人タルアプキース氏ハ印度ニアリテ培養器中ノ「ベスト」微菌
ヲハ七十度ノ熱度ヲ以テ殺菌シ其小量ヲハ皮下注射セハ最モ有効ノ結果アルヘキヲ按出シタリ即チ此熱度
ノ爲メ微菌ハ死亡スト雖モ有機體ノ吸收ニヨリテ恰モ彼ノ余輩カ馬ヨリシテ得ル處ノ血精ト同種質ナルモ
ノヲ生シ其有毒性^{トキシス}ヲハ微菌ノ死屍中ニ存有スヘキモノナリトシ氏ハ孟買及其附近ノ各地ニ於テ此「ベスト」
微菌ヲ熱殺シ培養器ニヨリテ二ケ年間ニ殆ント一萬人程ニ種植シタルニ其結果此等ノ人々ノ内ニハ「ベス
ト」ニ罹ル者ノ數甚タ少ナク且罹病ヲ免レサルモノアリシト雖モ死亡スルモノハ頗ル稀ナリシト云ヘリ但
シ右ノ究理法ハ如何ニモ有効ナルニハ相違ナキナランカ余輩カ考フル處ニヨレハ夥多ノ弊害ノ之ニ伴フモ
ノアルカ如シ

其ノ重ナルモノヲ云ヘハ種毒培養器ニヨレル注射ハ左ノ場合ニハ頗ル危険ナリト云ハサルヲ得ス

此注射ハ必ス一兩日間ハ激甚ナル熱度ヲ惹起セシムルモノナレハ其結果トシテ其ノ注射ヲナス處ノ本人カ
「ベスト」流行地内ニ住スルモノニ係ルカ又或ハ其本人カ該病潜伏期ニ陥レルモノナルトキハ之カ爲メニ危

險アリト云ハサルヘカラス此クノ如キハ「ベスト」發進ヲ支阻スルニ非ラスシテ却テ其危狀ヲ促進スルモノト云フヘシサレハ未タ「ベスト」病ノ發生セサル地ニアリテハ兎モ角其流行地ニアリテハ此方法ヲ行ヒ難キモノト知ルヘシ余輩ハポルトニ於テ發議シタルコトアリ曰ク種植ノ二方法ヲ聯結スヘシト即チ血精ト熱殺微菌培養液トノ二者ヲ同時ニ混合セハ或ル場合ニ於テ利益少ナカラサルヘシ何トナレハ斯クスレハ血精ハ培養毒ノ力ヲ妨碍スルヲ以テ余輩ノ實驗上ノ効果ニヨレハ單ニ血精ノミヲ種植スル場合ニ比シテ多少免疫質ノ長時期ニ存スルモノナレハナリ

其研究ノ道途ハ如何ニアルモ兎ニ角吾人ハ如何ナル場合ニ遭逢スルモ「ベスト」病ニ抵抗スル爲メ感染ノ危境ニアル人々ニ種植スル有効ナルコトハ一ツノ理證ヲ得タルヤ明ナリト云フヘシ

他日「ベスト」ニシテ歐洲ノ他ノ市街ニ侵襲スルアラシカ強制上豫防的種植ヲ施スヘシ爲メニ其害毒ヲ排斥スルノ効極メテ著シキモノアラシコトハ余輩ノ今日豫言シテ憚ラサル處ナリ

余輩ハ斷シテ彼一千七百二十年馬耳塞ニ於ケル大流行或ハ輓近印度又ハ極東ニ於ケル蔓延ヲ生シ幾千ノ犠牲ヲ出スカ如キコト勿ルヘキヲ信ス

元來何カ故ニポルト市街ニアリテ「ベスト」撲滅ニ成功セザリシヤハ疑問ト云ハサルヲ得ス何トナレハ今日余輩ハ如何ニシテ該病ヲ豫防シ得ヘキヤ其方法ヲ究知シ居レハナリ

是實ニ吾人カ爲メ研究上幾多ノ智識ヲ與フル鑒要ナル問題ナリト云ハサルヘカラス

若シ六月初旬以降ニアリシ疑ハシキ場合ニ於テ「ベスト」患者アリタリシコト確實ナリトセハ隔離法其他

ノ豫防法ハ既ニ其機ヲ失シタリト云ハサルヲ得ス

當初葡萄牙政府ハ其當局醫師諸氏ノ意見ニ反對シテ檢疫線路ヲ設ケテ市街ヲ保全セント欲シ市民ト外來者トノ交通ヲ遮斷セリ

此手段ノ如キハ島地或ハ魯國ノ未開地(ステツプ)ノ村落ノ如ク孤立セル村落ヲ有スル人家點在ノ地方ニ用ユルトキハ効果ヲ奏スルナルヘシ即チ鼠類ハ斯ル地ニアリテハ病毒ヲ傳搬スルノ恐レナキヲ以テ嚴重ナル取締ニヨリテ流行地ヘノ遮斷ヲ行ヲ得ヘシ

然レトモポルト市街タル大ニ之レト赴キテ異ニシ人口拾八萬人ヲ有シ殊ニ工業及通商ヲ以テ業トスルモノ多シ故ニ一度政府ノ此ノ舉アルヲ聞クヤ先ツ其ノ住民ノ爲メ四萬人ハ一早ク各々志ス方ヲ指シテ遁逃セリ(是レ全歐洲ニ病毒ヲ播布スルノ患ヲ醸スモノト云フヘシ)檢疫事務所ノ創設セラル、ニ及ヒ各製作場ノ職工ハ舉テ罷工シ商肆ハ閉店シ物價ハ暴騰シ獸肉商、野菜商及牛乳商ノ如キハ市内ニ入ルコト能ハサルヨリ忽チ下等賤民ノ饑餓ヲ招キ「ベスト」ハ此機ニ乘シテ益々猖獗ヲ逞フスルニ及ヒ政府ハ里斯本及ポルト醫學會及諸外國醫員ノ痛撃スル處トナリ遂ニ其舉ヲ寬メサルヘカラサルニ至タレリ然レトモ依然檢疫線路ヲ維持シ唯々檢疫所設置ノ存スル地方ノミニ交通ノ自由ヲ許可セリ

政府ハ斯ノ如キ手段ヲ以テ「ベスト」ノ蔓延ヲ防壓セントスルモ該病ハポルト全市及其市外ニ播布シ到底收拾シ得ヘキニ非ラス斯ノ如キ廣大ナル流行地ヲ掃蕩セント欲セハ須ラク當時ノ手段ヲ一層嚴ナル手段ニ改メ且長時月ヲ以テ其目的ヲ達スヘク政府ハ從來ノ規則ノ不備ヲ補ヒ更ニ防禦ノ新規則ヲ制定セサルヘカ

テス「ペスト」發生ト共ニ斯ル恐ルヘキ社會的弊害ノ併發ヲ避ケンカ爲メ之ニ處スルノ方法如何ト云フニ余輩ノ見ル處ヲ以テスレハ宜シク左ノ如クナルヘシ

曰ク「ペスト」患者全體ヲ強制的ニ特別病院ニ收容隔離シ病者ニ接觸シタルモノ及全家屋ニ居住セル者ニ對シ同上種植スヘシ

出來待ヘクンハ「ペスト」患者發生ノ家屋ヲ燒燬スヘク然ラサレハ少ナクトモ二十日間洗滌乾晒スヘシ

一般ニ令シテ肆店、房子、汚水渠等ノ鼠及蟻鼠ヲ殲滅スヘシ但其死屍ニ手指ヲ觸ルヘカラス成ルヘク器具ヲ以テシ且之ヲ燒燬スルニ非ラサレハ硫酸瓶中ニ沈入スヘシ

ポルトーニ於ケルカ如ク(流行地ニハ有リ勝テノ事實)住民中患者ノ隱蔽ヲナスモノアルヲ以テ孟買市ノ例ニ倣ヒ醫士看護人憲兵等ヨリ組織セル委員會ヲ組織シ此等市團體組織ノ委員等ハ一日二回各受持ノ場所ヲ巡回シ患者ノ有無ヲ探ルヘキコト

余輩ハポルトーニ於ケル前例ニ鑑ミ我沿岸及南方國境ノ市街ヲ嚴ニ監督スルノ急務ナルヲ信ス若シ船舶ノ入港シ鐵道ノ到着シ「ペスト」患者アリトノ報道ニ接セハ即急ノ清潔法及血清ノ種植ヲ以テシ病者ニ近接セル者及其他ニ及ホス傳染ヲ防壓スルコト頗ル容易ナルヘシト信ス若シ流行地ヲ經過セル旅客ノ病毒ヲ齎ラセルニ非ラスシテ突然「ペスト」患者ノ發生スルアレハ鼠類カ戸毎ニ病毒ヲ傳染シ來リタルモノナルヘク其防禦法至難ナルニハ相違ナキモ成ルヘク早急ニ處置スルニ優ルハナシ

余輩ハ今ニ於テ我地中海及大西洋沿岸ノ我各市街ヲシテ豫防準備ヲ爲サシメ又彼ノ鼠類ハ「ペスト」傳染ノ

最モ迅速ニシテ危險ナル動物ナルヲ以テアラユル手段ヲ以テ殲滅センコトヲ各市ニ懲慝スヘシ

且余輩ハ其道ニ通曉セル人々ヲ撰命シタル研究所及清潔法勵行會ノ組織ナキ地方ニハ速カニ其成立ヲ望マサルヲ得ス

斯ノ如クニシテ準備至レリ悉セルニ拘ラス余輩ノ盡力ノ徒勞ニ歸スルアラハ余輩又何ヲカ云ハン然リト雖モコハ蓋シ杞憂ト云フヘシ血清(アンチペスト)ハ病者ヲ癒スヘク其豫防種植ハ新患者ヲ發生セシムルノ災害ヲ避クルヲ得ヘキモノタルコトハ余輩ノ斷シテ保證スル處ナリトス

○獨逸帝國衛生局公報中「ペスト」ノ部抄錄

(日本ヲ除ク)千九百一一年(後半年分)

第二十七號 (七月三日)

埃及 六月十三日ヨリ二十一日迄ノ間ツァガチグニ於テ二十一ノ「ペスト」患者及十一ノ同死亡ヲ生セリ内患者五及死亡五ハ六月十三日ニ發生セルモノナリ(前號參照)六月二十三日ポルトセッドニ於テ一ノ「ペスト」患者ヲ認メタリコハツァガチクヨリ入來リシモノナリ

英領東印度 ラングン港ニ於テ五月二十日カルカッタヨリ入港セル一汽船中ニ一「ペスト」患者ヲ出セリ尙同船ノ一乗客熱性病ニ罹レルアリテ疑似患者視察ノ爲メ設ケタル停留處ニ送移セラレタル後速ニ死亡セ

香港 四月二十七日ヨリ五月十八日ニ至ル三週間ニ香港殖民地ニ於テ官ノ知ル處トナレル「ベスト」新患者
數ハ九十三、百二十八、百二十二ニテ死亡數九十二、百十七、百十三ナリ即總計患者三百四十三ニシ
テ死亡三百二十二ナリ此三百四十三ノ患者中二百七十八ビクトリア市ニ生セルモノニシテ同處ニ於テ五
月二十三日迄ニ歐州人ノ「ベスト」ニ罹レルモノ九ニシテ死亡セルモノ四ナリ

キヤブランド 六月一日ニ終ル一週間キヤブスタットノ「ベスト」避病院ニ收容セル患者數十一ニシテ同週
間ノ「ベスト」死亡ハ發見スル屍體七ヲ合シテ十ナリ六月一日避病院現在患者數九十七ニシテ内歐羅巴人
二十九、土人十三アリ同日「ベスト」疑似トシテ監察中ノモノ十三ニシテ内歐羅巴人八ナリ

流行減退ノ故ヲ以テ殖民地政府ハ六月初旬船渠ノ交通遮斷ヲ解除セリボート、エリサベスニ於テハ六月
五日迄ニ更ニ二ノ「ベスト」患者ヲ生セルヲ以テ同地ニ於テハ總數七トナレリクンスタウンニ於テ六月初
メ「ベスト」斃鼠ヲ發見セル旨報告セラル

バラグワ非 六月二十三日ノ一報ニヨルニアサンシオンニ於テ一ノ「ベスト」患者ヲ生セルト

西澳斯太刺利亞 五月十八日ニ終ル一週間ニ同殖民地ニ於テ尙一ノ「ベスト」患者ヲ出セリ而シテ同週間ニ
患者ノ死亡或ハ治愈セルモノナキヲ以テ同週末ノ現在患者數ハフリーマンテル及クラレモントニ各一
ハースニ四即總數六ナリトス

英領東印度 カルカッタニ於テハ五月十九日ヨリ廿五日迄ニ四十八ノ「ベスト」患者及四十七ノ死亡アリ

第二十八號 (七月十日)

土耳其 七月二日スタムブルニ於テ一ノ「ベスト」患者ヲ生シ尙七月五日ヲ以テカスチムバツシャ區及伊太
利病院ヨリ二ノ新患出届ラル

埃及 六月十四日ヨリ二十一日迄ニツァガチツグニ於テ十八ノ「ベスト」新患者及六ノ死亡ヲ生シミニエー
ニハ二患者マンスラーニハ急ニ死亡セル一患者及アレキサンドリアニハ六月十八日ニ一新患ヲ出セリコ
レヨリ先キアレキサンドリアニ於テハ四月七日ヨリ六月十七日迄ニ四人ノ「ベスト」ニ罹リ且ツ死亡セル
モノアリ六月二十一日全埃及ニ於テ治療中ノ患者ハ三十一ニシテ(内ツァガチツク)ニ二十六ミニエーニ
四、アレキサンドリアニ) 四月七日以來死亡セルモノ二十三、治愈セルモノニナリ六月中旬流行ノ盛
ナルツァガチツグ市ニ於テハ土人ハ衰弱及斃死セル家鼠ヲ見タリ其初メハ五月十四日ヲ以テ止メル降南
ノ後ナリキト而シテ不安ヲ感シタル多數ノ人民ハ同國內ノ他所ニ赴クタメツァガチツグヲ去レリト云フ
六月二十一日ヨリ二十八日迄ノ間ツァガチツグニ於テハ一〇、ノ新患者(及四ノ死亡)ミニエーニ於テハ
一(一)、アレキサンドリアニ於テハ二(一)、ボートセトニ於テハ一(一)等ヲ生セリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テハ五月十八日ヨリ二十四日迄ニ八百九十八ノ「ベスト」新患及七百六十ノ
同死亡其次週即五月三十一日迄ニハ八百六十一ノ新患及七百六十一ノ死亡アリ故ニ五月中ニハ遂週新患
(千三百七十九―千五百五十六―八百九十八―八百六十二)及死亡數(千四―九百十九―七百六十一―七百十
七)ヲ著シク減少セリ

孟買市ニ於テハ五月二十五日ニ終ル一週間ニ二百三十三ノ新患及二百四ノ死亡「ベスト」ト決定セルモノアリ其次週即六月一日ニ終ル一週間ニハ百六十八ノ新患及百五十七ノ確定「ベスト」死亡アリ其他同週間ニ「ベスト」疑似症ノ死亡二百三十七アリ五月十九日ヨリ六月一日迄ノ二週間ニ於ケル孟買市ノ全死亡數ハ千八百七十九ニシテ其前二週間ニ於ケル死亡ノ全數ヨリ少キコト五百六十三即二十二%ナリ

キヤブランド 六月二日ヨリ八日ニ至ル一週間ニキヤブスタツトノ「ベスト」避病院ニ收容セル患者數ハ十三(内歐羅巴人七、雜種人六)ニシテ其他同週間ニ八ノ「ベスト」死亡アリ(内一ハ歐羅巴人ナリ)

六月八日在院ノ患者數ハ九十九ニシテ内十八土人ナリ「ベスト」疑似ニシテ鑑察中ノモノ十五ナリ又鑑察中同週間ニ於テ「ベスト」ト決定セラレタモノ三アリ六月八日尙ホ「コンタクトキヤムブ」ニ於テ鑑察中ノモノハ五百二十六人ニシテ前週末ニ比シテ少キコト二百二十三ナリポート、エリサベスニ於テハ土人ノ勞働者ヲシテ強制的豫防注射ヲ受ケシメタリシカ六月十一日土人ノ一人「ベスト」ニ斃レタルモノ、屍ヲ發見セリ

イムバニート稱スルクキンスタウントイーストロンドンノ中間ナル停車場ニ於テ七月二日五ノ「ベスト」患者ヲ生シ内四ハ兵卒ナリ

クキンスランド 五月二十五日ニ終ル一週間ニ尙ホ三ノ「ベスト」新患者ヲ生セリト云フ然レトモ「ベスト」ノ狀況ニ關スル公報ハ五月五日以來絶ヘテコレナシ

西澳斯太利亞 五月十七日ヨリ六月一日迄一ノ「ベスト」患者ヲ生セス故ニ本年三月中ニ十四、四月中ニ七

ナリシモ五月中ノ「ベスト」患者ハ僅ニ二ナリトス此全數二十三ノ内パースニハ十六ニシテスピアコクラーレモント フリーマンテルニ各二カルゴリーニ一ナリ患者中ニハ支邦人ニシテ二十一ハ白人、死亡者五中三ハ白人ニシテ二ハ支那人ナリ

英領東印度 カルカッタニハ五月二十六日ヨリ六月一日迄ニ五十五ノ「ベスト」患者及五十ノ死亡アリ

第二十九號 (七月十七日)

土耳其 スタムブルニ於テ七月二日以後更ニ「ベスト」患者ヲ生セリ

埃及 六月二十八日ヨリ七月五日迄ノ間ツアガチグニ七ノ新患(及五ノ死亡)ミニエーニ〇(〇)アレキサンドリアニ一(〇)等アリ四月七日以降七月五日迄ノ埃及ニ於ケル總數ハ八十一(及死亡數三十五)トナレリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テハ六月一日ヨリ七日迄ニ七百四十九ノ「ベスト」新患及五百七十五ノ死亡アリテ其次週即チ六月十四日迄ニハ六百八十一ノ新患及五百二十一ノ死亡アリ孟買市ニ於テハ六月二日ヨリ十五日ニ至ル兩週間ニ百八十七ノ「ベスト」新患及七百〇七ト六十九ノ死亡報告セラレ其他二百七十四ト二百五ノ「ベスト」疑似症死亡アリ同市ノ全死亡數ハ九百十四ト七百二十一ナリ

ブラシル リオ、ドウ、シヤニローニ於テ七月五日三ノ「ベスト」患者決定セラレタルアリ

クキンスランド 公報ニヨルニ五月五日ヨリ二十五日ニ至ル三週間ニ於ケル「ベスト」患者(及死亡)ハ順次五(〇)、二(一)、一(一)等ナリト

英領東印度 カルカッタニ於テハ六月一日ヨリ八日ニ至ル一週間ニ三十七ノ「ベスト」患者及ヒ四十ノ死亡アリ

第三十號 (七月二十四日)

佛蘭西 東亞ヨリ馬耳塞ニ入港セルメサゼリース、メリータイムス會社ノ汽船ヲオス號ニ於テ七月十一日迄ニ十四ノ亞刺比亞人火夫「ベスト」ニ罹リ内四人死亡セリ同船ハ已ニスエスニ於テ一ノ亞刺比亞人火夫ノ明カニ「ベスト」ニ罹レルモノヲ卸シテ病院ニ移セリ該船ハ五月二十三日横濱ヲ發シ途上二十五日神戸ニ翌日長崎ニ二十九日上海ニ六月三日、七日、九日、十六日及二十六日等ニ順次香港、サイゴン新嘉坡コロンボ及チブチー等ニ寄航セリ然レトモ彼ノスエスニ上陸セシメタル初發患者ハ嘗テ陸上ト交通シタルコトナカリシト

土耳其 カスチンバツシヤ及伊太利病院ニ生セル二名ノ患者(第二十八號)參照ニ關シテハトフアーント稱スル市ノ一區ニ基因セルコト確定セラレタリ即本病ハ埃及船ニヨリテ潛入セルモノト想定セラレ埃及船ノ多數ハ同處ニ碇泊スルヲ常トスレハナリ

スタムブルノガラタ區ニ於テ七月十六日一ノ「ベスト」新患バラートヌニ於テ其翌日二ノ新患届出ラル
七月十六日ノ一報ニヨレハチオスニ多數ノ「ベスト」疑似症患者アリテ内一ハ死亡セリト

埃及 七月五日ヨリ十二日迄ニ届出ノ「ベスト」新患(及死亡)ハツツガチッグニ三(二)、アキサンドリアニ二(一)ポートセッドニ二(〇)ナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ六月十五日ヨリ二十一日迄ニ六百四十二ノ「ベスト」新患及四百九十二ノ死亡アリ孟買市ニアリテハ六月十六日ヨリ二十二日迄ニ六十一ノ「ベスト」患者及四十九ノ死亡ヲ算ス其他「ベスト」疑似ノ死亡百六十七ニシテ同市ノ全死亡數ハ六百四十三ナリ

香港 殖民地ニ於テハ五月十八日ヨリ六月八日迄ノ三週間ニ二百一十二百五十一百六十一ノ「ベスト」新患者及百八十七一二百七一五百五十五ノ死亡公認セラレ患者中ビクトリア市ノモノ百六十五一六百六十一一十二十等ナリ本年一月一日以降六月十二日迄ノ總患者千七百七十六(内歐羅巴人ハ十八)ニシテ死亡千百一十一ナリ

マウリチウス 五月十日ヨリ六月六日迄ノ間二ノ「ベスト」患者及一ノ死亡アリ

キヤプランド 六月十五日ト二十二日ニ終ル週間ニキヤプスタットノ「ベスト」避病院ニ收容セル患者數ハ七十四ニシテ内三(〇)歐羅巴人アリ六月十五日(二十二日)病院ニ現在スル患者數ハ七十九(六十九)ニシテ内七(二)ニ士人アリ同日疑似症トシテ鑑察中ノモノ十三(十六)アリ同週間ニ鑑察中「ベスト」ト決定セラレタルモノハ二(〇)ナリシ六月二十二日尙「コンタクトキヤムプ」ニ於テ鑑察中ノモノ五百二十二人アリ六月二十二日迄ニ「ベスト」ト決定セラレタルモノ、總數ハ七百三十五ニシテ死亡セルモノハ三百五十七ナリトポトエリサベスニ於テハ六月十六日ヨリ二十二日迄ノ間ニ送院セラレタル患者一ニシテ死亡數ハ三ナリ

クキンスタンド 六月八日ニ終ル一週間三ノ「ベスト」患者及二ノ死亡ヲ生セリ同病ノブリスベーンニ根據

ヲ造レルノ恐アリト

11110

西澳斯太刺利亞 六月八日ニ終ル一週間ニハ「ベスト」ノ新患及死亡ヲ出サス三月二日ヨリ六月八日迄ノ總數ハ患者二十三(死亡五)ニシテ「バース」ニ十六(五)「スピアコ」クテレモント及フリーマンテルニ各二(〇)カルモリー島ニ一(〇)コレナリトス

英領東印度 卡尔カッツタニ於テハ六月九日ヨリ十五日迄ニ二十九ノ「ベスト」患者ト四十八ノ同死亡アリ

第三十一號 (七月三十一日)

大貌列顛 七月二十三日ノ一報ニヨルニブリマウスニ於テ汽船オルムツ號ヨリ二名ノ「ベスト」疑似患者ヲ病院船ニ移セリ此二名ハシドニー及フリーマンテルヨリ乗船セルモノナリブリマウスヨリ上陸セル乗客中ニハ病狀ヲ呈セシモノナク船舶ハ消毒後龍動ニ向テ出帆セリ

土耳其 七月二十三日セタムブルヨリ一ノ「ベスト」死亡、ハイダー、ハッシャヨリ四ノ「ベスト」疑似症カスチムハッシャ區ヨリ一ノ疑似症報告セラル

英領東印度 孟買政廳下ニ於テ六月二十二日ヨリ二十八日迄ノ一週間ニ九百六十六ノ「ベスト」新患及六百六十七ノ死亡アリテ前週ヨリ多キコト三百二十四及百七十五ナリ孟買市ニ於テハ六月二十三日ヨリ二十九日迄ニ六十ノ「ベスト」患者及六十四ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百八十七ニシテ全死亡數ハ六百八十四ナリ

七月四日ノ一報ニヨルニカラチニ於テハ「ベスト」殆ント消滅ニ歸セリ流行ノ再發以來同地ニ於ケル總患

者數ハ二千八百六十八ニシテ死亡ハ二千三百八十八ナリ

波斯 七月十四日ノ一報ニヨルニ恐クシンドヨリ發セル隊商ニシテメシエツトニ向ヘルモノ途中ニ於テ七十二人及セイスタンニ於テ一人「ベスト」疑似ノ症狀ヲ發シテ死亡セリト

キヤピラント 六二十九日ニ終ル一週間ニ全殖民地ニ於テ届出ノ「ベスト」患者數ハ十二(内四ハボートエリサベスニアリ)ニシテ死亡セルモノハ死體トシテ發見セルモノニヲ合シテ三(〇)ナリ六月二十九日治療中ノ患者ハ六十七ナリ同週中疑似患者ヨリ「ベスト」ト決定セルモノ一(〇)アリテ週末尙鑑察中ノ疑似患者ハ十二(〇)ナリ六月二十九日「コンタクトキヤムブ」ニ於テ鑑察中ノモノ四百九十二アリ六月二十九日迄同殖民地ニ生セル「ベスト」患者死亡ノ總數ハ七百四十九三百五十七ニシテ内ボート、エリサベスニ於ケルモノ十八(九)ナリ

亞米利加合衆國 六月二十二日サンズゴ港ニ入レル英國汽船キヤーリストシチー號中ニ於テ航海中六人ノ支那人「ベスト」疑似症ヲ以テ斃レタルヲ以テ直ニ停船ヲ命セラレタリ同船ハ五月十六日香港ヲ發シ途中横濱及ホノル、ニ寄航セリ患者以前船中ニ於テ斃鼠ヲ發見セリト云フ

クキンスランド 六月十五日ノ一報ニヨルニブリスベーンニ於テハ同月六日以來一ノ新患ヲモ生セス然レドモ捕集セル鼠中ニハ近時其二頭ノ「ベスト」ニ罹レルアルヲ見タリト

西澳斯太刺利亞 六月十五日ニ終ル一週間ニ「ベスト」患者又ハ死亡ヲ生セス

英領東印度 卡尔カッツタニ於テハ六月十六日ヨリ二十二日迄ニ二十一ノ「ベスト」患者ト二十二ノ死亡アリ

大貌列頓 プリマウスニ於テ汽船オルムツ號ヨリ隔離セラレタル兩患者(前號參照)ニ對スル「ベスト」ノ疑ハ細菌學的検査ノ結果否定セラレタリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テハ六月五日ニ終ル一週間ニ千三百九十一ノ「ベスト」患者及九萬八十一ノ同死亡アリテ即前週ニ比シ四百二十五及三百十四ヲ増加セリ孟買市ニ於テハ六月三十日ヨリ七月六日迄ニ八十四ノ患者及六十五ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百七十ニシテ同市ノ全死亡數ハ六百四十七ナリ

土耳其 七月二十三日ヨリ廿四日迄ニコンスタンチノーブルニ於テ六ノ「ベスト」患者アリ内四ハハイダー、バツシヤニ一ハカスチムバツシヤニ生セリ爾來七月二十七日迄ニカラミツシユ及パンカリニ各一ノ患者届出ラル

埃及 七月十九日ヨリ廿六日迄ノ「ベスト」患者(及死亡)ハツツガチックニ於テ二(一)アレキサンドリアニ四(一)ポルトセツドニ一(一)等ナリ

比律賓群島 六月十二日ノ一報ニヨレハ馬尼拉ニ於ケル「ベスト」ハ増加ノ兆アリ二月乃至五月ノ「ベスト」患者數(及死亡數)ハ二十七(二十)―六十三(五十二)―百一十一(九十一)―百三十七(百二十四)等ナリ六月ノ上旬十日間ニ二十二(十五)ノ届出アリ患者ハ殆ント支那人及土人ニノミ發生ス

キヤブランド 七月六日ニ終ル一週間同殖民地ニ八ノ患者(内五ハポルトエリサベス)アリ死亡ハ發見セル

死體三(〇)ヲ合シテ四(〇)ナリ七月六日尙治療中ノ患者ハ五十九(十二)アリ同週中疑似患者ヨリ「ベスト」ト決定セラレタルモノ一(〇)ニシテ週末尙疑似トシテ鑑察中ノモノ十二(〇)アリ七月六日「コンタクトキヤムプ」ニ於テ尙鑑察中ノモノハ二百九十一人ナリ全殖民地ニ於テ七月六日迄ニ報告セラレタル「ベスト」患者死亡ノ總數ハ七百六十(三百六十一)ニシテ内キヤブ半島ハ七百二十七(三百五十)ポルト、エリサベスハ二十三(九)ニシテ其他ハ一モモン イムバニー、メーフキング、ソマーセツトウエスト、ソマ―セツト、ウエスト、ストラランド、ステレンボツシユ等ノ各處ヲ合シテ十(二)ナリ

ク井ンスランド 五月二十五日ヨリ六月八日ニ至ル兩週間ニ於ケル「ベスト」患者(及死亡)ハ三(二)、一(一)ナル旨公報アリ

英領東印度 カルカッタニ於テハ六月廿三日ヨリ廿九日迄ニ十五ノ「ベスト」患者及十四ノ死亡アリ

第三十三號 (八月十四日)

埃及 七月廿六日ヨリ八月二日迄ノ「ベスト」患者(及死亡)ハツツガチックニ二(〇)アレキサンドリアニ〇(〇)ポルトセツドニ二(〇)ナリ四月七日以降埃及ニ生セル「ベスト」ノ總數ハ患者百一及死亡四十二ナリ

英領東印度 七月十二日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ千四百四十七ノ「ベスト」患者及千百〇五ノ同死亡アリテ前週ヨリ増加セルコト五十六及百二十一ナリ孟買市ニ於テハ七月十三日ニ終ル一週間ニ七十八ノ「ベスト」新患及七十九ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百六十六ニシテ全死亡數ハ六百九十二ア

リ即前週ニ比シテ四十五前週間ノ平均ニ比シテ三十四ヲ増セリ

香港 六月八日ヨリ七月六日ニ至ル四週間ニ同殖民地ニ於テ公認セラレタル「ベスト」患者ハ百五十一―百五十五―六十二―四十七ニシテ同死亡ハ百五十一―百五十二―六十一―四十六ナリ此總數四百十五ノ患者中三百〇九ハビクトリア市ニシテ百六ハ他ノ區域ニアリ同殖民地ニ於テ「ベスト」ノ蔓延甚タシカリシハ政府ノ豫防法ニ對スル支那人ノ抵抗ニ因ストセラレ支那人ハ歐風ノ治療ヲ忌畏シ且ツ「ベスト」ノ屍體ヲ支那固有ノ宗教上習慣ニ從テ葬ラント欲セリ而シテ已ニ七萬以上ノ支那人ハ香港殖民地ヨリ逃去セリト云フ

キヤプランド 七月十三日ニ終ル一週間ニ全殖民地ニ於テ八ノ「ベスト」患者(内ボートエリサベスニ五)

アリ死亡ハ發見屍體ヲ合シテ三(一)ナリ七月十三日尙治療中ノ患者五十五(十五)アリ同週間監察中ノ疑似患者ヨリ「ベスト」決定セラレタルモノ一(〇)アリテ週末尙監察中ノ疑似患者ハ六(〇)ナリ

ブラジル 七月五日リリオ、ドウ、ジャニローニ於テ「ベスト」決定セラレタル三患者(第二十九號參照)中ノ一ハ死亡ノ轉歸ヲ取レリ此三患者ノ住ミシ家屋内ニテ尙他ノ二人七月一日「ベスト」ノ爲メニ斃レタルコトヲ後ニ至リテ認知セリ

ク井ンスランド 六月八日ヨリ二十二日迄ノ間「ベスト」患者又ハ死亡ヲ生セサル旨公報セラレ然レトモ六月二十八日ニ至リ更ニ二ノ新患者ヲ生シ内一ハ死亡セリト

英領東印度 カルカッタニ於テハ六月卅日ヨリ七月六日迄ニ十五ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第三十四號 (八月二十一日)

土耳其 八月一日ノ公報ニ徵スルニコンスタンチノーブルニ於テ本年六月二十三日以來十二ノ「ベスト」患者及二ノ死亡アリ十二ノ患者ハ七月二十二日ニ三、七月十七日ニ二、六月二十三日同二十七日及ヒ七月二日、四日、十五日、廿四日、二十七日等ニ各一ツ、ヲ生セリコレヨリ先キ本年中コンスタンチノーブルニ生セル患者ハ二ニシテ一月七日及四月三十日ニ生セリ而シテ甲ハ死亡セリト

八月七日ノ公報ニヨレハ七月二十五日ニ發生セル一症ノ後日認知セラレタルアリ尙ホコンスタンチノーブルニ於テ八月三日三ノ「ベスト」患者及一ノ死亡ヲ生セリ

モンダニアトコンスタンチノーブル間ヲ航スル汽船ベンガチー號ノ一火夫七月三十日同船ノガラタニ着セルトキ發病シ八月一日海軍病院ニ入院シ八月三日「ベスト」患者トシテモナスチール、アグチーノ避病院ニ送ラレタリ八月八日ノ一報ニヨレハ同患者ハ同院ニ於テ死亡セリト同船ハ乗込員全部ト共ニ停船ニ處セラレ且ツ注意シテ消毒ヲ施サレタリ

八月八日ノ一報ニヨレハハイダーバツシヤニ一ノ「ベスト」新患ヲ生セリト

英領東印度 七月十九日ニ終ル一週間孟買政廳官下ニ於テ千九百四十七ノ「ベスト」患者及千三百七十ノ同死亡アリテ即チ前週ニ比シテ四百九十及二百六十八ヲ増加セリ孟買市ニ於テモ亦「ベスト」ノ著ルシキ増加アリテ七月二十日ニ終ル一週間同市ニ於テ百四十五ノ新患及百十三ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百九十六ニシテ同市ノ全死亡數ハ七百六十五ニ昇レリ

七月二十三日ノ一報ニヨルニカラチニ於テ再ヒ「ベスト」ノ新患者ヲ生セリト

暹羅 七月十五日ノ一報ニヨルニビクトリアポイントノ南方トシカーニ於テ「ベスト」ヲ發生セリト

キヤプランド 七月二十日ニ終ル一週間同殖民地ニ於テ三ノ「ベスト」患者アリテ内一ノ土人ハ雜種人ナリ

三患者共ニポートエリサベスニ生セリ同週間「ベスト」ノ死亡ハ四ニシテ内三ハポートエリサベスニアリ

週末疑似患者トシテ鑑察中ノモノ六人アリ七月二十日コクタクト、キヤムズニ於テ尙鑑察中ノモノ百十

四人ニシテ内十二人ハポートエリサベスニアリ

マウリチウス 六月七日ヨリ同月十一日迄六ノ「ベスト」患者及五ノ同死亡アリ

ク非ンスランド 七月六日ニ終ル一週間ニブリスベーンニ於テ一ノ「ベスト」患者及一ノ「ベスト」疑似患者

届出テラル此「ベスト」患者ハ市立病院ノ看護人ニシテ輕症ナリ而シテ直ニハフキン豫防液ヲ注射セラレ

タリト

英領東印度 カルカッタニ於テハ七月七日ヨリ十三日迄二十七ノ「ベスト」患者及十六ノ死亡アリ

第三十五號 (八月二十八日)

土耳其 八月十九日ガラタニ一ノ「ベスト」新患者ヲ生セリ

埃及 八月二日ヨリ八日ニ至ル間「ベスト」患者及死亡數ハポートセツトニ三(一)アレキサドリンアニ二

(二)ツァガチックニ一(一)ナリカイローヨリノ公報ニヨレハ七月ノ第四週中全埃及ニ於ケル報告セラレ

タル「ベスト」患者ハ七ニシテ内四ハ土人ニ三ノ歐羅巴人(希臘人)ナリツァガチックニ於テハ同一週間ニ

二百二十一ノ鼠ヲ撲殺焼却セリト

八月十七日埃及ヨリ最近報ニヨルニ八月九日ヨリ十五日迄ニアレキサンドリア及ポートセツトニ各三

ツァガチックニ一ノ「ベスト」患者アリ同週間ノ死亡ハ二ニシテアレキサンドリア及ポートセツトニ各一

ナリ四月七日以降埃及ニ生セル「ベスト」患者百十四中五十六ハ治愈シ四十八ハ死亡セリ

英領東印度 七月二十六日ニ終ル一週間孟買政廳官下ニ於テ二千四百二ノ「ベスト」新患者及千七百三十

九ノ死亡アリテ前週ヨリ多キコト四百六十五及三百六十九ナリ已ニ無病地トセラレタリシカラチ港ニ於

テ八ノ「ベスト」患者ヲ四ノ同死亡ヲ出セリ前週同地ニ於テ一患者及一死亡アリキ、孟買市ニ於テハ七月

二十七日ニ終ル一週間ニ七百八十九ノ全死亡數アリテ内百十二ハ決定セル「ベスト」死亡百三十七ハ疑似

「ベスト」ノ死亡ナリ同市ノ新患者ハ百〇八ニシテ前週ヨリ少キコト三十七ナリ

支那 七月十三日ノ一報ニヨルニスワトー市及港ニ於テ七月一日以來「ベスト」患者ヲ生セス又同地ノ周圍

ニ於テモ流行常ニ退却シツ、アリト

キヤプランド 七月二十七日ニ終ル一週間同殖民地ニ於テ五ノ「ベスト」患者及二ノ死亡アリ患者中二ハ

ポートエリサベスニアリ同地ニ於ケル週末現在數ハ十五人ナリ「ベスト」疑似トシテ同週末監視中ノモノ

ハ五人(但シポート、エリサベスニハ〇)コクタクトキヤムズニハ八十五人(内二十九人ノ歐羅巴人)ア

リ

亞米利加合衆國 七月日六日ヨリ十一日迄桑港ニ於テ五ノ「ベスト」患者及四ノ死亡アリ(衛生公報千七百

五十三頁

ク井ンスランド 七月ノ第二週間ニ一ノ「ヘスト」新患ヲ生セリト、七月十一日検査セル家鼠六十七頭中只一頭ノ「ヘスト」ニ罹レルモノヲ發見セリ

第三十六號 (九月四日)

埃及 八月二十二日ノ公報ニヨルニ八月十六日以來アレキサンドリアニ三ノ「マスト」新患(最終患者ハ同月十八日)ポートセツドニ三ノ新患(最終患者ハ同月二十日)及二ノ死亡アリ

英領東印度 八月二日ニ終ル一週間孟買政廳官下ニ於テ二千六百二十二ノ新患及千九百三十ノ死亡アリ即チ前週ヨリ多キコト二百四十一及二百ナリカラチニハ五ノ「ヘスト」患者アリテ凡テ死亡セリ

孟買市ニ於テハ八月三日ニ終ル一週間ニ百三十六ノ「ヘスト」死亡及百七十二ノ「ヘスト」疑似症死亡アリテ新患者數ハ九十三ナリ

支那 七月二十四日ノ一報ニヨルニスワトー郡ニハ尙常ニ多少散在性ノ「ヘスト」ヲ生スヘキモ已ニ流行地ト見做スヘカラスト蓋シスワトーニ於ケル「ヘスト」ハ香港、厦門及廣東ニ於ケルト一般已ニ地方病性トナレルト考ヘラルレハナリ

比律賓群島 馬尼拉ニ於テ六月二十二日ニ終ル一週間ニ九ノ「ヘスト」新患及十三ノ死亡ヲ生セリ(衛生公報千八百三十五頁)

キヤブランド 八月三日ニ終ル一週間ニ同殖民地ニ於テ尙二名ノ「ヘスト」患者公表セラル即ポートエリサ

ベスニ於テ一人ノ土人「ヘスト」ニ罹レルモノ及キヤブ半島ニ於テ一人ノ有色人種初メ「ヘスト」疑似ノ症狀ヲ以テ鑑察ニ附セラレ以テ細菌の検査ニヨリテ同週末「ヘスト」ト決定セシモノコレナリ

同週末「ヘスト」疑似トシテ尙監察中ノ患者五アリ「コンタクト、キヤムブ」ニ於テ視察中ノモノハ五十二人ニシテ内二十ノ歐羅巴人アリ

ク井ンスランド 七月六日ノ公報ニヨルニ二月二十八日以來同殖民地ニ於テ三十二ノ「ヘスト」患者アリテ内十八死ノ轉歸ヲ取レリ内三十一ノ患者ハブリスベーンニアリテ(同地ノ最終患者ハ七月五月ニ決定セラレタルモノナリ)一ハバンダバーダニアリ七月二十日ノ一報ニヨレハ鼠族驅除ハ尙ホ繼續セラレ且ツ検査上少數ナルモ往々「ヘスト」菌ヲ含有スルモノアリト

英領東印度 カルカツタニ於テハ七月二十一日ヨリ二十七日迄ノ間十六ノ「ヘスト」患者及死亡アリ

第三十七號 (九月十一日)

埃及 八月二十三日ヨリ三十日迄ノ「ヘスト」新患(死亡)ハポートセツドニ三(三)ミットガムルニ一(一)ナリアレキサンドリアニハ八月十八日以來新患者ヲ生セサルモ八月三十日尙治療中ノ患者一名アリツァガチツグニ於ケル最終患者ハ八月二十三日ヲ以テ治療退院セリ

英領東印度 八月九日ニ終ル一週間孟買政廳營下ニ於テ「ヘスト」ノ死亡數前週ニ比シテ著ルシク増加セリ即チ三千四百六十五ノ新患及二千四百九十二ノ死亡ヲ生セリ孟買市ニ於テハ八月十日ニ終ル一週間ノ全死亡數八百五十四ニシテ内確定セル「ヘスト」ノ死亡百六十八及疑似「ヘスト」ノ死亡百九十一アリテ前週

ニ比シ甲ハ三十二乙ハ十九ヲ増加セリ同市ニ於ケル「ヘスト」新患者ハ百五十七ニシテ前三週間に於ケルモノヨリ多シ

キヤブランド 八月四日ヨリ十日ニ至ル一週間にポート、エリサベスニ於テハ四ノ「ヘスト」患者ヲ「ベスト」遺病院ニ收容シ(内一ノ歐羅巴人及二ノ土人アリ)一患者ヲ疑似症トシテ監察ニ付セリキヤブ半島ニ於テハ一患者ノ入院及二疑似症ノ監察ニ付セルモノアリ

八月十四日ノ一報ニヨルニキヤブスタットニ於テハ一月間即七月十四日以来ニ僅ニ五ノ新患者ヲ生セルノミナルヲ以テ已ニ流行消熄セリトセラル、モ尙ホ十五ノ在院患者アリ

コンタクト、キヤムブニ於テ八月十日現在ノ人員ハ五十八ニシテ内ポート、エリサベスニ二十三キヤブ半島ニ三十五ナリトス

ク非スランド 七月二十七日ニ終ル一週間にハプリスベーンニ於テ一新患者ノ届出アリシノミ

英領東印度 カルカッタニ於テハ七月二十八日ヨリ八月三日迄ノ間十一ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第三十八號 (九月十八日)

土耳其 一公報ニヨルニ七月十九日ヨリ二十八日ニ至ル間アシールニ二ノ「ベスト」新患者(及二ノ死亡)アリ五月三日以降七月二十八日迄ノ總數ハ七十三(二十六)ナリ

埃及 八月三十日ヨリ九月九日迄ニアレキサンドリアニ四患者(及四死亡)ポートセツドニ三患者(二)ミツトガムルニ八患者(四)アリ

英領東印度 八月十六日ニ終ル一週間に孟買政廳管下ニ三千八百三十四ノ「ベスト」新患者及二千八百六十七ノ

死亡アリテ前週ヨリ多キコト三百六十九及三百七十五ナリ孟買市ニ於テハ八月十七日ニ終ル一週間に二

百三十三ノ「ベスト」患者ヲ生シ前週ヨリ多キコト六十六ナリ同週間に「ベスト」死亡數ハ二百十四ニシテ

其他「ベスト」疑似ノ死亡百六十アリ

香港 七月六日ヨリ八月三日ニ至リ四週間に香港殖民他ニ於テ二十六―十三―十九―十三ノ「ベスト」患者及

二十一―十六―二十一―十一ノ死亡公認セラル此七十一ノ患者中四十七ハビクトリア市内ニ生シ二十四ハ

他ノ殖民地ニ屬ス八月六日迄ニ報告セラレタル支那人患者千五百二十八中千四百九十ノ死亡アリ同期間

歐羅巴人ノ患者三十一中十一ノ死亡アリテ總患者千六百十ノ内千五百三十八ハ死亡セリ

比律賓群島 馬尼拉ニ於テハ六月二十二日ヨリ七月十三日迄ノ三週間に十五―八―十二ノ「ベスト」患者及

十一―七―十ノ死亡アリ(衛生公報千九百六十頁及二千八百頁)呂宋島ノ他ノ數市ニ於テモ七月六日迄ニ

「ベスト」ノ數症アリテ凡テ馬尼拉ニ歸因セルモノナリト(同報千九百六十一頁)

キヤブランド 八月十一日ヨリ十七日迄ポートエリサベスニ三ノ「ベスト」患者アリシモ歐羅巴人ノ之ニ罹

レルモノナシ其他「ベスト」ノ屍體二ヲ發見セリキヤブ半島ニハ此間「ベスト」患者或ハ「ベスト」疑似症ヲ

生セサルモ八月十八日同地ニ於テ一ノ新患者其他ポートエリサベスニ二ノ新患者届出テラレタリト

クキーンスランド 七月十三日、二十日、二十七日等ニ終ル三週間に公報ニヨルニ此間届出ノ「ベスト」新

患者ハ三ニシテプリスベーンニ於テ七月七日及二十四日ニ各一及カイルンスニ於テ七月十六日ニ一ナリ

同月二十七日全殖民地ニ於テ尙五ノ現在患者アリ此三週間ニ於テハ死亡ナカリシト
英領東印度 カルカッタニ八月四日ヨリ十日ニ至ルノ間十八ノ「ベスト」患者及十七ノ死亡アリ

第三十九號 (九月二十日)

土耳其 九月十五日スクタリニ於テ「ベスト」患者ヲ生シ死亡ニ終レリ

埃及 九月六日ヨリ十二日迄全埃及ニ於テ十一ノ「ベスト」患者(及六ノ死亡)アリ内アレキサンドリアニ六
(二二)、ボトサイドニ二(二二)、ミットガムルニ二(〇)、ベンナニ一(〇)ナリ

英領東印度 八月二十三日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ四千二百八十八ノ「ベスト」新患及ヒ三千〇三
十七ノ死亡アリ前週ヨリ多キコト四百五十四及百七十ナリ孟買市ニ於テハ八月二十四日ニ終ル一週間
ニ二百〇六ノ「ベスト」患者及回数ノ死亡アリ「ベスト」疑似症トセラレタルモノ、死亡ヲ合算スルトキハ
同週間ノ「ベスト」死亡ハ四百〇四トナル而シテ孟買市ニ於ケル全死亡數ハ最近四週間ニ於テ常ニ増加シ
四百九十七ヨリ九百〇九ニ昇レリ

キヤブランド 八月十八日ヨリ二十四日迄ノ間「ベスト」ノ流行稍増進セルカ如シボトエリサベスニ於テ
「ベスト」避病院ニ收容セルモノ八(内ノ歐羅巴人アリ)ニシテ死亡セルモノ三ノ外二ノ「ベスト」死體(内
一ハ歐羅巴人)ヲ發見セリキヤブ半島ニハ一ノ「ベスト」屍ヲ發見セル外二ノ歐羅巴人「ベスト」患者ヲ生
セリ八月末ノ一報ニヨレハボトエリサベスニ於テハ殊ニ支那人ノ衛生警察制度ニ反抗シ且ツ疑似患者
ヲ隠蔽センコトヲ努ムルアルタメニ極メテ危険ヲ醸シツ、アリト

英領東印度 カルカッタニ於テハ八月十一日ヨリ十七日迄ニ二十三ノ「ベスト」患者及二十ノ死亡アリ

第四十號 (十月二日)

伊太利 九月二十三日夜ネアベルニ於テ濱仲仕中ニ十二人ノ「ベスト」疑似患者ヲ生セル旨届出テラレ内五
人ハ己ニ死亡セリ此等ノ患者ハ細菌學的検査ニ依テ其「ベスト」タルコトヲ確定セラレシモノニシテ凡テ
ブント、フランコノ労働會社ニノミ發生シ九月二十八日迄ニハ未タ市内ノ住民ニ傳染セス

佛蘭西 九月二十五日ノ一報ニヨルニ馬耳塞ニ於テ汽船「セネガル」號ノ衛戍中ニ「ベスト」疑似ノ症狀ヲ呈
シテ死亡セルモノ二人アリト

埃及 九月十三日ヨリ十九日迄ニ届出ラレタル總數ハ患者八(死亡六)ニシテ即アレキサンドリアニ三(一)
ボトサイド及ミットカムルニ各二(二)、ベンナニ一(一)ナリトス

英領東印度 八月三十日ニ終ル一週間ニ孟買政廳管下ニ於テ五千四百二十ノ新患及三千七百五十七ノ死亡
アリ即前週ニ比シテ患者ニ於テハ千三百三十二死亡ニ於テハ七百二十ヲ増加セリ

孟買市ニ於テハ八月三十一日ニ終ル一週間ニ「ベスト」ニ罹レルモノ百八十九ニシテ同病ノ爲メニ斃レタ
ルモノハ二百二十八アリ尙ホ「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百七十九ニシテ全死亡數ハ九百〇七ナリトス

香港 八月二十二日ノ公報ニヨレハ殖民地政廳ハ香港ノ「ベスト」流行終熄セリト認ムト雖八月三日ヨリ十
日迄二十ノ患者(十二ノ死亡)ト十日ヨリ十七日迄ニ四ノ患者(五)及其後八月二十三日迄ニ二ノ患者(二)
報告セラル而シテ此等ノ患者ハ凡テ支那人ナリトス支那人ヨリシテ「ベスト」ニ斃レタル支那人ノ屍ハ其

親族或ハ知人ノ出願ニタリテ支那風ノ納棺ヲ行ヒ香港ヨリ搬去スルコトヲ許サレンコトヲ出願シ殖民地
政廳ハ之ヲ許可セリト

マウリチウス 七月十二日ヨリ八月一日迄同島内ニ於テ二ノ「ベスト」患者及二ノ同死亡アリ八月ノ第一週
ニハ一モ「ベスト」ヲ發生セス

カブランド 八月二十五日ヨリ三十一日迄ノ一週間ホート、エリサベスニ於テ「ベスト」病院ニ送ラレタル
モノ四(土人一、雜種人三)アリテ全患者ハ五十七トナレリ其他同港ニ於テ「ベスト」ノ死亡三アリ公報ニ
ヨルニカブ半島上ニハ新患者及死亡ヲ出サス尙ホ醫ノ監察ヲ受クルモノハ患者十及疑似症二アリテ其他
「コンタクト、キヤムブ」ニアルモノハ八十九ナリトス

ク井ンスラント 公報ニヨルニ八月三日及同十日ニ終ル兩週間殖民地ニ於テ「ベスト」ノ新患者及死亡ヲ出
サス然ルニ八月十七日ニ終ル一週間ニブリスバーンニ於テ一ノ「ベスト」新患アリテ死亡ノ轉歸ヲ取レリ
ト云フ

ニュー、キヤレドニヤ 八月十二日ヨリ九月十五日迄ニヌメアニ於テ二十六ノ「ベスト」患者(及七ノ同死
亡)アリテ内六(一)ハ歐羅巴人ナリ此二十六日ノ患者中二十八八月十二日ヨリ二十二日迄ノ間ニ發生セ
リ

英領東印度 カルカッタニ於テ八月十八日ヨリ二十四日迄ニ「ベスト」ニ罹リ死亡セルモノ二十二アリ

第四十一號 (十月九日)

伊太利 ネアヘルニ於ケル「ベスト」發生ニ就テ次ノ詳報アリ云ク一港醫ノ報告ニヨリテ船舶ノ卸荷場ト
指定セラレタルブントフランコト稱スル一港區ニ於ケル多數ノ労働者ニ疑ハシキ疾病ヲ生シ又荷物倉庫
内ニ多數ノ齧鼠ヲ生セルコト同地方長官ノ知ル處トナレリ茲ヲ以テ長官ハ直チニ之レカ検査ヲ地方醫官
ニ命シ同醫官ハ検査ノ結果己ニ本年八月末ヨリ以降七人ノ労働者疑似ノ症ニ罹レルモノアルコトヲ報告
セリ其内三人ハ己ニ死亡シ一人ハ治療シテ労働ニ從事シ尙ホ病床ニアルモノ三人ナリコレ等患者ノ主治
醫ハ病性ヲ知ラサリシカ如シ從テ三死者ノ死因ハ股腺炎、肺炎及盲腸炎トシテ届出テラレタリト

佛蘭西 汽船「カチガル」號ノ衛戍中ニハ其後疑似症及死亡ヲ生セス旅客ハ九月二十七日ヲ以テフリオール
島ノ檢疫處ヨリ放還セラレ汽船ハ九月十六日馬耳塞ヨリパレスチナニ航セリ然ルニ己ニコレシカニ達ス
ル前船醫ハ衛戍中ニ生セル一患者ニ「ベスト」ノ疑ヲ措ケルヲ以テ船長ハアシャシオニ寄航シタルニ同處
ニ於テ船舶ハ自由交通ヲ禁セラレレイヨリ馬耳塞ニ歸航スヘキ命令ヲ受ケ九月十八日再ヒ馬耳塞ニ
歸著シ茲ニ於テ衛生警察上ノ検査ヲ施行セラレタリ

土耳其 九月二十八日ノ一報ニヨルニスミルナニ於テ一ノ「ベスト」患者ヲ生セリト
尙ホ十月二日ノ一報ニヨレハサンスンニ於テ六ノ「ベスト」患者公認セリト

埃及 九月二十日ヨリ二十六日迄ニ五ノ「ベスト」患者三ノ(死亡)アリテ内アレキサンドリアニ三(一)ミツ
トガムル及ベンナニ各一(一)ナリ

九月十五日コンスタンチンチーブルヲ發シテ來リ現ニアレキサンドリア沖ニ碇泊スル埃太利ノロイド汽船マ

リアテレサ號中ニ於テ九月二十六日「ベスト」疑似症ニ罹レルモノ三ヲ認メタリ

英領東印度 九月六日ニ終ル一週間孟買政廳官下ニ於テ六千四百五十五ノ「ベスト」患者及回千三百九十四ノ同死亡アリテ即チ前週ヨリ多キコト千〇三十五及六百三十七ナリ

孟買市ニ於テハ九月七日ニ終ル一週間ニ二百十六ノ「ベスト」患者及二百四十ノ死亡アリ尙ホ「ベスト」疑似症ニシテ死亡セルモノハ百七十三ニシテ同市ノ全死亡數ハ前週ノ九百〇七ニ對スル九百五十三ナリ

支那 八月二十九日ノ報告ニヨルニ厦門ニ於ケル「ベスト」ハ消滅セリト同病ハ今夏ニ於テモ又土人中ニ多數ノ犠牲ヲ奪略セリ前年ニ比シテ減少セルヲ認メス外國人ハ同病ニ侵サレタルモノナシ

カブラント 公報ニヨルニ九月一日ヨリ七日ニ至リ一週間ニカブ半島上一歐羅巴人ノ「ベスト」ニ罹レルモノアルノ外尙ホ屍體アリテ其死因ノ「ベスト」タルコトヲ確定セラレタリボート、エリサベスニ於テモ又土人ノ一屍ヲ發見セリ

十月一日カブスタットノ一工場ニ於テ三患者ヲ認メタリ

英領東印度 カルカタニ於テ八月二十五日ヨリ三十一日迄ニ「ベスト」ニ罹リ死亡セルモノ二十一アリ

第四十二號 (十月十六日)

伊太利 九月二十七日迄ノ間ネアヘル及其附近ニ於テ「ベスト」ノ新患六(死亡ニ)届出ラル内四(一)ハブン
トフテンコノ勞働者ニシテニハサン、ギオバニー、テツシオ及バラニ生セリバラニ於ケルモノハテヅシ
オノ水車場被雇人ニシテ同患者ニ死亡セリ初發以來ノ患者總數ハ十八ニシテ死亡セルモノハ七ナリ十月

一日ヨリ七日迄ニハ一モ新患ヲ生セス

佛蘭西 九月十八日スメアヨリ馬耳塞ニ入港セル汽船ビル、ドウ、ラ、シオタ號中二十月初旬一ノ「ベスト」患者ヲ認メタリ

ネアヘルヨリ來リ九月三十日馬耳塞ニ入港セル奧太利汽船ツアバリー號ハ検査及消毒ヲ施行セル後自由交通ヲ許可セラレシモ其後船中ニ一ノ疑似患者ヲ生モル爲メ十日二日フリオールノ檢疫處ニ送ラレタリ之ニ先タチ旅客ハ己ニ上陸シ又馬耳塞着ノ荷物ニ凡テ卸荷セラレタリ

埃及 九月二十七日ヨリ十月四日迄ノ間ニ報告セラレタル「ベスト」ハ患者八(及死二)ニシテアレキサンドリアニ五(一)、ボートサイドニ一(〇)、ベンナニ二(一)之ナリ

アレキサンドリア沖ニ碇泊中ノロイド汽船マリア、テレサ號中ニ更ニ二ノ新患者及一ノ疑似症ヲ生セリ
英領東印度 九月十三日ニ終ル一週間孟買政廳官下ニ八千二百五十五ノ「ベスト」新患及五千八百四十五ノ同死亡アリテ前週ヨリ多キコト千八百及千四百五十一ナリ孟買市ニ於テハ九月十四日ニ終ル一週間二百六十二ノ患者及二百七十三ノ死亡アリ尙「ベスト」疑似症ノ死亡數ハ百四十二ニシテ同市ノ全死亡數ハ前週ノ九百五十三ニ對スル九百六十五ナリトス

ブローチハ孟買政廳管内ノ一港ニシア八月十五日ヨリ九月十二日迄此地ニ於テ百七十一ノ「ベスト」患者及百三十七ノ同死亡ヲ生セリ

ク井ンストランド 八月三十日ノ一報ニヨル爾來一ノ新患ヲモ生セス然レトモ尙少數ノ「ベスト」斃鼠アリト

ニューキャレドニア九月二十三日ヨリ十月二日迄スミアニ二患者ヲ生シ一ハ死亡セリ
英領東印度 カルカッタニ於テ九月一日ヨリ七日迄二十三ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第四十三號 (十月二十三日)

伊太利 十月十二日ノ公報ニヨルニ同月一日以降チアベルニ於テハ只一ノ新患アリテ死亡ノ轉歸ヲ取レリ
同患者ハ沿岸ニ嚮ク一女高ナリ其他在來ノ「ベスト」患者中一人死亡セルモノアリ細菌學的ニ確定セル
「ベスト」患者ハ初發以來總テ十五ニシテ内八ハ死亡セリ其他ノ患者ニ於ケル「ベスト」ノ疑診ハ検査ノ結
果否定セラレタリニレダ避病院ニ於ケル患者及オレト一號中並ニビグリーナ管内ニ隔離セラレタルモノ
、狀況ハ佳良ナリ

十月五日ヨリ十一日迄ネアベル及附近ニ於テ一ノ新患者ヲモ發生セスト

大貌列顛 十月三日ノ一報ニヨルニ八月八日グラスゴニ於テ一勞働者ノ「ベスト」疑似症ヲ發シ十日ヲ經
テ死亡セルモノアリ次テ八月二十日或ハ二十二日ニ於テ十三歳ノ一童同様ノ症狀ヲ發シ其「ベスト」タル
コトヲ證明セラレタリ此小兒ノ父及十歳ナル妹ハ八月二十三日及九月十日ヲ以テ「ベスト」ニ罹リ父ハ八
月二十七日ニ死亡セリ最後ニ九月十三日ニ至リ此等ノ小兒ヲ病院ニ於テ浴セシメ且ツ其衣類ヲ處置セル
一看護婦「ベスト」ニ罹リ同十七日死亡セリ其後新患ノ公認セラレタルモノナシ同病ノ蔓延ニ對シ必要ナ
ル諸般ノ豫防法實施ラセレタリ

埃及 十月四日ヨリ十一日迄ノ間五患者(及四死亡)アリ即アレキサンドリアニ(一)(二)、ミツトガムルニ三

(一)チフターニ(二)コレナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ九月二十日ニ終ル一週間ニ七千四百四十四ノ「ベスト」患者及五千二百〇七
ノ同死亡アリテ前週ニ比シ千百十一及六百三十八ヲ減ス孟買市ニ於テハ九月二十一日ニ終ル一週間ニ二
百〇二ノ「ベスト」患者及二百四十四ノ死亡アリ尙「ベスト」疑似ノ死亡ハ百四十九ニシテ同市ノ全死亡數
ハ前週ノ九百六十五ニ對シ九百十四ナリ

マウリチウス 八月九日迄同島上ニ十一ノ「ベスト」患者及八ノ同死亡アリ

カブランド 公報ニヨルニ九月八日ヨリ二十一日迄ノ間カブ半島上ニ一ノ新患ヲモ生セスポートエリサベ
スニ於テハ九月十四日ニ終ル一週間ニ十一ノ「ベスト」新患アリテ内一死亡セル外疑似症トシテ監察ヲ受
クルモノ三アリ其他九月十八日一土人ノ「ベスト」屍ヲ發見セリ

ブラデル 九月六日ノリオ、ドウ、シヤニトロニ於ケル一日刊新聞ノ報スル所ニヨレハ同地ノ一新聞社ノ
建築物ハ其社員中數名ノ「ベスト」ニ罹レルモノアリシ爲メ閉鎖ヲ命セラレタリト

ク井ンスラント 公報ニヨルニ八月十七日ニ終ル一週間ニ一ノ「ベスト」死亡アリ之ニ次ク一週間ニハ患者
又ハ死亡ヲ生セス九月七日ノ一報ニ徵スルモ八月十五日以降「ベスト」ノ新患ナシト

英領東印度 カルクッタニ於テ九月八日ヨリ十四日迄ノ間十八ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第四十四號(十月三十日)

伊太利 十月十八日ノ一報ニヨレハネアベルニ於ケル最終「ベスト」患者ハ十月六日ニ最終死亡ハ同九日ニ

生セルモノコレナリト

一一四〇

土耳其 十月十九日ノ一報ニヨレハコンスタンチノーブルノ郊驛ガラタニ於ケル一家屋中ニ約二十人ノ最

下等人民ノ棲息セル内五人ノ「ベスト」患者ヲ生シ内一人ハ死亡ノ轉歸ヲ取レリ該家屋ハ交通ヲ遮斷セラ

レ其家族及患者ハベスボルス河畔オムルゼリノ假舎ニ送移セラレタリ其他メサゼリース、メリータイム

スノ一汽船中ニ於テ壯丁一人發病シテ佛國病院ニ收容セラレタリト

サムスン 十月二日ノ報告ニヨルニ其後三ノ「ベスト」患者ヲ生シ内一ハ死亡セリ凡テノ患者中三名迄同

一ノ穀物倉庫ニ於テ就業セルモノアリ同處ニ於テハ發病ノ數日前ヨリ多數ノ斃鼠ヲ發見セリ尙一ノ患者

ハ此處ニ極メテ接近セル部ニ發生セリ

埃及 十月十一日ヨリ十八日ニ至ルノ間「ベスト」患者ハ總テ四(死亡ハ一)ニシテ内三(一)ハアレキサンド

リアニ一(〇)ハミットガムルニ生セリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ九月二十七日ニ終ル一週間ニ九千三百四十二ノ「ベスト」新患及ヒ六千六

百五十三ノ死亡アリテ即前週ヨリ多キコト二千九百九十八及千四百四十六ナリト孟買市ニ於テハ九月二

十八日ニ終ル一週間二百〇五ノ新患及二百二十四ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡數ハ百八十三ニ

シテ同市ノ全死亡數ハ前週ノ九百十四ニ對スル九百十二ナリトス

スラトハ孟買政廳管下ニ於ケル一港ナルカ九月二十三日此地ニ於テ二ノ「ベスト」患者ヲ生シ皆死亡ノ

轉歸ヲ取レリ

カプランド 公報ニヨルニ九月二十二日ヨリ二十八日ニ至ル一週間ニボートエリサベスニ於テ一土人ノ

「ベスト」ヲ發セルモノアリ尙一屍ヲ發見シ其死因ノ「ベスト」タルコト認定セラレタルモノアリ

アルゲンチニア 十月二十日ノ一報ニヨルニビユーロス、アイレスニ於テアサンシオンヨリ來タレル一汽

船中ニ一ノ「ベスト」患者ヲ認メタリ

ク井スランド 九月二十一日ノ一報ニヨルニ八月中旬以降新患者ヲ出サスト

ニューキヤレドニア 十月二日ヨリ七日迄ノ間スメアニ於テ一土人ノ「ベスト」ニ罹リテ死亡セルモノアリ

英領東印度 カルカッタニ於テ九月十五日ヨリ二十一日迄ノ間ニ「ベスト」ニ罹リ死亡セルモノ十三アリ

第四十五號 (十一月六日)

大貌列顛 十月二十六日ノ一報ニヨリニリパーブルニ於テ「ベスト」ニ疑ハシキ故ヲ以テ病院ニ收容セラ

レタル患者二アリ

グラスゴー 十一月一日ノ一報ニヨルニ更ニ四ノ「ベスト」患者ヲ生シ内一ハ死亡セリ此四患者ハ共ニ同

處ノ「セントラル、ステーション、ホテル」ノ傭人ニシテ同旅館ハ直ニ閉鎖セラレタリ

羅西亞 十月三十日ノ一報ニヨルニバトウムニ於テ「ベスト」患者ノ發生ヲ認メタリト

土耳其 先ニ報告セル船中一壯丁ノ「ベスト」ニ罹リタリシメツサゼリユーム、メリータイムスノ汽船ハコ

ンスタンチノーブルニ向フ航路中九月二十一日ヲ以テネアヘル(ブント、フランコ)ニ寄港セルモノナリ

一一四一

埃及 十月十八日ヨリ二十五日迄ノ間ニ於ケル「ベスト」患者ハ總テ三(死亡ハ一)ニシテ内一(〇)ハアレキ
サンドリア、一(一)ハミットガムル、一(〇)ハチフターニ生セリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ十月四日ニ終ル一週間ニ九千四百七十六ノ「ベスト」新患及六千五百三十
二ノ死亡アリ即前週ニ比シテ患者ハ百三十四ヲ増加シ死亡ハ百二十一ヲ減少セリ孟買市ニ於テハ十月五
日ニ終ル一週間ニ百八十七ノ患者及百七十七ノ死亡アリ其他「ベスト」ト疑似症ノ死亡ハ百七十五ニシテ
同市ノ全死亡數ハ前週ノ九百十二ニ對スル八百七十五トナレリ

カブランド 九月二十九日ヨリ十月五日ニ至ル一週間カブ半島上ニ三(内一死亡)、ポート、エリサベスニ
四ノ「ベスト」新患者(内三死亡)報告セラレ就中ポート、エリサベスノ新患者中ニハ「ベスト」避病院ノ看
護婦長アリ

ク井ヌラント 十一月一日ノ報告ニヨレハ同地ハ「ベスト」無病地ト認定セラレタリト
英領東印度 九月二十二日ヨリ二十八日迄カルカッタニ於テ「ベスト」ニ罹レルモノ十七死亡セルモノ十六
アリ

第四十六號 (十一月十三日)

伊太利 公報ニ見ユル如クネアヘルニ於テハ己ニ八月末ニ於テ税關區内ノ穀倉内ニ於テ著シク鼠ノ斃死ス
ルコトヲ見タリ之ニ次テ八月卅一日ニ至リテ初メテ海岸労働者ノ一人ニ肺炎ト診定治療セラレテ終ニ死
亡セルモノヲ生セリ九月五日八日十三日十六日十八日及二十一日等ニ於テ右ノ労働者ノ仲間中ニ六人全

ク之レト同様ノ症状ヲ發シ其後又他ノ人ニ及ヒ全數二十三人(内八ハ死亡セリ)トナレリ

此疾病ハ初メ肺炎、淋巴腺炎、及盲腸炎ト診定セラレ九月二十三日ニ至テ漸ク公然報告セラレ其後細菌學
的検査ニヨリテ其病性ヲ確定セラレタルモノナリ

大貌列顛 一公報ニ徵スルニリバールニ於テハ己ニ九月末及十月初頭ニ於テ約六人ノ患者アリシモ初
メハ流行性感胃トセラレ次テベストノ疑ヲ措カレタリ茲ニ於テ二名ノ死體ニ就テ細菌學的ニ其「ベスト」
タルコトヲ確定セリ病院ニ於テ嚴重ニ隔離セラレタル三名ノ患者ハ尙「ベスト」疑似症トセラレ傳聞スル
所ニコレハ疾病蔓延ニ對スル諸般ノ豫防法ハ實施セラレタリト

グラスゴーニ於テハ十一月一日更ニ一ノ小賣小女ノ「ベスト」ニ罹レルアリ同女ハ「セントラル、ステー
ション、ホテル」ニ宿シ且ツ日中グラスゴー外ノ一停車場ニ於テ營業セルモノナリト同「ホテル」閉鎖後
同處ニ於テ「ベスト」病鼠ヲ發見セリト

羅西亞 「ベスト」豫防撲滅ノ爲メニ設ケラレタル委員ハ十一月二日ヲ以テ報告シテ云クバトウムニ於ケル
「ベスト」疑似患者ハ十月十四日ニ死亡セリ尙十月九日同様ニ發病セル一人ハ己ニ治癒ニ向ヘリ兩者ノ間
毫モ相關係スル處アルヲ見ス死亡セル患者ハ不斷其家族内ニ生活シ嘗テ「ベスト」ノ疑ヒアル場處ト交通
セルコトナシト

埃及 十月二十五日ヨリ十一月一日迄ノ間只タフターニ於テ一ノ「ベスト」新患及一死亡ヲ認メタルノミ
十月二十二日及二十四日ノ報告ニヨルニ近時ポート、サイドニ入港セル汽船アラビア及ポートチュガル號

中ニ各一名ノ「ベスト」疑似症患者アリ龍動ヨリ來タレルアラビア號ハ途上馬車塞ヲ經タルモノニシテホ
ーチユガルハ馬車塞ヨリ直チニアレキサンドリアヲ經テ來タレルモノナリアラビア號ハスエス運河ヲ通
過スル際検査中ニアルヲ以テ同患者ハモーゼスクエルレンニ於テ上陸セシメタリ然レトモ同患者ハ其後
「ベスト」ニアラスト決定セラレタリポーチユガル號ノ患者ハボートサイドノ病院ニ收容セラレ其後ノ檢
査ニヨリテ「ベスト」ト決定セラレタリ

英領東印度 孟買政廳官下ニ於テ十月十一日ニ終ル一週間ニ一萬〇七百八十六ノ「ベスト」新患者及七千五
百三十七ノ死亡アリ即前週ヨリ多キコト千三百十及千〇〇五ナリトス孟買市ニ於テハ十月十二日ニ終ル
一週間ニ百五十六ノ患者及百八十九ノ死亡アリ尙「ベスト」疑似症ノ死亡數ハ百三十一ニシテ同市ノ全死
亡數ハ前週ノ八百七十五ニ對スル八百二十二ナリトス

カブラランド 十月六日ヨリ十二日ニ至ル一週間カブ半島ニハ「ベスト」患者及死亡ノ公認セラレタルモノナ
シボート、エリサベスニ於テハ四人ノ「ベスト」ニ罹レルアリテ内一人死亡セリ

バラグワ井 アサンシオンニ於テ更ニ「ベスト」患者ヲ發生セリ

ク井スランド 十月二日同地ハ「ベスト」無病地ト公認セラレタルモノ十月三日一ノ「ベスト」新患アリテ死
亡ノ轉歸ヲ取レリ

英領東印度 九月二十九日ヨリ十月五日迄ノ間カルカッタニ於テ「ベスト」ニ罹リ死亡セルモノ十九アリ

第四十七號 (十一月二十日)

羅西亞 十一月十日ノ一報ニヨレハオテツツノ土人中ニ二名ノ「ベスト」死亡者アリト

土耳其 十一月四日コンスタンチノーブルニ於テ一ノ「ベスト」新患者ヲ生セリ之ハサリゼリー(ブジユク

デレ附近)ニ於テ勞働セル十八歳ノ「アルバン」男子ニシテ已ニ六日以前ヨリ臥床シタルモ主治醫ハ其病

性ヲ確認スル能ハサリシ十一月四日エヂタルノ希臘病院ニ收容セラレ茲ニ於テ直ニ「ベスト」ト診定セラ

レタリ而シテ此診斷ハ縣及検査處ノ衛生視察官ノ共ニ確認セラル處ナリヘシツクタツシユニテ十月二十

七日「ベスト」疑似ノ故ヲ以テ鑑察ニ付セラレタル患者ハ「ベスト」ニ非ラスト診定セラレタリ

十一月五日カルタルノ内方イスミッド灣内ナルヤカヂツク村ニ於テ「ベスト」ニ死亡セルモノアルヲ見タ

リ此村落ハ前年特ニ土耳其人家族ノ逗留處トシテ用井タル處ナリ尙該患者ハ其症狀ヨリ推測スルトキハ

少クモ已ニ一週前ニ發病セルモノナリト

埃及 十一月一日ヨリ八日迄ノ間「ベスト」ノ新患總テ四(死亡ハ三)アリ内二(一)ハアレキサンドリアニ、

一(一)ハミッドガムルニ、一(一)ハチフターニアリ

上海ヨリ厦門、香港、新嘉坡ヲ經テ來レル英同汽船グレンザイル號十一月二日ヲ以テスエスニ入レリ其

船中「ベスト」疑似ヲ以テ醫師ノ注意中ナルモノ二名アリ恐ク共ニ香港ニ於テ感染セシモノ、如シ患者ハ

モーゼスクエルレンニ於テ上陸セシメ船體ハ完全ナル消毒ヲ行ヘル後検査中ニ於テ運河ヲ通過セリ又近

時アレキサンドリアニ於テサイバンヨリ來レル澳太利汽船エヒテル號(此汽船ハ七ヶ月以來アレキサン

ドリア及ボートサイドトサイバン間ノ往復航海ニ從事セリ)中ニ一ノ「ベスト」疑似患者ヲ發見セリ右兩

者共ニ細菌學的検査上陰性ノ結果ヲ得タリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ十月十八日ニ終ル一週間ニ一萬五百ノ「ヘスト」新患及七千五百三十八ノ死亡アリテ前週ヨリ患者數二百八十六ヲ減セリ孟買市ニ於テハ十月十九日ニ終ル一週間ニ百五十八ノ「ヘスト」患者及百九十三ノ死亡アリ其他「ヘスト」疑似ノ死亡ハ百三十一ニシテ他ノ原因ニヨル死亡ハ五百〇五ナリ

カブランド 十月十三日ヨリ十九日ニ至ル一週間ニ公認セラレタル「ヘスト」ハ三患者及三死亡ニシテエリサバス港、カブ半島、及ウイチンハーゲニ各一ナリ就中ウイチンハーゲニ於テハ一支那人ノ死後發見セラレタルモノナリ該週末尙治療中ノ患者ハ二十ニシテ内十二ハ土人四ハ歐羅巴四ハ雜種人ナリ

ブラヂル 九月二十七日ヨリ十月十五日迄ノ間リオ、ドウ、チャニローニ於テ五十九ノ「ヘスト」患者アリ内七人ハ其自宅ニ於テ死亡シ五十二人ハ「ヘスト」避病院ニ收容セラレタル後其十三人ハ死亡セリ十月二十二日ノ一報ニヨレハリオ、ドウ、チャニロー州内カムボスニ於テ數週來「ヘスト」ノ劇烈ナル流行アリテ尙近時ハ同州内ノ他處ニ於テモ「ヘスト」患者ノ續々發生スルモノアリト

ニューキヤレドニア 十一月七日ノ公報ニヨルニヌメアニ於テハ十月七日以後「ヘスト」患者ヲ生セスト
英領東印度 カルカッタニ於テハ十月六日ヨリ十二日迄ノ間「ヘスト」ニ罹レルモノ十三ニシテ死亡セルモノ十二ナリト

第四十八號 (十一月二十七日)

佛蘭西 旅客及荷物ヲ載セテレバントヨリ來リ十一月七日馬耳塞ニ入港セルメサゼリユース、メリータイムスノ汽船サガリン號ハ船室中ニ多數ノ斃鼠ヲ發見セルタメ同月九日ツリオールニ回航ヲ命セラレタリ然レトモ船員及乗客ノ健康ニハ何等ノ異常ヲモ認メサルヲ以テ船舶ハ適當ナル消毒ヲ施行セル後檢疫處ヲ去リ同月十四日コンスタンチノーブルニ向テ順航セリ

大貌列顛 グラスゴーニ於テハ其後十一月十八日迄一ノ新患ヲモ生セズ避病院ニ隔離セラレタル四名ノ患者ハ恢復ニ向ヘリ

羅西亞 オデツサニ發生シテ細菌學的ニ決定セラレタル「ヘスト」死亡者二名中(後者ハ十一月八日ヲ以テ決定セラレタリ)一名ハ港邊ニ存スル飲食店ニ奉公セシ下男ナルモ一名ハ市ノ中央ニ住スル獨逸人ニシテ嘗テ海港ト交通セシコトナキモノナリト云フ直ニ嚴重ナル交通遮斷及患家ノ消毒ヲ施行シ且ツバツムニ「ヘスト」ノ發生セシ以來オデツサ港ニ於ケル船舶交通ニ對スル精密ナル検査ヲ行ヘリ十一月十日ヨリ十二日ニ至ルノ間オデツサニ於テ尙ホ三名ノ「ヘスト」疑似症患者アリテ醫ノ監察中ナリ然レトモ十一月十七日ノ同國公報ニヨレハ十一月八日以來一ノ新患者ヲモ生セストセラレ

埃及 十一月八日ヨリ十五日迄ノ間埃及ニ生セル「ヘスト」新患者ノ總數ハ二ニシテ即アレキサンドリアニ十日及十一日ニ各一名ヲ發生セルノミ此間「ヘスト」ニ斃レタルモノハアレキサンドリアニ一アリ彼ノ十一月八日チフター及ミットガムルニ於テ治療セル二名ノ「ヘスト」患者ハ治癒退院スルニ至レリ

英領東印度 十月二十五日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ一萬三十六ノ「ヘスト」新患及七千六十一ノ死

亡アリ其前週ノ數ハ一萬二百八十四及七千四百二十七ト訂正報告セラル孟買市ニ於テハ十月二十六日ニ終ル一週間ニ百七十三ノ新患及百七十六ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百八十三ニシテ他ノ原因ニヨル死亡ハ四百五十九ナリ

香港 八月十七日ヨリ十月五日ニ至ル七週間ニ於ケル「ベスト」患者ハ三、三、六、十一、二、三、三、合計三十一ニシテ死亡ハ二、三、六、十一、二、三、二合計二十九ナリ十月十二日ノ公文ヲ以テ同植民地政府ハ已ニ十日間「ベスト」ヲ發生セサルヲ以テウエネデツヒ會議ニ準據シ同地ヲ無病地ト認メタリ

マウリチユウス 九月六日ヨリ十月十日迄ノ間設島上ニ百九十三ノ「ベスト」患者及百三十六ノ死亡ヲ出タセリ此ノ五週間ニ於ケル各週ノ患者ハ十六ヨリ六十六ニ死亡ハ十三ヨリ四十七ニ何レモ漸次増加セリ往年ノ經驗ニ徴シ十月ニハ最多數ノ患者ヲ發生スヘシト想像セラル

モサンビツク 十一月十九日着ノ電報ニヨルニローレンス、マルクスヨリ百四十基魯突兒ノ距離ニアルマギユーデニ於テ五ノ「ベスト」患者ヲ生セリト

キヤブランド 十月二十日ヨリ二十六日迄ノ一週間ニ六ノ「ベスト」患者アリテ（内四ハボートエリサベスニ尙ボート、エリサベスニテ發見セラレタル一ノ歐羅巴人ノ死體ハ「ベスト」屍ナルコトル認定セラレタリキヤブ半島ニ生セル二ノ「ベスト」中一ハ英國兵卒ナリ十月二十六日迄ニ同殖民地ニ發生セル「ベスト」死亡ノ總數ハ公報ニヨルニ四百〇ニシテ内歐羅巴人七十三、土人八十二、雜種人二百四十七ナリト
亞米利加合衆國 八月二十九日ヨリ十月十日迄ノ間桑港ニ八ノ「ベスト」患者及六ノ死亡アリ同地海軍病院

ニ達セル報告ニヨレハ六月二十八日ヨリ十一月一日迄ノ總數ハ患者十三ニシテ死亡十ナリト（衛生官報二千五百五十二頁）

アルゲンチニア 十月中旬アサンシオンヨリビユノス、アイレスニ來レル汽船バラグワ井號中ノ一旅客「ベスト」疑似ノ病狀ヲ以テ發病シ同地ノ傳染病院ニ收容後直ニ死亡セリ同汽船ハ十月十七日檢疫所ニ送ラレ船體及荷物ハ充分ナル消毒ヲ行ヒ旅客ハ五日間ノ停留ニ處セラレタリ尙アサンシオンヨリ發スル汽船荷物及旅客ニシテバラク井號ト關係アルモノ、消毒ヲ監視シ且ツビユノス、アイレスニ來レル汽船ニ乗込ミ監察セシムル爲メ衛生官ヲアサンシオンニ派遣セリ

新南ウエールズ シドニーニ於テ十一月十六日一ノ「ベスト」患者公認セラレタリ
第四十九號（十二月四日）

大貌列顛 公報ニヨルニグラスゴーノ最終患者ハ十一月十八日ヲ以テ全治退院セリト
羅西亞 十一月二十一日ノ一報ニヨルニオデツサニハ其後「ベスト」患者ヲ發生セスオデツサヲ發シテ十一月十九日ニコラヂユーニ至リテ「ベスト」疑似ノ病狀ヲ以テ斃レタル囚徒ハ分報ニヨレハ細菌學的検査ノ結果「ベスト」ニアラスシテ上膊部ニ存セシ潰瘍ヨリ起レル血液中毒症ニ罹リタルモノナルヲ知レリト
「ベスト」豫防撲滅委員ノ十一月二十七日ヲ以テ報告スル所ニヨレハバツムノ公立病院ニ於ケル一患者ハ「ベスト」ノ病狀ヲ呈シ且ツ細菌學的検査ニヨリ其診斷確定セラレタリ而シテ患者ハ已ニ恢復ニ向ヘリ疾病蔓延ヲ防遏スヘキ諸規則ハ悉ク實施セラレタリト

埃及 十一月十五日ヨリ二十二日迄ノ間チフターニ於テ只一ノ「ベスト」患者ヲ生シ死亡ノ轉歸ヲ取レリト
 英領東印度 十一月一日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ一萬七百四十ノ「ベスト」新患及七千六百九十三
 ノ死亡アリテ前週ヨリ多キコト七百四及六百三十二ナリトス就中カラチ港ニ於ケル新患(死亡)ハ前週ノ
 三十七(十八)ニ對スル五十八(三十七)ナリ孟買市ニ於テハ十一月二日ニ終ル一週間ニ百八十六ノ「ベ
 スト」患者及百七十六ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡百四十アリテ同市ノ全死亡數ハ七百七十九ナ
 リ

比律賓群島 九月末ノ報告ニヨルニ馬尼拉ニ於テハ尙只散發性ニ「ベスト」ヲ生シ固有ノ流行ハ已ニ經過セ
 ルカ如シ九月八日ヨリ二十一日ニ至ル二週間ニ五ノ「ベスト」患者(内三ハ支那人一ハ土人)アリテ内四ハ
 死亡セリ(衛生官報二千六百二十八頁)

キヤブランド 公報ニヨルニ十一月二日ニ終ル一週間ニハ只一ノ「ベスト」患者アリテポート、エリサベス
 ニ於ケル土人ニ發生セリ但シ同地ニ於ケル同週間ノ「ベスト」死亡ハ三ナリト

北米合衆國 十月十日ヨリ三十日迄ノ間桑港ニ於テ二ノ「ベスト」新患及二ノ死亡アリ(衛生官報二千六百
 十一頁)

ブラヂル 十一月五日ノ一報ニヨルニリオ、ドウ、ヂヤニコニ於テハ日々「ベスト」ニ罹ルモノ一二名アリ
 カムボスニ於テハ九月中旬ヨリ十月末迄ニ百四十一ノ腺「ベスト」アリテ内七十五死亡セリ而シテ十月三
 十一日尙治療中ノ患者二十七アリト

英領東印度 カルカツタニ於テハ十月十三日ヨリ二十六日迄ノ間ニ三十六ノ「ベスト」患者及三十五ノ同死
 亡アリ

第五十號 (十二月十一日)

埃及 十一月二十三日及二十四日チフターニ於テ「ベスト」ノ二患者ヲ生シ何レモ直ニ死亡セリ四月七日ヨ
 リ十一月二十九日ニ至ル埃及ニ於ケル「ベスト」死亡ノ總數ハコレヲ以テ九十六ニ達シ此間治療セシ「ベ
 スト」患者ノ數ハ九十七ナリトス

英領東印度 十一月八日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ九千二百三十三ノ「ベスト」新患及六千六百三十
 ノ死亡アリテ即前週ニ比シテ千五百〇七及千〇六十三ヲ減セリ然レトモカラチ港ニ於ケル患者(死亡)ハ
 八十(四十二)ニシテ前週ヨリ多キコト二十四(五)ナリ

孟買市ニ於テハ十一月九日ニ終ル一週間ニ百五十七ノ新患及百九十五ノ死亡アリ其外「ベスト」疑似症ノ
 死亡ハ百五十ヲ算ス「ベスト」死亡ト同時ニ全死亡數モ亦前週ヨリ増加シ即七百七十九ヨリ八百四十八ニ
 昇レリ

キヤブランド 公報ニヨルニ十一月九日ニ終ル一週間ニポート、エリサベスニ於テ四ノ「ベスト」新患及二
 ノ死亡アリ患者中三ハ土人ニシテ一ハ歐羅巴人ナリ死亡二ノ内一ハ土人ノ死後發見セラレタルモノナリ
 十二月二日ノ電報ニヨレハキヤブスタートハ最終患者ノ治療セル後チ無病地トセラレタルモポート、エ
 リサベス及モーゼル灣ハ之ニ反シテ十二月初メニ至ルモ尙「ベスト」新患者ヲ生セリト

英領東印度 カルカッタニ於テハ十月二十七日ヨリ十一月九日迄ノ間「ベスト」患者及死亡共ニ三十八ナリ

第五十一號 (十二月十八日)

土耳其 十一月二十七日コンスタンチノーブルニ於テ十六歳ノ「チユルケツス」人「ベスト」ニ罹レルヲ發見

セリコハ十一月二十五日高加索斯舍(カラバツハ區ニアリ)ノ上層室中ニテ發病セルモノニシテ「ベス」ノ症候ヲ認メタルヲ以テオムルゼリノ避病舍ニ送ラレ消毒閉鎖セラレタリ

英領東印度 十一月十五日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ八千四百二十三ノ「ベスト」新患及六千五百〇六ノ死亡アリテ即前週ヨリ八百十及百二十四ヲ減セリ内カラチ市ニ於ケルモノハ患者六十八、死亡四十七ナリ孟買市ニ於テハ十一月十六日ニ終ル一週間ニ百五十二ノ患者及百四十七ノ死亡アルノ外百四十七ノ「ベスト」疑似症死亡アリ同市ノ全死亡數ハ八百ニ降レリ

キヤブランド 十一月十六日ニ終ル一週間「ベスト」ノ新患及死亡ヲ生セス然レトモポート、エリサベスニ於テ土人中「ベスト」疑似「ノ」症候ヲ發シテ醫ノ監察中ノモノニアリ十一月十八日同地ニ一ノ「ベスト」新患ヲ生セリ

ク井ンスランド 十二月十一日ノ電報ニヨルニプリスベーンニ於テ又一ノ「ベスト」患者ヲ生セリト

第五十二號 (十二月二十五日)

埃及 十一月二十三日ヨリ十二月十三日迄ノ間埃及ニ於テハ只チフターニ於テ二ノ「ベスト」新患及一ノ死亡アリシノミ

埃及海上衛生及檢疫顧問ヨリ每週發刊セラル、檢疫報告ニ於テ其三百七十一及三百七十二頁ニ「ベスト」或ハ「ベスト」疑似症ノ船中ニ發見セラレタルモノヲ掲載スルコト次ノ如シ

一、メサゼリース、マリタイムスノ汽船「ボーチユガル」號ハ十一月二十一日馬耳塞ヲ一月二十七日アレキサンドリアヲ發シテバイラツト一ノ向テ航海セシカ十二月一日バイラツトニ於テ舟中ニ水夫一名「ベスト」病ニ罹レルヲ認メラレタルモ同船ハ十二月二日バイラツトヲ發シ檢疫旗ヲ掲ケテ同月四日再ヒアレキサンドリアニ入港シ茲ニ於テモ同患者ノ細菌學的検査ハ陽性ナリシ

二、十一月十四日カルカッタヲ發シマルタ及龍動ニ向ヘル英國汽船「シチー、オフ、ボンペー」號中ニ於テ十二月二十日スエスニ於テ二名ノ「ラスカル」人疑似ノ症候ヲ呈セルヲ發見セリ其一ハ股腺ノ大腫脹ヲ呈シ一ハ兩側ノ重症肺炎ヲ呈セリ細菌學的検査ノ結果ハ判然セサリキ同船ハ「モーゼス、クエルレ」ノ檢疫所ニ送り患者ヲ卸シ且ツ消毒ヲ施セリ

三、十一月十三日カルカッタヲ發シテ龍動ニ向ヘル英國汽船「クラン、ロバートソン」號ハ船醫及消毒器ヲ備ヘサリシカ十二月二日スエスニ於テ一ノ「ラスカル」人ニ甚タ重症ノ鼠腺炎ヲ發セルモ花柳病又ハ損傷ヲ有セサルモノアルヲ發見セリ同船ハ「モーゼス、クエルレ」ニ送ラレ消毒ヲ施シ且ツ患者ヲ卸シタル後檢疫中ニ於テ運河ヲ通過セリ

四、十一月九日カルカッタヲ發シ漢堡ニ向ヘル獨逸船「マリエンフルス」號ハ十一月二十八日醫員及消毒装置ヲ備ヘスシテスエスニ入レリ茲ニ於テ檢診ノ際「ラスカル」人ノ鼠腺炎性腫脹ヲ發見シ「ベス

トノ疑ヲ起セリ同船ハ患者ヲ卸ス爲メモーゼスクエルンニ送ラレ消毒施行ノ後檢疫中ニ於テ運河ヲ通過スルヲ得タリ

英領東印度 十一月二十二日ニ終ル一週間孟買政應管下ニ於テハ八千八百十二ノ「ベスト」新患及六千五百二十一ノ同死亡アリテ即前週ニ比シテ三百八十九及十五ヲ増加セリ右ノ内カラチ港街ノモノ患者七十三及死亡五十八アリトス

孟買市ニ於テハ十一月二十三日ニ終ル一週間ニ三百ノ「ベスト」新患(前週ニ殆ント二倍ス)及百八十九ノ死亡決定セラレタリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百三十一ニシテ同週ノ全死亡數ハ八百六十二昇レリ

マウリチウス 十月十一日ヨリ十一月七日 至ルノ間同島上ニ二百九十ノ「ベスト」患者及百七十ノ同死亡アリテ内患者八十五死亡五十八十一月ノ第一週中ニ生セルモノニシテコレヲ前數週ニ比スルニ増加セルヲ見ル

キヤプランド 十一月二十三日ニ終ル一週間ニハケイブコロニーニ於テ已ニ前號ニ報告スル一新患ノ決定セラレタルアルノミニシテコハポトエリサベスノ土人ナリ尙ホ其後一土人ノ「ベスト」死亡報告セラル亞米利加合衆國 十一月四日桑港ニ於テ更ニ一ノ「ベスト」患者及一死亡報告セラル(衛生公報二千七百九十五頁)

ブラヂル 公報ニ基ツキ同國ノ一新聞ニ掲ケタル一覽表ニヨルニリオ、ドウ、シャニローニ於テハ十一月一日ヨリ二十四日迄ニ「ベスト」患者五十五アリテ内三十八死亡セリ尙カンボスノ「ベスト」流行ハ依然持續

シリオ、ドウ、シャニロー州ノ他部ニ於テモ亦「ベスト」ノ確定セラレタルモノアリト

英領東印度 カルカツタニ於テハ十一月十日ヨリ十六日ニ至ル一週間ニ二十三ノ「ベスト」患者及死亡アリ 千九百二年度

第一號(一月一日)

土耳其 昨年十二月二十七日ノ一報ニヨルニスミルナニ於テ「ベスト」ノ一新患者ヲ認メタリト

埃及 昨年十二月二十日ニ終結セル最終ノ「ベスト」各週表ニ徴スルニ埃及ニ於テハ十二月七日以來「ベスト」患者ヲ發セス即チ十二月十日以後新患ノ届出ナシ千九百一一年四月七日以來ノ「ベスト」總數ハ患者百九十五ニシテ死亡九十七ナリ而レテ十二月二十日尙ホ治療中ノ患者ハチフターニ一名アリ

英領東印度 昨年十一月二十九日ニ終ル一週間孟買政應管下ニ八千五百二十九「ベスト」新患及ヒ六千二百九十二ノ同死亡アリ即チ其前週ヨリ患者二百八十三及ヒ死亡二百二十九ヲ減セリ内カラチ港市ニ於ケルモノハ五十一及ヒ四十七ナリ孟買市ニ於テハ十一月三十日ニ終ル一週間ニ二百六十四ノ「ベスト」新患及ヒ百六十二ノ同死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百二十二ニシテ同市ノ全死亡數ハ前週ノ八百六十ヨリ減シテ七百九十三トナレリ

モサンビツク マギユーデニ發生セシ五名ノ「ベスト」患者(昨年度公報參照)ニ關シテ十一月十八日附ケ同地總督ノ訓令ヲ以テ公表セラル、コト次ノ如シ、治療中ノ患者ハ只五人アリ有病地ノ交通遮斷、監視、近接地土民ノ豫防接種等凡テノ豫防法ヲ實施セルヲ以テ流行ハ暫時ニシテ消滅センコト殆ンド疑ナシ、

患者發生地及ヒ之レニ近接セル各處トローレンス、マークエトノ聯絡ハ遮斷セリト

衛生顧問官ハローレンス、マークエ港ヲ健康地ト認定スルコトニ決セリ蓋シ「ベスト」ハ單ニ四十英里以上ヲ距リ且ツ完全ニ獨立セル一處ニ發生セルノミナレハナリ

キヤフランド 昨年十一月三十日ニ終ル一週間ポート、エリサベスニ二ノ「ベスト」患者報告セラレシ内一ハ歐羅巴人ナリキヤブ半島ニハ新患ノ報告ナキモ之ニ反シテ同週中ニ於テモッセル灣ニ於テハ十一月十一日以後五ノ「ベスト」患者ヲ生シ十一月末迄ニ内三ハ死亡セルコトヲ認知セリモッセル港ニハ己ニ以前ヨリ鼠族中ニ「ベスト」ノ兆アリシカ終ニ公然「ベスト」汚染地ト認定セララル、ニ至レリ

バラグワキ 昨年十一月初旬アサンシオンニ生セル「ベスト」患者中ノ一部ハ沿岸ノ數區ニ發生セルモノニシテ十一月八日迄ハ死亡ヲ出タサス又當時迄ハ流行未タ大區域ニ波及セスト而シテ該病ノ眞性ノ腺腫「ベスト」タルコトハ細菌學的検査ニ依テ確定セラレ且ツ近隣各州ノ衛生官ニ公然通知セラレタリ

英領東印度 カルカッタニ於テハ昨年十一月十七日ヨリ二十三日ニ至ル一週間ニ五ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第二號 (一月八日)

埃及 昨年十二月十六日ヨリ二十二日ニ至ル週間ニハ埃及全國ヲ通シテ新患ノ届出テラレタルモノナリ十二月七日以來チフターニ於テ醫療中ナリシ最終「ベスト」患者ハ同月二十二日治愈シテ同地病院ヲ辭セリ
英領東印度 十二月六日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ於テ七千六百十二ノ「ベスト」新患及ヒ五千七百四十

四ノ同死亡アリ即チ前週ヨリ少キコト九百七十七五百四十八ナリ孟買市ニ於テハ十二月七日ニ終ル一週間ニ二百五十九ノ新患及ヒ百七十三ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百三十一ニシテ全死亡數ハ前週ノ七百九十三ヨリ八百四十一ニ昇レリ

キヤブランド 昨年十二月七日ニ終ル一週間ポート、エリザベスニ於テ一ノ有色人ノ「ベスト」死體ヲ發見セリ又モッセル灣ニ於テハ前報セルノ外更ニ二ノ新患者ヲ生セリ其他レーデー、スミス(ナタル)ニモッセル灣ヨリ到來セルモノ二人疑似症ニ罹レリキヤブ半島上ニハ同週間ニ新患ノ届出ナシ同地ハ健康地ト認定セラレタル旨前月十日ノ一報ニ見ユ其後一月二日キヤブ、スタットニ於テ一兵士ノ「ベスト」ノ襲フ處トナレル旨電報セリ

英領東印度 カルカッタニ於テ十一月二十四日ヨリ三十日ニ至ル間二十一ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第三號 (二月十五日)

土耳其 一月七日ノ一報ニヨルニバイルットニ於テ一ノ「ベスト」患者ヲ認メタリ
埃及 昨年十二月二十七日四ノ「ベスト」患者(及二ノ死亡)届出テラレ内三(一)ハタンター、一(一)ハチフターナリ

英領東印度 昨年十二月十三日ニ終ル一週間孟買政廳管下ニ六千九百五十八ノ「ベスト」新患及五千四百四十五ノ同死亡アリ即チ前週ヨリ更ニ六百五十四ト五百九十九ヲ減セリ内カラチ市ニ於ケルモノハ六十八ト五十二ナリ孟買市ニ於テハ十二月十四日ニ終ル一週間ニ二百〇六ノ「ベスト」新患ト百四十一ノ同死亡

アリ其他「ベスト」疑似ノ死亡者ハ百三十一、同市ノ全死亡數ハ前週ノ八百四十一ヨリ七百七十六ニ減セリ

カルカッタニハ昨年十二月一日ヨリ七日迄ニ三十一ノ「ベスト」患者ト三十ノ同死亡アリ

第四號 (一月二十二日)

土耳其 スミルナニ於テ一月十七日一ノ「ベスト」疑似症ヲ生セリ

埃及 昨年十二月二十八日ヨリ本年十月十日迄タンターニ十八ノ新患(十一ノ死亡)及チフターニ(一)ノ「ベスト」ヲ發セリ

亞典 亞典ニ於テハ昨年十二月五日汽船バチアラ號ノ「ラスカル」水夫中ニ一ノ「ベスト」患者ヲ生シ死亡ノ

轉歸ヲ取レリ

海峽殖民地 昨年十二月六日「ベスト」ノ疑ヲ以テヘナンノ檢疫所ニ送ラレタル一支那人ハ同月八日「ベスト」ニ斃レタリ其後十二月十六日迄未タ新患ヲ生セス

マウリチウス 昨年十一月八日ヨリ十二月五日ニ至ル四週間ニ届出テノ「ベスト」ハ患者八十三、六十七、

六十一、五十二死亡及五十六、三十九、三十七、三十七等ナリ

キャブランド 昨年十二月八日ヨリ十四日ニ至ル一週間ニハモッセル灣及レデー、スミスニ各一ノ有色人

ノ「ベスト」患者アリシノミニシテキャブ半島及ポート、エリザベスハ災ヲ免レタリ

英領東印度 カルカッタニ於テ昨年十二月八日ヨリ十四日迄ノ間二十四ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第五號 (一月二十九日)

土耳其 バイルットニ發セシ患者(第三號參照)ハ其後死亡セリ該患者ハバグダッドノ馭者ニシテ昨年末衰

弱シテタマスカスヨリ徒歩バイロットニ來リ同地ニテ發病セルナリ

近時スミルナニ於テ「ベスト」疑似症ニ罹レルモノ(第四號參照)ニ就テ細菌學的検査ヲ行ヒ「ベスト」菌ノ

存在ヲ證明セリ

キャブランド 昨年十二月十五日ヨリ二十一日ニ至ル一週間ニ「ベスト」患者ヲ土人中ニ認メタリ

ブラジル 昨年十一月二十五日ヨリ十二月二十五日迄ノ間リオ、ドゥ、ジャネロニ四十ノ「ベスト」患者及二

十ノ死亡ヲ見タリカンボスニ於ケル「ベスト」流行ハ年末ニ際シ其勢減退セリ尙リオドゥ、ジャネロ州ノ

他ノ一二處ヨリ散發性ノ「ベスト」症報告セラル、アリ

一月十九日一電報ニヨルニポート、アレグルニ「ベスト」ヲ發生セリト

新南ウールズ 昨年十二月十日シドニーニ「ベスト」ノ新患一ヲ生シ死亡セリ

第六號 (二月五日)

羅西亞 「ベスト」豫防撲滅委員ノ報告ニヨルニヨルニ一月二十一日バツムニ一ノ「ベスト」疑似患者ヲ生シ

直チニ傳染病院ノ隔離室ニ收容セラレタルモ同處ニ於テ一月二十二日死亡セリ患者ノ住居セシ家居ハ交

通遮斷シ患者ト接セル人民ハ醫師ノ監視ヲ附セリバツムヲ出帆スル船舶ハバツム港出發前及黑海各港ニ

到着ノ際醫師ノ検査ヲ受ケシメ尙バツムヨリ出發スル旅客ノ健康診斷ヲ行ヘリ其後類似ノ患者ハ

一月末マテ未タ發生セス

土耳其 バグダッドニ於テ昨年十二月二十二日ヨリ本年一月二十日迄ニ八ノ「ベスト」患者及四ノ死亡公認セラレ然レトモ己ニ之ヨリ先キ恐クハ「ベスト」患者アリシモ人民ノ之ヲ隠蔽セシモノアラン
埃及 一月十日ヨリ二十四日迄タンター三十ノ「ベスト」患者(及二十五ノ死亡)、チフター二(一)、ミトガムルニ三(二)ヲ生セリ

英領東印度 昨年十二月十四日ヨリ本年一月三日迄ノ三週間孟買政廳管下ニ七千〇七十八、六千三百二十九、及五千七百四十六ノ「ベスト」患者及五千二百六十九、四千五百七十九、四千三百三十八ノ死亡ヲ生セリ孟買市ニ於テハ十二月十五日ヨリ一月四日ニ至ル三週間ニ二百四十五、二百三十六、及二百五十ノ患者ト百七十三、百六十八、及二百十三ノ死亡アリ其他百四十六、百四十六、及百三十七ノ「ベスト」疑似アリテ同市ノ全死亡數ハ八百六十七、八百三十二、及九百〇六ナリ「ベスト」豫防注射ハ孟買市ニアツテハ千八百九十七年十月一日ヨリ千九百〇二年一月一日迄ニ全數二十萬千九百三十四人ニ之ヲ施セリ
キヤブランド 昨年十二月二十二日ヨリ本年一月四日迄ニ三ノ「ベスト」患者(及三ノ死亡)アリテ内モツセル灣及キヤブランドニ各一「ボート」、エリザベスニ一(二)アリテ(死亡一)ハ他ノ一ヶ處ニ生セリ
亞米利加合衆國 桑港ニ於テ昨年十二月十二日一ノ新患ヲ認メタリ(衛生公報千九百二年十六頁)
布哇 ホノル、ニ於テ昨年十二月四日ヨリ二十三日迄ニ七ノ「ベスト」患者及六ノ死亡届出ラレ年末尙ホ治療中ノモノ疑似症ニアリ(衛生公報千九百二年三十頁)

第七號 (二月十二日)

英領東印度 カルカッタニ於テ昨年十二月十五日ヨリ二十一日迄ニ十五ノ「ベスト」患者及死亡アリ

土耳其 一月二十七日バグダッドニ於テ二ノ「ベスト」新患ヲ生セリ

埃及 一月二十四日ヨリ三十日迄ニタンター二十七ノ「ベスト」患者(及十七ノ死亡)報告セラレチフターニハ一(一)、アブシールニハ二(〇)、カフレナンニハ一(一)ヲ生セリ

英領東印度 一日四日ヨリ十日迄ニ孟買政廳管下ニ於テ六千〇九十八ノ「ベスト」患者及四千六百十八ノ同死亡アリ孟買市ニ於テハ一月十一日ニ終ル一週間ニ三百二十一ノ患者ト二百三十三ノ死亡アリ其他「ベスト」疑似症ノ死亡ハ百六十四ヲ算シ同市ノ全死亡數ハ八百七十六トナレリ

比律賓群島 昨年十二月一日ヨリ本年一月末迄ニ馬尼拉ニ於テ二十三ノ「ベスト」患者及四ノ死亡アリ

キヤブランド 一月五日ヨリ十一日迄ノ一週間ニ三ノ新患者届出アリ内一ハ「ボート」、エリザベスニシテ二ハモツセル灣ニアリ

布哇 昨年十二月中ホノル、ニ於テ「ベスト」患者ヲ出タシ殊ニ支那人及日本人中ニ生セリ而シテ發病ハ恐ク凡テ有病鼠ヨリ感染セルモノナルヘシ

ク井スランド 二月三日ノ一報ニヨルニブリスベーンニ一ノ「ベスト」新患ヲ生セリ

英領東印度 カルカッタニ於テ昨年十二月二十二日ヨリ二十八日迄ニ二十八ノ「ベスト」患者及死亡アリ

第八號 (二月十九日)

埃及 一月三十一日ヨリ二月六日迄ニ報告セラレタル「ベスト」患者(及死亡)ハタンターニ七(六)、チフタ
ーニ一(一)、アブシールニ二(一)、コメルスルニ一(〇)ナリ

キヤブランド 一月十二日ヨリ十八日ニ至ル一週間ニハ一ノ「ベスト」患者報告セラル

英領東印度 一月十一日ヨリ十七日迄ニ孟買政廳管下ニ五千五百五十八ノ「ベスト」患者(及四千三百九十
ノ死亡)アリテ即チ前週ヨリ少キコト五百四十(二百二十八)ナリ孟買市ニ於テハ一月十二日ヨリ十八日
迄ニ百十九ノ患者ト百〇六ノ死亡アリ其他六十四ノ「ベスト」疑似死亡アリ同市ノ全死亡數ハ三百八十五
ナリ

カルカッタニハ昨年十二月二十九日ヨリ本年一月四日迄ニ二十三ノ「ベスト」患者ト二十二ノ同死亡アリ

第九號 (二月二十六日)

埃及 二月七日ヨリ十三日迄ニ報告セラレタル「ベスト」患者(及死亡)ハタンターニ六(九)、アブシール及
コメルスルニ各一(一)ナリ其外二月二十日アレキサンドリアヨリ一新患報告セラル

英領東印度 一月十八日ヨリ二十四日迄ニ孟買政廳管下ニ於テ六千六百十ノ「ベスト」患者(及四千八百六
十九ノ同死者)アリテ即チ前週ヨリ千〇五十二(四百七十九)ヲ増加セリ孟買市ニ於テハ一月十五日ヨリ
二十一日ニ至ル一週ニ三百五十八ノ患者及二百九十八ノ眞性「ベスト」死亡アリテ其他百四十二ノ疑似
「ベスト」死亡アリ同市ノ全死亡數ハ九百八十七ヲ算ス

マンドビー 港(孟買政廳管内)ニ於テ一月十七日十八日ノ兩日間ニ三ノ「ベスト」患者及一ノ死亡ヲ發セリ

カルカッタニ於テハ一月五日ヨリ十一日迄ニ四十ノ「ベスト」患者ト三十六ノ死亡アリ

マウリチウス 昨年十二月六日ヨリ本年一月九日ニ至ル五週間ニ於ケル「ベスト」數ハ患者四十二、四十六
三十八、三十七、及死亡二十五、二十一、二十三、二十二等ナリ

キヤブランド 一月十九日ヨリ二十五日迄ノ一週間ニハ「ベスト」ノ新患及死亡ノ届出ナカリシモ二月中旬

キヤブスタットヨリ遠カラサルソマーセットウエストナル地ニ一ノ「ベスト」ヲ生セリ

ブラジル リオ、ドウ、ジャニールニ於テハ昨年十二月二十六日ヨリ本年一月二十五日迄ニ四十二ノ「ベ
スト」患者及二十ノ同死亡アリ

カムホスニ於ケル「ベスト」流行ハ一月二十八日ノ一報ニヨレハ終熄セルモリオ、ドウ、ジャニール州中
他ノ各處ニ於テハ當尙ホ「ベスト」ノ散在性ニ發生セルアリ

第十號 (三月五日)

土耳其 一月一日ヨリ二月十日ニ至ルバグダットニ於ケル「ベスト」ノ總數ハ患者十四ニシテ死亡十ナリ

埃及 二月十四日ヨリ二十日迄ニ報告ノ「ベスト」患者(及死亡)ハタンターニ三(三)、カメルスルニ三(〇)
アレキサンドリア(前號參照)ニ一(一)ナリ

英領東印度 一月二十五日ヨリ三十一日迄ノ間孟買政廳管下ニ五千七百八十六ノ「ベスト」患者(及四千二
百八十五「ベスト」死亡)アリテ前週ヨリ少キコト八百二十四(五百八十四)ナリ孟買市ニ於テハ一月二十
二日ヨリ二十八日迄(二十九日ヨリ二月四日迄)ニ四百七十七(六百〇二)ノ「ベスト」患者及三百四十七

(五百二十六)ノ眞性「ベスト」死亡アリ全死亡數ハ千百十八(千三百十一)ニ達セリ確定「ベスト」ノ外右ノ第二週間ニ於テ尙ホ百四十九ノ「ベスト」疑似症死亡アリ

香港 昨年十月初旬以來患災ナリシ同殖民地内ニ十二月中旬一ノ「ベスト」患者ヲ生シ死亡ニ終レリ其後十二月三十一日及一月十六日ニ各一ノ「ベスト」届出テラル

キブラント 一月二十六日ヨリ二月一日ニ至ル一週間モツセル灣ニ於テ一ノ新患届出テラル
新南ウエールズ シドニーニ於テ一月十五日ヨリ二十二日迄ニ五ノ新患確定セララル

英領東印度 カルカッタニ於テ一月十二日ヨリ二十五日迄ニ百十七ノ「ベスト」患者アリテ百十一死亡セリ
第十一號 (三月十二日)

埃及 二月二十一日ヨリ二十七日迄ノ「ベスト」患者(及死亡)數ハタンターニ七(三)、アブシール、コメルスル及ミット、ガムルニ各一(〇)、チフター附近ノナイタイニ二(二)、メハレット、アブ、アリーニ一(一)等ナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テハ二月一日ヨリ七日迄ニ七千〇二十二ノ「ベスト」患者及五千二百二十四ノ死亡届出アリテ即チ前週ヨリ多キコト千〇二十一及七百九十ナリ前週間ニ於ケル有病地ハ六百八十三ヶ所ナリシモ本週間ニハ七百四十ヶ所ニ達セリ孟買市ニ於テハ二月十一日ニ終ル一週間ニ六百六十三ノ「ベスト」患者ト五百三十一ノ眞性「ベスト」死亡アリ其他二百四十三ノ「ベスト」疑似症死亡アリ
比律賓群島 馬尼拉ニ於テハ昨年六月一日以降十二月末迄ノ總數百四十八ノ「ベスト」患者及百四十三ノ死

亡報告セラル同市民ハ賞金及捕鼠器ノ無賃貸與ニヨリテ捕鼠ヲ強ヒラレ生鼠或ハ死鼠各一頭ニ二「セン」ト「半」ヲ與ヘラレ而シテ此鼠ニ就テ市細菌検査所ニ於テ往々(平均一ノ四分一%)「ベスト」菌ヲ證明シ有菌鼠ヲ出タセシ家宅ハ消毒法ヲ施セリ

キヤブラント 二月一日ヨリ八日迄ノ一週間ニ新患者ヲ生セス同週間モツセル灣ニ於テ一有色人ノ「ベスト」ニ罹ルモノアリテ同週末ニ於ケル現在治療中ノ患者ハ同殖民地ヲ通シテ四トナレリ
ツアンチバル 三月六日着ノ電報ニヨレバナイロビーニ「ベスト」ヲ發セリ
ブラヂル 三月四日ノ一報ニヨルニバラナグア港市ニ二ノ「ベスト」疑似患者ヲ發生シ同時ニ鼠族中非常ニ多數ノ斃死スルヲ見ルト

英領東印度 カルカッタニハ一月二十六日ヨリ二月一日迄ニ八十五ノ「ベスト」患者ト八十二ノ死亡アリ
第十二號 (三月十九日)

埃及 二月二十八日ヨリ三月六日迄ニ十四ノ「ベスト」患者(及六ノ死亡)アリテ内タンター及ナイタイニ各三(二)、コメルスルニ八(二)ナリトス

英領東印度 二月八日ヨリ十四日迄ニ孟買政廳管下ニ五千八百八十一ノ「ベスト」患者及四千四百〇六ノ死亡届出テラル即チ前週ヨリ著シク減少セリ然レトモバブナーガ―港市ニ於テハ前週間ニハ患者三(死亡一)ナリシカ本週間ハ七(五)トナレリ孟買市ニ於テハ二月十八日ニ終ル一週間ニハ前週ヨリ患者(及死亡共ニ)増加シ即チ七百八十八(及六百六十三)ニシテ尙二百三十ノ「ベスト」疑似症死亡アリ

英領東亞非利加 三月十一日倫敦發ノ公報ニヨレハ英國保護下ノウガンダー洲内ナルモンバツサー港ヲ距ル三百二十六英里ニシテウガンダー鐵道ニ沿ヘルナイロビーナル地ニ於テ印度苦役者及少數ノ亞非弗加土人中ニ「ベスト」ヲ發生セリト(前號ツアンチバルノ報告參照)

英領東印度 カルカツタニ於テハ二月二日ヨリ八日迄ニ百四十三ノ「ベスト」患者ト百二十四ノ死亡アリ

第十三號 (三月二十六日)

埃及 三月七日ヨリ十四日迄ニ九ノ「ベスト」患者(五ノ死亡)報告セラレケネー附近ノデケネーニ四(二)、コメルヌルニ三(二)、タンターニ一(一)、及アブシールニ一コレナリ

英領東印度 二月十五日ヨリ二十一日迄孟買政廳管下ニ於テ七千五百十二ノ「ベスト」患者及五千三百六十六ノ死亡届出テラル前週ニ比シテ千六百三十一及九百六十ヲ増セリバブナガー港市ニハ患者十三ニシテ死亡六アリ孟買市ニ於テハ二月二十五日ニ終ル一週間ニ九百五十九ノ新患ト七百〇一ノ確定「ベスト」死亡アルノ外二百五十六ノ「ベスト」疑似症死亡アリ

ホルバンダー(孟買政廳管下ノ一港)ニ於テ二月十七日二ノ「ベスト」患者及ヒ一ノ死亡届出ラレタゴン港ベンガルン政廳管下ニハ二月十九ト二十二日ニ各一ノ「ベスト」ヲ生セリ

マウリチウス 一月十日ヨリ二月七日ニ至ル四週間ニ於ケル「ベスト」ハ患者二十七、十四、十二、十三、及死亡二十一、七、九、八、等ナリ

キヤブランド 二月八日ヨリ十五日ニ至ル一週間ニハツママーセツト、ウエストニ一ノ死亡ニ終レル「ベ

スト」(第九號參照)アリ二月二十二日ニ終ル一週間ニハ公報上一ノ新患ヲ生セス

ブラヂル リオ、ドウ、ジャニロー(第九號參照)ニ於テ一月二十六日ヨリ二月二十五日迄ニ九ノ「ベスト」死亡及八ノ新患アリブラヂル中ノ他ノ各流行地ニ於ケル疫勢二月二十六日ノ報告ニヨレハ減退或ハ消滅セリ

三月十七日リオ、ドウ、ヂヤニローノ市及港ハ無病地ト公認セラレタリ

新南ウエールス シドニーニ於テハ一月八日ヨリ十二日迄ニ五ノ「ベスト」新患ヲ生セリ尙ホ其前ニ於ケル公報ニヨレハコレヨリ先キ昨年十一月十四日以来ニ總數十二ノ「ベスト」アリキト公設ノ捕鼠隊ヲ設ケ尙各個人ヨリ差出セル鼠ニ對シテ賞與シ多數ノ鼠族棲息スル下水渠中ニハ薰烟ヲ行ヘリ

クキンスランド 二月ノ第一週間ブリスベーンニ二ノ新患アリ内一ハ已ニ報告セラレタルモノ(第七號參照)ニシテ輕症ヲ以テ經過シ一ハ死亡セリ

グラツドストンニ於テ死亡セル「ベスト」疑似患者ハ其死因「ベスト」ニ非ラスト決定セラレタリ

英領東印度 カルカツタニ於テ二月九日ヨリ十五日迄ニ百四十ノ「ベスト」患者ト百二十ノ死亡アリ

第十四號 (四月三日)

埃及 三月十四日ヨリ二十一日迄ニ八ノ新患(二ノ死亡)アリテ内コメルヌルニ四(一)、ペンナーニ三、ナイタイニ一及デケネーニ〇(一)等コレナリ

キヤブランド 三月一日ニ終ル一週間ニハ前週ニ於ケル如ク「ベスト」死亡又ハ新患者ヲ生セス

英領東亞非利加 三月二十五日ノ電報ニヨレハウガンダー洲ニ於テハ三月二十二日迄ニ總數四十ノ「ベスト」患者及十五ノ死亡アリテ同日以後新患ヲ生セサルカ如シト

クキンスランド 二月第二週ノ間ニハブリスベーンニ新患アリテ内一ハ死亡セリ

英領東印度 カルカツタニ於テハ二月十六日ヨリ二十二日迄ニ二百〇一ノ「ベスト」患者及百七十六ノ死亡アリ

第十五號 (四月十日)

埃及 三月二十一日ヨリ二十八日迄ニ二十二ノ「ベスト」新患(及十一ノ死亡)アリテ内デケネーニ十六(九)ペンナーニ二(一)、コラチー(ガルビー洲)ニ二(一)、及アブシール及コメルスルニ各一(〇)アリ

亞典 三月六日亞典港市ニ於テ一男子ノ「ベスト」ニ斃レタルモノアリコハ伊太利濱船ノ下等旅客ニシテ四日前「ベスト」ノ疑ヲ以テ同港ニ於テ上陸セシメタルモノナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ二月二十二日ヨリ二十八日迄ニ八千七百〇五ノ「ベスト」患者(及六千三百二十一ノ死亡)三月一日ヨリ七日迄ニハ七千六百七十一(五千九百〇四)アリバブナーガール港市ニハ此兩週間ニ五十二(三十)ヲ生セリ孟買市ニ於テハ三月四日及十一日ニ終ル兩週間ニ千〇〇三及千〇二十六ノ新患者ト八百五十六及八百九十二ノ死亡アリ其他右ノ第二週間ニハ二百三十三ノ「ベスト」疑似症死亡アリ同市ノ全死亡數ハ二月十八日ニ終ル一週間ニハ千五百十六ニシテ一月ノ最末週間ニハ千百十八ナリシガ徐々ニ増加シテ三月十一日ニ終ル一週間ニハ千七百九十トナレリ然カモ昨年ノ該當週間ノ全死亡數

(二千四百九十)ニ達セサルコト尙ホ遠シ

英領東亞非利加 ナイロビーニ於テハ三月十日ノ報告ニハ只タ黑人及印度人ニ「ベスト」ヲ發セリト云ハレシモ此疫ノ發生前數千ノ鼠族斃死セシコトアリト云フ尙ホ本病ノ侵來ハ恐ク亞非利加内地ニ於ケル「ベスト」窟ブカボー邊ヨリセシモノナラント

ブラジル 三日八日ノ一報ニヨレハバラナグア(第十一號參照)ニ於テ「ベスト」疑似症狀ヲ以テ突然死亡セシモノ五アリ鼠族ノ斃死バ尙ホ依然タリト又四月二日ヘルナンブコーニ於テ「ベスト」ノ散在性ニ發生セルコト報告セラル

クキンスランド 一月二十七日ニ於テ「ベスト」ノ第三回發生以來二月二十二日迄ニブリスベーンニ於テ公報セラレタル「ベスト」患者十ニシテ内四死亡セリ諸般ノ豫防法ハ持續的ニ實施セラレ殊ニ多數ノ鼠族ニ對スル驅除法ニ特別ノ力ヲ盡セリ

四月二日タウンズビルレニーノ「ベスト」患者報告セラル

英領東印度 カルカツタニハ二月二十三日ヨリ三月一日迄ノ一週間ニ四百十五ノ「ベスト」患者ト三百四十九ノ死亡アリ

第十六號 (四月十六日)

埃及 三月二十八日ヨリ四月三日迄ニ十二ノ「ベスト」新患(及九ノ死亡)アリテ内コメルスルニ五(二)、ペンナーニ三(三)、デケネーニ三(四)、カーキー洲ノセプランガーニ一(〇)ナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニハ三月八日ヨリ十四日迄ニ七千六百十ノ「ベスト」患者（前週間ノ患者數ハ其後七千七百七十一ト訂正報告セラル）及五千七百九十六ノ死亡アリ孟買市ニ於テハ三月十八日ニ終ル一週間ニ九百七十四ノ新患及七百四十三ノ死亡ノ他二百五十四ノ「ベスト」疑似症死亡アリ全死亡數ハ千五百七十九ニシテ前週ヨリ二百十一テ減セリ

三月十五日ブルマノバツセイノ「ベスト」報告セラレ此患者ハ汽船ニヨリテカルカッタヨリアキヤブニ來港セルモノナリ

ギヤブランド 三月三十一日ボート、エリサベスニ二ノ「ベスト」患者ヲ生シ次テ眞性トシテ公然確定セラレタリ

英領東亞非利加 三月三十日ノ電報ニヨルニ英國保護區内ニ於ケル「ベスト」ノ總數ハ患者四十三ニシテ死亡七十七ナリ

ブラジル リオ、ドウ、ヂヤニー、市及附屬港ハ二十日以來患者ヲ發生セサルヲ以テ三月十七日長官ノ名ヲ以テ發セラレタル訓示ヲ以テ健康地ト認定セラレタリ

バラナグラ（第十五號參照）ニ於テ三月六日及十日ニ二名ノ「ベスト」疑似患者ヲ發シ内六日發病セルモノハ八日ニ死亡セリ三月初旬以來同地ニ於テ衛生會長ハ「ベスト」ノ豫防注射ヲ強制施行セリ三月六日ノ一報ニヨルニボート、アレグルニ於テハ總計約四十人ノ「ベスト」患者ヲ生シ約四十人死亡セリ然レトモ二月二十四日以來一ノ疑似症ヲモ發セス且ツ同市ノ一般衛生狀態ハ決シテ不良ニ向ヘルコトナシト

新南ウエールス 公報ニヨルニシドニ（第十三號參照）ニハ二月八日、十五日、二十二日、ニ終ル三週間ニ於テ四、五、九、ノ「ベスト」患者ヲ生シ内死亡セルモノハ凡テ六ナリ二月最末週間ニハ十七ノ新患ト六ノ死亡ヲ出タセリト

クキンスランド 三月一日ニ終ル一週間ニプリスパーンニ於テ三ノ「ベスト」患者及一ノ死亡アリ

英領東印度 カルカッタニハ三月二日ヨリ八日迄ニ五百十九ノ「ベスト」患者ト四百六十二ノ死亡アリ

第十七號（四月二十三日）
埃及 四月四日ヨリ十日迄ニ二十一ノ「ベスト」新患（十三ノ死亡）アリテ内十一（七）ハデケネーニ（一）ハベンナーニ、六（五）ハカフルラビー（メンフイー洲内）ニ、一ハエクワ（同洲）ニ生セリ四月十六日ノ電報ニヨルニアレキサンドリヤニ於テ二患者ヲ生セリト

英領東印度 孟買政廳管下ニハ三月十五日ヨリ二十一日迄ニ五千八百五十二ノ「ベスト」患者及四千三百九十四ノ同死アリテ前週ヨリ著シク減少セリ孟買市ニ於テハ三月二十五日ニ終ル一週間内ニ八百五十三ノ新患ト七百五十一ノ死亡ノ外二百八十七ノ「ベスト」疑似症死亡アリ

香港 二月及三月上半ニ於テ香港殖民地内ニ各一「ベスト」患者届出テラレ兩者共ニ死亡セリ

マウリチウス 二月七日ヨリ三月六日ニ至ル四週間ニ於ケル同島上ノ「ベスト」ハ患者十五、十三、七、十九、及死亡九、十一、三、五等ナリ

キヤブランド キヤブスタットノ一新聞紙ノ報スル處ニヨレバ三月二十日グラーフ、ライネットニ於テ一

支那人「ベスト」疑似症ニ罹リ該患者ト觸接セル二人ト共ニ直ニ病舎ニ隔離セラレタリト

英領東亞非利加 四月十五日ノ一電報ニヨルニ三月三十日以後四月十四日迄ニ英國保護領内ニ更ニ十ノ

「ベスト」患者ト二ノ死亡ヲ生セリト、ナイロビ(第十五號參照)ニ於テハ三月二十四日迄ニ四十ノ「ベ

スト」患者アリテ内十五ハ死亡セリトノ一報アリ、鐵道ノ工場及小屋中ニ鼠族ノ斃死セルヲ發見シ陸軍假

舎ニ於テモ亦然リモンバツサハ三月十九日迄ハ未タ「ベスト」ナキモ危險ノ切迫セルカ如シ

ブラジル 三月二十二日ノ一報ニヨレハ巴拉ナダニアハ三月十二日ニ最終ノ「ベスト」疑似症アリシ以來患

者ヲ發セス

クキンスランド 二月二十四日ノ一公報ニヨルニ一月二十七日以降二月二十二日迄ニ總計十一ノ「ベスト」

患者アリテ内四ハ死亡シ二月二十四日尙ホ治療中ノモノ六アリ「ベスト」感染ノ虞アリトシテ隔離監察セ

ラレタルモノ八十五人ニシテ内二ノ「ベスト」ヲ生セリ一月二十七日以後報告セラレタル患者ハ凡テプリ

スペインニ生セルモノ、ミナリ、二月二十四日ヨリ三月八日迄ニハ尙ホ五ノ新患者及一ノ死亡届出テラ

ル

英領東印度 カルカッタニハ三月九日ヨリ十五日迄ニ五百三十九ノ「ベスト」患者ト五百〇一ノ死亡アリ

第十八號 (四月三十日)

埃及 四月十一日ヨリ十七日迄ノ間アレキサンドリアニ二患者(前號參照)アリシ外デケネーニ十二(七)、

タンターニ一(〇)、メンファイ洲ノタラー區ニ九(四)、ダカリー洲ノミット、サンマヌド區内ニ四(一)

ミット、ガムルニ一(一)及ヒシエブランガーノミナ、エル、ガム區内ニ一ノ新患(一ノ死亡)アリ

スエスヨリノ公報ニヨレハ三月二十三日カルカッタヲ發シ三月二十九日古倫僕ニ寄港セン一獨逸汽船ノ

四月十七日スエズニ到着セル際該船中ニ一水夫ノ「ベスト」疑似症ニ罹レルヲ發見セリ而シテ該船ハ定規

ノ消毒及停船ニ處セラレタリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ三月二十二日ヨリ廿八日迄ニ五千七百七十三ノ「ベスト」患者ト三千九百三

十三ノ死亡アリテ前週ヨリ少キコト患者六百七十九、死亡四百六十一ナリ孟買市ニ於テハ四月一日ニ終

ル一週間ニ千〇七十六ノ新患及九百〇九ノ死亡ノ外二百七十六ノ「ベスト」疑似症死亡アリ同週間ノ全死

亡數ハ千九百〇二ニシテ前三週間(平均千六百八十二)ノ何レニ比スルモ著シキ増加ヲ示セリ公報ニヨル

ニベラワル港市ニ於テハ三月十二日及十三日ニ十一ノ「ベスト」患者及八ノ死亡ヲ出セシカ三月二十一日

及二十八日ニ終ル兩週ヲ通シテ「ベスト」患者二百七十七ニシテ死亡百六十五ナリ三月二十一日ノ公報ニヨ

レハチツタゴン港ニハ「ベスト」患者ノ發生終熄セリト

英領東亞非利加 四月二十一日ノ電報ニヨレハ保護領内ノ「ベスト」總數ハ患者五十七及死亡十九ナリト

アルゲンチニア 四月十五日ノ電報ニヨルニビユース、アイレスニ少數ノ「ベスト」疑似患者ヲ生セリト

ブラジル 四月六日ノ報告ニヨレハベルナンブコニ於ケル「ベスト」發生(第十五號參照)ハ官ノ確認スル所

トナルモ只タ散在性ニ發病スルノミナリト

クキンスランド 三月九日ヨリ二十二日迄プリスペインニ於テ十三ノ「ベスト」新患者及二ノ死亡届出テラ

ル三月一日ノ公報ニヨルニ當時治療中ノ患者ハ八ニシテ其他感染ノ危険アリトシテ隔離監察中ノモノ百
人アリ内三名ニ「ベスト」ヲ發セリ

英領東印度 カルカッタニハ三月十六日ヨリ二十二日迄ニ四百四十五ノ「ベスト」患者ト四百二十ノ死亡ア
リ

第十九號 (五月七日)

埃及 四月十八日ヨリ二十四日迄ニ報告セラレタル「ベスト」患者二十二(死亡十二)ニシテ内メンファイ州
ノタラー區ニ七(四)、ガービー州ノタンターニ五(二)、デケネーニ四(三)、ダカリー州ノミット、サマ
スド區ニ四(一)、ガリンビー州ノベンナーニ一(一)、ダカリー州ノミットガムル區ニ一(〇)等ニシテ一
死亡ハアレキサンドリアニ於テ四月十九日ニ生セリ但シ同市ニハ一モ新患者ヲ生セス

英領東印度 孟買政廳管下ニハ三月二十九日ヨリ四月四日迄ニ五千五百八十七ノ「ベスト」患者及四千二百
四十五ノ同死亡届出アリテ之ニ次ク四月十一日ニ終ル一週間ニハ四千〇二十六ノ患者ト三千〇九十三ノ
死亡届出アリベラバル港ニハ右二週間ニ五百八十九ヨリ少ナカラサル患者及三百九十六ヨリ少カラサル
死亡アリ

孟買市ニ於テハ四月八日ニ終ル一週間ニ千〇五十七ノ「ベスト」新患者及八百三十ノ死亡ノ外二百四十ノ
「ベスト」疑似症死亡アリ同市ノ全死亡數ハ該週間ニハ再ヒ減退シテ千六百七十六(死産ヲ算セス)トナレ
リ

キヤプランド 公報ニヨルニ三月二十九日ニ終ル一週間ニ一有色人ノ「ベスト」新患者生セリグラブ、ラ
イ子ツトニ生セシ支那人ノ疑似「ベスト」(第十七號參照)ハ非定セラレタリ三月二十九日以後ニアリテハ
ボート、エリサベスニ於テ二患者(第十六號參照)ノ認メラレタルノ外三月三十一日以後四月九日迄未タ
新患者ヲ發生セス

亞米利加合衆國 桑港ニ於テ二月二十二日一ノ「ベスト」患者及一死亡ヲ見タリ(衛生官報六十八頁)

英領東印度 カルカッタニ於テ三月二十三日ヨリ二十九日迄ニ五百九十七ノ「ベスト」患者ト五百五十ノ死
亡アリ

第二十號 (五月十四日)

埃及 四月二十五日ヨリ五月一日迄ニ二十二ノ「ベスト」新患者(及十三ノ死亡)アリテ内アレキサンドリアニ
二(一)、ミニ州ノマガバー區ニ十二(五)、ガリンビー州ノベンナーニ二(一)、メスフイー州ノタラー
區ニ二(〇)、ガービー州ノタンターニ一(二)、ダカリー州ノミット、サマスド區ニ一(二)、ケチー州ノ
デケチーニ一(一)、ベニー、マザー區ニ一(一)等ナリスエスヨリノ公報ニヨレハ四月二十五日孟買ヨリ
スエスニ來着セル英國汽船ビクトリア號中ニ「ベスト」疑似症ニ罹レルモノ一人アリテ直ニ隔離セラレタ
ルモ四月二十五日失踪セリ患者恐ク自ラ海中ニ身ヲ投シタルモノナルヘシ而シテ必要ノ消毒及停船法ハ
實施セラレタリ

英領東印度 孟買政廳管下ノ一港ラトナジリニ三月十八日一「ベスト」ヲ生シ死亡セル旨報告セララルアキヤ

ズニ於テハ「ベスト」消滅セル旨四月十二日ヲ以テ報告セラル

比律賓群島 二月九日ヨリ二十二日迄ニ馬尼拉ニ二患者アリテ共ニ死亡セリ(衛生官報九百〇二頁)

キヤプランド 公報ニヨルニ四月五日ニ終ル一週間同殖民地内ニ「ベスト」病ノ死體ニヲ發見シ十二日ニ終ル一週間ニハ三ノ「ベスト」患者ヲ生シ三ノ死亡ヲ出タセリ是等ノ新患者及疑似症患者ハ凡テホート、エリザベスニ發セルモノナリ

英領東亞非利加 五月二日迄ニ保護領内ニ總數六十一ノ「ベスト」患者及十九ノ死亡アリ

クキンズランド 公報ニヨルニ三月二日ヨリ十五日迄ギリスペーンニ於テ十二ノ「ベスト」患者及二ノ死亡アリギリスペーン以外ニハ「ベスト」ヲ生セス

四月五日ニ終ル一週間ギリスペーンニ四ノ「ベスト」新患及三ノ死亡アリタウンスビルレ(第十五號參照)ニ一ノ新患ヲ生セリ

英領東印度 カルカッタニハ三月三十日ヨリ四月五日迄ニ六百八十九ノ「ベスト」死亡者アリ

第二十一號 (五月二十二日)

埃及 五鼠二日ヨリ八日迄ニ二十二ノ「ベスト」患者(及十一ノ死亡)ヲ生シ内ガリンビー州ノツクローニ十(三)、デケネーニ五(四)、マガー郡ニ三(〇)、タラー郡ニ一(二)、アレキサンドリア 二(一)及メヌフイー州ノアクムンニ一(一)等コレナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ四月二十五日ニ終ル一週間ニ二千九百四十五ノ「ベスト」患者(及二千三

百八十二ノ死亡)届出アリ内孟買市ニ於ケルモノハ六百五十九(五百八十九)ナリ

マウリチウス 三月七日ヨリ四月十日迄ノ五週間ニ於ル同島上ノ「ベスト」ハ患者十、六、五、〇、三ニシテ死亡七、三、四、〇一等ナリ

英領東亞非加 五月三日ヨリ十二日迄ノ間ニ保護領内ニ二ノ「ベスト」患者及一ノ死亡アリ

キヤプランド 公報ニヨルニ四月十九日ニ終ル一週間ニハホート、エリザベスニ一ノ新患アルノミニシテ死亡者ナシ

亞米利加合衆國 四月廿日桑港ニ「ベスト」ノ一患者及一死亡アリ(衛生官報九百四十三頁)

アルゲンチニア ビュロース、アイレスニ於ケル一新聞紙カ四月十五日報スル處ニヨレハ四月十四日八患者ノ避病舎ニ送ラレタル後尙ホ同地ニ「ベスト」ノ發生アリト又公報ニ徵スルモ已ニ以前ヨリ散在性ニ港邊ニ於テ「ベスト」ノ發生セルモノアリト「ベスト」患者ヲ出セシ住居ハ凡テ木造ニシテ多數ノ鼠族潜伏シ且ツ甚タ不衛生ノ狀況ニアリ内務大臣ハ衛生官ニ命シテ「ベスト」豫防撲滅ニ關スル各手段ヲ實施セシメ殊ニ港邊ノ鼠族驅除ヲ勵行セシメタリ

ブラジル ヘルナンブコー衛生官ノ公報ニヨレハ同地ニハ三月廿八日ヨリ七月三十日迄ニ百〇八ノ「ベスト」患者及ヒ七十一ノ死亡届出テラレタリト

クキンズランド 公報ニヨルニ三月十六日ヨリ二十九日迄ニ七ノ「ベスト」患者及一ノ死亡アリギリスペーンニ於テハ市内各部ヨリ近部落迄「ベスト」鼠ヲ發見セリ

第二十二號 (五月二十八日)

埃及 五月九日ヨリ十五日迄ニ三十三ノ「ベスト」新患(及二十ノ死亡)届出アリテ内ミニー州ニハ十七(九)即チサマルト區ニ十三(八)、マガラー區ニ三(一)、及ヒベニー、マザー區ニ一(〇)等、メスフイ州ニハ九(六)即チメスフ區ニ五(三)、アクムン區ニ三(二)、及ヒタラー區ニ一(一)等ガリンビー州ノツターニ四(三)、ダミートニ二(二)、及ヒアレキサンドリアニ一(〇)等コレナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニ於テ五月二日ニ終ル一週間ニ千八百四十五ノ「ベスト」患者(及千五百三十一ノ死亡)アリ内孟買市ニハ四百七十(四百八十六)、カラチー市及港ニハ百二十一(百〇八)アリ前週ニ比シテ全管内ノ「ベスト」數患者ニ於テ千百、死亡ニ於テ八百五十一ヲ減セリ

比律賓群島 三月一日ヨリ十五日迄馬尼拉市ニ於テ一支那人「ベスト」ニ斃レタルアリ

英領東亞非利加 五月十九日ノ電報ニヨレハ其前一週間ニハ「ベスト」新患者ヲ生セスト

キヤブランド 公報ニヨルニ四月二十六日ニ終ル一週間三ノ「ベスト」新患アリテ凡テホート、エリザベスニテ歐羅巴人ノミナリ同週間死亡セルモノナシ

英領東印度 カルカッタニハ四月六日ヨリ十二日ニ至ル一週間ニ六百〇三ノ「ベスト」死亡アリ

第二十三號 (六月四日)

英領東印度 四月十八日ラングーンニ於テ「ベスト」ノ公報セラル、アリ該患者ハカルカッタヨリ汽船ニ乗シテ來ルモノナリ

孟買政廳管下ニハ五月九日ニ終ル一週間ニ千二百九十五ノ「ベスト」患者(及千〇九十六ノ死亡)届出テラレ内孟買市ニハ四百十七(三百九十一)カラチー市及港ニハ百四十四(百二十二)アリ前週ニ比シテ全管内ノ「ベスト」數患者ニ於テ五百五十、死亡ニ於テ四百三十五ヲ減セリ

香港 三月三十日ヨリ四月十九日迄ニ支那人九、及葡萄牙人三ノ「ベスト」ニ罹レルアリ此届出患者十二中十一ハ死亡セリ

キヤブランド 五月三日ニ終ル日間ニハ「ベスト」ノ新患又ハ死亡ノ届出テラレタルモノナシ五月三日尙治療中ノ患者ハ四月二十六日ノ現在ト同シク六ニシテ内五ハ歐羅巴人一ハ土人ナリ而シテ凡テホート、エリザベスニアリ五月七日ニ至リホート、エリザベスニ一ノ「ベスト」新患ヲ土人中ニ發生セリ

アルゲンチニア 四月十九日以後四月二十六日迄ハビュロース、アイレスノ新聞紙ニ「ベスト」新患ノ載セラレタルモノナシ

バラグワキ ビュロース、アイレスヲ發シ一ノ中間港ヲ經テ四月十六日アサンシオンニ來着セル汽船中ニ於テ一患者ヲ生シ細菌學的検査ニ依テ「ベスト」ト決定セラレタリ患者ハ直ニ避病船ニ移シ汽船ハ停船ニ處セラレタリ

布哇 四月十九日ヨリ二十九日迄ニホノル、ニ於テ散在性ニ「ベスト」ヲ生セリ(衛生官報千五百一十一頁)

新南ウエールズ シドニーニ於テ昨年十一月「ベスト」ノ再發セシ以來本年四月二十日迄ニ公報セラレタル患者數ハ百ニシテ内二十六ハ死亡シ三十七ハ治愈シ四月二十一日尙治療中ノモノ三十七アリシドニー

動物園ニ於テ斃レタル「ウオルラビー」(獸名)ヲ檢シテ「ベスト」菌ヲ發見セリ蓋シ有袋獸體中ニ本菌ヲ發見セル嚙矢ナラン

クキンスランド 公報ニヨルニ三月三十日より四月十二日迄ニ九ノ「ベスト」患者及五ノ死亡アリ四月十二日迄ノ患者總數四十二中四十ハブリスペンニシテ其他ハローワード及タウンズビルレニ各一ナリ就中タウンズビルレノモノハシドニ一若クハブリスペンヨリ潛入セルモノナリ四月十九日ニ終ル一週間ニハブリスペンニ四ノ新患及一ノ死亡アリ

西澳斯太利亞 殖民地政府ノ報告ニヨレハ五月二十六日フリーマンテルニ「ベスト」ヲ發生セリ

英領東印度 カルカッタニハ四月十三日より十九日ニ至ル一週間ニ五百八十八、二十日ヨリ二十六日ニ至ル一週間ニ五百七十七ノ「ベスト」死亡アリ

第二十四號 (六月十一日)

土耳其 エルゼルムノ總督ハ五月十八日ヲ以テバヤチツド近傍ニ生セル患者ハ「ベスト」ニ非ラスシテ醫師ノ診定上流行性感胃及腸窒扶私ナルヲ告示セリ

埃及 五月十六日より二十二日迄ニ三十二ノ「ベスト」新患(及二十一ノ死亡)届出テラレ内サマルト區ニ九(三)、アレキサンドリアニ七(三)、ベハラ州ノダマースル區ニ五(五)、ツクニ五(三)、アクムンニ三(一)、タラー區ニ二(二)、メヌフ區ニ一(一)、及マガガーニ〇(一)アリ
五月二十三日ヨリ二十九日迄ニ十六ノ新患(及十ノ死亡)アリテ内アレキサンドリアニ四(三)、サマルト

區ニ五(三)、ツクニ三(三)、ベニー、マザー區ニ一(一)及ダミーテ、ベハラ州ノダマースル、メヌフ

イ一洲ノクイヌナ等ニ各一(〇)等ナリ

英領東印度 孟買政廳週報ニヨルニ五月十六日ニ終ル一週間ニ孟買市ニ於テ三百十一ノ「ベスト」患者(及三百ノ死亡)、カラチー市及港ニハ七十一(六十五)ノ届出アリ印度政府公報ニヨルニラングーンニハ五月一日以後「ベスト」ヲ生セスト

マダガスカル 五月十九日より二十七日迄ニマジヤンガーニ八ノ「ベスト」患者ヲ生シ内四ハ死亡ノ轉歸ヲ取レリ公報ニヨルニ島廳ハ本病蔓延ヲ防禦スル爲メ諸般ノ豫防法ヲ實施セリト

クキンスランド 四月二十六日ニ終ル一週間ブリスペンニ七ノ「ベスト」新患者及一ノ死亡公報セラル
英領東印度 カルカッタニハ四月二十七日ヨリ五月三日迄ニ四百四十一ノ「ベスト」死亡アリ

第二十五號 (六月十八日)

佛蘭西 六月十日カルカッタヨリドウンキルヘン港ニ來着セル英國漁船シチー、ヲブ、パース號中ニ於テ十一日二人ノ「ベスト」死亡者アリ

埃及 五月三十日より六月五日迄ニ届出ノ「ベスト」ハ患者七(死亡二)ニシテ内チサマルト區ニ三(一)、ツクニ三(〇)、タンターニ一(〇)及アレキサンドリアニ〇(一)等コレナリ

英領東印度 マドラス政廳管下ノ南キヤナラ區ノ一港マンガローアニ於テ五月七日及八日ニ二ノ「ベスト」患者アリ

孟買政廳管下ニハ五月二十三日ニ終ル一週間ニ七百四十九ノ「ベスト」患者(及六百〇五ノ死亡)アリ内孟買市ニハ二百(百九十一)、カラチー市及港ニハ六十五(五十三)ナリ

香港 四月二十日ヨリ五月十日迄ニ届出ノ「ベスト」ハ患者五十七ニシテ死亡四十九ナリ

英領東亞非利加 五月二十日ツアンチバルニ達セル報告ニヨルニナイロビーニ於テハ久シク中絶セシ後再

ヒ二ノ「ベスト」患者ト一死亡ヲ生セリ同地ニ生シタル「ベスト」ノ總數ハ患者六十五ニシテ死亡二十一ナリ

クキンスランド 公報ニヨルニ四月十三日ヨリ二十六日迄ニ於ケル「ベスト」ハ患者十四及死亡三ニシテ凡テプリスベーンニ生セリ

英領東印度 カルカッタニハ五月四日ヨリ十日迄ニ二百八十ノ「ベスト」死亡アリ

第二十六號 (六月二十五日)

埃及 六月六日ヨリ十二日迄ニ七ノ新患(及一ノ死亡)アリ即チサマルト區ニ四(一)、アレキサンドリアニ二(〇)、ツクローニ(〇)等ナリ

英領東印度 孟買政廳管下ニハ五月三十日ニ終ル一週間ニ六百十五ノ「ベスト」患者(及ヒ四百八十五ノ死

亡)届出アリ内孟買市ニハ百六十九(百六十六)ニシテカラチー市及ヒ港ニハ六十八(五十九)ナリ

交趾支那 四月中ハノイニ多數ノ「ベスト」ヲ生シ官ノ豫防處置ヲ施スニ至レリ

撲殺セル鼠一頭ニ對シ四仙ヲ與フルコトトシ之ニ依テ四月二十四日ヨリ三十日迄ニ六千ノ鼠ヲ得タリ

マウリチウス 四月十三日ニ一ノ「ベスト」患者及一ノ同死亡アリシ以後五月八日迄同島上ニ「ベスト」ノ一患者ヲモ發生セス

キヤブランド 五月十日及十七日ニ終ル兩週間ニ於テ三ノ「ベスト」患者及三ノ死亡公報セラル此等ハ凡テ

ポート、ユリサベスニ生セルモノニシテ死亡者中ニハ土人ノ死後ニ至リ發見セルモノナリ

クキンスランド 五月十日ニ終ル一週間ニ九ノ「ベスト」新患者及四ノ死亡届出アリ

英領東印度 カルカッタニハ五月十一日ヨリ十七日ニ至ル一週間内ニ二百〇九ノ「ベスト」死亡アリ

○佛國衛生事務報告並佛國殖民傳染病報告

目次

緒論

一 衛生概況

飲料水供給

不完全ナル飲料水供給

改良方法ニ依ル飲料水供給

變敗物ノ排泄

保健

- 二 公衆衛生會議
- 三 防疫事務
 - 流行性疾患ノ届出
 - 檢疫醫員
 - 傳染病
 - 腸窒扶斯病
 - 赤痢病
 - 虎列刺病
 - 實扶的利亞病
 - 發疹熱
 - 其他ノ傳染性疾患
 - 消毒
 - 隔離
- 四 縣立又ハ市町村立衛生事務所特別組織
 - 希望
 - 實驗所

種痘事務所

實扶的利亞治療血清貯蓄所

衛生局及ヒ其他ノ組織

要求

結論

千八百九十九年佛國殖民地ニ於ケル傳染病報告

博士ブルジ氏調査千八百九十九年第三期各郡ニ於ケル衛生事務報告

(千九百年三月十九日報告)

抑モ當該官廳ハ各郡ニ於ケル衛生事務施行ニ關スル報告制度ノ目的ニ關シ千八百九十九年六月十日省議ヲ以テ之レヲ説明セリ該省議ニ依リテ公衆ノ健康ヲ保護スルカ爲メ各種ノ衛生事務(衛生會議傳染病ニ關スル事務傳染性疾患ノ届出傳染病豫防事務等)ヲ嚴格ニ施行スルヨリシテ生スル重要ナル事項ヲ示シ又佛國公衆衛生諮問委員會ノ要求ニ依リ中央行政官衙ニ其事務ヲ直接且永久ニ附屬セシムルノ利益ヲ示シ府縣知事及ヒ郡長ニ對シ其管轄スル各郡ニ於ケル衛生ニ關スル各種ノ事務ヲ司トリ各期ノ終ニ其取扱ヒタル問題施行シタル業務及ヒ其成績ニ關シ簡單ナル報告書ヲ提出スルコトヲ命セリ而シテ衛生諮問委員會ハ此ノ報告書ヲ集メ既定ノ問題ニ適スル報告書ヲ編輯スル材料ト爲スモノトス

府縣知事及ヒ郡長ハ此ノ省議ニ從ヒ千八百九十九年第三期ノ爲メ簡明ナル報告書ヲ編輯セリ而シテ此報告

書ハ佛國衛生諮問委員會ニ提出シ之レヲ説明セリ

各府縣又ハ各郡ハ公共救濟制度及ヒ公衆衛生制度ノ方針ニ從ヒ報告書ニ記載スヘキ重要ナル事項ニ關スル命令ヲ記載スル帳簿ヲ受ク此等ノ命令左ノ如シ

第一 衛生ニ關スル一般狀況(飲料水ノ供給變敗物ノ排泄、保健 水流ニ關スル計畫又ハ其攻究中ノ計畫)

第二 公衆衛生會議(開會ノ時日、討議問題、繼續期間)

第三 流行病ニ關スル事務(檢疫醫員、傳染病ノ發生、其原因、其傳播、其措置ニ關スル指示事務施行スル概況、傳染性疾患ノ場合ニ於ケル届出、醫員協議會、隔離ノ措置、消毒事務等)

第四 特別視察、要求又ハ發議、府縣又ハ市町村衛生事務所(實驗所種痘事務所衛生事務局等)特別組織ニ關此ノ綱目ハ豫期スル所ノ目的ニ能ク適合スル者ノ如シ而シテ之レニ依リテ研究スヘキ重要ナル事項ヲ知ラシメ同時ニ私人ヲシテ容易ニ之レヲ擴張シ其含有スル所ノ意味ヲ了解スルコトヲ得セシム

以上ノ外千八百九十九年第四期報告ノ爲メ配布シタル帳簿中ニ増加シタル事項アリ吾人ハ後段ニ之レヲ説明セントス

本報告書ハ成ルヘク前ニ掲クル綱目ニ從ヒ之レヲ編成セリ

數多ノ報告書ハ概ネ内務大臣ノ注意ニ基キ其旨趣ニ能ク適シタル方法ヲ採用シタルモノナリ然レトモ稀ニハ矛盾スルモノアルハ甚ク遺憾ナリトス而シテ「ドローム」縣ハ其四縣ノ爲メニ一部ノ報告書ヲ送附セリ其報告書中ニハ千八百九十九年六月十五日訓示ノ解釋ニ關シ一ツノ誤解ヲ爲セリ然レトモ「カンタール」縣ノ

四郡「イゼール」縣「センマルスレン」郡「ヴェルサイユ」郡ニ關シテハ別ニ報告スル所ナシ而シテ茲ニ注意スヘキ事項ハ「セーメエオトーズ」縣ハ「ヴェルサイユ」郡ノ如キ其重要ナル郡ノ衛生的狀態ニ關シ報告ノ要素ヲ蒐集シ得サルニアリ

千八百九十九年第三期「ヴェルサイユ」郡報告書ハ本報告書完成ニ際シ即チ千九百年三月九日内務省ニ到達セリ而シテ此ノ報告書中ニハ全ク飲料水供給、變敗物ノ排泄、其他ノ要求事項ニ關スル記載ヲ脱漏セリ其他各郡ヨリ内務省ニ申達シタル報告書ヲ一覽セハ中央官廳ニ對シ正確且完全ナル報告ヲ提出セントシ苦心シタル形跡アルモノ甚少シ然レトモ茲ニ各報告ノ價値ヲ指示スルコト難シ故ニ一方ニ於テハ甚タ簡單ニ失スルモノ一方ニ於テハ創意ニ係カル特別ノ記載ヲ爲スモノヲ記載スルヲ以テ満足セサルヲ得ス

「パスチア」郡(「コルス」縣)及ヒ「カンブレ」郡(「ノール」縣)ノ報告書ハ概ネ「ロンブレ」郡(「ジェルス」縣)「マメール」郡(「サルト」縣)及ヒ「ブザンソン」郡(「ツープ」縣)ノ報告書ト同一ナリ

概ネ二十個ノ郡衙ハ產タ不充分ナル報告ヲ成セリ例令ハ「ヴェルフランシユ」郡ノ報告書ニハ流行性疾患ノ届出ナシトノ記載ヲ爲シ流行病ニ關スル事務ハ等閑ニ付シタリト記載シ「センリユーク」郡及ヒ「ルーデアーク」郡(「コートジユノール」縣)ノ報告書ニハ郡長カ記載スヘキ事項ナシト記載シ「ヴェエーンヌ」郡(「イゼール」縣)ノ報告書ニハ本郡内ニ於テハ先年ニ比シ今年ハ腸窒扶斯少カリシトノ唯一ノ報告ヲ爲セリ又「フキワー」郡及「センジロシ」郡(「アリエージュ」縣)「カアン」郡「ベイユ」郡及「リジュー」郡(「カルヴ」郡)「サルターヌ」郡(「コルス」縣)「シャーチヨンシユール」郡(「コートドール」縣)「ヘリグー」郡

(「ドルドーギニ」縣)「ボーム」郡(「グープ」縣)「ミランド」郡(「ジエール」縣)「センポール」郡(「バートツポ
ル」縣)「チエール」郡(「ヒュイヅドーム」縣)「マールコン」郡及「ルーアン」郡(「ソニスエロワール」縣)「ラウキ
ル」郡(「タルン」縣)「フオンツネー」郡(「ヴァンデー」縣)「リモージュ」郡「ロシユシユール」郡及「センイリ
エー」郡(「フホートヴヒエンス」縣)ノ報告ノ如キ是レナリ

吾人ハ概評ヲ終ルニ臨ミ府縣知事及郡長ハ或ル場合ニ於テノミ檢疫醫員ニ助力シ報告書ニ之レヲ記載スル
ヲ以テ満足シ其他府縣知事及郡長ヨリ協力ヲ受ケスシテ報告書ヲ編輯スルモノアル事實ヲ特ニ注意セント
ス是レ千八百九十九年六月訓示ノ文字ト精神トニ矛盾シタルモノナリ

内務省ニ申進シタル三百五十ノ告書中五十個ノミハ特ニ記載スヘキ價值ヲ有スル報告ヲ爲シ其内八報告ハ
殊ニ有益ナルモノナリ

其報告書一覺表左ノ如シ

- 縣 名
- アルデンメ縣
- オーブ縣
- アヴィロン縣
- シャラントエレスリエール縣
- シエール縣
- コルス縣
- コートドール縣

- 郡 名
- メジエール郡
- バルシエールオーブ郡、トロワ郡
- ミロー郡、セントフリク郡
- ラロシエー郡
- セントマン郡
- カルヴヒー郡
- ベスミユール郡、ボーム郡

- ズーブ縣
- ウール縣
- ウールエロワール縣
- フヒステール縣
- ガール縣
- ジロンド縣
- エロール縣
- エントル縣
- ホートロワール縣
- ロツレー縣
- ローターガロンス縣
- ロンジエール縣
- メーヌエロワール縣
- マルヌ縣
- メイエンス縣
- ノール縣
- オワーズ縣
- オルヌ縣
- バードカレール縣
- ビレネーヅリアレタール縣
- ホートトノース縣

- ホントルリエー郡
- レザンズリー郡、ベルネー郡
- シャルトル郡
- シャートーレン郡
- ニーム郡
- ボルドー郡
- ベジエール郡、モントペリエー郡
- ルブラン郡
- フリユード郡
- オルレアン郡
- ヴェルメーヴシマールロー郡
- フロラク郡、マンド郡
- アンジエール郡、シコレー郡
- シャールロンシユールマルヌ郡、レーム郡
- シャートゴンチエコー郡
- ドンケルク郡、リール郡
- ボトヴー郡
- ドムフロン郡、モルターニギユ郡
- アラール郡
- ベルビギヤン郡
- リユール郡

サッポロ縣
セーヴル縣
ヴハール縣
ヴェンマ縣

ミヤンベリ郡
ニオール郡
ツーロン郡
シャートルロール郡、ホアチエー郡

特ニ記載スルニ足ルモノト信スル報告書左ノ如シ

「アリエー」縣「モントリユッソン」郡々長「ロザベリト」氏ノ報告書ハ「モントリユッソン」市ノ不健康ナル狀況ヲ摘示シ「ドムラ」市ニ於ケル腸室扶斯流行後引續キ施行シタル最良ナル豫防措置ヲ記載セリ

「ガール」縣「アレー」郡々長「ラルマン」氏ハ本郡ニ於ケル届出ノ殆ント絶無ナル理由ヲ説明シ「アレー」郡々立病院ニ於ケル化學及微菌學實驗所ノ業務施行ニ關シ詳シク報告ヲ爲シ又衛生的原則ヲ普及セシムル爲メ小學校々長ノ施行スルコトヲ得ヘキ職務ニ關シ其大經ヲ示セリ

「イールエウ・レーヌ」縣「モントフェール」郡ニ於テハ郡長ベシャード氏ハ專心傳染性疾患ノ豫防事務ニ從事シ「イフ・ハンジ」市ニ於テ一回ノ假痘届出ニシ真正ナル傳染病ノ存在ヲ確認シ總テノ兒童ニ對シ悉ク種痘ヲ施セリ

「ロワール・エン・スリユール」縣々知事ハ衛生的觀察ヲ爲シ不健康地ノ一例トスルニ足ルヘキ「ナント」府市ノ如キ大都府ヲ集メテ一覽表ヲ作成セリ

之ニ反シテ「ローヌ」縣知事ハ完全ナル衛生機關ヲ有シ費用ニ百萬法ヲ超過スル保健事業ヲ施行セントスル「リヨン」府ノ如キ大都府ノ狀況ヲ記載セリ

「タルン、エーロンヌ」縣「カステール・サラゼン」郡々長「ブーケーナド」氏ノ報告書ニハ本郡ノ衛生的狀態ヲ改良スル目的ヲ以テ行政官衛衛生會議及ヒ檢疫醫員ノ協力ニ依リ生シタル事項ヲ示セリ
左ノ二報告書ニハ特別ノ報告ヲ記載セリ即チ

「アルデーシユ」縣々知事「クリューシヨン」氏ハ公衆衛生事項ニ關シ能ク其職務ヲ盡シ千八百九十七年「ブリッハー」市ニ於ケル實布の痲亞流行ニ際シ熱心ニ豫防事務ニ從事シタルヲ以テ名聲ヲ博シタルモノニシテ「アルデーシユ」縣ノ衛生的狀態及ヒ本縣ニ於テ實施シタル改良事業ニ關シテ詳細ナル報告書ヲ編纂セリ而シテ吾人ハ後ニ至リテ此報告中ノ各部ニ就キ更ニ説明スル所アルヘシ今此ノ報告書ヲ一讀スルトキハ一般衛生事項ニ關シ行政的創意ヨリ生スル事項ヲ了解スルコトヲ得ヘシ

「ロゼール」縣「アルゲジョール」郡々長「ブーランジエー」氏ハ其報告書中ニ最モ不幸ナル地方ニ於テ衛生及ヒ防疫事務所ヲ組織スル方法ニ關シ有益ナル指定ヲ爲セリ而シテ委員會ヲ組織スル町村ノ各團體ニ對シ數個ノ寢床ヲ有スル病室ヲ設定センコトヲ提案シ其理由ヲ説明セリ蓋シ其病室ハ流行性疾患ノ隔離ヲ實施スル用ニ供スルモノナリ又同氏ハ赤貧ナル町村ニ於テ容易ク必要ナル衛生的措置ヲ施行スルコトヲ得セシムル爲メ公衆衛生中央金庫ヲ創設シ寄附遺贈及ヒ相互掛金ヨリ生スル資金ヲ以テ其金庫ニ供給セントスル意見ヲ發表セリ

以上述フル所ニ依リテ別ニ詳論スルノ必要ナク報告書ノ大部分ハ或ル問題ヲ解釋シ概括的觀念ヲ得ル爲メニハ其報告ノ數甚タ僅少ニ過クルコトヲ斷言スルニ憚カラサルナリ而シテ吾人ノ爲シ得ヘキ事業ハ各種ノ

特別報告ヲ蒐集シ甚タ不完全ナル説明書ヨリ抽出シテ一般的論定ヲ附スルニアリ

一 衛生概況

飲料水供給

本問ノ如キ重要ナル事項ヲ解釋スル爲メニハ報告甚タ少ナシ二三ノ報告書中ニハ本問ニ關シテ別ニ説明スル所ナシ

他ノ報告書ニハ郡ノ首府ニ於ケル飲料水ノ供給ニ關シテノミ説明スルモノアリ又數多ノ報告書中ニハ別ニ解釋ヲ付セスシテ單ニ郡内ニ於ケル供給ノ良否ノミヲ記載スルモノアリ然レトモ行政官衙町村役場及ヒ住民ハ非難スヘカラサル食料水ニアラサレハ使用セサルノ必要ヲ認ムルニ至リタルヤ否ヤヲ記載セサルハ不當ナリト云フヘシ最近數年間ニ於ケル傳染病即チ腸窒扶斯及赤痢ニ關スル研究及ヒ其病源ハ缺點アル飲料水ノ使用ニ基因スルモノトナス報告ハ多數ノ無頓着ナル者及ヒ之レヲ信用セサル者ヲシテ其流行ノ原因ヲ解セシムルニ至レリ

飲料水供給ニ關スル問題モ亦前述ノ理由ニ依リ他ノ問題ト同シク之レヲ蒐集シテ概括的ノ智識ヲ得ントスルハ到底不能ナル事項タルヲ免レス故ニ一方ニ於テハ特ニ缺點アリト見做サレタル飲料水ノ供給ヲ記載シ又他方ニ於テハ報告書ノ不完全ナルカ爲メ不幸ニシテ數多ノ缺點及ヒ遺漏ヲ生スルコトヲ注意シ而シテ現今ノ状態ヲ改良スル爲メ誠實ナル盡力ヲ爲シタル郡ヲ指定セントス

不完全ナル飲料水供給

或ル住民ハ千八百九十九年ニ於ケル夏期ノ如キ旱魃ノ時期ニ於テハ到ルトコロ溜水ヲ以テ供給用ニ供スルニ至レリ是レ「ウール」縣「ランド」縣「バックカレ」縣「レール」村高原地ノ實例ナリ而シテ實際此ノ村落ニ於テ五個所ニ堀井戸ヲ穿テ斯ノ如キ不快ノ狀況ヲ免レシメンコトヲ企ツルニ至レリ

「パッサアル」縣「ファルカルキエー」郡「アベイロン」縣「ミロー」郡「ドルドオキユ」縣「ノントラン」郡「シエール」縣「サンセール」市「ウール」縣「ボントーヅメル」市「ガール」縣「コース」地方「ロアールエーシエール」縣ノ各村落殊ニ「ブロッ」郡「ドンケルク」郡ニ於ケル數多ノ町村「オルヌ」縣「アルジャンタン」郡ノ大部分「オートソーメ」縣「グレー」郡及ヒ「ヅスール」郡ノ或ル地方ニ於テハ雨水貯蓄所ヨリ飲料水ノ供給ヲ受クルヲ原則トス

河水ニハ疑フヘキ點アリト雖トモ尙屢々之レヲ使用スルモノアリ「エンドルエロワール」縣「ツール」市ハ「シエール」河ヨリ其飲料水ヲ仰キ濾過セスシテ之ヲ使用ス「ロワルト」縣「モンタロジ」市ハ汚泥ニ漬レタル河水ヲ飯用ス「ロゼール」縣ノ大部分ハ穢レタル水流ヨリ飲料水ノ供給ヲ受ク「コギヤツク」市ハ「シヤラント」河水ヲ飲用ス而シテ此ノ河水ハ甚タ不潔ナルモノナリ「ナント」市ハ「ロツール」河沿岸ノ大都府中ノ一ニシテ不便ナキニ非ラサルモ其河水ヲ濾過スル等豫メ之レヲ清淨ナラシムコトナク飲料水トシテ直チニ之レヲ使用ス「セーメエオワース」縣ニ於テ「レンシー」地方及ヒ「モントモランシー」地方ノ町村ハ其使用スル「オワーツ」河水ノ不潔ナルコトヲ痛歎シ「メリーシエールオツーツ」河水ヲ飲料水トシテ採用セント欲シ之レヲ清淨ナラシムルコトヲ要求セリ而シテ河水ヲ濾過シ供給スルト雖トモ之レヲ使用スル住民ニ對シ

尙ホ満足ヲ與フルコトヲ得スシテ「オーク」市ハ濾過シタル「ジェル」河水ニ代フルニ水源地ヨリ飲料水ヲ引用センコトヲ要求シ「ジロンド」縣「リブールヌ」市ハ「アンデルノン」式ニ依リ濾過シタル「ドルドギユ」河水ヲ使用セサルヘカラサル不幸ヲ嘆キ堀井戸ノ利害ヲ研究スルニ至レリ

人家肥料溜、液體ノ流出ヲ防止セサル廁穴ニ接近シ不完全ニ設置シタル堀井戸ハ村落及ヒ數多ノ都府ニ於ケル飲料水ノ供給ノ方法ニシテ飲料水ニ基因スル流行性疾患ノ萌芽ノ貯藏及ヒ其養成ノ源泉タリ而シテ此ノ源泉タルヤ尙將來ニ於テ屢々見ル所ナルヘシ吾人ハ左ニ其ノ一例ヲ示スヘシ

「ソナム」縣「アミヤン」郡ニ於テ人口三百四十六人ヲ有スル村落「ブーレングヰール」ニ於テ人家ノ中央ニシテ墓地ヲ隔ツルコト僅カニ二十五「メートル」ノ場所ニ於テ穿テタル堀井戸ハ病毒ニ汚染シ腸窒扶斯ノ原因トナレリ而シテ二十七名ノ患者中ノ死者ヲ見ルニ至レリ數多ノ報告書ニ於テモ全ク之レト同一ナル實例ヲ認ムルヲ得ヘシ

蓋シ中央部ニ於テ水源ヨリ飲料水ノ供給ヲ仰クト雖トモ其ノ飲料水ノ清潔ヲ保證スルニハ充分ナラサルヘシ屢々村落ニ於テ水源ヲ得ル能ハス且ツ水カ光線ニ觸ル、ト同時ニ汚漬スルカ故ナリ「オード」縣「カステルノードリー」郡ノ「キユミア」ナル小村ニ於テ飲料水ヲ供給スル一源泉ハ其水ヲ受水盤中ニ噴出シ住民ハ此ノ受水盤ヲ洗滌器ト爲スニ躊躇セス故ニ暫時ニシテ住民十二名中五名ハ腸窒扶斯ニ罹リ其内四名ハ遂ニ死亡スルニ至レリ

或ル縣或ル郡ハ特ニ水源ニ富ムモ鑛水ヲ得ルカ爲メ概子之レヲ破壊シ或ハ不完全ナルモノト爲シ之レカ利

益ヲ享有スルコトヲ得サルニ至レリ即チ「ヒユイグドーム」縣及「アベイロン」縣「センタフリ」ク郡ノ場合是レナリ大都府モ亦此ノ危險ニ關シ充分其保護ヲ受クルコト能ハス「ハリ」府ニ於ケル腸窒扶斯ノ流行ノ如キモ亦其一證ナリ其他「ロゼール」縣「マンド」郡ノ諸村落「ホートアルブ」縣「アンブロン」市ノ爲メ記載シタル事項ノ如キモ亦飲料水引用方法ノ不完全ナル狀態ナリ

以上ハ佛國ニ於ケル缺點アル各種ノ飲料水供給ノ方法ニシテ飲料水ハ村落其他重要ナラサル土地ニ於テ各種ノ汚染ニ對シ其保護ヲ受クルコト甚タ稀ナリト論定スルヲ得ヘシ而シテ稍々重要ナル土地ニ於テ屢々同一ナル狀況アリ然レトモ是等ノ地方ニ於テハ甚タ不完全且ツ變更シ易キ方法ナリト雖トモ尙之レカ保護ヲ爲セリ又大都府ト雖トモ悉ク其住民ニ對シ非難スヘカラサル飲料水ノ供給スルコトヲ得サルナリ

各ク清潔ナル飲料水ニ非ラサレハ使用セサル觀念カ殆ント普及シタル今日ニ於テ尙斯ノ如キ缺點アル狀態ノ永續スルハ如何ナル原因ニ歸スルカ佛國ニ於ケル或ル地方ハ體カニ物理的及ヒ地理的状態上良質ノ飲料水ヲ供給セントスルハ殆ント絶對的不能ノ狀況ヲ有スルモノアリ斯ノ如キ地方ハ土地ノ空穴或ハ雨水貯蓄所ニ於テ雨水ヲ採集スルニ非ラサレハ他ノ水源ヲ有セサル地方ナリ其他水源ヲ有スルモ甚タ遠隔シ之レヲ引用スルニハ甚タ多額ノ費用ヲ要スル地方ナリ然レトモ屢々保護ノ制度學理ニ適スル事業ノ缺欠ニ依リ天然ノ恩澤ヲ濫用シ浪費シ或ハ全ク損失スルコトヲ證明スルニ至リタルハ甚タ悲シムヘキコトナリト又飲料水ヲ引用スル爲メニハ其水源ノ甚タ不充ナルモノアリ然レトモ多數ノ村役場ハ其村民ノ管理ニ屬スル飲料水ノ汚染ヲ防止セラル不注意ト惡意トヲ示ス場合甚タ多シ又時トシテハ或ル地方ニ於テ悲シムベキ現

狀ヲ永續セシムルハ縣廳ノ無感覺或ハ衛生思想ノ普及ニ關スル熱心ノ缺乏ニ基クコト甚タ多シ

改良方法ニ依ル飲料水供給

多數ノ郡ニ於テ飲料水供給ニ關シ著シク改良スルニ至リタルハ概ネ行政權ノ發案ニ基ツクモノナリ
「ヒュージェーテニエール」郡ハ縣會ノ協力ト其選出代議士「ビシヨッフセーム」氏ノ盡力トニ依リ須臾ニシテ全町村ニ於テ水源地ヨリ飲料水ヲ引用スルコトヲ得ヘシ

町村ニ重大ナル負擔ヲ課シ以テ各方面ニ於テ著シキ進歩ヲナシタルモノ左ノ如シ

「エ、ン」縣「ペリー」郡「オートアルブ」縣「ブリアンソン」郡及ヒ「ガッブ」郡「アルデンヌ」縣「メジエール」郡及ヒ「ロクロツ」郡「オーブ」縣「カルカソンヌ」郡及ヒ「ナルボンヌ」郡「カルバド」縣「ボンレヴ」郡「シヤランツ」縣「アングレーム」郡「ゾーブ」縣「ホンタルリエー」郡「ウールエロツール」縣「フヒニステール」縣「プレスト」市及ヒ「ケンヘル」郡「ガール」縣「アレー」郡「オートガロンヌ」縣「センゴード」郡「ジュラト」縣「ドール」郡「メーメエロツール」縣（本郡ノ各町村ハ公用泉水ヲ清潔ニシ之レヲ維持スル費用ニ充ツル爲メ毎年五十法乃至二百法ヲ負擔ス）「ニエーブル」縣「クラムシイー」郡「オワーズ」縣「クレルモン」郡及ヒ「サンリ」郡「オートヒレネー」縣「アレジュレー」郡「ビレネー」郡「オリアンタール」縣「ベルビキヤン」郡「ソヌエロツール」縣「クルソー」市「オートン」市「バール」縣「ブリギヨール」市「ドラギギアン」市「グロトリューズ」縣「ヴェスジエ」縣「ミルクル」市及ヒ「センジエー」市「ヨンマ」縣「オークセール」市「グロセーブル」縣「センメークサン」市（千八百九十九年本市並ニ「ニオール」全郡ニ於テ腸窒扶斯病流行ノ後連河

ヲ改築シ是レヲ浚渫セリ）「サヴヰツアー」縣「ムーチエー」郡殊ニ同縣「ジャンベリ」郡（此ノ二郡ニ於テハ其飲料水引用方法ヲ設定シ又ハ之ヲ改良スル爲メ各種ノ罰金ヲ以テ組成スル保護金ヲ數多ノ町村ノ使用ニ供セリ

或ル二三ノ町村ニ於テハ其飲料水ニ疑ヲ容ル、トキハ直チニ化學的及ヒ微生物的分拆ヲ爲スヲ憚カラサルハ大ニ満足スル所ナリ

又「ジロンド」縣「ブレ」市ニ於テハ境界ニアル八個ノ泉水ノ品質ヲ検査シ而シテ一泉水ハ汚染シタルコトニ確認セリ「シユラー」縣「センクロード」市ニ於テ市役所ハ數個所ニ腸窒扶斯ノ發生シタル後飲料水ヲ分拆シ市内ノ飲料水供給ハ敢テ非議スヘキモノニ非ラサルコトヲ認メタリ而シテ「シノン」市衛生會議書記官一級藥劑師「ツールレー」氏ハ同市ノ飲料水ヲ分拆シ數個ノ堀井戸ノ水ハ汚染シタルコトヲ認メ是レヲ使用スヘカラサルモノト宣言セリ同氏ノ事業ハ同市ノ飲料水ニ關シ四十八頁ヲ有スル甚タ有益ナル小冊子中ニ之レヲ著述シ本郡第三期報告書ニ添付セリ
數多ノ大都市殊ニ「レンヌ」市「クレルモン」市「ベイヨンヌ」市「ボウ」市ハ屢々其飲料水ヲ検査スル爲メ之レヲ分拆セリ

變敗物ノ排泄

茲ニ報告書中特別ノ編ニ於テスルニ非ラサレハ取扱ハサル問題アリ一ノ場合ニ於テモ尙左ノ如キ誤解ヲ爲ス者アリ即チ變敗物（麻布衣類等）ハ概シテ之レヲ襪襪商ニ買却ス

之レニ關スル報告ハ甚タ稀ニシテ實際上概ネ冷淡ニシテ假令ヒ飲料水ノ品質ニ付テ憂慮スルニ至レリト雖トモ現今ニ至ルマテ變敗物ノ排泄ニ關シテハ重要ナル二三ノ中央部ヲ除キテハ未タ専心從事スルニ至ラサルナリ而シテ公衆衛生ニ關スル本問題ニ附スル解釋ハ概シテ重大ナル弊害ヲ呈セリ

村落殊ニ南方ニ於テハ雨水及ヒ引用水ハ蓋ヲ施サスシテ自然的傾斜ニ從ツテ流下シ又各種ノ汚穢物ハ市街ニ於テ或ハ家畜ノ敷糞ノ堆積上ニ之レヲ放棄ス從ツテ地下ニ滲入シ飲料水(不完全ナル保護ヲ受クルモノアリ又ハ全ク然ラサルモノアリ)ハ概ネ永久的ニ汚染スルニ至ル

少シク進歩シタル中央部ニ於テハ汚穢水ハ蓋ヲ設ケサル石樋水ニ之レヲ蒐集シ糞尿ハ之レヲ孔穴ニ納メ其孔穴ハ液體ノ流失ヲ止ムル方法ヲ設ケス時トシテハ其孔穴ハ空井ナルコトアリ而シテ地下ハ斯ノ如キ物質ヲ單ニ地上ニ置キタル場合ニ比較シ一層汚穢ナルコト確カナリ蓋シ此ノ如キ狀態ハ小村又ハ小都會ニ非サレハ存在セサルモノナリト信スヘカラス大都會ニ於テモ尙現存スルモノナリ例ヘハ「ボアチエー」市ノ如キ是レナリ同市ニ於テハ廁ニ供スル空井ハ其數甚著シク市役所ハ千八百十三年ニ於テ廁穴ノ内面ニハ必ス石灰ヲ塗ルヘキ義務ヲ命シタル古法ヲ再ヒ實施スルニ至レリ

「ベジエー」市「ツローン」市「ニース」市「ヴヰシー」市ノ如キ大都會ニ於テモ尙汚水渠ヲ設置セサルナリ他ノ都會ニ於テハ殆ント改良シ難キマテ汚染シタル方法ヲ以テ尤モ接近シタル河川ニ流下スル汚水渠アリ「ロアエンフリュール」縣知事ハ本問題ニ關シテ左ノ説明ヲ爲セリ

總テノ家屋ハ液體ノ流出ヲ防止スル設備ヲナスト稱スル廁穴ヲ有ス而シテ其廁穴ハ糞尿ヲ以テ滿溢ス之

レ其家屋ノ所有者カ曾テ糞尿ヲ排泄セサルニ基ク此ノ滿溢シタル廁穴ハ「ツーク」ト稱スル小汚水渠ト相通シ此ノ汚水渠ハ市街中ニ設置シ「ロワール」河ニ向ツテ流下スル所ノ稍ヤ大ナル汚水渠ニ流出ス而シテ此ノ「ツーク」ト稱スル汚水渠ハ水門又ハ滲透ヲ防ク設備ヲモ設ケス糞尿、庖厨ニテ使用シタル水、各種ノ殘滓水ハ先ツ地下ニ滲入シ次テ相融和シ十二萬五千ノ住民ニ依テ生シタル有害性ノ產出物ハ直ニ「ロアール」河中ニ注流ス而シテ市街ヲ貫流スル所ノ「エルトル」渠ハ蓋ナキ大汚水渠ニシテ其渠床ニ於テハ直接ニ沿岸家屋ニ住スル一萬近キ住民ノ排泄物並ニ數多ノ工場ヨリ生スル汚水ヲ受ク例令ハ鞆皮所、染物所、製毛所、屠牛所、瓦斯製造所是レナリ「エルドル」渠ハ「ロアール」河中ニ各種ノ有害性產出物ヲ流下シ從テ「ロアール」河水モ亦甚シク汚染スルニモ抱ハラヌ其住民ノ麻布類ハ悉ク此ノ河水ヲ以テ漂白スルモノニシテ此ノ河水ハ惡臭ヲ發散シ且ツ黑色ヲ帶フ

尙茲ニ附言スヘキ事項アリ即チ「ナント」人ハ濾過セスシテ「ロアール」河水ヲ飲用シ近頃ニ至ルモ尙其吸水所ハ重要ナル大汚水渠ノ下流ニアルコト是レナリ「ナント」ニ於ケル場合ハ敢テ唯一ノ場合ナラス「ロアレ」縣「モンタルジ」市ニ於テモ尙然リ(同市ニ於ケル不完全ナル汚水渠ハ「ゴアール」河ニ各種ノ變敗物ヲ流下ス)「ウール」縣ニ於ケル「アンドリー」市「ジンール」市「ボントードメール」市ニ於テハ家屋ノ大部分ハ水流上ニ建設シ且ツ水流ニ向ツテ開放スル廁ヲ有ス

排泄物ヲ河川ニ流下シ下流ニ於テ汚穢水ヨリ生スル損害ヲ顧慮スルコトナク此等ノ汚穢物ヲ排泄スル方法ハ不幸ニシテ甚タシク傳播セリ例ヘハ「ニゼール」縣「ジエール」市ノ如キ「ユリアージュ」汚水渠ニ依テ汚染

セラレ從ツテ熱心ニ之レヲ防衛スルガ如キ其一例ナリ

報告書中本問ニ關シテ斯ノ如ク不完全ニ記載スル際ニ於テ變敗物ノ排泄方法ヲ改良シタリト見做スヘキ市
府ヲ辛フジテ發見スルコトヲ得タリ即チ「バツスアルブ」縣「バルスロンネット」市「ガール」縣「アレー」市
「ジロンド」縣「アルカシヨン」市「フェンステール」縣「ブレスト」市及ヒ「ケムベル」市「エンドルニロワール」
縣「ツール」市「オートサウヴェール」縣「トノン」市是レナリ

或ル設置ヲ研究シ或ハ之レヲ執行スル者アリ即チ「レーム」市ノ如キハ汚水渠ニ於テ其汚水ヲ田野ニ散布ス
ル設備ヲ設クルコトヲ研究シ「セーヌエオワーズ」縣「ポントオワーズ」郡ニ於テハ「センヅニー」工場ニ接ス
ル大樋ニ「アンデイアン」村及ヒ「モントモランシー」市ノ用惡水ヲ導クコトヲ計リ而シテ「ボスジユ」縣「モ
ードル」郡ニ於テハ「バ里府第十一郡」學校用地ノ水ヲ利用センコトヲ求メタリ

不完全ナル變敗物ノ排泄ニ關シテ法律制度ノ方法ニ依リテ矯正スルコトヲ試ムル市役所アリ「メーヌエロツ
ール」縣ニ於テハ「シユミレー」市ニ於ケル腸窒扶斯ノ流行後數多ノ市役所ハ厠ノ建築及ヒ其糞尿ニ關スル
規則ヲ定メ「ビレネーオリアンタール」縣「ベルビキアン」市ニ於テハ住民ニ對シ縣令ヲ以テ液體流失ヲ防止
スル厠穴ヲ建設スルコトヲ命セリ

「サウホワー」縣々知事ハ千八百九十八年六月十七日諭達ヲ以テ市町村長ニ導シ庖厨ニ於テ使用シタル水ノ
流出用ニ供スル管ノ設置及其維持、家畜臥糞其他ノ不潔物ノ堆積ヲ住居ヨリ隔離スルコトヲ命セリ次回發
行ノ報告書中規則ヲ頒布シタルヤ否ヤ又住民ハ之レニ服從スルヤ否ヲ示スハ必要ナル事項ナリ「クルーズ」

縣「グレ」市「グープ」縣「ボンタルリエー」市ニ於テハ諭達ヲ以テ住居及ヒ飲料水汲取所ニ接シテ家畜臥糞ヲ
堆積シ置クコトノ危險ヲ記セリ又「バギョールゾルメ」市ニ於テハ規則ヲ以テ液體流出ヲ防止スル厠穴ニ
非ラサレハ建設スルコト及ヒ河川ニ變敗物ヲ排泄スルコトヲ禁シ「ヴェンヌ」縣「シヴレー」郡々長ハ同郡
農業教授ニ命シ農業及ヒ衛生ニ關シ善良ナル家畜臥糞及ヒ糞尿置場ヲ設定シ及ヒ是等ノ物質ノ利用方法ヲ
説明スル爲メ會議ヲ開カシムルニ至レリ

保 健

蓋シ吾人ノ企圖スル所ノ保健事業トハ何ヲカ云フ報告書中本問ニ關シテ説明スル所甚タ尠シ既ニ説明シタ
ル飲料水供給殊ニ變敗物ノ排泄ニ關スル事項ハ將來ニ於テ爲スヘキ事業ノ多ク存スルコトヲ示スモノナリ
然レトモ一般衛生上ノ改良ニ關シ既ニ説明シタル缺點ハ將來永ク見ルコト能ハサルヘシ

「アリエー」郡々長「ロザベリー」氏ハ其優等ナル報告書ニ於テ同郡「モントリユ」市ノ衛生上缺點アル
狀況ヲ示シ又同氏ハ市役所ニ對シ必要ナル事業ヲ獎勵セリ

「アルデンヌ」縣「ウージエー」郡ノ村落ハ糞尿ノ滲入スル所トナリ墓地ハ住居地内ニアリ「コートジユノー
ル」縣「ジナン」市ハ衛生上ノ地位甚タ惡シク同市ノ市役所ハ衛生會議ノ保健ニ關スル要求ヲ採用セス「ア
ベイロン」縣「エスバリヨン」市市役所ハ五十年以來衛生會議ノ意見ニ拘ハラス適當ノ設備ヲ有スル公共屠
獸場ヲ以テ私設屠殺所ニ代フルコトヲ拒絕セリ「フェンステール」縣「シャートーレン」郡及ヒ「エンドル」縣
「ブラン」郡ノ村落ハ殊ニ不健康ノ狀態ヲ以テ有名ナリ「メーヌエロワール」縣「ソームニール」市ハ常ニ「ボ

ワールカントン」河水ノ損害ヲ受ク而シテ此ノ河流ノ渫泄ニ關シテハ同市民ノ常ニ要求スル所ナク「ムー
 ブ」縣「バル、ジツク」市ニ於テハ「オルネン」河水甚タシク汚濁シ液體流出ヲ防止スル堰ヲ設ケ及ヒ河水
 ヲ流下シ以テ其水流ノ健全ヲ求ムルニ至レリ而シテ茲ニ吾人ハ前述スル所ニ依リテ「ナント」市及ヒ「モン
 タルジ」市ハ不健康ノ状態ヲ有スル市ノ模範タルコトヲ記載スルコトヲ望ム近來一般衛生上ノ改良進歩
 ニ關シテハ漸ク報告書ニ其記載ヲ見ルニ至レリ「コルス」縣「カルグヒ」市ニ於ケル沼澤排水事業「ニエー
 ブル」縣ノ村落「オルヌ」縣「アランノン」市「ノール」縣「ハツブルク」市ニ於ル家屋ノ建築ハ其進歩著シク
 現今ニ至リテハ概ネ衛生の原則ニ從フ「メーヌエロワール」縣「シヨレー」市ハ「メーヌ」河沿岸ノ市區ニ於ケ
 ル保健事業ヲ企圖シ此ノ計畫ノ費用ハ三百五十萬法ノ豫算ニシテ此ノ計畫中ニハ「ペロシヌ」池水ヲ灌漑シ
 「メーヌ」河水ヲ増加スルコト及ヒ其沿岸ナル運河の汚水渠ノ開鑿事業ヲ含蓄ス此ノ汚水渠ニハ市中ノ庖
 厨ニテ使用シタル水並ニ製造所ニ於テ使用シタル化學的產物ヲ注キ市外ニ至リテ「メーヌ」河ニ注入セシム
 ルモノトス而シテ此ノ計畫ハ「シヨレー」市ニ對シ必要ナル借入締結ヲ許可スル法律ヲ可決スルトキハ直ニ
 施行スルモノナリ

「リヨン」市ニ於テハ事業費數百萬法ニ達スル各種ノ保健事業ヲ計畫シ其各區ニ於テ施行スル準備ヲ爲シタ
 ルハ既に記載スル所ナリ

二 公衆衛生會議

本會議ノ制度及ヒ組織ハ千八百四十八年十二月十八日ノ行政長官ノ命令ニ依ル、其構成ハ千八百四十九年

二月十五日省令第二條ノ定ムル所ニシテ本條ハ本會ニ於テ醫師藥劑師即チ化學者及ヒ獸醫ヲ任命スル割合
 ヲ定ム又千八百九十九年第四期報告書ノ爲メ各郡ニ配布シタル帳簿ニ記載シタル注意ハ各會議議員ノ人員
 及ヒ前掲各職業ヲ代表スル割合ヲ指示スルコトヲ求メタリ此割合ハ千八百四十九年二月十五日省令第二條
 ノ豫定スル範圍ヲ遵奉スルコトハ衛生會議ノ權限ヲ確保スル爲メ必要ナリ

千八百九十九年第四期報告書ノ爲メ送附シタル帳簿ハ尙第二ノ注意ヲ記載ス其注意ニ依レハ衛生會議ハ千
 八百四十八年十二月十八日行政長官ノ命令第六條ニ從ヒ少クモ三ヶ月毎ニ一回集會スヘシ（千八百五十
 一年三月三日ノ訓示ハ縣知事ニ對シ十五日毎ニ或ハ少クモ毎月衛生會議ヲ召集スルコトヲ命セリ）此注意ハ
 敢テ無益ニアラサルヘシ何トナレハ三百五十中百五十五衛生會議ハ千八百九十九年第三期間ニ於テ集會セ
 ス或ハ少クモ報告書中ニ於テ其集會ヲ記載セサルカ故ナリ衛生會議ノ規則ニ從ツテ集會セサリシ郡一覽表
 左ノ如シ

（一覽表略）

蓋シ衛生會議ヲ召集セサル理由ハ概ネ衛生會議ノ討議ニ附スヘキ問題ノ存セサルニヨル然レトモ前章ニ於
 テ述ヘタルカ如ク佛國ノ大多數ノ郡ニ於テハ其衛生的狀態ニ對シ施行スヘキ改良事業甚多シ故ニ吾人ハ此
 辯解ヲ以テ有力ナルモノト認ムルヲ得ス若シ官衙力敢テ其勞ヲ辭スルニアラサレハ現今ノ狀況ニ於テ常ニ
 數多ノ最重要ナル問題ヲ發見スルコトヲ得ヘシ

他方ニ於テハ衛生會議々員ノ職務ノ無報酬ナルコト其意見ニ制裁ノナキコト此ノ二個ノ理由ニ依リテ討議

事項ノ調査ニ多數ノ時日ヲ供シ及ヒ屢々集會スル等衛生會議々員ヲ獎勵スルコト能ハサルナリ

然レトモ茲ニ其名譽ノ爲メ概ネ到ルトコロ賞賛スヘキ意思ヲ發表シタルコトヲ附言スルコトヲ要ス而シテ衛生會議々員ニシテ不熱心ナルコトヲ痛歎シタルハ纔ニ「ガール」縣「ヅヒガン」郡々長及ヒ「エンドル」縣「プラン」郡々長アルノミ「ボルドー」市ノ如キ大都府ニ於ケル衛生會議ガ千八百九十九年第一期間ニ僅々二回ノ外集會スルノ機會ヲ有セザリシコトヲ證明スルニ至リテハ吾人ノ大ニ驚ク所ナリトス

其他到ルトコロ行政官衙ハ衛生會議ノ熱心ト公平トニ對シ敬意ヲ表セリ是等ノ衛生會議中ノ二三ハ其討議問題ニ關シ卓絶シタル方法ヲ以テ之レヲ研究シ其縣又ハ其郡ノ衛生ニ關シ重要ナル職務ヲ行ヘリ

其衛生會議次ノ如シ「アルデンメ」縣「メジエール」郡衛生會議「オーブ」縣「パールシユール」郡衛生會議「ノジャンシユール」郡衛生會議及「トロツ」郡衛生會議「ブーシユジュロース」縣「エー」郡衛生會議「シヤラントエンフヘリユール」縣「セシエル」郡衛生會議「コートドール」縣「ボース」郡衛生會議及ヒ「ミユール」郡衛生會議「ヅープ」縣「ボンタルリエー」郡衛生會議「エンドルエロワール」縣「シノン」郡衛生會議「ロツール」縣「ロアンス」郡衛生會議「ロツール」縣「アンズニー」郡衛生會議及ヒ「ベームブーフ」郡衛生會議「メーヌエロツール」縣「シヨレー」郡衛生會議「ムールツエモゼール」縣「リユネヅヒール」郡衛生會議及ヒ「ナンシー」郡衛生會議「ムーズ」縣「ヴェルドン」郡衛生會議「モルビアン」縣「ロリアン」郡衛生會議「ノール」縣「リール」郡衛生會議「モルビアン」縣「ロリアン」郡衛生會議「ノール」縣「リール」郡衛生會議及ヒ「ヴァランシエンヌ」郡衛生會議「オワーズ」縣「クレルモン」郡衛生會議「パールフォル」管轄地ノ

衛生會議「ロース」縣「リヨン」市衛生會議「セーヌエツーズ」縣「ボントワース」郡衛生會議「タルンエガロンヌ」縣「カステルサラゼン」郡衛生會議「ヨンメ」縣「アヴロン」郡衛生會議之レナリ

衛生會議ハ其諸問事項ニ關シテ概ネ同意ヲ表セリ而シテ其問題ハ千八百四十八年十二月十八日行政長官ノ命令及ヒ千八百九十三年一月十八日省令ニ從ヒ其討議ニ附スルモノナリ(校舍ノ位置受ヒ其建築案ノ検査)衛生會議討議問題ハ開校又ハ衛生ニ不適當ナル營造物ノ開始飲料水引用ノ計畫墓地ノ擴張又ハ其變更或ハ傳染病ニ對スル豫防措置ニ關スル諸問最多シ又場合ニ依リテハ屢々衛生會議ハ縣廳ヨリ遠隔ノ地方ニ於テ其場所ニ臨ミ研究スル爲メ議員中ヨリ特ニ調査委員ヲ任命スルコトアリ茲ニ「ベームブーフ」郡衛生會議ハ其立案ニ基キ其議員ヲシテ本郡内ノ村落ヲ巡回セシメ保健殊ニ飲料水供給ニ關シ數多ノ改良ヲ爲シタルコトヲ特書スヘシ

茲ニ注意スヘキ事項アリ即チ一千八百七十三年七月二日ノ訓示ハ「ヴェスジユ」縣「スーフシヤアト」郡衛生會議ノ解釋スル所ト異ナリテ衛生上ノ問題ニ關シ衛生會議ニ對シ完全ナル立案權ヲ附與シタルニアリ吾人ハ前數期間ニ於テ衛生會議ノ取扱ヒタル事件ニ關シ衛生會議ノ意見ヲ報告書中ニ於テ明瞭ニ記載スル利益アル所以ヲ特書スルハ極メテ必要ナリト信ス而シテ千八百七十三年七月二日及ヒ千八百七十五年九月三十日告示ハ既ニ此點ニ關シテ反覆之レヲ説明セリ

故ニ精確市町村役場ノ熱心又ハ無感覺ノ統計ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ市町村役場ノ無感覺ナル場合ニハ地方命令ノ施行ヲ命シ以テ其不注意ヲ矯正シ且衛生會議ノ意見ヲ強行スルコトヲ得ヘシ然レトモ本問ニ關

スル解答ハ千八百九十九年第三期報告書中ニハ之レヲ缺ケリ
 本章ヲ終ルニ臨ミテ吾人ハ飲料水引用ノ計畫ニ牽連スル報告ノ不完全及ヒ殊ニ諮問者ハ其不完全ナル報告
 ノ儘之レヲ採用シ報告書ヲ編輯シタル怠慢ニ就キ衛生會議ノ注意ヲ喚起スルコトヲ必要ナリト認ム而シテ
 衛生會議ハ是等ノ書類ヲ衛生諮問委員會ニ提出スル前ニ之レヲ完全ナラシムルハ大ニ其必要アリト信ス又
 再審査ノ請求及ヒ關係町村ニ於テハ其遅延ヨリ生スル損害ヲ避クルコトヲ得ヘシ

三 防疫事務

流行性疾患ノ届出

吾人ハ千八百九十二年十一月三日ノ法律ニ從ヒ流行性疾患ノ届出ヲ強制的ノモノト爲シタル事項ヲ以テ防
 疫事務ノ章ヲ開始セントス蓋シ此ノ届出ハ實ニ防疫事務施行ノ基本タリ若シ届出アキトキハ此ノ事務ハ市
 町村長小學校々長憲兵ノ不精確ナル報告ニ依頼スルノ外他ニ手段ナキナリ故ニ審査ノ基因スル所ハ精確ナ
 リトノ保證ヲ要スル理由ヲ容易ク解スルコトヲ得ヘシ又其審査ノ原因ヲ全ク欠クコトアリ此ノ場合ニハ檢
 疫醫員ハ郡内ニ生スル事項ノ經過ニ關シテ其意見ヲ決定スルコト能ハスシテ公衆ノ爲メ甚タ危険ナリト云
 フヘシ

報告書ハ本問ニ關シテハ甚タ明瞭ニシテ流行性疾患ノ届出ハ不完全ナリ又ハ全ク其届出ナシト記載シ殆ン
 ト一致セリ之レニ依リテ三百五十郡中七十六郡ハ満足ニ届出タルコトヲ知ルコトヲ得タリ然レトモ此等ノ
 報告書ハ概ネ甚タ簡單ニシテ満足ナル論結ヲ與フルコト能ハサルナリ

縣 名

- 「エーヌ」縣
- 「アリエー」縣
- 「バッサザルブ」縣
- 「ホートザルブ」縣
- 「オーブ」縣
- 「アヴハイロン」縣
- 「カルヴド」縣
- 「シヤラントエンフヘリユール」縣
- 「コレーズ」縣
- 「コルス」縣
- 「コトジユイル」縣
- 「クルーズ」縣
- 「ズーブ」縣
- 「ドーム」縣
- 「ガール」縣
- 「ジエール」縣
- 「ジュラー」縣
- 「ランド」府
- 「ロワールエシユール」縣
- 「ロワールエンスリユール」縣

郡 名

- 「エーヌ」郡
- 「ガンナー」郡「ラバリツクス」郡
- 「バルスロンネット」郡
- 「アムブロン」郡
- 「アルシーシユルオーブ」郡「ノジャンシユルセイヌ」郡
- 「エスバリヨン」郡
- 「ベイエー」郡
- 「ジヨンザック」郡
- 「ブリーヴ」郡「チユール」郡
- 「アジャツシオー」郡「カルヴヒー」郡
- 「ゲンガムブ」郡「ランニヨン」郡
- 「グレー」郡「ブルガヌーフ」郡「ブーサツク」郡
- 「ボンクルリエー」郡
- 「ヴァランス」郡
- 「ユゼー」郡
- 「レクツール」郡
- 「センクローズ」郡
- 「モンツマルサン」郡
- 「プロツ」郡
- 「アンスニー」郡

- 「ロワレー」縣
- 「ロー」縣
- 「ロゼール」縣
- 「メーエロワール」縣
- 「マンシユ」縣
- 「マルヌ」縣
- 「ホートマルヌ」縣
- 「ムールトエモゼール」縣
- 「モルビアン」縣
- 「ニエーヴル」縣
- 「ノール」縣
- 「オワーズ」縣
- 「バーヅカレー」縣
- 「ビュイヅドーム」縣
- 「パツスビーネー」縣
- 「ホオートビレネー」縣
- 「ビレネーブリアンタール」縣
- 「ホートソーヌ」縣
- 「サルト」縣
- 「サヴワール」縣

- 「ジアン」郡
- 「モンタルジー」郡
- 「ビチヴエー」郡
- 「カオール」郡
- 「グールドン」郡
- 「フロラック」郡
- 「マンド」郡
- 「ソームユル」郡
- 「スグレー」郡
- 「モルテン」郡
- 「ヴァローギユ」郡
- 「シヤールンシユールマルヌ」郡
- 「セントムヌール」郡
- 「ヴヒトリルフランソワール」郡
- 「ヴァフシー」郡
- 「ブリエー」郡
- 「リユネヴェル」郡
- 「ロリヤン」郡
- 「コスヌ」郡
- 「スヴェール」郡
- 「ハズブルク」郡
- 「クレルモン」郡
- 「モントルイユ」郡
- 「アムペール」郡
- 「ベイヨンス」郡
- 「オロロン」郡
- 「ポー」郡
- 「バギエール」郡
- 「セレー」郡
- 「アラード」郡
- 「グズール」郡
- 「ルマン」郡
- 「シヤムベリー」郡
- 「ムーチエー」郡
- 「センジャンツモール」郡

- 「センヌエンスリユール」縣
- 「セーヌエマルヌ」縣
- 「ソナム」縣
- 「タルン」縣
- 「ヴァンデー」縣
- 「ウボスジユ」縣
- 「ヨンス」縣

- 「エンヌ」郡
- 「アルベルトヴィール」郡
- 「ルハーヴル」郡
- 「ヌーフシャアテル」郡
- 「フオンテヌブロー」郡
- 「ムロン」郡
- 「プロヴェン」郡
- 「アツブヴェール」郡
- 「モントジジエー」郡
- 「ペロンヌ」郡
- 「ガイヤツク」郡
- 「レサールブルドンヌ」郡
- 「エビナール」郡
- 「ルミルモン」郡
- 「センデー」郡
- 「オークゼール」郡
- 「ジヨワニギー」郡

到ルトコロ傳染病ノ届書甚タ不完全ニシテ醫師ハ多ク之レカ届書ヲ爲サス時トシテハ絶對的ニ届出ナキコトアリ吾人ハ後ニ至リテ世人カ千八百九十二年十一月三十日法律ヲ充分了解セス且之レヲ誤解スル理由ヲ述ントス而シテ唯茲ニハ法律ヲ遵守スル方法ノ尤モ公正ナル數個ノ實例ヲ掲ケントス縣廳ハ關係人ニ對シテ千八百九十二年法律ヲ遵奉スヘキ旨ヲ諭達スルニ拘ハラス次ニ掲クル諸郡ニ於テハ全然不精確ナル方法ヲ以テ之レカ届出ヲ爲セリ即チ「コートドール」縣「ジジョン」郡「ジュラー」縣「ドール」郡「ムールトエモゼール」縣「ナンシー」郡「オツーズ」縣「ボーヅヘー」郡「オルヌ」縣「アラソン」郡及ヒ「モルターギユ」郡「ビュイヅドーム」縣「クレルモン」郡「タルン」縣「アルビー」郡「ヴォークリユーズ」縣「オランジュ」郡「ヴァンデー」縣「ラロシユシコール」郡「ヨンス」縣「トンネール」郡及ヒ「ロゼール」縣「マルヴジロール」郡是レナリ

「アルデーシユ」縣々知事ハ届書ヲ怠リタル縣内ノ醫師一名ヲ輕罪ノ刑ニ處シ且罰金十六法ヲ科シ以テ一般ニ例示セリ

千八百九十二年十一月三十日法律ハ本問ニ稍ヤ重キ罰金ヲ豫定シ其第二十一條ニ於テ醫師又ハ衛生官吏ハ第十五條ニ規定スル届出ヲ爲サ、ルトキハ五十法以上二百法以下ノ罰金ニ處スト規定スルコトヲ注意スヘシ

「バーツカレ」縣「アッラ」郡ニ於テハ其郡内ノ醫師三分ノ一「ソーヌエロロル」縣「オートン」郡ニ於テハ同四分ノ三「ゾーセーヴル」縣「プレツシユイル」郡ニ於テハ同二十六名中二十名（本郡内ノ産婆三十五名ハ孰レモ法律ヲ遵奉セス）届出ヲ爲サルモノナリ而シテ「バックスザルブ」縣「シスツロン」縣ニ於テハ其届出十中ノ九ヲ欠ケリ加之衛生會議々員中一名ハ尙此ノ責任ニ關シテ故障ヲ爲セリ「エーヌ」縣「ラオン」郡ニ於テハ其醫師ハ重大ニシテ且衆人ノ認ムル場合ニアラサレハ届出ヲ爲サス故ニ届出ハ其數實際ノ百分ノ十二シ或地方ニ於テハ百分ノ五以下ナリ而シテ「イールエヴヒレーヌ」縣ニ於ケル醫師總代ハ職務上ノ秘密ヲ禁スルノ命令ナリト爲シ其届出ヲ拒絶セリ「エレットル」縣「イーストドン」郡「マンシユ」縣「シエルブル」郡「ホートヴエンス」縣「ロシユシユアール」郡ノ諸郡ニ於ケル醫師ハ總テ届出ヲ忘リ其他ノ諸郡ニ於テハ殺人的流行病ニ關シ當該官廳ハ醫師ヨリ一回モ其届出ヲ受ケスシテ傳播シ且消滅セリ其實例次ノ如シ「ホートマルヌ」縣「シャジエー」郡ニ於ケル赤痢（罹病者四十名中死亡者七名）並ニ「タルンエガロンヌ」縣「モアサツク」郡ニ於ケル赤痢（罹病者八十一名中死亡者四名）ノ如キ之レナリ又「セーヌヌオワーズ」縣「ランブーイユ」郡ニ於テハ猩紅熱發生シ罹病者二十四名中死亡者四名アツシモ其届出ヲ爲サ、リキ而シテ此ノ醫師ハ僅ニ公職ノ停止ヲ受ケタルニ過キササルナリ

報告書ヲ一讀セハ流行性疾患ノ届出ニ關スル法律ニ附スル解釋ノ區々タルコトヲ知ルヘシ

實際届出ニ依リテ檢疫事務ヲ容易ナラシムルニハ一方ニ於テハ市町村長ニ對シ他方ニ於テハ縣知事又ハ郡長ニ對シ各場合毎ニ双方ニ届出シムルコトヲ要ス（一千八百九十三年十一月二十三日告示）

病徴診斷ノ確定スル場合ニアラサレハ届出ヲ要セサルコトハ明白ナリト雖モ必要ナル時期ニ於テ有効ナル豫防措置ヲ定メント欲セハ成ヘク疾患ノ發端即初期ニ於テ速ニ届出シムルコトヲ要ス

届出書面ニハ醫師カ施行スヘキ豫防措置ニ關スル觀察ヲ記載スル爲メ數行ノ餘白ヲ置クコトヲ要ス即チ消毒移送等トス此ノ補足的表示ハ或ル場合ニ於テハ注意スヘキ事務トナルコトアリ茲ニ其一例ヲ示サントス「ドクトル」マルチー氏ハ「ドルドオギユ」縣「クベラツク」郡「ブラサツク」村ニ於テ腸窒扶斯ノ二個ノ場合ヲ觀察シ九月五日及ヒ九日ニ之レカ届出ヲ爲シ又九月十八日ニ至リテ同村ニ於ケル第三ノ場合ヲ届出テ其届出書ニ次ノ觀察ヲ記セリ即チ「ギシャール」村及ヒ「ブランチエー」村ノ間ニアル洗濯場ニ於テ麻布ヲ洗淨セサル様注意スルコトヲ要ス蓋シ此ノ地方ニ於テハ現今此ノ水流ハ飲料水供給ノ唯一ノ源泉ニシテ斯ノ如ク汚染シタル源泉ハ實ニ飲料水供給用トシテハ甚タ危険ナリ其後九月十九日及ヒ二十五日同氏ハ尙同村ニ於テ先キノ第三回ノ届出ニ接シテ腸窒扶斯ノ二個ノ場合ヲ届出タリ其後ニ至リテ官廳ハ此ノ洗濯場ヲ禁止シタルヲ以テ爾來同村ニ於テハ新奇該傳染病ノ發生ヲ見サルニ至レリ概ネ飲料水ニ基因スル傳染病カ發生スルヤ直チニ主治醫ハ疾患ノ發生原因ヲ知ルニ足ルヘキ審査ニ著手スルトキハ初發ノ場合ニ於テ之レヲ認定スルコトヲ得ヘシ惜ムラクハ此等ノ場合ニ於テ世人ハ「ドクトル」マルチー氏ノ檢疫事務ニ協力シ同

氏ノ事業ヲシテ容易ナラシムルヲ得サリシ

左ニ醫師ノ届出ヲ爲シタル方法ヲ示スヘシ醫師ハ疾病ノ孤立シタル場合ハ行政官衙ヲシテ之レヲ認知セシムルノ利益ナク之レニ反シテ其疾病流行スル場合ハ其利益アリト思考シ數多ノ場合ヲ診療シタルトキニアラサレハ届出サルコト多シ然レトモ之レ全ク誤解ニ基因スルモノト云フヘシ總テノ流行病ハ外見上孤立シタル場合ヨリ始マル而シテ醫師ニシテ適當ナル時期ニ於テ之レカ注意ヲ爲ストキニハ適當ナル豫防措置ヲ施行シ流行病ヲ防遏スルヲ得ヘシ

或ル場合ニ於テハ疾患ノ終熄シタル後初メテ届出ヲ爲スコトアリ之レカ遅延ハ醫師ノ怠慢ニ歸スルコトヲ要ス然レトモ「リユネヴェール」郡々長カ説明スルカ如ク村落ニ於テハ醫師ハ疾患革マリ頻死ノ際ニ至リテ初メテ招待ヲ受クル場合多シ

或ル醫師ノ如キハ傳染ノ危険カ稍々恐ル、ニ足ルヘキ重大ナル場合ニアラサレハ届出ヲ爲サル者アリ届出ヲ拒ム理由ハ千八百九十二年十一月三十日法律ヲ以テ疾病公告ハ職務ノ秘密ヲ要セサルコトヲ規定スルニ係ハラス職務ノ秘密ヲ利用スル者多シ

又届出ハ家族ニ對スル非道ナル措置ナリト爲シ且ツ醫師ニ對シテハ職務上ノ利益ヲ害スルモノナリト主張スル者アリ「ホートソース」縣「リユール」郡々長ハ商家ニ發生シタル腸窒扶斯ノ届出ハ其商家ニ對シテ顧客三分ノ二ヲ失ハシムルコトヲ注意セリ又瀑布アル都府、海水浴場ノ設ケアル都府、外國人ノ幅湊スル場所ハ強制的届出ニ依リテ流行性疾患ノ發生事實ヲ公告スル爲メ其顧客ヲ失フコトヲ憂慮スルハ蓋シ疑フヘカ

ラサル事實ナリトス要スルニ消毒器械ハ概シテ缺乏シ届出ニ對シテ必要ナル制裁ナク假令ヒ届出ツルモ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルナリ

「ガール」縣「アレ」郡及ヒ「エロール」縣「モントベリエー」郡ノ報告書ニ於テ特ニ記載スル故障中或ル故障ハ價值ナキニアラス然レトモ多クノ報告書中ニ於テ以上記載スルカ如キ不便ヲ減少シ又ハ全ク之レヲ消滅セシムル方法ヲ記載セリ其最モ簡單ニシテ最モ一般ニ唱フル方法中ノ一ハ開封届書ノ方式ヲ廢止シ封書ヲ以テ其届出ヲ爲スニアリ而シテ封筒及ヒ届出用紙ハ市町村長ノ名宛ニ於テ十通及ヒ縣知事或ハ郡長宛ニ於テ十通ヲ一纏トシ各醫師又ハ各産婆ニ對シ豫メ之レヲ交付シ各封筒ニハ一號ヨリ十號マテノ番號ヲ附シ官廳カ第十號ノ封筒ヲ受取ルトキハ直ニ差出人ニ對シテ更ニ封筒及ヒ届出用紙ヲ交付スルモノトス此ノ方法ハ「オルヌ」縣「ドンフロン」郡々長ノ提案スル處ニシテ醫師ヲシテ新奇届書用帳簿ヲ請求スルノ注意ヲ避クル利益アリ之レ届書ヲ消盡シタル場合ニ於テ醫師ノ屢々怠ル所ノモノナリ

届出ヲ怠ル場合ニ附スル刑事的制裁ハ實際ニ於テ適用シ難キモノ、如シ何トナレハ單ニ「アルデー」縣々知事ノミ此ノ方法ニ依ルコトヲ要スト主張スルモ「コートドル」縣「スミユール」郡々長ハ概シテ無報酬ニテ職務ヲ行フ所ノ醫師ニ對シテ此ノ如キ制裁ヲ附スルハ實際上甚々困難ナルコトヲ注意シタルヲ以テナリ

「ゾッーセツル」縣々知事「ホートロワール」縣「ブリユード」郡々長ハ各届出ニ對シ償金額(例ハ一法乃至二法ヲ定ムル必要アルコトヲ信セリ

「アビギヨン」縣々知事及ヒ「アルデンヌ」縣「ヴージエー」郡々長ハ醫師ニ對シ戸主ヲシテ届出シムルコトヲ

勸告スルノ義務ヲ命スルコトヲ發議セリ

現行制度ニ關シ發案シタル改良中最モ簡單ニシテ最モ實際的ナルモノハ届書ヲ封書ニテ送附スルニアリ而シテ内務省ハ此ノ使用ニ充ツヘキ封筒ヲ有スルヲ以テ只一般ニ之レヲ配布セハ充分ナリ

吾人ハ「メインス」縣「メイエンス」郡報告書中ニ記載スル問題ニ對シ答案ヲ附シ以テ此ノ編ヲ終ラントス養育院醫師及ヒ陸軍軍醫ハ此ノ強制的届出ニ服従スヘキカ例ヘハ慈惠病院ノ如キ病院ニ關シテハ其届出ハ是等ノ營造物ノ長官ノ義務ニシテ軍醫ニ關シテハ軍務ヲ取扱フ官衙ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス但兵營外ニ宿泊スル士官下士官其他ノ軍屬或ハ其家族ヲ除ク而シテ是等ノ者ニ對スル届出ハ當該官廳ニ差出スヘシ(千八百九十四年五月二日陸軍省告示)

検査 醫 員

月検査醫員ノ制度ハ千八百五十五年五月二日ニ始マリ尙現今ニ至ルマテ繼續スルモノナリ然レトモ數多ノ縣ハ既ニ其組織ノ不完全ナルコトヲ認メタリ實際検査醫員ノ職務ハ無報酬ニシテ毫モ利益ヲ與ヘス又縣會カ検査事務ニ對スル贈興ハ常ニ僅少ニ失ス故ニ官廳カ醫師ニ對シ其住スル郡ヨリ他所ニ旅行スルコトヲ求ムルノ不條理ナルコトヲ容易ニ了解スルコトヲ得ヘシ故ニ「メイエンス」縣「シャートゴンチエー」郡々長及ヒ「ニエーヴル」縣「シャートシノン」郡々長ハ郡ノ検査醫員ノ無能ナルコトヲ記載シ又「シャートシノン」郡々長ハ各町村ニ検査事務ノ分配ヲ請求セリ「サヴホウ」縣「シャンベリー」郡ハ此ノ事務ヲ十名ノ醫員ニ分配シ「フニステール」縣「ケンベル」郡及ヒ「シャートレーン」郡「オツグ」縣「ボーヴエー」郡「コンヒエーギ

ユ」郡及ヒ「サンク」郡ハ各町村ニ検査事務所ヲ組織セリ「ローヌ」縣ニ於テハ町村ニ検査事務所アリテ「リヨン」府ニ於ケル中央検査事務所ノ指揮監督ヲ受ク

斯ノ如ク検査事務ヲ町村ニ分配スルハ其利益顯著ナルモノ、如シ千八百四十八年十二月十八日布告第三條及ヒ千八百七十五年九月三十日告示ヲ以テ傳染病流行ノ際特ニ必要アリト認ムル措置ノ施行ヲ監督スル爲メ町村衛生醫員會ノ設立ヲ規定セリ「アリデーシユ」縣々知事ハ其縣内ニ於テ是レニ類スル委員會ヲ組織シ之レニ依リテ好成绩ヲ得タルハ大ニ其自負スル所ナリト然レトモ實際各町村ニ於テ一名ノ検査醫員ヲ指命スルコト容易ナルニ反シ各區村ニ於テ之レヲ構成スル爲メ適當ナル人物ノ多數ヲ招集スルコト難シ一名ノ醫員ヲ指命スルハ時日ノ損失ナク且旅行等ノ不便ナク市町村内ニ流行性疾患ノ發生ニ際シ醫員ハ其場所ニ存在スルヲ得ヘシ而シテ其疾患ノ發生原因ヲ探究シ適當ナル豫防措置ヲ指示スルコト得ヘシ其醫師ハ三ヶ月ノ終ニ於テ郡検査醫員ニ對シ摘要書ヲ送附シ町村ハ此ノ摘要書ニ各原因ニ依ル死亡殊ニ傳染性疾患ヨリ來ル死亡人員表ノ謄本ヲ添付ス郡ハ之レニ依リテ衛生事項ニ關シ最モ必要ナル審査ノ基礎ヲ定ム而シテ千八百九十九年第四期報告書ニ關スル帳簿ニ於テ此種ノ組織ヲ爲シ得ヘキコトヲ記載シ本問ニ關シテ知事及ヒ郡長ノ意見ヲ徵セリ

検査事務ハ總テノ場合ニ於テ多數ノ醫員間ニ之レヲ分配スルハ必要ナリト信ス然ルニ「アルブマリチーム」縣ニ於テハ總テノ事務ヲ「ニース」市ニ於テ蒐集スル所ノ一名ノ検査醫員アルノミ「オートガロンヌ」縣ニ於テハ検査醫員ノ職務ハ千八百九十七年以來縣會ノ決議ニ依テ廢止セラレタリ而シテ縣會ハ其職務ヲ治療病

院ノ醫師ニ命セリ此ノ措置ハ法律上不當ナリト雖トモ千八百九十九年ノ中頃マテ繼續セリ而シテ最近ニ至リテ再ヒ之レカ設置ヲ見ルニ至レリ

「アヴイロン」縣「ヴルフランシユ」郡「イルエーヴ井レーヌ」縣「センマロー」郡ニ於テハ全ク檢疫事務ヲ拋棄セリ「クリウシヨン」氏ハ本間ニ關シテ明瞭ナル方針ヲ示セリ又茲ニ「タルンエガロンス」縣「カステルサラゼン」郡々長「ブケーナドー」氏ノ發案ニ注意スヘシ吾人ハ左ニ同氏ノ報告書中檢疫事務ニ關スル部分ヲ引用セントス

檢疫事務所ニ於テ傳染性疾患ノ届出ニ接スルヤ「假令ヒ一個ノ場合ナリトモ」直ニ市町村長ニ對シテ電報ヲ以テ必要缺クヘカラサル豫防措置ノ實施ヲ命ス又市町村長ニ對シテ此ノ訓令ヲ移送スルト同時ニ檢疫醫員ニ對シテ其場所ニ出張スルコトヲ命ス而シテ其檢疫醫員カ急速ヲ要スルモノト斷定スル場合ニハ届券ヲ帳簿ヨリ分離シ送附セシメスシテ免稅電信ヲ以テ其届ヲ爲スコトヲ許可シ以テ時日ノ損失ヲ避クルヲ得セシム此ノ考案ニ基キ醫師ニ對シテ至急ヲ要スル場合ニ於テハ傳染病ノ發生シタル家屋ニ近接シタル市町村長ニシテ電信局ヲ有スル者ニ請求シ其名ヲ以テ(使用上便宜ナル方法ニ依リ)調査ノ命ヲ受ケタル流行性疾患ノ通知ヲ命スルコトヲ要スト信スルナリ

然レトモ現今ノ狀況ニ於テハ概テ冷淡ニシテ檢疫事務ノ施行甚タ不完全ナルコトハ敢テ驚クヘキニアラサルナリ而シテ好成績ヲ得ル爲メニハ檢疫醫員ノ其職務ニ對シテ忠實ナルコトヲ要ス然ルニ郡檢疫醫員ニ於テ能ク其職務ヲ盡クスタメ其ノ機會ノ缺乏スルコトハ吾人ノ既ニ知ル處ナリ檢疫事務ニ對スル縣會ノ贈與ハ常ニ不充分ニシテ旅費ヲ償フニ足ラス數多ノ醫師ハ其補助ヲ受ケサルモノナリ「アルデーミュ」縣々會ハ縣知事「クリウシヨレ」氏ノ勸誘ニ基キ此ノ事務ノ爲メ一千八百法ヨリ四千法マテ其經常定額ヲ増加セリ其他ノ縣會ハ概テ全ク不完全ナル贈與ニアラサレハ之レヲ承諾セス其額ハ僅々二百法以下ニ降ルモノアリ例ヘハ「ロゼール」縣々會ノ如シ

時トシテハ官衙ハ檢疫醫員ニ對シテ市町村ノ許ニ於テ充分ナル權力ヲ附與セサルハ痛嘆スル所ニシテ尙了解シ難キ事項ハ或ル場合ニ於テ縣廳カ檢疫醫員ニ對シ其職務ニ關スル審査事項ノ通知ヲ怠ルニアリトス「ロノル」縣「ハズブル」郡檢疫醫員ハ郡内ニ於ケル正當ナル届出ハ市町村役場又ハ縣廳ニ於テ抑留セラレ自己ニ到達セサルコトヲ主張セリ「ドルドオーキユ」縣「サルラー」郡々長ハ流行性疾患ノ届出ハ速ニ檢疫醫員ニ移送セサルコトヲ嘆キ郡衙ニ到達シタル届書ハ直ニ檢疫醫員ニ交付スルコトヲ希望セリ故ニ現今ニ至ルマテ是等ノ審査事項ハ正格ニ檢疫醫員ニ通知セサルモノ、如シ

(人名表略ス)

傳染病

報告書中流行病ノ列擧用ニ供スル部分ハ甚少ナク之レニ關スル一般の指示ヲ見出スコト能ハサルナリ然レトモ屢々實例ヲ見ルカ如ク流行病ノ發生シタル市町村名及ヒ流行性疾患名トヲ對照シ記載スルヲ以テ充分

ナリトナスコトヲ得ス其他市町村人口數、流行性疾患ノ發生數、死亡數、流行病發生原因及ヒ命令ヲ受ケ施行シタル豫防措置ヲ記載スル爲メ尙數行ノ餘白ヲ附加スルコトヲ要ス而シテ患者數ト人口數トヲ合セテ報告スルハ流行病ノ輕重ノ程度ヲ知ル爲メニ必要ナルモノナリ或ル場合ニハ報告書中此ノ部分ニ地理的略圖ヲ附スルハ有益ナルヘシ而シテ「オートロアール」縣「ビユイー」市檢疫醫員「ドクトル、フリロール」氏ノ如キハ「ロアール」下流ニ從ツテ發生シ漸次其沿岸ニ於ケル四ヶ村ヲ浸略シタル腸室扶斯ニ關シ其略圖ヲ添付セリ

屢々報告書中ニハ各傳染病ニ對シテ採用シタル豫防措置ニ關シ明瞭ナル報告ヲ記載セスシテ單ニ必要ナル豫防措置ヲ施行シ或ハ衛生諮問委員會ノ訓示ヲ市町村長ニ送附シタル旨ノミヲ記載スルヲ以テ満足スル者アリ然レトモ屢々吾人ハ此訓示ノ指示スル豫防措置ハ殊ニ村落ニ於テハ實際施行スヘカラサルコトヲ知ル而シテ村落ニ於テハ患者ノ隔離、塲處ノ消毒殊ニ臥具ノ消毒等概テ現今ノ狀況ニ於テ實行スヘカラサルナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ行政官衙ハ檢疫醫員ノ請求ニ基ツキ又ハ場合ニ依リテハ衛生會議ノ請求ニ基ツキ之レニ干涉シ場合ニ應シテ適用スヘキ方法ヲ指示シ且其實施ヲ容易ナラシムル必要アリ

屢々傳染性疾患ニ關シテ重要ナル豫防措置ニ關シテ注意セサルハ大ニ驚クヘキコトナリトス飲料水ニ基因スル疾患(腸室扶斯、赤痢、虎列刺)ノ爲メ飲料水ヲ沸騰シ冷却シテ使用スヘキコトヲ命セサルコト之レナリ又天然痘又ハ假痘ノ發生シタル場合ニ於テ其流行地ニ於テ種痘ヲ實施シタルコトヲ記載スルコトナク單ニ天然痘又ハ假痘ノ發生シタル場合ノミヲ記載スルコト甚多シ又恢復期ノ患者(自宅送還ノ軍人復校學生)ハ

充分長時間隔離ヲ受ケサルヲ以テ其疾患ノ萌芽ヲ散布セリ殊ニ實扶的利亞猩紅熱ニ關シテ然リトス茲ニ一定ノ住所ヲ有セサル者及ヒ途上傭聘ヲ要求スル職工ニ關スル衛生上ノ監督ヲ官衙ニ負擔セシムヘキコトヲ注意スルハ敢テ無益ニアラサルヘシ蓋シ「オートロアール」縣「フリグード」市ニ於ケル腸室扶斯「オートソニス」縣「リウール」市ニ於ケル實扶的利亞ノ實例ニ依レハ是等ノ人物カ屢々其止マル塲所ニ於テ傳染性疾患ヲ輸入スルコトヲ示セリ

町村ニシテ其四隣悉ク傳染病流行シ其侵害ヲ受クル恐レアルトキハ其町村ニ見張ヲ置クコト必要ナリ「ロ」縣「フエジャツク」市ノ衛生會議ハ此理由ヲ以テ腸室扶斯ノ流行スル「モールジュカナール」ニ接スル邊境町村ニ疾患ノ輸入ヲ避クル爲メ豫防措置ヲ命セリ又「ヴェニス」縣「シブッレ」郡々長ハ腸室扶斯ノ流行

「スルヅーセーブル」縣及ヒ「シャラント」縣ニ接スル邊境町村ニ對シテ同一ノ命令ヲ施行セリ傳染病流行ニ際シ便宜上學校ヲ閉鎖スルコトハ極メテ重要ナル問題ナリ屢々此ノ措置ヲ濫用シタルカ如シ而シテ或ル場合殊ニ腸室扶斯及ヒ飲料水ニ基因スル疾患ニ關シテハ其措置宜キヲ得タルモノ甚少ナシ吾人ハ本間ニ關シテ「ドクトル、モスニー」氏ノ說ヲ贊成セントス而シテ同氏ノ意見ニ依レハ數多ノ場合ヲ審査シ學校ノ閉鎖ハ如何ナル條件ヲ以テセハ傳染病流行ノ際豫防措置トシテ正當ナルヤ否ヤヲ決定センコトヲ希望スルニアリ

腸室扶斯病

腸室扶斯ハ千八百九十九年ノ夏期佛國ニ於テ再發シ其勢甚タ激烈ナリキ而シテ本年ハ旱魃引續キ各所ニ於

テ飲料水ノ缺乏ヲ以テ甚タ著明ナリ故ニ飲料水ニ基因スル流行病ハ先年ニ比シ甚タ多數ナリキ
千八百九十九年第三期間ニ於ケル傳染病中其原因、其傳播ノ狀況施行シタル豫防措置等吾人ニ或ル利益ヲ
與ヘタル傳染病ヲ擇ヒ茲ニ之レヲ掲ケントス

「シヤラントエンフエリユール縣」ロシユフオール郡ニ於テハ殖民地歩兵第七聯隊ニ於テ一流行病發生シタ
ルモ兵營以外ニ傳播セサリキ然レトモ六十名ノ患者中五名死亡セリ而シテ報告書中此ノ特別ノ場所ニ於ケ
ル傳染病ノ原因ニ關シ毫モ指示スル所ナシ

「コトバール縣」ボーム市衛生會議ハ市街及ヒ城砦「カルノー」ニ限リテ流行シタル腸窒扶斯ニ關シ
「ボーム」市役所ヲシテ適切ナル豫防措置ヲ施行セシメ市役所ハ土地所有者ニ對シ豫防措置施行ノ爲メ猶豫
期間ヲ附與セリ此ノ措置ハ疑ヒアル堀井戸ノ使用停止、共用貯水盤ノ飲料水ノ分拆、廁ノ掃除、揚水用吸
水管ノ整頓等ニ關ス「ムーズ」縣「コンメル」郡衛生會議ハ同郡「リギエール」村ニ於テ六名ノ患者中一名ノ死
亡者ヲ生シタル腸窒扶斯ノ發病原因ニ關シ有益ナル記載ヲナセリ即チ

此ノ村ノ住民ハ從來村民ニ飲料水ヲ供給シタル溝渠設置ヲ改良シ釜兒塗ノ鑄鐵管ヲ以テ舊水道ニ替ヘン
コトヲ企テテ改良工事ニ着手セリ此ノ事業ハ長期間繼續シ長坑ハ之レヲ開放シ鐵管ハ引換布設ノ爲メ其
邊リニ之レヲ放棄スルニ當リ大雨起リテ各種ノ殘滓(糞汁汚泥等)ヲ溶解シテ之レヲ坑及ヒ鐵管中ニ浸入
セシムルニ至ル而シテ天氣恢復スルモ其鐵管ハ豫メ之レヲ洗淨スルコトナク其儘布設セリ是レ乃チ傳染
病ノ原因ナリト信ス

飲料水ニ基因スル傳染病甚タ多シ概テ報告書ニ於テハ其村落ノ堀井戸ハ家畜臥糞ノ堆積、廁穴ニ接近スル
爲メ汚染セラレ從テ傳染病ヲ發生シタル旨記載スルヲ見ル

是等ノ流行病ニシテ其原因飲料水ヲ供給スル源泉ノ汚濁ニ關スルトキハ甚タ重大ナリトス「ロー」縣「カホ
ール」郡「ツウエル」村ニ於テハ飲料水ヲ供給スル所ノ小河ノ上流ニ公共洗濯場アリテ其ノ水ヲ汚染シ從ツ
テ傳染病發生シ二十六名ノ患者中五名ノ死者ヲ生セリ

「メースエーロワール」縣「シヨレー」郡「シュシレー」町ハ四千三百六十五ノ人口ヲ有スル小都會ニシテ其町
ノ公共貯水盤ノ汚染シタル爲メ腸窒扶斯發生シ患者百五十名中死亡者十一名ヲ出セリ

腸窒扶斯ハ千八百九十四年以來「ヨンス」縣「サンス」郡ニ於テ風土病トナレリ而シテ同郡衛生會議ハ之レヲ
「ヴ」シス「河水ニ歸シ大ニ此ノ河水ヲ攻撃シタルハ至當ナリ

「ヒレネーオリアンタール」縣「ブラード」郡「ノエート」村ニ於テ去ル八月十五日腸窒扶斯發生セリ蓋シ此ノ
村ハ醫師ヲ招聘スル爲メニハ驛馬ヲ以テ五時間ヲ要スル程醫師ニ乏シキヲ以テ大ニ憂慮セリ特性ヲ有スル
三十五名中死亡者四名及ヒ二十名ノ胃症患者ヲ生セリ郡長ハ臨檢シ此ノ傳染病ハ飲料水ノ汚染ニ基因スル
コトヲ認メ同日直チニ村長ヲシテ住民ニ對シ村内ノ貯水盤ノ水ノ使用ヲ禁シ同村ノ山頂ニアル泉水ヲ使用
スヘキ命令ヲ出サシメタリ爾來一名タモ新腸窒扶斯患者ヲ發生セサリキ

「ツーセーゲル」縣「ニオール」郡「センメークサン」市ニ於テ住民及ヒ衛戍兵中ニ腸窒扶斯發生シ三百四十名
ノ患者中二十七名ノ死者ヲ出セリ而シテ此ノ傳染病モ亦飲料水ニ基因スルモノナリ

「ロアエール」シエール」縣「バンドーム」町ハ其飲料水不潔ニシテ爲メニ傳染病發生シ獵兵第七聯隊ニ於テ騎兵八十名ニ傳染シタル後兵營外ノ住民ニ傳播セリ

左ニ掲クル大都府ニ於テハ千八百九十九年第三期中腸窒扶發生シ又ハ再發セリ即チ「ボルドー」市（患者百九名）「ツローン」市（死亡二十名）「ルハーヴェル」市（九月三日乃至二十二日ニ患者七十四名中死亡者二十名）「アミアン」市（患者百二十八名）「アンノネー」市（九月中患者百名）是レナリ其使用スル飲料水ノ品質ニ關シ少シク疑フヘキモノアリ

赤痢病

千八百九十九年夏期ニ於ケル赤痢ハ罹病者ノ數夥多ナルト死亡者ノ割合顯著ナルトニ依リテ著明ニシテ其原因ハ非常ナル旱魃ノ結果トシテ飲料水ノ缺乏シタルニアリ而シテ最モ慘狀ヲ極メタルハ、フェニステール縣ナリトス

「ブレスー」郡ノ或村ニ於テハ其住民凡ソ千五百名中三百名ノ患者アリテ其患者中六十名ノ死亡者ヲ出セリ「シャートーレン」郡「スブゼー」村ニ於テハ患者二十七名中死亡者十四名ヲ生シ又「ケンベルレー」郡ニハ七十五名ノ患者中十五名ノ死亡者ヲ生セリ

「ローターテーガロンヌ」縣「ヴェルヌーブシユールロー」郡ニ於テモ亦等シク危險ナル傳染病ヲ發生シ罹病者百五十名中死亡者十五名、タルンエガロンヌ」縣「モワサツク」郡ニ於テハ罹病者八十一名中死亡者四名ヲ生セリ此ノ如ク重大ナル關係ヲ有スルニ拘ハラヌ醫師組合ハ之レヲ届出ツルコトナク憲兵ニ依リテ初メテ

之レカ通知ヲ受ケタリ

「ムーズ」縣「コントリックン」町ニ於テハ三十九名ノ罹病中十一名ノ死亡者「ゾトセーヴル」縣「バルツネー」町ニ於テハ四十名ノ罹病者中十五名ノ死亡者ヲ生セリ

虎列刺病

佛國ニ於テハ亞細亞虎列刺ハ千八百九十九年第三期中發生セサリキ而シテ唯歐羅巴虎列刺ノ特發シタルモノアリシノミ

「シヤラントエスフヘリユール」縣「セントマツブレ」町ニ於テ小傳染病發生シ其最高死亡率ノ爲メ甚タ著明ナルモノニシテ（罹病者九名中死亡者四名）主治醫ハ此傳染病ノ終熄スルニ至リテ初メテ之レカ届出ヲ爲セリ其主治醫ハ之レカ爲メ官衙ヨリ注意ヲ受ケタリ

實扶的利亞病

報告書ヲ信用スルコトヲ得ハ本病ハ甚タ傳播シタリト雖モ重要ナル傳染病トナラサリシモノ、如シ「アルデーシユ」縣々知事ハ千八百九十九年八月以降「ブリッヴハー」町ニ於テハ實扶的利亞新患者ヲ發生セサリシコトヲ記載セリ故ニ千八百九十五年十月發生シタル本病モ遂ニ消滅スルニ至レリ而シテ「ドクトル、シヤントメツス」氏及ヒ「ドクトル、マルテン」氏ハ豫防法ヲ研究スル爲メ其流行地方ニ赴ケリ

實扶的利亞ノ各地ニ發生シタルニ依リテ實扶的利亞治療液「血清」ノ使用漸次擴張スルニ至リタルハ大ニ慶賀スヘキコトナリトス「カルヴ」縣「フハレス」町及ヒ「ロワール」縣「センチエンヌ」縣「ラリカマリ」村

ノ幼稚園ニ於ケル傳染病流行中ノ如キハ豫防ノ爲メ血清ヲ注入シ以テ之レヲ防遏セリ而シテ官衙ノ注意ニ基ツキ血清貯藏所ヲ各縣内ノ各所ニ設置シ以テ此ノ貴重ナル治療法ノ傳播ヲ容易ナラシメタリ

發疹熱

麻疹ハ傳染病ノ大流行ヲ以テ着名ナル千八百九十九年夏期ニ於テハ發生セサリキ但「モルビアン」縣「ロリヤン」市ヲ除ク同市ニハ七百七十三名ノ罹病者ヲ生セリ「カルヴドール」縣「グゼール」郡「アンネーシユエ」ドシ「市ニ於ケル傳染病ハ女學校ニ於テ發生シ百六十六名ノ學生中百十名ノ學生ニ感染セリ」
「グハール」縣「ツローン」郡「ボードール」村ニ於テハ七十名ノ罹病者中死亡者七名ヲ生セリ

猩紅熱ハ「ハーヅーカーレー」縣ニ於テノミ數回發生シ同縣「ブローギユ」市ニ於テ七十四名ノ罹病者ヲ生シ而シテ諸學校ハ恢復期ニ於ケル學生ノ復校早ニ失シ爲メニ其病毒ニ汚染セリ又一種ノ傳染病ハ同縣「アラス」市ニ於テ千八百九十八年十二月ヨリ發生シ同郡ノ各村ニ傳播セリ

天然痘又ハ假痘ハ各所ニ特發シ「マルセイユ」市ニ於テハ九十七名「モントーリエ」市ニ於テハ假痘三十一名ヲ生セリ而シテ兩市ニ於テノミ眞ニ流行病ノ狀態ヲ有セリ「マルヌ」縣「エベルネー」郡「グメルメイユ」市ニ於テ假痘發生シ患者二十名ヲ生スルニ至リテ漸ク其地ノ產婆ノ認ムル所トナリ初メテ之レカ届出ヲ爲セリ蓋シ吾人ハ天然痘又ハ假痘流行ニ際シ其豫防措置ノ最良法ハ流行地ニ於テ住民全體ニ對シテ再種痘ヲ施行スルニアリト認ムル者アリ而シテ天然痘ノ發生シタル「ブーシエジュロヌ」縣「アル」市「オッーズ」縣「クレルモン」市及ヒ「ソウヌエロツーズ」縣「オートン」市ニ於テノミ此ノ豫防措置ヲ施行セリ前ニ説明シ

タル「モントヘリエ」市ニ於ケル假痘流行ノ際此ノ豫防措置ヲ等閑ニ附シ又否ラサルモ報告書中ニ其記載ヲ缺ケリ

其他ノ傳染性疾患

「シヤラント」縣「バルブジュエ」市ニ於テ產褥熱發生セリ蓋シ該疾患ハ分娩ノ際產婆カ其二指ニ膿ヲ有シタルニ基因スルモノニシテ此ノ如キ狀態ヲ有スルニ拘ハラス分娩ニ干與シタル產婆ノ不注意ハ之レヲ觀過スルコトヲ得サルナリ尙其他ノ場合ニ於ケル產褥熱ノ記載アリ即チ一回ハ「ナンシー」市ニ於テ（產婆ハ四十四日間其業ノ停止處分ヲ受ケタリ）一回ハ「センジエ」市ニ於テ（產褥熱ノ未タ平癒セサル前、他ノ產婦ニ注意ヲ爲サスシテ其招待ヲ受ケタルニ依ル）是レナリ

「カルヴハドール」縣「グゼール」市ニ於テ一回耳下腺腫起ナル傳染病發生シ一學校内ニ流行二十六名ノ學生中十一名之レニ罹レリ

「カルヴハドール」縣「ボンレヴ」市ニ於テハ或ル慈惠宿泊所ニ於テ流行性加多留發生シ其狀況ノ重大ナルヲ以テ著明ナリトス而シテ病院ニ入院シタル十二名ノ患者中四名ハ遂ニ死亡セリ

發疹胸窒扶斯ハ「マルセイユ」市（罹病者四名）「ヌヴヘール」市（罹病者一名）「ヒユイヅドーム」縣「トール」市（罹病者一名及ヒ「アミヤン」市（罹病者一名）ニ於テ發生セリ以上ノ中二個ノ場合ハ其診斷ニ少シク疑フヘキモノアリ而シテ嚴格ニ其豫防措置ヲ施行セテリシト雖モ詳疾患ハ別ニ傳播スルニ至ラサルキ

粟粒狀ヲ有スル傳染性發疹熱ハ一回「マルセイユ」市ニ發生シ「コトドール」縣「スミール」市ニ於テモ亦一

回發生セリ

千八百九十九年第三期間「ジシオン」市ニ於テ層々結核病發生シ當時多數ノ死亡者ヲ生シタル原因トナレリ
「ホートザルブ」縣「カツブ」市衛生會議ハ教授「グランシユ」氏ノ結核豫防ニ關スル報告ヲ公示スルコトヲ決
議セリ

「オード」縣「カステルノーガリー」市及ヒ「フヒニステール」縣「ケンベル」市衛生會議ハ將來「ベスト」病ノ來
襲ニ備フル措置ヲ討議シ管轄區域内ノ各地ニ檢疫醫員ヲ派遣シ「ベスト」病流行地ヨリ來ル船舶ヨリ上陸シ
タル旅客ヲ檢疫セシメ其船客ハ病毒ニ感染セサルモノナルコトヲ認知セリ

「ホードザルブ」縣「アムゾロ」市衛生會議ハ「シヤルジュ」沼排水工事業ニ従事スル工夫ニ對シテ馬刺利亞病
ニ對スル適切ナル豫防措置ヲ示セリ

消 毒

佛國ノ狀圖ノ大部分ニ消毒機關ノ設置ナキニ或ル程度マテ醫師組合中一部ノ落膽、傳染性疾患ノ屈出ノ缺
欠、及ヒ檢疫事務ノ無勢力ナルコトヲ説明スルコトヲ得ヘシ

然レトモ消毒器械、消毒機關ヲモ具備セサル場所ニ於テモ尙醫師ハ煮沸又ハ防腐劑ニ依リテ麻布、衣類、排
泄物ノ消毒ヲ命シテ豫期スル結果ヲ收ムルコトヲ得ヘシ又醫師ハ硫黃ノ蒸氣消毒、防腐劑洗滌、石灰散布
等ノ方法ニ依リテ病毒汚染ノ場所ヲ消毒セシムルコトヲ得ヘシ然レトモ動産及ヒ臥具ハ常ニ其消毒不完全
ナリ否ラサルモ以上ノ方法ニ依リテハ不能ナリ

其他全家族ハ一室ヲテ唯一ノ隱遁所ト爲ス場合多シ此ノ場合ニ於テハ局部ノ消毒ハ如何ニセハ之レヲ實
施シ得ヘキ乎又何處ニ恢復期ノ患者ヲ置クヘキ乎消毒施行中ハ何處ニ家族ヲ宿泊セシムヘキ乎茲ニ隔離ノ
問題ニ密接ノ關係アル問題アリ而シテ隔離問題ニ付テハ後ニ之レヲ説明セントス

移動スヘキ消毒用器具(乾燥爐)カ郡衙ノ權内ニ屬スルトキハ便宜ナリト云フヘカラス時期ニ依リテ其使用
ヲ拒絕セラル、コトアリ即チ「バーゾーカレー」縣「アラ」郡ニ於テ「ボワスル」村長ノ之レヲ拒絕シタル
カ如キ其一例ナリ是レ實扶的利亞ニ關スル場合ニシテ檢疫醫員ハ消毒ヲ嚴量ニ施行センコトヲ熱心ニ主張
セリ其他ニハ曾テ消毒用乾燥爐ヲ請求スル者ナク又ハ請求スル者アリト雖モ甚タ稀ナリ即チ「バツスザル
ブ」縣「エンドル」縣「ジロンド」縣「オルメ」縣及ヒ「ホートサヴ」縣ニ對スル消毒用乾燥爐ニ關スル場合
ナリトス

如何ナル理由ニ依リテ消毒ニ對スル熱心ノ缺乏ヲ説明スルヲ得ヘキカ是レ住民ノ不注意ト無知、或ハ醫師
ノ無感覺ト無頓著トニ基因スルモノナルヤ明瞭ナル事實ナリ而シテ醫師ニ關スル事項ニ付テハ「オルヌ」縣
「ドムフロン」郡々長カ其報告書中ニ記載スル事實ヲ次ニ掲クヘシ

七月ニ於テ余カ管轄内ノ一村落實扶的利亞發生セリ故ニ必要ナリト信スル條件ヲ以テ直チニ其審査ニ
著手シ罹病者四名及ヒ其主治醫モ亦之レニ感染シタルコトヲ發見セリ而シテ其主治醫ハ其患者ニ對シテ
或豫防措置ヲ施行スルヲ以テ満足セリ(其豫防措置ハ疑モナク簡易ナリシナルヘシ)然レトモ其醫師ハ
余ニ對シテ消毒用乾燥爐及ヒ其住居消毒用ノ爲メ噴霧器ノ使用許可ノ請求書ヲ送付セリ而シテ此ノ當該

職員ノ採用シタル豫防行爲ハ甚タ必要ニシテ賞賛スルノ外ナシ然レトモ患者ニ對シ其主治醫カ自己ニ必要ナリト認タル措置ヲ勸誘シ之レヲ施行セシムルヲ以テ可ナリト爲サ、ルハ一驚スルノ外ナシ

然レトモ茲ニ忌避ニ關スル真正ノ理由ヲ探究スルコトヲ要セサルナリ實際消毒用乾燥爐ノ移轉費ハ之レヲ請求シタル町村ノ負擔スヘキモノナルヲ以テ之レヲ使用スル者ナシ且其費用ハ甚タ重キ負擔トナルコトアリ故ニ「エンドル」縣々知事ハ縣會ニ對シ當然貧困ナル町村内ニ郡所屬ノ消毒乾燥爐ヲ移送スルコトヲ得ヘキ特別經常定額ヲ請求スルコトヲ發案セリ

或ル消毒用乾燥爐例ヘハ「ヘチユース」病院ノ消毒乾燥爐ノ如キハ其内ニ置キタル物品ヲ變敗シ又ハ破壊スル等拙ク施行スルモノアリ

消毒器械ハ其取扱ニ慣レサル者ニ之レヲ任スルトキハ相對的ノ効力ヲ現ハスモノナルコトヲ注意スヘシ蓋シ此ノ事タル毎回生スル事項ニシテ「オルス」縣「モルタルギユ」郡々長及ヒ「ボツチエー」市檢疫職員ノ注意スル所ナリ而シテ前者ハ「モルターギユ」市ニ於テハ消毒用乾燥爐、消毒スヘキ物品運搬用馬車、噴霧器ヲ有スルト雖トモ是等ノ器械ヲ運轉スル爲メニ練習セル人夫ヲ有セサルコトヲ述ヘ後者ノ消毒ノ任務ヲ有スル者ノ怠慢ニ依リテ消毒ヲ全ク有名無實ナルモノト爲スコトヲ述ヘタリ

國家ヨリ郡ニ對シテ臨時救助金ヲ附與シ消毒用器械ヲ購買セシムルトキハ特ニ此ノ職務ニ従事スヘキ人夫隊ノ編成ヲ希望セサルヘカラス又屢々消毒用乾燥爐ノ模型又其構成ノ方式ヲモ記載セサルコト多シ三百五十郡ノ中消毒用乾燥爐ヲ所有スル者ハ僅々六十八郡ニ過キス而シテ其三十五個ノ乾燥爐ノミハ町村

團體ノ使用ニ任スルモノニシテ其數甚タ僅少ナリ故ニ各縣ヲ數個ノ區劃ニ分チ其區劃毎ニ其事務ニ精通ノ者一名ヲ置キ完全ナル消毒事務ニ通曉スルコトヲ希望スルモノナリ

「ノール」縣選出代議士「ドロン」氏ハ同縣内ニ衛生事務所ヲ設置シ其事務所ニ固定ノ乾燥爐及ヒ消毒スヘキ物品運搬用馬車ヲ備ヘ付クル計畫ヲ爲セリ

次ニ掲クル都府ハ市消毒事務所ヲ有シ其事務所ハ能ク其職務ヲ施行セリ即チ「マルセイユ」市「ホルドー」市「リール」市「リヨン」市「トンケルク」市及ヒ「エヘルネー」市是レナリ

郡ノ主府ニシテ其郡内ノ各村ニ使用セシムル乾燥爐ヲ有スルモノ、一覽表左ノ如シ
(一覽表畧) (其數三十五個所)

郡ノ主府ニシテ自己ノ使用ノ爲メ乾燥爐ヲ所有スルモノ、一覽表左ノ如シ
(一覽表畧) (其數三十個所)

消毒用乾燥爐購買ノ爲メ臨時救助金下附ノ請求ヲ爲シタル郡左ノ如シ

「エタン」縣「トレヴー」縣「コレーズ」縣「ユッセル」郡「ウール」縣「アンヅリー」郡「ホートガロンヌ」縣「ヴ井ルフランシユ」郡「ランド」縣「ダース」郡「ローテーガロンヌ」縣「ヴヒルヌーヴシユールロー」郡「オワーズ」縣「クレルモン」郡「バーヅーカーレ」縣「セントメール」郡「グーセーヴル」郡及ヒ「アルデンヌ」縣即チ是レナリ

「オード」縣「リムー」郡「ジロンド」縣「レスバール」郡ハ別ニ明示スルコトナク消毒器械ヲ請求セリ而シテ

「ウボークリューズ」縣「オランジュ」郡ハ噴霧器ニテ満足セリ「ガール」縣「アレー」市ハ其所有スル消毒器械ノ修繕ノ爲メ臨時救助金ヲ請求セリ「ヌグヘル」市ハ千八百九十四年以來「ニューズ」縣會ヨリ消每事務所設立ノ許可ヲ受クルコトヲ得サリキ「アルジレー」郡々長ハ「ルールド」市ニ消毒事務所ヲ設置スル必要ヲ記述セリ而シテ同市ニハ千八百九十九年ニ於テハ十五萬以上ノ外國人來遊セリ

隔離

住所内ノ隔離ハ概ネ村落及ヒ職工ノ住所ニ於テハ不能ニシテ一室ヲ以テ全家族又ハ少クモ數人ノ住所ニ供スルノ状態ナリ而シテ適當ナル看護機關ノ設ケアル場所ニ於テハ流行病ニ罹リタル患者ヲ隔離スルコトヲ得然レトモ是等ノ状態ハ尙充分實行セラレスシテ「ソームエーロワール」縣「オートン」市「ルクルーソー」市ノ如キ重要ナル中央部モ尙隔離用ノ臥床四個乃至六個ヲ有スルニ過キス郡立病院ノ多數ハ全ク之レヲ有セス故ニ「ロー」縣「フェジャック」郡「バーツーカー」縣「アラトス」郡「ヴェスジュ」縣「ヌーフシャート」郡「バックスザルブ」縣「バルスロンネット」郡ニ於ケル各病院ノ如キハ隔離用ノ釣寢床ヲ備ヘ付クル爲メ臨時救助金ヲ請求セリ而シテ「ロゼール」縣「マルジョール」郡々長「ブーラン」氏ハ流行性疾患ハ隔離ヲ實行スル爲メ數個ノ寢床ヲ有スル病室ヲ各村組合委員會ヲ有スル内ニ設置セント欲シ發案シタルコトハ吾人ノ己ニ説明シタル所ニシテ他ノ考案ハ「オルヌ」縣ニ於テハ已ニ之レヲ實施シ同縣「モルターギユ」郡々長ハ「モルターギユ」市ノ近隣二個村ニ於テ六名ノ兒童カ同時ニ實扶的痢亞ニ罹リタルヲ以テ之レヲ隔離スル爲メ不住ノ一家屋ヲ病舎ニ變更シ以テ其用ニ供セリ此隔離措置ニ依リテ充分ニ罹病者ノ住シタル場所ヲ消毒スルコトヲ得タリ

四縣立又ハ市町村立衛生事務所、特別

組織—希望

實驗所

飲料水引用ニ關シ容易ク化學的及ヒ微菌學的分析ヲ施行スルコトヲ得ヘキ設備ヲ爲スノ必要ハ一般ニ理解スルニ至リタルハ既ニ記載スル所ナリ故ニ吾人ハ左ニ各郡ノ都會ニ於ケル實驗所ノ有無ニ關シ少シク記載セントス是等ノ實驗所ハ概ネ化學的及ヒ微菌學的分析ヲ實行シ及ヒ各郡ノ主任者ノ請求ニ基ツキ微菌學上ノ診斷ヲ定ムル目的ヲ以テ之レヲ組織セリ而シテ場合ニ依リテハ其ノ實驗所ニ臨時救助ヲ與フル所ノ隣縣ノ請求ヲ受ケ分拆スルコトアリ

「リール」市及ヒ「ボルドー」市ノ實驗所ハ狂犬病ニ對スル血清及ヒ痘苗ヲモ同時ニ製造ス

報告書ハ本問ニ關シテモ甚タ不充分ナリ如何トナレハ「マルモイユ」市「ツールーズ」市「モンドベリエー」市「ナンシー」市「ルーアン」市ノ諸市等ニハ實驗所アリテ化學的及ヒ微菌學的分析ノ依頼ニ應スルコトヲ得ルニ係ハラス實驗所所有者中ニ之レヲ掲ケサルヲ以テナリ

「アルテンヌ」縣「ロクローワー」市「ロアール」縣「ロアンヌ」市及ヒ「オートヴヒエンマ」縣「ベラック」市ハ實驗所設立ヲ請求セリ

郡ノ都會ニシテ實驗所ヲ有スル者ノ一覽表左ノ如シ

「アリエール」縣「モントリツソン」市及ヒ同縣「ムーレン」市

「シヤラントウンフユリコール」縣「ロシユール」市
 「ガール」縣「アレー」市
 「シロンド」縣「ホルドー」市
 「エンドルエロソール」縣「ツール」市
 「ランド」縣「モンヅマルサン」市
 「メーヌエロツール」縣「アンジエール」市
 「マルヌ」縣「レーム」市
 「モルビハン」縣「ロリヤン」市及ヒ同縣「ヅハンス」市
 「ノール」縣「リール」市
 「ビユイーズドーム」縣「クレルモン」市
 「バツスピレネー」縣「ボー」市
 「ローヌ」縣「リヨン」市
 「サボアー」縣「シヤンベリー」市
 「ソナム」縣「アミヤン」市
 「ヴォークリユーズ」縣「アビギヨン」市
 「ヅハンデー」縣「ラロツシユミユールヨン」市

「ヅキユンヌ」縣「ボワーチニー」市
 「ヅオスジユ」縣「ルミールモン」市

種痘事務所

「ホルドー」市及ヒ「ツール」市ハ痘苗製造所ヲ有ス次ニ掲クル諸市府ハ種痘事務所ヲ有スルヲ以テ著名ナリトス即チ

「アルデイシユ」縣「ブリヴハー」市「ガール」縣「ニーム」市「モルビハン」縣「ロリアン」市「ビユイーズドーム」縣「クレルモン」市「ローヌ」縣「リシヨン」市「ホートツトヌ」縣「ヅズール」市「ソナム」縣「アミヤン」市「ヅヒエンヌ」縣「ボッターチエー」市

「メーヌエロワール」縣「シヨレー」郡ノ報告書ニ從ヘハ同郡ノ諸小學校々長ハ其學生ニ對シ種痘ヲ實施セリ

實扶的利亞治療血清貯蓄所

「アルデーシユ」縣々知事クリユーション」氏ノ注意ニ基ツキ同縣内ノ三百四十個村ノ各村役場ニ於テ實扶的利亞治療血清貯蓄所ヲ設置セリ而シテ此ノ實例ヲ普及スルコトヲ要ス如何トナレハ或ル報告書中ニ於テ實扶的利亞流行ノ際醫師ハ血清ヲ有セサルヲ以テ是レヲ注射シ得サリシコトヲ記載スルカ故ナリ然レトモ千八百九十五年一月十四日及ヒ同年三月十六日訓命ニ從ヒ各縣ニハ公共救濟局又ハ病院内ニ血清貯蓄所ヲ設立スルコトヲ要スルモノトス

衛生局及其他ノ組織

茲ニハ單ニ之レヲ枚擧スルノミ實際報告書中ニハ別ニ説明スル所ナク郡ノ首府ニ於テ衛生局ノ存在スルコトヲ示セリ其ノ組織及ヒ其事務施行ニ關シテ説明スルモノアリト雖トモ茲ニ之レヲ掲クルノ利益ナシ「ニース」市「ナント」市「レーム」市「クレルモン」市「ベルビキヤン」市「リヨン」市「アミヤン」市及ヒ「アウヒキヨ」市ノ爲メ詳説スル處アリ「ハーブル」市ハ其衛生局ノ方針ヲ定メ化學的及ヒ微菌學的實驗所ヲ指導スルニ適任ナル衛生醫師ニ之レヲ托セリ「グハンヌ」市ハ公衆衛生事務ニ關スル縣監督官及ヒ保健委員會ヲ設置セントセリ「アベイロン」縣「ミロー」市ニ於テハ健康ニ適セサル家屋調査委員會アリ「ニーム」市ニ於テハ衛生局ノ設置ヲ請求シ「ベルホール」市及ヒ「シャートルロール」市ハ健康ニ適セサル家屋調査委員會ノ設立ヲ希望セリ

要 求

吾人ハ報告書中記載スル所ノ要求中最モ利益アル者ヲ選ヒ之レヲ茲ニ掲ケントス
報告書中屢々反覆スル所ノ希望ハ直チニ衛生法規ヲ制定シ最短期日ノ間ニ之レヲ實行スルコト及ヒ爾來公衆衛生ニ關スル條規ヲ適用スルノ任務ヲ有スルモノハ市町村役場ニアラスシテ府縣官衙ヲシテ之レヲ擔任セシムルコト又國家カ町村ニ對シテ飲料水供給ヲ目的トスル事業衛生ニ適スル校舍ノ建築及ヒ病院ニ於テ隔離病室ノ建築ノ爲メ臨時救助金ヲ下賜スルコト又國家カ消毒事務施行ノ爲メニ要スル費用ノ支出ニ參與スルコト等是レナリ

「ラオン」衛生會議ハ行政官衙カ私立學校開設屆ニ飲料水ニ關スル化學的及ヒ微菌學的分拆明細表ヲ添附スルコト及ヒ千八百八十六年十月三十日法律第三十八條ヲ此ノ意義ニ於テ修正センコトヲ更ニ要求セリ茲ニ注意スヘキ事項ハ千八百九十七年一月四日文部大臣カ訓示ヲ以テ大學區監督官ニ對シ私立學校ニ於テ使用スル飲料水ノ品質ニ關シ正確ナル方法ニ依テ之レヲ報告スルコト及ヒ必要アル毎ニ其飲料水ノ分拆ニ著手スルコトヲ命シタルニアリ

「コルス」縣「カルビー」市ニ於ケル衛生會議ハ衛生諮問委員會ノ命令ニ基キ床板上ニ吐唾スヘカラサル旨ノ告示ヲ小學校ニ揭示スルコトヲ請求セリ

衛生的概念ノ普及ハ世人ノ屢々要求スル所ニシテ「オード」縣「ナルボンヌ」郡々長ハ高等學校中學校及ヒ小學校ニ於テ衛生學ニ關スル課目ヲ創設センコトヲ提案セリ

結 論

本報告書ハ各郡ニ於ケル衛生事務施行ニ關シテ甚タ不完全ナルコト明瞭ナリト雖モ今之レヲ終ニ臨ンテ左ニ少シク吾人ノ所感ヲ略説スル所アルヘシ

現今ニ至リテハ飲料水供給ニ關シ其改良進歩ノ程度甚タ顯著ナリト雖モ尙改良スヘキモノ甚タ多シ之レニ反シテ變敗物ノ排泄及ヒ保健事業ニ關シテハ殆ント其全部改良スヘキモノニシテ行政官衙及ヒ衛生會議ハ本問ニ關シテ特ニ注意スヘキモノナリ

檢疫事務ハ傳染性疾患ノ届出不完全ナルコト檢疫醫員ノ少數ナルコト消毒事務及ヒ隔離方法ノ不完全ナル

カ爲メ遂ニ有名無實ノモノトナレリ

第一ニ改良スヘキ點ハ傳染性疾患ノ發生スルニ當リ正確ニ之ヲ届出シムルコトキ是レナリ

審査ノ原因缺欠シ他ノ衛生事務ノ要素カ完全ニ設備セラレサル間ハ如何シテ衛生事務ヲ完全ニ組織スルコトヲ得ヘケンヤ

千八百九十九年六月十日ノ省令ニ從ヒ衛生事務及ヒ傳染病豫防事務ヲ指揮監督スルノ任ハ各官衙ノ上ニ於ケル上級行政官衙ニ歸ス故ニ現今各縣ニ存スル構成原素ニ改良ヲ加ヘ其利益ヲ受クル者ハ又此行政官衙ナリトス或ル縣ノ盡力ニ依リ得タル好成绩ハ熱心ニ改良事業ニ從事スル者ニ對シテハ好キ獎勵方法タルヘシ終ニ臨ンテ茲ニ注意スヘキ事項アリ即チ公衆衛生及ヒ公衆救濟局長官カ中央衛生會議長ニ對スル千八百九十九年六月十日ノ報告書ニ於テ傳染性疾患ノ吾人ヲ脅迫スル危害ノ外尙我出產平均數ノ少ナキコト、地方ノ住民ニマテ結核病ノ傳播シタルコト、及ヒ「アルコール」中毒ヨリ生スル損害ノ危險ナルコトヲ記載セリ之レ即チ各郡ノ衛生會議ノ爲メ最高利益アル事業ニシテ審査ニ關スル網目ノ一種ナルヘシト信スルナリ

報告者 アツシユ、ブールジュ

佛國公衆衛生諮問醫員會ハ本報告書ノ結論ヲ承認シ各縣知事及ヒ各郡長ニ對シ摸範トシテ一部ツ、之レヲ配付セリ

議長 ベエーブルアルデル

殖民地保健事務監督官長「ドクトル、ケルモルガン」氏視察千八百九十九年佛國殖民地ニ於ケル傳

染病報告

「コンゴ」國及ヒ「マダカスカル」國ニ於ケル天然痘「ヌーヴヘルガレドニー」國ニ於ケル赤痢及ヒ水痘並ニ我各領地ニ於ケル流行性加多留ヲ除キ千八百九十九年ノ一ケ年間ニ於テ我殖民地ニ損害ヲ與ヘタル傳染病ハ脚氣病、虎列刺病、黃熱及ヒ黑死病是レナリ

A 脚氣病 本病ハ毎年多少殖民地ニ流行シ可成高率ノ死亡數ヲ發生セリ然レトモ南米「ギユイヤース」國ニ於テハ漸次減少シ西印度「アンチユ」群島ニ於テハ奴隸廢止及ヒ印度人ノ移住廢止以降殆ント全滅セリ

脚氣病ハ千八百九十九年中「コシンシーヌ」國（首府及ヒ内地ノ各處ニ於テ）及ヒ「ブローマンドール」島ニ於テ流行的狀態ヲ以テ發生セリ同島ハ「センジャツク」岬ヲ去ル百海里ニシテ徒刑ニ處セラレタル亞細亞人ノ徒刑場ナリ本病ハ此ノ懲治監ニ於テ恰モ風土病ノ狀態ニ於テ存在セリ然レトモ概シテ其數甚タ少ナク且ツ甚タ輕症ナリ而シテ千八百七十八年千八百八十六年千八百九十一年及ヒ千八百九十二年ニ於テ觀察シタル如ク時トシテ本病ハ流行的步調ヲ取レリ千八百九十七年乃至千八百九十八年及ヒ千八百九十九年ニ於テモ亦同一ノ經過ヲ有セリ

千八百九十九年「ブローマンドール」ニ於ケル傳染病ハ前年ニ於ケル傳染病ノ繼續ナリ如何トナレハ千八百九十九年正月ニ於テ尙前年ヨリ越年シタル三十九名ノ患者ヲ病舎ニ於テ計算スルカ故ナリ

在檻囚徒四百七十八名ノ現在人員ニ對シテ二百五十五名ノ脚氣病患者ヲ登錄セリ但シ再發ノ患者及ヒ再犯ノ囚徒ヲ除ク此ノ登錄人員中二百四名ハ終ニ死亡セリ故ニ稍々囚徒ノ過半數ハ本病ニ罹リタルモノナリ而

シテ「ブローコンドル」懲治監ニ於ケル千八百九十七年乃至千八百九十八年及ヒ千八百九十九年ノ脚氣病患者ノ員數ヲ比較シ左ニ掲クル成績ヲ得タリ

自千八百九十七年千八百九十九年
至千八百九十八年

發病數	五百五十	四百五
死亡數	二百五十五	二百四

既ニ前述シタルカ如ク脚氣病ハ首府及ヒ内地ノ各洲ニ於ケル亞細亞人ナル囚徒中ニ發生セリ蓋シ此ノ種ノ患者ハ「シヨンカン」病院ニ之レヲ送附スルモノトス其病院ノ所在地ハ「サイゴン」ニ接近セリ而シテ一千八百九十九年ニ於テ此ノ營造物ニ於ケル入院患者ノ總數ハ一千二百三十四名ニ上レリ此ノ人員中五百三十七名ハ脚氣病患者ニシテ總テ死亡數ハ二百九十九名ニ達シ其内二百二十六名ハ脚氣病ニ依リ死亡セリ本病ニ依リテ「ブローコンドル」及ヒ「シヨンカン」ニ於ケル死亡數ヲ比較スルトキハ後者ニ於テハ死亡數ハ二分ノ一強ニ過キサルナリ

以上掲クル脚氣病ニ依ル死亡數ハ海外ノ我各領土内ニ於ケル損害及ヒ土人ノ此ノ疾病ニ對スル負擔ニ關シ薄弱ナル思想ニ與フルニ過キス然レトモ本病ハ避ケ得ヘキモノ、如シ實際本病ハ特ニ入檻セル土人及ヒ兵役ニ服スル土人ニ對シ發生シ入檻者ト衣食住ヲ同ウスル自由ノ同種族ニハ發生スルコトナシ而シテ在檻者ト自由人トノ間ニ存スル差異ハ後者ハ囚人及ヒ兵士ノ受クル德義ノ没落ヲ免カル、ニアリ蓋シ本病ノ基因

ハ實ニ茲ニ存ス又自由ノ土人ト入監者或ハ兵士トノ間ニ確然タル一ノ差異アリ即チ前者ハ何事ヲモ爲サルニ反シテ後者ハ日々甚シシク勞力ヲ要スヘキ事業ニ從事スルコトヲ要スルモノナリ而シテ土人ノ常用スル食物ハ其品質甚々粗惡ニシテ且ツ甚々不充分ナリ從ツテ繼續シタル事業ニ服役スルヤ忽チ衰弱スルニ至ル故ニ是等ノ群衆中ニ於テ罹病數及ヒ死亡數ヲ減スル爲メニハ歐洲人ノ食物ニ近似スル食物ヲ彼等ニ與フルニアリ此事タル別ニ經驗スルヲ要セサルナリ囚徒借受人ハ契約上其負擔スル一日ノ食料ヲ改良スルコトヲ急キ麵麩若干量ト良質ノ肉若干量トヲ増加シ是レニ依リテ稍々耐力ヲ増加シ廢人及ヒ死亡者ノ數ニ於テ正當ノ減少ヲ見ルニ至レリ從來脚氣病ノ治療法中ニ於テ最良藥ト見做サレタル豚ノ脂肪ハ正確ナル効果ヲ奏セサリキ

脚氣病ヲ生スルニ足ルヘキ不完全ナル食物ヲ供給スルトキニハ引續キ個人ノ抵抗力ヲ減殺スヘキ各種ノ原因ヲ生スルモノナリ即チ疲勞、寒冷等はレナリ
本病ノ發生スルヤ直チニ其家屋ヲ退去シ互ニ離散シ輕易ノ事業ニ從事セシメ其場所ヲ消毒シ及ヒ健康ニ適スル種々ノ食物ヲ多量ニ與フルコト(其食物中大部分ハ肉類トス)ニ注意スヘシ以上ハ「センジャンム」慈惠院ニ於テ流行シタル上進性麻痺病ニ關シテ吾同僚「ジャンソメツス」氏ノ委員會ニ於テ説明シタル報告ナリ而シテ上進性麻痺ハ脚氣病ニ酷似スルモノナリ

乾燥期又ハ降雨期ハ本病ノ發生ニ毫モ影響スル處ナシ

B 虎列刺病 本病ハ各年「コシンシーム」地方及ヒ「カンホージュ」地方ニ於テ發生スル疾患ナリ千八百九十

九年ニハ此等ノ地方ニ於テ流行性状態ヲ俱備セリ「バーラオー」地方ニ發生シ先ツ「メコン」河ノ沿岸地方ニ傳播シツ、普通ノ進路ヲ取レリ此ノ大河ハ西藏國山岳ヨリ發シ「ヒルマ」國「ラオス」國「カンボージュ」國及ヒ「コシンシヌ」國ヲ橫斷シ海ニ注流ス

八月ニ於テ「ヲオス」國ニ虎列刺病發生シ九月ニ至リテ「カンボージュ」國ニ傳播セリ而シテ王國首府「プノムハン」府ニ三十四名ノ死亡者ヲ出シ同時ニ「メコン」河沿岸ノ諸洲ニ蔓延シ六十名ノ患者ヲ生シ内二十七名ノ死亡者ヲ出セリ「コシンシトス」國ニ於テハ十月二十六日ニ至リテ初メテ發生シ二ヶ月間ニ千三百四名ノ患者ヲ登錄シ其内千四百八十八名ノ死亡ヲ見ルニ至レリ是等ノ罹病數ハ此ノ地方ニ行ハレタル傳染病ノ狀況ニ關スル概念ヲモ與フルコトヲ得サルナリ實際傳染病發生毎ニ届出ツルコト甚タ少ナケレハナリ

歐羅巴人ハ傳染病ニ對シテ罹病者甚タ少ナク「カンボージュ」國及ヒ「コシンシヌ」國ニ於テ單ニ其總計六名ノミニシテ内四名ハ遂ニ死亡セリ

〔黃熱病〕本病ハ千八百九十九年四月ノ中頃ニ至リテ「コートジヴール」國首府「グランバッサム」市ニ於テ發生シ同年五月二十五日マテ繼續セリ而シテ同國ハ亞弗利加洲ノ西海岸ニ於ケル我殖民地中ノ一ナリ本病ハ衆人ガ病毒ニ汚染シタル家家ヲ退去シタルニ依リ其資料ノ缺乏シタルヲ以テ遂ニ消滅スルニ至レリ而シテ住民ノ復歸スルニ及ンテ七月及ヒ八月ニ於テ新ニ五名ノ患者ヲ生セリ

白人ニシテ首府ノ確定人口ヲ構成スル現在人員ハ僅々四十名ニシテ内三十三名ハ該病ニ感染シ二十九名ハ遂ニ死亡セリ是レ千人ニ對スル死亡率ハ八百七十八名七ナリトス

本病ノ原因ニ付テハ不明ニシテ他ヨリ輸入シタルモノナルカ將又本土ニ於テ特ニ發生シタルモノナルカ今之レヲ認ムルコト難シ然レトモ恐ラク其土地特發ノモノナリトナス考案ハ正當ナルヘシ其近接殖民地ニ於テハ惡性腸室扶斯ノ流行シタル所ナリトス而シテ「グランバッサム」市ハ大洋ト廣大ナル淺海トヲ分離スル沙岬上ニ建設スルモノニシテ此地方ニハ屢々黃熱病流行シ其屍體ハ其土地ニ之レヲ埋葬セリ地下ノ水流ハ地上即チ表面ヲ去ル極メテ短距離ニアリテ潮汐ノ變動ニ從フモノトス而シテ多數ノ死亡者ヲ出シタル家屋中ノ一ハ舊墓地ニ於テ建築シタルモノナリ

黃熱病ハ工事ノ施行ト同時ニ發生シタルモノニシテ其工事ハ土地ノ掘返シ工事ニシテ古代ノ墳墓發見ノ爲メニ施行シタルモノニシテ其墳墓中ニハ遺骨尙ホ存在シ且淺海ノ泥濘ナル土沙ヲ浚深シ之レヲ其沿岸ニ堆積セリ水流ニ於ケル工事ノ爲メニ露出シタル萌芽ハ氣象學ニ於ケル状態ノ影響ヲ受ケ活動シタルモノナルコトヲ茲ニ斷定スルコトヲ得ヘシ

茲ニ掲クヘキハ最近「スーダン」地方ニ於ケル傳染病流行ニ際シ黃熱病ハ舊時同病ニ罹リ死亡シタル者ヲ埋葬シタル墳墓發掘工事ノ進行中發生シタルモノナルコト是レナリ最初此ノ疾患ノ犠牲トナリタル者ハ該工事ニ使用シタル兵士トナリトス而シテ「スーダン」國ハ亞弗利加洲ノ中央部ニアリテ其唯一ノ交通國「セネガール」ハ其損害ヲ被ラサルヲ以テ「グランバッサム」市ノ傳染病ニ對シテ他ノ病原ヲ主張スルコトヲ得サルナリ

「グランバッサム」市ニ於ケル白人ハ各小團體ニ分レ各遠隔シタル場所ニ住シ而シテ互ニ其交通ヲ遮斷シ以

テ其災害ヲ避クルコトヲ得タリ

價格少ナキ家屋ハ之レヲ燒却シ其他ノ家屋ハ能ク消毒シ且其土地ニ存スル墳墓ニ接觸スルコトヲ嚴禁セリ本疾患流行後市街移轉ヲ企テ而シテ比較的高所ニシテ且ツ比較的衛生ニ適スル「アドジャメー」ニ之レヲ移サンコトヲ決セリ

D 黒死病 千八百九十九年ノ一ケ年間我殖民地中ノ四ヶ所ニ於テ黒死病發生セリ即チ「コートジヴワール」國「レーニオン」島「マダカスカール」島及ヒ「ヌーベールカレドニー」島是レナリ

「コートジボウアール」島一本病ハ此領土内ニ於テ三月ヨリ五月ニ至ルマテ黒人中ニ發生シ土人千名ノ人口中二百名以上ノ死亡者ヲ出セリ而シテ是レニ先チ黒死病微菌ニ依ル鼠族ノ死亡數ニ關シテハ反則ノ實例ヲ示セリ矮屋並矮屋中ニアル物件ハ總テ之レヲ燒燼シタル後該村ヲ他所ニ移轉シ漸ク該病ヲ終熄セシムルヲ得タリ爾來一回一兒童之レニ罹リタル者アリ蓋シ該兒童ハ禁令ニ係ハラヌ舊村落ノ舊跡ニ出游シ且ツ其塙所ニ於テ土砂ヲ運搬シタルニ基ク然レトモ其兒童ハ「イエルセン」血清ヲ以テ之レヲ治療シ遂ニ平癒スルヲ得セシメタリ千九百年ニ於テハ終ニ其發生ヲ見サリキ

蓋シ本病ハ孟買ヨリ來リタル商人カ土人ニ賣リ渡シタル織物ト共ニ輸入シタルモノ、コトシ

「レユニオン」島一本島ニ於テハ千八百九十九年六月五日ニ至リテ始メテ公然本病ノ發生ヲ確認セリ然レトモ該病ハ本島ニ於テハ已ニ此ノ年ノ始メヨリ流行シタルモノナリ此ノ時期ニ發生シタル數多ノ死亡者ハ淋巴管炎病ノ死亡數中ニ算入セリ(此ノ淋巴管炎ハ本土ニ於ケル風土病ナリ)然レトモ微菌學上ノ検査ニ依リ

テ此ノ淋巴管炎ノ死亡者中ノ或ルモノハ黒死病ニ外ナラサルコトヲ證明スルコトヲ得タリ而シテ黒死病患者六十五名中死亡者五十五名ヲ生セリ

「マダカスカール」島一黒死病千八百九十年七月二十一日「タマタープ」港ニ於テ第二回ノ發生ヲ爲セリ本病ハ其土地ニ於テ特發シタルモノニシテ其發病地ハ前年最モ其災害ヲ蒙リ慘狀ヲ極メタル區域ナリトス而シテ千八百九十年ニ比シ稍々長時期ノ間繼續セリ然レトモ發病數及ヒ死亡數ハ比較的僅少ナリ又本病ハ同島「アントシラーヌ」港ニ於テモ發生セリ此ノ「アントシラーヌ」港ハ「ジエゴージユアレース」灣内ニアリテ「タマタープ」港ヲ去ルコト海上數日里程ナリ本港ニ於ケル黒死病ハ其初メ鼠族ノ大死亡數アリテ後發生シタルモノニシテ三名ノ土人ハ是レニ感染シ終ニ死亡セリ該患者ノ家屋ハ發病原因ヲ見出スコト能ハサリシヲ以テ嚴格ニ消毒ヲ施行スル爲メ遂ニ之レヲ燒却セリ千九百年ニ至リテ第三回目トシテ「タマタープ」港ニ黒死病發生シ八名ノ患者ヲ出セリ然レトモ「アントシラーヌ」港ニハ其損害ヲ受クルニ至ラサリシ

「ヌーベールカレドニー」島一本島ノ首府「ヌーメアー」府ニ於テ初メテ黒死病ヲ認知シタルハ千八百九十九年十一月十五日以後ナリトス然レトモ審査後ニ至リテ不明ノ場合ハ此ノ日付前ニ遡ルコト甚タ遠キコトヲ證明セリ故ニ本病ノ發病時日ハ十月ニ遡ルモノトシテ考フルコトヲ要ス而シテ信用スヘキ意見ニ從ヘハ本病ハ濠洲「シドニー」府ヨリ輸入シタル商品(正確ニ云ヘハ其包被)又ハ鼠族ニ隨伴シタルモノニシテ最初本病ハ汽船ノ碇泊シタル波止場附近ノ區域ニ發生シタモノナレトモ以後市中ノ各所ニ傳播シ沿海航海ノ船舶ニ依リテ本島ノ二方面ニ之レヲ輸送セリ本病ノ輸入ヲ受ケタル場所ニ於テハ先鼠族ニ一種ノ流行病ノ發生

スルヲ順序トス

發病數ハ百二十四ニシテ内死亡者ハ八十名ナリ本病ハ千九百年三月ニ至リテ漸ク消滅セリ

本病ノ患者ニ對シテ採用シタル治療法ニ依リ死亡統計表ヲ作成シ左ノ如キ成績ヲ得タリ

經驗的治療法

百分ノ六十四

黒死病治療血清注射ニ依ル治療法

百分ノ二十七

茲ニ注意スヘキ事項ハ或ル場合ニ於テハ最後ニ至リテ始メテ血清ヲ使用シ又ハ其量甚タ不十分ナリシコト是レナリ而シテ「グランバツサム」ニ於テ最後ノ發病ハ曾テ病毒ニ汚染シタル村落ノ舊跡ニ出游シタル兒童ナルコトハ吾人ノ既ニ述ヘタル所ナリ「アンナム」國又「ナトラン」附近ノ地方ニ於テ黒死病發生後放棄シタル舊村落ニ於テ樹木ノ發掘工事ニ使用シタル四人中ニ黒死病ニ罹リタル者アリ而シテ千八百九十九年「タマターブ」港ニ於テ最後ニ本病ノ犠牲トナリタルモノハ一名ノ雜種人(白人及ヒ印度人ノ雜種)ニシテ燒却スルコトヲ要スル黒死病々毒ニ汚染シタル矮屋ノ材木ヲ竊取シ其家ニ之レヲ運搬シタルニ基因スルモノナリ蓋シ黒死病微菌ニ接觸シタル物件ノ破却又ハ消毒ニ關スル注意ノ缺欠ニ基クモノナリ

ドクトル、ア、ケルモルガン

此ノ報告書ハ千九百一年一月十四日佛國公衆衛生諮問委員會ニ提出セリ

○肺勞ノ發生、傳染及豫防

ドクトルゲオルグ、コルネット肺勞ノ發生、傳染ノ模様及豫防方法ニ關シ多年研究シテ大ニ得ル所アリ乃チ其研究シタル所ヲ詳録シテ以テ世ニ問フ英ノジョン、チンダル其要領ヲ纂述シテ肺勞ノ發生、傳染及豫防ト云フ載セテ千八百九十一年九月刊行ノ英國「ゼ、フォルトナイトリー、レヴュー」ニ在リ今次ニ譯述スルモノ即チ是ナリ

余カ此ハイन्द、ヘットニ於テ始テプロフエツソルコツホ 結核病根研究録ニ接シタルハ今ヲ去ルコト九年餘以前ノ事ナリ當時余ハ此研究録ヲ以テ一切ノ關係ニ於テ唯英國ノ醫家ノタメノミナラス一般公衆ノ爲ニモ非常ノ關係アリ價值アルモノト爲セシニ由リ乃チ其要領ヲ記シテ之ヲ倫敦「タイムズ」ニ寄贈セリ始テ結核菌ノ發見ヲ世ニ公ニシ此恐ルヘキ機生體ノ作用ヲ最モ精確ナル種々ノ試験ニ由リテ證明シタルハ實ニ之レヲ以テ嚆矢トス

プロフエツソルコツホカ近日ノ研究ニ附キテハ氏カ其肺病治療法ヲ世ニ公ニシタルハ或ハ大早計ナリシナルヘク又ハ否ラサリシナルヘシ今此事ニ就キ余カ意見ヲ此ニ述ヘンハ其處ニアラサルヘシ然レトモ始テ氏ノ盛名ヲ成シ余カ英國ノ公衆ニ紹介シタル所ノ氏ノ研究其物ニ至リテハ更ニ間然スル所ナキナリ氏カ炭疽病ニ關スル有名ナル研究ハ氏ヲブレ斯拉ウ近傍ノ卑位ヨリ起シテ伯林ナル帝國衛生院長ト爲シ力備アル同僚助手ノ爲ニ圍繞セラル、身分ト爲セシカ此同僚助手ノ中ニ就キテ一頭角地ヲ抽ク者ヲトクトルゲオルグコルネットト爲ス此人ノ結核病ノ蔓延ニ關スル研究ハ即チ本論ノ題目ナリ

プロフユツソルコツホノ研究後ニ緊要ナル數多ノ問題果然トシテ當面ニ進ミ來レリ即チ「肺勞ノ發生スル模様ハ如何」其蔓延スル模様ハ如何」結核菌ノ導子トシテ空氣ノ成スル作用ハ如何」健全ナル肺ヲシテ此結核菌ノ侵害ニ遭ハシメサル方法ハ如何」素因説及遺傳説ノ價值ハ如何等是ナリコルネツトハ此等ノ問題ヲ首トシテ他ノ諸問題ニモ答ヘントシテ從來施セル種々ノ研究ヲ收録セシカ其結果ハ孰モ氷炭相容レス之ヲ批檢スレハ概ネ不適當ニシテ且ツ曖昧ナルモノナリキ夫レ試驗ノ術ハ觀察ノ術ト自ラ其揆ヲ異ニス故ニ良觀察家ノ凡庸試驗家タルコト往々ニシテ之アリバストールカブーシユート自然發生ノ事ニ就キテ、カノ有名ナル爭論ヲ起スヤ其論敵ニ對シ大ニ利便ノ位地ニ立チシハ其試驗家トシテ豫テ教養ノ素アリシニ由ルナリコルネツトカ查檢セル著述家ニ最モ缺ケル所モ亦此試驗ナリキ而シテ肺勞ノ蔓延及豫防ニ就キテ人々ノ意見此ノ如ク相異シタルヲ以テ其結果タル弊害ノ一トシテ醫師ハ不都合ニモ甚タ此問題ヲ顧ミサルニ至リタリ

コルネツトノ批評セル諸研究ハ甚タ浩濬ニ涉リ茲ニ一々記スヘカラス此等ノ研究ハ多少貴重ノ智識ヲ生シタレトモ問題ハ尙ホ曖昧不定ノ地ニ在リ即チコルネツトノ如キ其研究ノ緒ニ就クヤ殆ント未拓ノ境ニ逢着シ十分ニ其事業ノ關係スル所ノ大ナルヲ自認シテ此境ニ足ヲ着ケタリ其研究ノ結果ハ百四十頁ノ研究録ト爲リシカ此文字ノ貴重ナルト其中ニ包蔵シタル幾多ノ苦心トハ首ヨリ尾ニ至ルマテ之ヲ精讀細繹シタル者ニアラサレハ得テ知ルヘカラサルナリ

肺勞患者ハ略出シタル物ノ傳染性ナルハ從前ノ諸研究ニ依リテ既ニ疑フヘカラサル事實ト爲レリコルネツトカ從事シタル重ナル問題ハ肺病ノ蔓延上空氣ノ成スル作用ニ關スルモノニシテ即肺勞ニ惱メル人ノ呼吸ハ或ル學者ノ假定シタル如ク病菌ヲ含ムモノナルカ抑々又他ノ學者ノ假定シタル如ク此機生體ヲ含マサルモノナルカト云フ事是ナリ遽ニ考フレハ空氣ヲシテ其中ニ浮遊スル微物ヲ欄住スヘキ中間在物ヲ通過セシメ而シテ後中間在體ヲ檢スレハ此問題ヲ決スル捷徑ナルカ如ク思ハルヘシト雖モ數千「リートル」ノ空氣ヲ檢スルニハ頗ル時間ヲ要スヘク而シテ檢シ得ル所ノモノハ平穩ニ呼吸スル一個人ノ一日間呼吸量ノ十二分ノ一ニ過キス若シ空氣ヲシテ病菌ヲ含ムコト多カラサラシメハ十分ノ試驗ニ必要ナル空氣ノ量ハ頗ル莫大ナルヘシ是故ニコルネツトハ試驗ノタメニ空氣ヲ取ラスシテ却テ其沈澱物ヲ取リタリ即チ病室ノ細塵是ナリ病室ノ細塵ハ病菌ヲ含ムコト空氣其物ニ比シレハ更ニ多カルヘキ筈ナリコルネツトハ其試驗施行ノ場ニ七箇所ノ病院(クランケンホイゼルン)三箇所ノ癲癩病院(イルレナンスタルデン)五十三軒ノ家屋ヲ首トシテ其他私立慈惠院、講義室外科病室、諸會場、市街等種々ノ場所ヲ擇取セリ從來病菌ノ微細ナルヨリ其空氣ヲ浮遊スル力ニ就キテ謬説世間ニ流傳セシカ病菌ハ唯生氣アル實體ナルノミナラス又重キモノニシテ水及膿汁中ニ於テ沈澱スレハ況テ止氣中ニ於ケル如キ其沈澱スルコトモ更ニ速ナリコルネツトハ咳嗽スル所ノ患者カ直ニ略出シタル痰ニ觸ルマシキ處ヨリ其細塵ヲ蒐取シタリ即チ高處ニ掲ケタル額時計ノ箱病床ノ背後ニ於ケル木板及横木竝ニ同壁面ヨリ拂落シタリ余ハ恐ル世間一般ノ醫師ハ未タ盡ク斯ル試驗ノ際及總テ器械ヲ使用スル際ニ要スル注意ノ極メテ大ナルコトヲ想像シ得サルヲコルネツトカ其細塵ヲ蒐取シタル器械及之ヲ容レタル器ヲ淨ムルニ施シタル注意ハ以テ龜鑑ト爲スニ足ルモノナリ

直ニ細塵ヨリ結核菌ヲ取ルハ實際ニ行ヒ難キ事ニシテ結核菌ノ發育ハ非常ニ緩慢ナルヲ以テ何ノ場合ニモ存セサルコトナキ機生體即所謂病原因ノ雜草ハ能ク結核菌ヲ壓倒シ之ヲ枯死セシメタリ是ヲ以テコルネツトハ其細塵ヲ以テ豚鼠(一名印度鼠)ニ傳染セシムル方法ヲ取レリ若シ此接種法ヲ施シタル後肺勞ノ發スルアラハ顯微鏡ヲ以テシテハ到底得ヘカラサル有毒ノ證ヲモ得ヘシ乃チ細塵ヲ相當ノ液體ニ入レ叮嚀ニ混和セシ後之ヲ豚鼠ノ腹中ニ注入シ細塵一類ニ豚鼠二三疋若クハ之ヨリ以上ヲ使用セシニ豚鼠ハ概ネ接種後一二日ニシテ斃死セリ然ルニ結核菌ハ前ニモ述ヘタル如ク發生スルコト極テ緩慢ナルモノナレハ豚鼠ノ急ニ斃死セシハ該菌ノ作用ニ歸スヘカラスシテ腹膜炎等ノ危險性ヲ誘發セシ機生體ニ歸スヘキモノナリ然レトモ通例衆豚鼠中ニ此ノ如ク急ニ斃死スルヲ免レ得タルモノアリタレハ微菌ヲ發育セシメンカ爲メニ之ヲ三十日四十日乃至五十日間モ存活セシメシ後此生殘ノ豚鼠ヲ屠リテ検査セシニ或ル豚鼠ニハ結核菌ノ存在シテ接種物ノ有毒ナルヲ確認シ得タレトモ他ノ豚鼠ノ臟器ハ健全ニシテ細塵ノ無害ナルヲ證セリ

茲ニ記憶スヘキハコルネツトノ細塵ト混同セル病菌ハ最初空中ニ浮遊シ後沈澱セルモノタラサルヘカラスト云フコト是ナリ肺勞患者ノ多キト其各人ノ咯出スル病菌ノ莫大ナルトヲ思ヘハ凡ソ人ノ集合シテ肺患アル者相應ニ加リ居ル處ニハ何ノ所ヲ問ハス結核菌ノ存在スヘキ筈ナリト先天的ニ推定スルモ正當ナルカ如シ是ヲ以テ此問題ニ關シ着述スル者多クハ所謂遍在說ヲ唱道シ又之ヲ辯議スレトモ此說ハ通常ノ觀察ヲ以テスルモ既ニ疑フヘキモノナルモコルネツトノ試験ハ明白ニ之ニ反對シタリ室具ノ上ニ沈着セル若クハ壁面ヨリ拂落セル細塵ニ由リテ検査セシニ或ル病院ノ病室ハ全ク病菌ヲ含マサリシカ他ノ病院ノ病室ハ此機生

體ヲ多分ニ含ミテ危險ナル有様ナリシト云フ然レトモ且ツ注意シ置クヘシユルネツトハ斯ル否定ノ成績ヲ得タレハトテ之ヲ以テ確證ノ力アリト主張スル者ニアラス其病菌ヲ發見セサリシハ之ヲ見漏シタルニモ由ルヘキコトヲ認ムルニ毫モ否ナラサル者ナリ然レトモコルネツト謂ヘラク病菌ヲ其躲處ヨリ盡ク吸出スヘキ一ノ「バクテリア」磁石ヲ發見セサル間ハ試験ハ毎ニ多少此批難ヲ招クヘシト此言頗ル當レリコルネツトノ目的ハ着實ナルモノニシテ遠ク傳染ノ可能性ヨリハ寧ロ近ク其蓋然性ヲ檢覈セントシタルナリ一ノ病菌ヲ見サル場合ニ於テモ菌毒ニ感染スルコトハ或ハアルヘシト云フヲ得ヘキモ多分アルヘシト云フヲ得ヘカラス斯ル場合ハ危險ナラストスルモ實際不都合ナシトコルネツトハ論シタリ

前ニ舉示シタル傳染性ニ關スル議論ノ岐異ハ取リテ病院ノ當局者カ善ク智識ヲ應用シテ注意監督スルト淺學又ハ怠慢ナルトノ明徴ト爲スヘシ茲ニ嚴重ニ取締ルトキハ病院ノ醫師及看護人ノ手ニ於テ成就シ得ヘキ所果シテ如何ナルヘキヤヲ證スルニ恰好ノ一例アリ今ニ於テ之ヲ引證スルハ或ハ其時ヲ得タルモノナラン余輩若シ一タヒ數年前ノ情况ヲ顧ミルトキハ以テ今日改進シタル所以ヲ識得スルコト更ニ深キヲ得ン余曾テ外科ノ防腐法ニ就キテブラーグノプロフェツソルクレブスノ意見ヲ問ヘルコトアリ氏答テ曰ク足下等英國ニ於テハリスタルノ力ニ依リテ成就シタル進歩ノ大ナルコトヲ得テ量リ知ルヘカラス英國ノ外科醫等ハ久シク既ニ死亡ト不潔トノ關係ヲ識認シ力ヲ極メテ其病室ヲ清淨ニシ曾テ其勞ヲ憚ラサリシカ此ノ如クニシテ清潔ヲ致シタル病室ハ其死亡數ノ僅少ナルコト殆ト防腐法ヲ施シタルモノト擇フコトナシ然レトモ我病院ニ至リテハ全ク其情狀ヲ異ニス而シテリスタルノ惹起シタル大改良ノ眞價ヲ量リテ其當ヲ得ヘキ地ハ

我大陸ナルヘシトリシタル自身モ曾テ英國當時ノ病院カ其不潔ナルト又不潔ナルヨリ生スル死亡トニ關シテ大陸諸國ノ病院ニ讓ル所ナキ有様ヲ記述セルコトアリクレブスノ書翰ハ數年前ニ作レルモノナルカ其後獨國諸病院ノ當局者モコルネットノ大發見アルト同時ニ病院ヲ改革シ曾テ病根機生體ノ重ナル培養所タリシモノヲシテ今ハ大ニ健康ニ宜シキコト戶外ニモ優ルニ至ラシメタリ

此ノ如クニシテコルネットハ重要ナル問題ニ指ヲ染メタリ其問題ハ即チ「結核菌ハ如何ニシテ肺臟ニ達シ又如何ニシテ肺臟ヨリ空氣中ニ放出セラル、カ」結核菌ヲ帶出スルモノハ唯咯痰ノミナルカ抑々又病菌ハ氣息ト混合スルモノナルカ是ナリ是レ問題中ノ問題ニシテ之カ釋解ニ由リテ以テ「結核症ハ豫防シ得ヘキモノナルカ」此病患ノ蔓延ヲ防遏シ得ヘキカ將タ手ヲ束テ其害毒ヲ受ケサルヲ得サルカヲ察知スルヲ得ヘシ若シ結核菌ニシテ氣息ニ由リテ放出セラル、モノタラハ吾人ハ毒氣ヲ含メル一脈ノ呼吸カ吾人ノ運命ヲ傳ヘ來ルヲ待ツ他ニ爲スヘキ様ナクシテ此問題ニ關シ時トシテ行ハル、一種ノ運命主義ハ此ノ如クシテ其所由アルモノト爲ルヘシ凡ソ人ノ居住スル地ニシテ幾分ノ肺勞患者ナキモノナシ若シ前記ノ假定說ヲシテ正鵠ヲ得タルモノタラシメハ此等ノ患者ハ其隣人ヲ感染スル罪ヲ負ヘル者ナリ此場合ニ於テ吾人カ該患者ヲ避クルコト猶ホ在昔疫病患者ヲ避ケタルカ如クセサルヲ得ス即チ該患者ノ運命タル亦大ニ悲シムヘカラスヤ又自家一呼吸ヲ其肺臟ヨリ放出スルコトニ身邊ニ毒ヲ流スト念ヘハ彼廢人タル者モ亦大ニ心ヲ憐サ、ランヤコルネット謂ヘラク此ノ如クナルトキハ幾モナクシテ家族及社會ノ和合ヲ破ルニ至ルヘキナリト然ルニ幸ニシテ事ノ實狀ハ茲ニ述ヘタル所ト其タ相異スルモノアリ

我著者ノ言ニ曰ク若シ余ヲシテ此特別ノ點ニ就キテ甚シキ謬見ノ管一般公衆ノ間ノミナラス又大ニ教育アル醫家ノ間ニモ行ハル、ヲ信セサラシメハ余ハ此ノ如ク此問題ヲ細論セサルヘク又既ニ學者ノ考究シ得タル所ヲ更ニ茲ニ反覆セサルヘシ然レトモ斯ル謬見ノタメニ誤マラレテ採用セラル、豫防法アリ此豫防法ヤ單ニ目的ニ違ハンカタメニ設ケタルモノニ似タリ即チ或ル醫師ハ汲々トシテ肺勞患者ノ呼吸ニ對シテ豫防ヲ施シ他ノ醫師ハ心ヲ用ヒテ唾壺ヲ密閉シ以テ病菌ヲシテ空中ヘ蒸騰セサラシメント最ム而シテ患者カ其痰ヲ盡ク唾壺ノ中ニ咯出シ以テ咯痰ノ乾燥シテ後遂ニ吸入スヘキ等トノ粉末ト爲ルヲ防クト否トハ實ニ緊要ナル點ナルニ此點ニ就キテハ何人モ更ニ檢覈スル所ナキナリ

世ニ積極性ノ「フシマオフォビア」アルヲ信スル者アルカ如クナレトモ其傳染性ナルヘキコトヲ全ク忘レタルカ如キ者モ亦之アリ曩ニ結核菌ヲ氣息中ニ發見セントシテ施シタル研究ノ顛末ヲ出版セシ者アル一事ハ偶々以テ昔日ノ研究者カ檢索セシ所ハ確實ナレトモ未タ相當ノ注意ヲ惹カサルコトヲ證スルニ足ラン又曰ク液體中ニ藏スル若クハ物ノ濕潤セル表面ニ散在スル「バクテリア」カ如何ナル場合ニ於テモ蒸發ニ由リテ散逸シ若クハ空氣ノ流動ニ從ヒテ飛散スル憂ナキハ既ニ確定シタル事實ト爲サ、ルヘカラスネーゲリ

一ハ種々ノ確實ナル實驗ニ由リテ此事ノ證明シタリト
咯痰ノ結核毒傳染ノ本源タルハ明證アリテ疑ヲ容レス即チコルネットハ熱心ニ貧家ノ情態ニ注目シタリ凡ソ貧家ニ於テハ患者ハ通常床板上ニ咯痰ス咯痰ハ乾燥シテ人ノ之ヲ履ミテ通過スルニ由リ摩擦セラレテ傳染毒ヲ含メル細塵トナル乾燥シタル板床ヲ「ブラツシユ」若クハ箒ヲ以テ掃除スルニ至リテハ其危險最モ

大ナリトス然レトモ清潔健全ナル家屋ニ住居スル富裕ノ人ノ習慣ニ伴ヘル危険ハ更ニ之ヨリ甚タシキモノアリ即チ懷中手巾ニ咯痰スル習慣是ナリ此場合ニ於テハ咯痰ハ懷中ノ温暖ニ由リテ迅速ニ乾燥シ後手巾ヲ用フル際ニハ摩擦セラレテ有毒ノ細塵ト爲ル是レ手巾ヲ用フル者ノタメニモ其傍人ノタメニモ至大ノ危険タル所以ノモノトス

結核症ハ結核菌ノ毒ヲ傳染スルヨリ發生ストハコソホ及コルネツトノ以テ第一義トスル所ニシテ此兩人ハ孰レモ素質若クハ遺傳ノ傾向ヲ以テ肺勞ノ原因トスルヲ非トセリ然レトモ素質ノ説ハ之ヲ挑發スル事實ナキニアラスコルネツト曾テ一旅館ニ於テ重症ノ肺勞ニ罹メル一女優ヲ診治セシコトアリ此場合ニ於テ患者ノ死セル後若クハ他處へ移リシ後其室ニ投居スヘキ宿泊人ハ必然傳染ノ禍ヲ受クヘシ室ノ經歷セル所詳ナラサルトキハ斯ル宿泊人ノ病患ハ定メテ之ヲ其素質ニ歸シ該患者カ數年間曾テ肺勞患者ト交通シタリタルコトナキヲ赤心ヨリ斷言スルコトモアルヘシ從來素質若クハ遺傳ニ歸シタル數多ノ結核症ハ實ハ此ノ如クニシテ曖昧模稜ノ間ニ傳染シタルモノト爲スヘシ是レ殆ント疑フヘカラサル所ナリトス

コルネツトハ保養地ニ於ケルモノト保養地ニ到ル途上ニ於ケルモノトヲ論セス凡ソ此種ノ旅館及寄寓所ニ注目シ之ヲ目シテ危険ノ本源ト爲シ結核患者ノ死シ若クハ去レル後其室及室具ヲ消毒スル必要ヲ主張シ又醫師等カ其患者ヲ外國ニ若クハ内國ノ保養地ニ赴カシムルニ先チ結核症ヲモ込メテ總テ傳染病ヲ避ケンカタメニ現ニ施ス所ノ豫防法ヲ嚴密ニ取調ヘテ其模様ヲ詳悉センコトヲ勸告シタリコルネツトノ言ニ曰ク散步場ニ於テ注意シテ唾壺ニ咯痰スル百名ノ肺勞患者ノ間ニ身ヲ處クハ假令少數タリトモ地上ニ咯痰スル肺

勞患者ノ混シタル安集ノ百人中ニ身ヲ處クニ比スレハ適ニ安全ナルヘシト英國ノ保養地ニ於テ衛生ノ事ヲ規畫スル責アル者ハ宜シクコルネツトカ此言ニ注意スヘキナリ

結核傳染毒ノ容易ニ消滅セサルハ次ノ事實ニ徴シテ知ルヘシ曾テ一婦人アリ肺勞性咳嗽ニ罹メルコト二年ニ及ヒシカ常ニ先ツ床板ノ上ニ咯痰シ然ル後。コソブ。若クハ手巾ニ咯痰スルノ習慣ナリシニコルネツトハ此婦人ヲ訪ヒテ既ニ生存中ニ其室内ノ細塵ノ有毒ナルコトヲ證見シ其死後六週間ヲ經テ再ヒ同家ニ赴キシニ以前傳染毒ヲ含メル物ヲ發見シタル壁ハ婦人ノ死後其儘ニナリ居レリ即チ其方一「メートル」ノ面ヨリ細塵ヲ拂落シ之ヲ三疋ノ豚鼠ニ接種シ接種後四十日ヲ經テ之ヲ檢セシニ其中二匹ハ結核症ナルヲ認メタリキコルネツトハ即推論シテ曰ク此ノ如クニシテ細塵ノ有毒ナルヲ證シ得タレトモ此細塵ハ尙ホ永ク其毒分ヲ保有シ得タリシナラン、カノレル及フ井ツシユルノ如キハ乾燥セル咯痰カ六ヶ月保存セラレシ後ニ於テモ尙ホ其毒分ヲ保有スヘキヲ證シタリ故ニ此六ヶ月間ハ此細塵ト爲リタル咯痰ヨリ傳染スルコトアルヘキハ明白ナリ且ツ吸入シタル傳染毒含有物ノ分量甚タ少量ナル場合ニハ病菌發育シテ病患明白ヲ致スマテニハ多時ヲ經ヘシ假令肺勞患者ノ死後同家族ノ一人カ肺患ノ徵候ヲ示スマテニハ一年ヲ經ルコトアリトモ唯此ノミニシテ他ノ證左ナケレハ以テ遺傳ノ傾向アリトスルコトヲ得ス前記ノ事實ヲ知レル以上ハ或ハ同患ヲ誘發シタルコトモアルヘキ他ノ病因ハ姑ク措クモ之ヲ遺傳ノ傾向ニ歸センヨリハ寧ロ住宅ノ傳染ニ歸セサルヘカラスト

コルネツトハ千八百八十八年一月十四日ニ一患者ヲ訪ヘリ此患者九ヶ月ノ間肺臟及喉頭結核症ヲ痘メル者

ナリシカ之ヲ檢セシニ其住メル室ノ細塵ハ傳染毒アル物質ヲ含メルコトノ證ヲ得タリキ患者ニ一兄弟アリ住宅ヲ檢査セシ時ニハ全ク健康ナリトノコトナリシカ其後四ヶ月ヲ經テ喉頭結核症ヲ發セリコルネット曰ク此結果ハ之ヲ遺傳若クハ自余一切ノ假定原因ニ歸セムシテ反テ明白ノ事實ニ歸シ此住宅ノ細塵カ結核菌ヲ含有シ其結核菌カ豚鼠ノ腹膜ト同様ニ人ノ肺臟及喉頭ニモ能ク毒分ヲ傳染スルヨリ來レルモノトスルコト多分其肯綮ニ申レルナラント

コルネットハ千八百八十七年十二月三十一日ニ一患者ヲ訪ヘリ此患者ハ二年間結核症ヲ惱メル者ナリキ彼二人ノ兄弟ト同室ニ住セリ此兄弟ハ孰モ甚タ強壯ナリシカ其一人ハ漸ク咳嗽ヲ發セリ然レトモ此他ニハ別ニ病狀ノ危險ヲ徵スヘキモノナカリキ是ヨリ先キ該患者ハ某裁縫處ニ於テ職工長トシテ就業シ居タリシカ此八日來ハ家ニ籠リ居レリ之ヲ査セシニ此患者ノ夥伴ニ喉頭結核症患者アリテ常ニ床板ノ上ニ咯痰シ居リタリシカ遂ニ病死シ乃チ之ノ患者其空位ヲ占メタルコトヲ確知セリ且工場ニ於テ此患者ハ病死セシモノ、隣席ヲ占メ居リシナリコルネットハ裁縫所ノ主人ヲ訪ヒシニ其時恰モ八人乃至十人ノ職工カ就業シ居タル工場ヲ檢スル一切ノ機會ヲ與ヘラレシテ以テ乃チ前記ノ患者カ現ニ就業シ居リシ處ニ近キ壁面ニ就キ方ニ「メートル」許ノ處ヨリ細塵ヲ拂落シ之ヲ以テ豚鼠ニ接種セシニ豚鼠ハ結核症ヲ發セリコルネットハ該患者ノ病狀ヲ例セハ結核患者タリシ母體ヨリ來レル遺傳性若クハ素質ニ歸シ其遺傳性若クハ素質ハ二十年間蟄伏シ居タリシカ恰モ該患者カ傳染毒ヲ含メル物ノ間ニ身ヲ措ケルト同時ニ其作用ヲ啓發セリトスル說ヲ嘲笑シタリコルネットハ此患者ヲ以テ又其ノ引證シタル自余ノ此患者ニ類スル者ヲ以テ特別ノ價值アル者ト

思ヘリ此等ノ場合ニ於テ孰ノ室ニモ結核毒ノ存スルヲ見タリ即チ此等ノ室ニ於ケル職工輩ハ此ノ如クニシテ互ニ相傳染スル危險アル者ナリキ而シテ病毒ノ傳染ハ裁縫師ノ間ニ起リシカ裁縫師ニハ特ニ結核症ニ罹ル者多シト云ヘリ

此危險ナル病患ハ外ヨリ傳染スル毒分トハ關係ナクシテ唯個人ノ組織ニ於ケル特質ヨリ發スルモノナリトハ曾テ一般ニ信シ又現今ニ至ルモ尙ホ幾分カ其根據ヲ保持スル所ナラン然レトモ素質及遺傳ノ影響ヲ正當ニ會得スルコト能ハスシテ之ヲ誇張セシヨリ生シタル弊害ハ枚擧スルニ勝ユヘカラス同シ家族ノ幾人カ此病患ニ罹リテ死セルヲ目撃スルモ各人特別ニ發病セルモノトシテ曾テ其中ノ一人カ他ノ者ニ病毒ヲ傳染セシコトニハ想到セサリシナリ二三日前此ハインド、ヘットニ於テ一老人アリ肺勞ノタメニ其三兒ヲ旋次ニ失ヘル由ヲ余ニ語り又他ニ強壯ナル兄弟五六人同病ニ罹リテ死セル者アル由ヲ告ケ平常ハ愚ナルカ如キ其面貌ニ瞬時智慧ノ光明ヲ放チテ曰ヘラク是レ必ス「移ル」モノタラスンハアラストコルネットハ又必ス家内ノ傳染アルヘシト思ハシムル數患者ノ事ヲ記セリ千八百八十七年中コルネット曾テ一患者ヲ訪ヘルコトアリ此患者ニハ數人ノ兒女アリシカ六年前十四歳ナリシ一女肺病ノ爲ニ歿シ其後一年半ヲ經テ又二十一歳ノ一女同病ニ斃レ一二年ノ後其強壯ナル一子モ同病ニ罹リテ世ヲ去リコルネットカ訪ヘル二週前ニ一歳半ノ小兒モ亦此病ニ死セリコルネットカ云ヘル如ク此等ノ病患ハ之ヲ家族ノ傳染ニ歸スルモ正當ニシテ證據ニモ達ハサルヘシ父ナル患者ハ數年間肺勞性咳嗽ニ悩ミ居タリシ故ニ多分直接若クハ間接ニ其兒女ニ傳染セシモノナラン

此事ニ關シテ余ハ余カ親シク經驗セシ無殘ノ一事ヲ述フルコトヲ得シ余カ住メルアルブスノ草堂ヨリ程近キ處ニネツセルト呼フ著シキ山角アリ同處ニ一團ノ茅屋アリ夏月ニハ農夫之ニ住ス三年前此山角ニ遊ヘルトキ一茅屋アリテ某ト云フ者之ニ住セリ烈シキ咳嗽ニ惱ミ咳嗽スルコトニ必ス咯痰シ居レリ余ハ此茅屋ヲ訪ハンコトヲ請ハレタレハ望ニ任セシニ此薄福ノ人ノ重症ナル肺病ノ患者ナリシハ之ヲ察スルニ雖カラサリキ彼ニ女アリテ同シク茅屋ニ住セリ余カ始テ之ヲ見シトキハ此女ハ壯健ニシテ氣力熾ナル相貌ヲ呈シタリシカ余ハ當時既ニコツホノ發見ヲ知リ居リタレハ同行ノ一友ニ此女ノ危檢ノ中ニ在ル由ヲ告ケタリキ此場合ニ於テコルネツトカ示セル事情ハ悉ク備リ居レリ即チ床板ニ咯痰スル事乾燥スル事其時傳染性ノ物質ヲ踏擦シテ細塵ト爲ス事是ナリ此細塵ハ茅屋ヲ掃除スルコトニ容易ニ空氣ト混同シテ勿論吸取セラレシナリ

余ハ此女ノ胃セル危險ヲ避ケシメントシテ之ヲ誡シムル所アリシカ教育アル者スラ之ヲシテ此危險ノ大ナル所以ヲ了解シ若クハ必要ノ豫防ヲ施サシムルコト時トシテ難キコトアリ一年ヲ經テ余ハ同シク白舎ヲ訪ヘリ父ナル者ハ室ノ中央ニ佇ミ居レリ此人骨格逞シク身ノ長六呎許ニシテ直立スルトキハ矢ニ似タリ烈シク喘キ居リシカ時々激烈ナル咳嗽ノタメニ身ヲ屈シテ地上ニ向ヘリ同シ室内ニ一年以前ハ彼ノ如クアルブス山人ノ元氣ト艶美トノ美觀ヲ呈セシ其女、椅子ニ坐シ居レリ女ノ容貌ハ余ノ心ヲ衝動セリ其眼ハ光ヲ失ヘルニ剩ヘ蒼顔ト喘息トハ明ニ彼モ亦カノ奪命鬼ノタメニ愚ラレタルヲ示セリ余カ當時ノ境遇ニ似タル位地ニ立ツ者ハ此瞬間ニ英國ニ於テモ數多アルヘシ余ハ不幸ノ或ハ避クルヲ得ヘカリシモノヲ目撃スルモ何事

ヲモ爲シ得サリシナリ唯纔ニ葡萄酒ト余カ調ヘ得タリシ少許ノ美味トヲ患者等ニ餽ルコトヲ得タルアルノミ本年夏此女先ツ夭折シテ親子共ニ世ヲ去リシト聞ケリ

コルネツトハ肺勞患者ノ氣息中ニ病菌ヲ發見セリト思ヘル人々ニ反對シテ甚明白ナル數多ノ證據ヲ援ケリ偶里設林ノ疾菌ヲ密持スルハ疑フヘカラサル事實ナレハ曾テ之ヲ玻璃板ニ塗抹シ患者ヲシテ之ニ對シテ呼吸セシメシコトアリ又肺勞ヲ病メル肺臟ノ呼吸ヲシテ水ヲ通過セシメ而シテ後其水ヲ檢査セシコトアリ此場合ニ於テハ病菌ハ濕氣ヲ帶フルヲ以テ必然水ノタメニ欄住セラルヘキナリ又肺患ニ罹レル肺臟ヨリ呼出セシ水蒸發氣ヲ水ヲ以テ叮嚀ニ凍結セシメントアリ而レトモ孰レノ場合ニ於テモ曾テ病菌ヲ發見セシコトナシカノ反對ノ成績ヲ得タル人々ハ當ニ最モ精細ニ注意シテ再ヒ其實驗ヲ施行シ以テ斯ル至重至大ノ點ニ關シ些ノ疑惑ヲモ留メサラシムヘシ肺臟氣道喉頭及口中ハ總テ濕面ヲ呈スル者ナリ然ルニ烈シキ氣流ヲシテ病菌ニ富メル咯痰ノ上ヲ經過セシメントニ其空氣ノ全ク此有機體ヲ含マサルヲ證見セリ

然リ而シテ傳染セサル場合ハ甚タ多シトスコルネツトハ之ヲ幾分ハ濕リタル咯痰ノ大ニ粘質ニ富メルニ因ルモノト爲セリ咯痰ハ乾燥法ヲ施シタル後ト雖モ其性質ノ濕リ易キタメニ妨碍セラレテ全ク乾燥スルコト少シト云フコルネツトハ他ノ研究者ヲシテ縱令曰ヲ以テスルモ善ク乾燥シタル咯痰ヲ微細ノ粉末ト作スコトノ決シテ容易ナラサルヲ證セシメタリキ即チ此ノ如クニシテ空中ニ浮遊スルホトノ細塵ヲ作ルハ難事トス乾燥シタル結核性咯痰ニシテ街路ニアリテ踏擦セラル、トキハ備染性細塵ノ雲ヲ起スモノト假定スルハ非ナラン咯痰ノ濕リ易キ性質ハ其此ノ如クナランコトヲ妨タルモノナリ若シ乾燥セル咯痰ヲ濕處ニ於テ細

末ニスルトキハ痰粉ハ濕氣ヲ吸ヒテ小球狀ヲナスヘシ即チ肺癆患者カ咯痰シタル街路ハ雨若クハ市街一般ニ行ハル、カノ撒水ニ由リテ毒ヲ傳染セサルニ至ルモノトスコルネットトハ此撒水ヲ以テ衛生上非常ニ便宜アルモノト爲セリ乾燥ナル東風吹キテ多時ヲ經ルトキハ傳染性細塵ノ空氣ト混合スヘキハ疑フヘカラス傳染病ノ殊ニ流行スルモ東風ノ季節ニアリ余ノ所見ヲ以テスレハ本年中余輩カ流行性感胃ノタメニ惱マサレシハ吹續ケル東風及東北風ト關係アル事ニシテ此等ノ風ハ乾燥シタル廣潤ノ土地ヲ吹渡リシモノナレハ自ラ傳染毒ヲ帶ヒ來リテ以テ同病ヲ發生セシメンモノナラン而シテ咯痰カ甚タ么微ノ粉狀ト爲ルマテニ逢フヘキ障礙ノ外ニ呼吸ノ道ニ種々ノ角度ヲ爲ス處及妨礙タルヘキ物竝ニ緻密ナル顫毛上皮等種々ノ障礙アリ即チ傳染ノ機會ハ夥多ナレトモ傳染者ヲ生スルコト少ナキハ蓋シ此等障礙ノ妨ヲ爲スコト多少著大ナルモノアルニ由ルナリ

結核菌ノ作用ハ其接觸セル表面ノ模様如何ニ由リテ決スルモノナリ曾テ罹レル病患例セハ麻疹、百日咳、猩紅熱ヨリ生シタル傷處若クハ創痕ノ氣道ニ存スルコトモアラン其他上皮カ病患ニ由リテ脆弱ヲ致シ此ノ如クニシテ吸收シタル病菌ノタメニ便利ナル棲處ヲ供スルコトモアラン若シ斯ル事情ヲ指シテ素質ト呼フヘシト云ハコルネットトハ敢テ反對セサルヘシ洵ニ創傷ヲ帶ヒタル若クハ朽敗セントスル組織ノ存スル處ニハ病菌ハ擅ニ十分ノ滋養ヲ得テ以テ蕃息シ其活力ヲ増シテ遂ニ其下ニ蟄伏スル所ノ活ケル細胞ト觸着シ衝突スルニ至ラン然レトモコルネットトカ反對スル所ノ肺癆ノ病因ハ斯ル素質ニアラスシテ遺傳ノ素質ニアリ而シテコツホカ異見ヲ懷クトノ說ハ全ク無根ナル由ナリ蓋シ一病患カ此事情若クハ彼事情ノタメニ誘發セ

ラレ又ハ病勢ノ増サル、ト認ムルト一切ノ場合若クハ大概ノ場合ニ於テ此事情カ病患ヲ發生シ又ハ之ニ俱發シ若クハ之カ前驅ヲ爲スト論スルトハ自ラ相同シカラヌ而シテ素質ニ關シテ一般ニ行ハル、說ハ此後者ノ說ニアルナリ

コルネットトカ此事ニ關シテ尙ホ進ミテ論スル所ハ其意見ヲ甚タ明瞭ニ開示スルモノナレハ余ハ茲ニ其要領ヲ略記スヘシ茲ニ一箱アリム微ナル病菌細塵ヲ以テ充サレタリト假定シ又幾頭ノ豚鼠ヲシテ少時ノ間此細塵ヲ吸收セシムト假定セヨ二三ノ豚鼠ハ感染スヘキモ多數ノ者ハ能ク免脱スルヲ見シ引續キ吸收セシムルトキハ感染ノ豚鼠ハ其數ヲ増シテ遂ニハ僅ニ一二疋ヲ剩スニ至ラン尙ホ引續キテ吸收セシムルトキハ殘ル者モ亦遂ニ必ス感染ニ遭フヘシ然ラハ最初何ヲ以テ一ノ豚鼠ハ結核病ヲ發シテ他ノ豚鼠ハ之ヲ發セサルヤ此等ノ豚鼠ハ總テ同一ノ情況ノ下ニ同一ノ空氣ヲ吸收セシニアラスヤ最初ノ傳染ヲ免レタル豚鼠ハ自余ノ者ヨリ此病患ノ素質ヲ有スルコト少キカ、此等ノ豚鼠ヲ均シク皆健康ナリト假定スルモ斯ル不同アルヲ見ルナラン然レトモ若シ此等ノ豚鼠ニシテ以前ヨリ病患ニ罹リ多少既ニ健康ヲ損セシモノアリト假定シ而シテ仍ホ其健康ナル豚鼠ニ於テ斯ル不同ヲ見レハ其不同ハ更ニ一層明瞭ナルモノニアラスヤ蓋シ後段假定スル處ノ如キ場合ハ人間ノ常態ナリトス

一老兵アリ五十回モ種々ノ戰爭ニ從ヒテ陣頭ニ在リ左方右方ニ其同輩ノ殘ル、ヲ見タリシニ彼一人ハ偶然ニモ微傷若クハ挫傷タニ負ハス其聯隊ニ於ケル唯一個ノ生殘者トシテ生命ヲ保テリトセンカ余輩ハ此老兵ヲ目シテ彈丸ノ決シテ中ルヘカラサル者ト爲スヘキカ昔時ノ妄見ヲ以テシテハ其ノ死ヲ免レ得ンハ之ヲ彈

丸ヲ惹ク素質ナキニ歸スヘシト雖果シテ此ノ如クニシテ其生命ヲ保テルモノト爲スヘキカ此老兵ハ初度ノ戰爭ニ於テ彈丸ノ始テ一齊ニ雨注セル際ニ殞レシ其同輩ヨリモ更ニ彈丸ノ中リ難キ者若クハ傷ケ難キ者ト爲スヘキカコルネット曰ク人生ニ於テ斯ル場合ノ反覆セラル、コト其幾回ナルヲ知ラス而シテ余輩ハ之ヲ單ニ偶然ノ事トスルヨリモ他ニ果シテ爲スヘキ様アリヤ此偶然ノ事ト云ヘル語ハ或ハ科學ノ精神ニ悖レルカ如ク見ユルト雖モ之ヲ人間ノ私意ニ成レル一切ノ假定說ニ比スレハ更ニ眞理ニ適ヘルモノナリト

肺勞ニ關シテ謬見ヲ生スヘキ機會ハ少シトセス例セハ病院ノ看護人ニシテ唯數年ノミナラス數十年ノ間幾多ノ肺病患者ノ看護ヲ擔當シ居レトモ而モ傳染ノ厄ヲ免ル、モノアルカ如キ是ナリ普通ノ結論ハ然ラハ肺勞ハ大ニ危險ナルモノニアラント云フニアルヘシ然レトモ是レ唯一個ノ多幸ナル者ニ注目シテ同シ年間ニ病死セル數百人ヲ遺シタルモノナリ諸病院ニ於ケル傳染ノ危險ハ一様ナラス或ル病院ニ於テハ病菌ヲ發見スレトモ他ノ病院ニ於テハ之ヲ發見セサルコトアリ然ラハ此ノ如クニシテ種々度合ヲ異ニセル危險ヲ冒ス看護人中ニ於テ或ル者ハ感染シ或ル者ハ感染セスト云フトモ何ソ異シムニ足ラン實布垣利亞室扶私、虎列刺、痘瘡等ハ疑モナキ傳染病ナリ此等ノ諸病ニ於テ看護人カ傳染ノ厄ヲ免ルルコトアリトモ余輩ハ然ラハ此等ノ諸病ハ大ニ危險ナラスト絶叫セサルヘシ然ルニ獨リ肺病ニ至リテハ此語、人ノ普通ニ口ニスル所ニ係ルコルネットハ不滿ノ氣ヲ奮作シテ曰ク余輩ハメントスノ住民間ニ肺勞患者ノ非常ニ増加スルヲ見又之ヲ此保養地ニ冬籠スル肺勞患者ト交通スルニ歸セスシテ反テ農業ヲ廢スルニ歸スルヲ見レハ恰モ或ル人々カ故意ニ其目ヲ閉チテ眞理ヲ見サルモノノ如ク思ハル、ナリト

コルネットハ肺勞患者ノ治療ヲ擔當スル醫師ニ於テ尤モ嚴重ニ監視スルコトノ必要ナル所以ヲ主張シテ再三意ヲ致シタリ其言ニ曰ク萬端善ク整備シタル病院ニ於テハ居常相當ノ唾器ニ略痰スル備アレハ之カ爲メニ略痰ハ傳染性細塵ニ變スルヲ得ヘカラスト云ヘル保證ハ余ニ於テ確實ナリトシテ之ヲ信受スルコト能ハス請フ恰好ノ一例ヲ援カン余カ研究ヲ行フニ一臂ノ力ヲ添ヘタル醫師ノ一人曾テ其病院ニ於ケル患者ノ常ニ必ス唾壺ヲ用フル由ヲ余ニ保證シテ頗ル確實ナルカ如キ想ヲ爲サシメシカ此保證ヲ聞ケル數分後ニ余ハ病院長其人ノ目前ニ於テ一患者ノ臥床ヨリ半、乾燥セル痰液ヲ以テ敵ハレシ手巾ヲ抽出シ又其患者ノ臥床ヨリ半「メートル」ヲ隔テシ壁面ヨリ多少ノ細塵ヲ拂落シ之ヲ以テ余カ豫言セル如クニ結核症ヲ發生セシメタリキ故ニ若シ醫師看護人及患者カ心ヲ同シクシテ事ニ從フニアラサレハ即チ若シ醫師カ患者及其看護人ヲ仔細ニ教誨シ嚴重ニ監督スルニアラサレハ唾壺アリト雖モ以テ危險ヲ滅セサルヘシト

自宅治療ノ患者ノ住宅ニ於テハ研究者ニ於テ茲ニ略記セル危害ヲ最モ確實ニ證見スルヲ得ヘシコルネットハ二十一病室中ノ十五即チ其三分ノ二ニ於テ壁面及床具ノ細塵中ニ有毒ナル結核菌ノ存スルヲ發見シ其刊行セル統計表ヲ援キテ以テ該機生體ノ存スルコトヲ發見シタル病室ノ患者ハ必スシモ唾壺ニ略痰セスシテ常ニ床板若クハ手巾ニ略痰スルヲ習慣トスル者ナリシ事ヲ證セリ然ルニ嚴重ニ床板若クハ手巾ニ略痰スルヲ禁ンテ能ク之ヲ實際ニ行フコトヲ得シ場合ニハ未タ曾テ拂落セシ細塵ヲ以テ結核症ヲ發生セシムルコトヲ得サリシト云フ

コルネットカ尙ホ進ミテ研究スルニ方リ殊ニ意ヲ致シタル點ハ大ニ重要ナルモノニシテ結核症患者ヲ治療

スル醫師ハ肺勞ニ罹リテ死スル者夥多アルヘキ筈ナルニ實際此事ナシト云フ説ニ關スルモノナリ此事實ハ結核菌ノ比較的ニ無害ナル證據トシテ往々援證セラル、所ナリト雖トモ而モノノ研究タニ肺勞ニ罹リテ病死セシ醫師ノ數其死亡平均數ニ超ユルコト甚大ナラストノ證ヲ揭ケシモノスラナシ假令其病死ノ數莫大ナラストスルモ醫師カ教育ノ力ニ頼リテ病患ヲ其將來ラントスル初ニ察シテ治療ノ時ヲ失ハサリシ者モ亦決シテ少數ナリトスヘカラス是レ宜シク忘ルヘカラサル事トス獨逸、伊太利、佛蘭西及阿非利加ノ保養地ニ於テハ自家ノ容體ニ驅ラレ己ムヲ得スル場處ニ於テ其業ニ從フ醫師ヲ見ルコト少カラサルナリ

余カ茲ニ拔萃シタル不磨ノ論文ハ「豫防法」ニ關スル一章ヲ以テ結尾ト爲セリ此章ハ政府病院當局者及一般公衆ニ於テ慎重ニ注意スヘキ價值ヲ確ニ有スルモノナリ此等ノ豫防法ノ如何ナルヘキヤハ前ニ記シタル所ニ由リテモ略々推知スルヲ得ヘケンコトハ其研究録中ニ肺勞患者ノ胃ス第一ノ最大危險ハ其自身ナルコトヲ數々明言シタリ若シ該患者ニシテ其咯痰ニ處スルコト不注意ニシテ其ヲ縦ニ乾燥シテ細塵ニ變セシムルカ如キコトアラハ患者ハ其肺ノ患部ヨリ放出シタル傳染毒ヲ吸取シテ以テ之ヲ其肺ノ健全ナル部分ニ傳染スルコトアルヘシ即チコトハ言ニ曰ク是故ニ若シ肺勞患者ニシテ自殺ノ罪ヲ免レント欲セハ須ラク力ノ及フ限り注意豫防スヘシ其家族、兒女、看護人、從僕等ノ爲ヨリスルモ亦宜シク此ノ如クセサルヘカラス患者ハ其咯痰ニ處スルニ最モ意ヲ用ヒンコトヲ要ス戸内ニ在リテハ如何ナル場合ニ於テモ決シテ床板ノ上若クハ手巾ノ中ニ咯痰スヘカラス何ノ處ニ於テモ常ニ相當ノ唾壺ヲ用フヘシ若シ患者ニシテ此等ノ豫防ヲ施シテ毫モ遺漏ナクンハ該患者ハ自身ヲモ害セス又身邊ノ人々ノ爲ニモ危害ノ本源タラス

ト保證スヘキモノニシテ自身モ亦安心スルコトヲ得ヘキナリト

コトハ社會上ノ施設ニ干涉スル危險ヲ冒サンコトヲ慎ミテ避ケタレトモ尙ホ其豫防法ヲ擴充シテ頗ル仔細ニ涉レリコトハ蓋附ノ輕便唾壺ヲ費用スヘシト云ヘリ其意蓋シ蒸發ヲ防止セントスルニアラスシテ唾壺ニ蓋ナキトキハ蠅ノ傳染毒ヲ將チ去ランコトヲ恐ル、ニアリ又石炭酸及自余藥品ヲ以テ咯痰ヲ消毒スルコトハ之ヲ非トスルニアラスト雖モ又甚タ可ナリトセス砂及木屑ヲ唾壺ニ容ル、ニ至リテハ大ニ之ヲ非トセリコトハ又體裁上ヨリ見ヲ起シテ其餘裕アル者ハ粧飾附ノ唾壺ヲ用ヒンコトヲ希望シタレトモ貧民ニハ例セハ花盆ノ下ニ据ユル如キ陶器製碟皿ヲ用フヘシト云ヘリ肺病患者タル者ハ善ク注意シテ唯自宅ニ於テノミナラス其出テ、常務ニ服スル事務所及工場ニ於テモ亦相當ノ唾壺ヲ備ヘサルヘカラス公會場ニ於テモ尋常ノ人家ニ於テモ廊下及樓梯ニハ此附屬品ヲ十分ニ備フヘシ梯子ヲ躋ルトキハ往々咳嗽咯痰ヲ發スルモノナレハ痰液ヲ咯棄スル器ヲ手近キ處ニ備ヘ置クヘシ製造場々主、工場々主並ニ工夫自身ハ如何ナル場合ニ於テモ決シテ床板ノ上若クハ手巾ノ中ニ咯痰スルコトヲ寬容スヘカラス

終ニ臨ミテ尙ホ一言スヘキ事アリ若シ余輩ニシテ公敵ニ克ンコトヲ欲セハ公衆ハ醫師等ト同心一致セサルヘカラス又社會殊ニ病院ノ看護婦間ニ恐惶ヲ蔓延スル虞ヲ除カサルヘカラス然レトモ看護婦患者及公衆ニシテ其胃ス所ノ危險ヲ明白ニ知得スルニアラサレハ必要ノ豫防法ヲ施スニ至ラサルヘシ今肺病ハ人命ヲ害スルコト他ノ諸傳染病ヲ合シタルヨリモ甚シト雖モ而モ其傳染病ノ原因ヲ幾分タリトモ除去スルコトヲ得ハ大ニ同病患者ノ數ヲ減シテコトハ言ヘル如ク「余輩ノ至大ナル報酬」ト爲ルヘシ

以上略記シタルドクトルコルネット大研究ハ之ヲ一書ト成シ「身體外ニ於ケル結核菌ノ蔓延」ト題シテ千八百八十八年ニ刊行セリ千八百八十九年ニ刊行セル「看護婦ノ死亡數」ハ之ヨリモ短文ナレトモ研究ノ重要ナル點ニ於テハ優劣ナシ以上二種ノ研究録ハ載セテ「ツアイトシユリフト、フユール、ギネ」ノ第五及第六冊ニアリ以テ不朽ニ傳フヘシ前ノ一節ヲ見ルモコルネットカ注意セル所他ノ者ヨリハ寧ロ傳染疾者ニ近接スル人々ニアリシヲ知ルヘク又醫師モ看護婦モ病者ニ近接スルカタメニ病毒ニ感染シタルコトナシト云フ說ニ疑ヲ挾メルヲ知ルヘシ此重要ナル問題ニ就キ周到明白ナル研究ノ爲サレシコトアラサリシカ種々ノ病院當局者ヨリ出セル報告ノ曖昧ニシテ且ツ相矛盾スルヲ以テ此問題ヲ決解スルコト最モ緊要ト爲リタリ是ニ於テコルネットハ當時醫事ヲ管理シ居リシ李滯生ノ國務大臣ドクトルフオン、ゴスレルニ請ヒテ助力ト素材トヲ得ントシ遂ニ同大臣ノ最モ熱心ナル幫助ト獎勵トヲ得タリキドクトルフオン、ゴスレルハ此程冠ヲ掛ケテ李滯生ノ内閣ヲ去リシカ其コルネットカ從事セル重要ナル研究ヲ進捗セシムルタメニ敢テ盡力スルヲ憚ラサリシハ公衆ノ深ク感謝シ學者ノ大ニ賞揚スヘキ所トス

千八百八十五年伯林ニ於ケル獨逸統計院ノ統計ニ據レハ李滯生ニ於ケル看護婦ノ數ハ一萬四千四十八人ニシテ此内加特力慈善看護婦ハ五千四百七十人即四割九分五厘一毛、福音看護婦ハ二千四百九十六人即二割二分五厘九毛、他ノ協會結社ニ屬スル看護婦ハ三百五十二人即三分一厘九毛、無所屬看護婦ハ二千七百三十三人即總數ノ二割四分七厘一毛ナリ又男子ノ看護人ハ三千六百六十二人ニシテ此内慈善看護人三百八十三人、教會執事二百五人、無所屬看護人二千五百七十四人ナリ

此等ノ看護人ニ關スル檢覈ハドクトルコルネット最モ細心ニ從事シタル所トスタツト曾テ謂ヘルコトアリ曰ク或ル理想的動機ノ助ナクシテ唯病院勤務ノ收入上人ノ思ヲ惹ク所ノモノ、ミヲ以テシテハ不動ノ定員ヲ致スニ足ラスト此動機ハ宗教上ノ義務心ヨリシテ病者ノ看護ニ身ヲ委ヌル處ニ存スコルネットハ其材料ヲ檢覈スルニ方リ十分ナル年數ヲ取リテ論據ヲ固クセント欲セハ其研究ヲ單ニ加特力教信者ノ看護人ニノミ限局スヘキコトヲ審ニセリ新教信者ハ其職業ヲ變シ結婚ノ生涯ニ入り若クハ他ノ隨意ナル所業ヲ爲スコトニ於テ加特力教信者ニ比シ雙ニ大ナル自由ヲ享ケ又實行シ居ルカタメコルネットノ目的ニハ適セサリシナリコルネットノ研究ハ二十五ヶ年ニ涉レリ男女兩性ノ加特力教信者カ看護ニ從事シ其數一年間平均四千二十人ニ達スル二十八ヶ所ノ病院ヨリ來レル報告ニ據レハ此二十五年間ニ於ケル死亡數ハ二十九人ニシテ此内千三百二十人ハ結核病ニ罹リテ死シタルモノナリ李滯生全州ヲ總フレハ該病患者ノ死亡數ハ死亡總數ノ五分ノ一乃至七分ノ一ニ當リテ其割合甚大ナリトノ事ナルカ其病院ニ於テハ此割合更ニ愈々大ニシテ平均幾ト死シ總數ノ三分ノ二ニ達シ稍々六割三分ニ當ル加之該病院中幾ト半數ハ此大ナル割合ヲモ超過シ其死亡數ハ死亡總數ノ四分ノ三ニ達スト云フ他一切ノ職業ニシテ如何ニ健康ニ害アルモノト雖モ其死亡數ハ恐ラクハ此等病院ニ於ケルモノニ匹敵スルヲ得サルヘシ

前記二十五年間ニ於ケル状態ハ次ノ統計ヲ以テ推知スヘシ年齢十七歳ノ健康ナル少女ニシテ病院ノ看護婦ト爲レル者ハ世間ニ於ケル同齡ノ少女ヨリ二十一年半蚤ク死亡ス年齢二十五歳ノ病院看護婦ハ世間ニ於ケル五十八歳ノ人ト其命數ヲ同シクシ病院ニ於ケル三十三歳ハ通常ノ生涯ニ於ケル六十二歳ト其割合均ク

ス病院ニ於ケル命數ト州ニ於ケル命數トノ差ハ十七歳乃至二十四歳トス病院ニ於ケハ二十四歳ノ看護婦ハ世間ニ於ケル同齡ノ婦人ヨリ二十二歳蚤ク死亡ス同歳以上ハ漸ク其差ヲ減シ五十歳ニ至リテハ唯僅ニ六七歳ヲ殊ニシ同歳以上ハ其差全ク消滅ス然ル所以ノモノハ蓋シ五十歳以上ノ看護婦ハ漸々其看護婦タル重擔ヲ免レ隨テ之ニ伴ヘル傳染ノ危険ヲ冒サ、ルニアリ

此等ノ病院ニ於ケル室扶私等傳染病患者ノ死亡數ハ適ニ尋常ニ出ルモノアリト雖モ其死亡數ノ多數ナルハ專ラ結核病患者ノ死亡數ノ多キニ歸スヘシ而シテ死亡ノ過多ナルハ看護ノ職分ト此職分ニ隨伴スル傳染ノ危険ヨリ生スルモノナリコルネットハ此死亡數ヲ説明セントシテ或ハ起ルヘキ他ノ假定說ヲ檢査シ總テ之ヲ棄却スルニ確乎タル理由アル由ヲ述ヘタリ蓋シ看護人ノ生涯ノ和順ナル事、衣食ニ關スル一切ノ憂ナキ事、善ク飲食ヲ節スル事等ハ總テ健康ヲ保持スルニ便ナルモノニシテ彼輩常ニ和平ナル生活ヲ爲シ世間ノ浮沈ヲ免ル、カ故ニ其満足ト境界トニ由リ概シテ其壽ヲ短クスルヨリモ寧ロ之ヲ長クスヘキ筈ノモノトスコルネットハ大ニ此等加持力教看護人カ捨身ノ業ヲ賞揚セリ蓋シ加持力教ノ看護人ノ三分ノ二ハ病メル人類ノ看護ノタメニ殞命ス而シテ其殞命スルハ大抵若年ノ時ニアリ何トナレハ掃洒ニ從事スルハ若年ノ看護人ナレハ其職掌ヨリシテ毒菌ノ混合シタル空氣ヲ呼吸スルコト多ケレハナリコルネットハ此等看護人ノ死亡統計ヲ目シテ此輩カ殊勝ナル捨身ノ紀念其一生ノ宗教上ノ義務ト思ヘル所ヲ恪守シテ能ク高尚ニ仁慈ニ又惇篤篤ナリシ紀念ト爲セリ

コルネットハ自ラ問フテ曰ク然レトモ今後モ尙ホ此等ノ人ヲシテ捨身セシムル必要アリヤト隨テ又自ラ答ヘテ曰ク是レ大ニ非ナリト乃チ其非ナル所以ヲ明ニセンカタメニ又再ヒ研究ノ結果ヲ綜説センカ其研究ノ結果ハ載セテコルネットカ第一ノ研究録ニアリ其說ニ曰ク結核病ハ病菌ノ混淆セル空氣ヲ呼吸シ其肺臟ニ入ルヨリ起ルモノナリ是レ學者ノ遍ク認ムル所トス蓋シ結核菌ハ大抵常ニ乾燥セル咯痰ヨリ來ルモノナレトモ濕潤セル咯痰竝ニ結核患者ノ呼吸ハ此様ノ傳染ヲ起スモノニアラサレハ即チ無害ナリ故ニ咯出物ノ乾燥スルヲ防止スレハ隨テ又傳染ノ危険ヲ免除クヲ得ヘシ然レトモ唯患者ニ唾壺ヲ給スルノミニシテハ以テ足レリト爲スヘカラス醫師モ看護人モ其ニ最モ嚴重ニ監督シテ患者ヲシテ必ス唾壺ヲ適當ニ使用セシメ以テ傳染毒ヲ含メル痰液ノ始末ヲ不注意ナラシムヘカラス床板ノ上若クハ手巾ニ咯痰スルハ危害ノ大本ナリ寢具ヲ汚シ患者ノ口ヲ拭フモ亦然リ患者ノ口ヲ拭フニ用フル手巾ハ鄭重ニ之ヲ取扱ヒ遲滯ナク之ヲ煮沸スヘシ此他ニモ種々危険ノ原因アリ即チ接吻ノ如キモ亦其一ニ居ルヘシ肺勞ヲ病メル母ニシテ假令健康ナル兒女タリトモ之ニ接吻スルトキハ其壽ヲ短クスルコトモアラシ各病室ニハ病院ニ於テ定メタル豫防法ヲ遵行セサレハ大ニ危険ナルコトヲ患者ノ臆ニ銘スヘキ告文ヲ貼付シ置キ故サラニ規則ヲ犯ス者アルトキハ嚴重ニ之ヲ罰スヘシ此ノ如クニスルトキハ病院看護人ノ居住スル病室ハカノ一ノ病菌ヲモ看出ス能ハサリシト云フ外科病室ノ如クニ衛生ニ適スルモノト爲リテ其恐ルヘキ死亡數ハ假令絶無ト爲ラサルマテモ能ク之ヲ減スルコトヲ得ヘキナリ

余ハ既ニ「セフォルトナイトリー」レヴュー」ノ讀者ノタメニ兩箇ノ研究ヲ紹介シタリ仍テ孰々コレ等ノ研究ニ附キテ考フルニ斯ル状態ニ際シ英國官民ノ當ニ爲スヘキ義務如何ト云ヘル問題ニ留心セサルヲ得スカ

ノ情ノ奴タル論者等ハ其反對スル所ノ檢覈ヨリ又其反對ノ恐ルヘキ結果ヨリ起見スルトキハ善意ノ殺人犯罪人ト稱スルモ可ナラン此輩カ疾聲大呼スルトモ之カタメニ英國人民ハ蠱惑セラレサルヘシ英國政府ハ狼狽セサルヘシ結核病ハ勿論、自余一切ノ傳染病ノ恐ルヘキ禍害ヲ防クヘキ方法ハ唯一ノ試驗研究アルノミ而シテ英國ニ於テカ、ル研究ヲ進開スルニ最モ効アルヘキ良策ハ豫防醫學院ヲ設立スルニアリ商務院長ハ相當ニ詮議ヲ盡シテ既ニ之ヲ設立スルコトヲ認可シタリト聞ク是レ喜フヘキ事トス吾高名ノ友故カールライル氏ハ如何ナル反對ノ説ヲ爲サントモ英國人民ハ此眼前ノ問題ニ附キテハ大抵愚ナリトスヘカラス若シ學者ニシテ其反對論者ノ如キ勇氣ト不撓ノ精神トヲ奮作セハ其目的ノ施善ニアルト非生物解剖論者カ大問題ニ就キ井蛙ノ謬見ヲ抱クカタメニ陷レル誤謬ノ甚タ恐ルヘキ所以トヲ英國人民ノタメニ明ニスルヲ得ヘキナリ

○諾威國學術協會ニ於ケル脚氣病調查委員ノ調查報告要領

脚 氣 病

去ル五月二十日クリスチャナニ於テ「諾威學術協會」ノ集會カ催フサレシカ、其席上ニ於テ博士ユウチエルヤーン氏ハ脚氣病取調委員ノ調査ニ係ル結果ヲ報告シ、且ツ此問題ニ就テハ可及の精密ニ解決サレ遂ニ其病毒ノ伏在スル所如何ヲモ探知セル由ヲ告知セリ

同博士ハ尙ホ簡短ニ此病ノ傳播、病理解剖、及假定ノ病根ニ就テ説明シタリ、但シ其病根ハ疑ハシク且ツ證明不十分ナル所アリト雖モ、之ヲ大別シテ直接的、間接的ニ二原因ト爲スヲ得ヘシト云ヘリ、而シテ同氏ハ此病ニ關スル種々ノ學説ヲ掲ケ來リシカ、今其内ノ最モ重要ナルモノヲ舉レハ左ノ如シ

第一、脚氣病ハ傳染性ヲ有ス

第二、脚氣病ハ構成的疾病ニシテ其病原食物ノ不足、生理的食物ノ不足、特ニ蛋白質及脂肪質食物ノ不足ニ歸ス

第三、此病原ヲ食物ヨリ生スル中毒ニ歸スルアリ、或ル者ハ之ヲ米ノ中毒ニ歸シ他ノ者ハ之レヲ魚肉ノ中毒ニ歸セリ、蓋シ此等ノ品ハ或ハ顯微鏡的物質ノ作用ニ從ツテ化學的變化ヲ受レハナリ、然ルニ他ノ者ハ其ノ中毒ヲ食物中ノ無機性毒物特ニ砒石等ノ存在ニ歸セリ

過ル數年間歐羅巴ニ於テ脚氣病ノ發現セル、殊ニ歐羅巴ノ航海船中ニ(諾威船モ此内ニアリ)發病シタル場合ノ如キ、以上述ヘタル學説ノ一トシテ充分ニ説明スヘキモノアラサルナリ

從來船中ニ發シタル脚氣病ノ原因如何ヲ判定スルニ就テ聯絡セル材料ノ多クヲ公衆ノ前ニ呈出サレタルコトアラサリシナリ、其呈出サレタルモノハ毫モ聯絡ナキ孤立ノ材料ニ過キサリシナリ、此等ノ孤立ノ材料ハ印度、日本、瓜哇等ヨリ導カレタルモノニシテ、之ヲ根據ト爲シテ僅カニ評論ヲ下シタルニ過キサリシナリ

然ルニ今此委員ノ前ニ呈出サレタル材料ハ決シテ右ノ如キモノニアラス、脚氣病取調委員カ親シク船長水

夫等ニ就キテ種々ノ質問ヲ爲シ、依テ得タル答辯ヲ根據トナセル材料是ナリ、而シテ此脚氣病ニ就キテ得タル報告ハ該病ノ發シタル船舶總計一百四隻ヨリ得タルモノナレハ、其材料ノ得テ豊富ナルコト推シテ知ルヘキノミ

既ニ此等ノ事實アリ茲ニ初メテ船中脚氣病ノ原因ニ就テ精密ニ種々ノ意見ヲ立ルコトヲ得ヘキナリ、而シテ今左ノ如キ事實ハ既ニ明カトナレリ

第一、諾威船ニ脚氣病ノ發生セシハ過ル十九世紀ノ終末頃ナリシトハ是レ一般ニ行ハル、所ノ説ナリ、而シテ殊ニ流行シ初メタルハ一千八百九十五年以降ナリシハ正確ナル事實ナリ

第二、諾威船、スカンヂナヴ井ア船及フハイランダ船ハ最も多ク此病ノ襲撃ヲ受ケ、其次ハ日耳曼船而シテ英國船ノ如キハ其攻撃ヲ受ルコト甚タ少ナカリシナリ

第三、此病ハ通常航海船中ニ最も多ク發生スルモノナリ、此病ニ侵入サレタル彼ノ一百四隻ノ船舶中、一人ノ患者ニ止マリシハ僅カニ一隻アリシノミ

第四、此病原ヲ食物ノ不足ニ歸シ殊ニ罐詰ノ食物ニ歸シ、且此等カ直接ニ脚氣療ヲ生スルカ若クハ間接ニ之カ媒助ヲ爲スモノトセリ、斯ル説ヲ抱ケルモノ蓋シ大半ナリト知ルヘシ

第五、飲用水ハ病原トハ成リ得ヘカラサルナリ

第六、該病ノ發生シタル船舶中ニハ曾テ米食ヲ爲サス、且毫モ米穀ヲ搭載シ居ラサリシナリ

第七、罐詰ノ食物ヲ用井タルモ必スシモ滋養ノ欠乏ヲ來スヘキモノニアラサルナリ

第八、「リム」汁(リムトハ佛手柑ノ如キモノ)ハ脚氣病ノ豫防劑トシテ往々之カ爲メニ効ヲ奏スルコトアリト雖トモ、確カナル豫防劑ト云フヲ得ス

第九、菓實及新鮮ナル野菜殊ニ馬鈴薯ノ如キハ脚氣病豫防トシテ効用アルモノナリ

第十、脚氣病ハ船舶ノ長キ航海中ニ發生スルモノナリ、縱令其船舶ハ毫モ脚氣病ノ患ヒナキ地方ヨリ出帆シタルモ、(此例ハ十隻ノ船ニ就テ確證アリ)又其船ニハ曾テ該患者ノ發シタルコトナカリシモ

第十一、此病ノ發生スル時期ニ就テハ一定ノ標準ナルモノアラサルナリ、例之ハ其船舶ノ港ヲ出帆セシ後早キハ第一日ニ發病シ、晚キハ百二十日目ニ發病シタルカ如キ是ナリ

第十二、船中ニ於テ發生スル脚氣ノ最も普通ナル症候ハ身體中ニ水腫ヲ來スコト是レナリ、内衰弱症ヲ呈スルハ僅カニ三四ニ過キス)然レトモ日本ニ於テハ該患者ノ殆ント半ハ衰弱症ナリト云フ

第十三、此病ハ感染スヘキモノナリ

第十四、動物モ亦此病ニ罹ル

第十五、此病ニ罹ル當初ハ嘔氣ヲ催フスコト往々之レアリ、然レトモ他ノ船ニ乗り替レハ嘔氣直チニ止ミテ種々ノ食物ヲ爲スコトヲ得ヘシ

第十六、概シテ之レヲ云ヘハ病勢餘リニ進ミ居ラサル場合ニ於テハ、新鮮ナル食物即チ新鮮ナル肉類果物及野菜類ヲ食シテ以テ多クハ治癒ノ効ヲ奏スルヲ得ヘシ

第十七、敗血病ニ類似セル徵候ハ表ハサ、ルナリ

博士ユウチエルマーレ氏ハ右ノ如キ學說ヲ仔細ニ觀察シ來リテ左ノ如キ斷案ヲ下セリ、曰ク抑々脚氣病ハ神經炎ノ東洋的命名ニシテ其病原ハ腐敗セル野菜食物又ハ肉食ニ歸スヘキナリ、而シテ野菜の症候ハ亞細亞的脚氣ト最モ密接ナル關係ヲ有シ、且通常腐敗セル米食ヲ爲スニ基因ス、又動物の症候ハ特ニ歐羅巴ノ航海船中ニ發スル脚氣ト密接シ、且ツ主トシテ腐敗セル肉食ヲ爲スニ基ケリ、又或人ノ假定說ニ曰ク脚氣ノ病源ハ管ニ野菜食物ヨリ生スルノミナラス、動物性含窒素食物ヨリモ亦發スヘキモノナリ、即チ此等ノ食物ハ腐敗シテ顯微鏡的検査ヲ要スヘキ、病原物トナレルナリト、然レトモ是等ノ事柄ハ尙ホ未タ判然セルモノニアラス、此等ノ顯微鏡的検査ヲ要スヘキ病原體ハ恐クハ特種ノモノニアラス、概テ相類似シ居リテ其相異ナル所ハ該病ノ動物の症候ト野菜の症候トノ二者アルノミ、又此脚氣病ニ對シテ「リム汁」、馬鈴薯等ノ効能アルハ、恐ラクハ其食物中ニ含有セル植物的酸類カ其病毒ヲ消滅セシムルニ因ルモノナラン

- 斯クテ脚氣病取調委員ハ右ノ斷案ニ賛同シテ左ノ如キ事項ヲ議決シタリ
- 第一、罐詰ノ食物ヲ食用ト爲スヲ禁止スル事、(佛國人カ諸種ノ罐詰食品ニ就テ調査ヲ遂ケシニ、百分ノ七十乃至八十ハ么微有機體アリタレハナリ)
 - 第二、温暖ナル氣候中ハ縱令些少ナリトモ脂肪性食物ヲ取ルヘキ事
 - 第三、航海中常ニ馬鈴薯及其他新鮮ナル野菜類ヲ食用ト爲スヘキ事、但シ此等ノ食品ヲ貯藏センニハ、船中ニ一層適當ナル設備ヲ爲スヘキハ無論ナリトス
 - 第四、新鮮ナル果物及其他新鮮ナル野菜類ヲ食用ト爲ス事ハ、縱令港灣内ニ碇泊中ト雖モ忽カセニスヘ

カラサル事

- 第五、長途ノ航海ニ於テハ砂糖及乾果ノ類ヲ一層多ク搭載センコトヲ要ス
 - 第六、長途ノ航海ニ於テハ飲用水ニ就テ水漉器械ヲ用ヒンコトヲ要ス
- 尙ホ右ノ外食品ノ買入、分量、保存法、荷造等ニ關シテ綿密ナル心得方、(食品買入ノ際及買入後二週間ニ一回其品質ヲ充分ニ取り調ヘンコトヲ要ス)及航海中脚氣病、敗血病等ノ發生シタル場合、人々ノ心得ヘキ事ヲモ指示シタリ
- 今最後ニ注意スヘキ一事アリ、北緯三十三度以南ニ航海スル時馬鈴薯ノ不足ヲ告グル場合ニ於テ「リム汁」ヲ用ヒンコトヲ要スル一事是レナリ

○普魯亞國種痘事務ニ就テ

種痘ニ關シテハ獨逸帝國一般ニ對シ千八百七十四年種痘法ヲ制定セラレタリ故ニ各聯邦政府ハ單ニ其細則ヲ制定スルニ止マレリ今帝國種痘法ノ大意ヲ左ニ摘譯スヘシ

第一回種痘ハ小兒天然痘ニ罹リタル醫師ノ證明ナキモノハ其出生後ノ次ノ曆年度内ニ第二回種痘ハ日曜學校夜學校以外ノ公私立學校滿十二歳ニ達シタル曆年度内ニ行フヘキナリ但シ第二回種痘ハ最近五年間ニ於テ天然痘ニ罹リ又ハ善感種痘ヲ了リタル醫師ノ證明アルモノハ之ヲ爲スニ及ハサルモノトス

種痘義務兒ハ其身體又ハ健康ニ危險ナクシテ種痘ヲ行フコト能ハストノ醫師ノ證明アルモノハ其危險ノ去リタル次年間ニ於テ種痘ヲ行フヘキモノナリ其危險ノ有無ニ關シ疑義アルトキハ種痘醫最終ノ決定ヲ爲スナリ

醫師ノ證明ニ依リ種痘善感ナラサルトキハ遅クモ次年間ニ再種痘ヲ行ヒ尙不善感ナルトキハ其次年間ニ三種痘ヲ行フヘキナリ此三種痘ノ場合ニ於テハ當該官廳ハ種痘醫ニ就テ種痘ヲ行フヘキコトヲ命スルヲ得ヘシ

法律的理由ナクシテ種痘ヲ怠リタルトキハ當該官廳ノ指定シタル期間内ニ種痘ヲ了スヘキモノトス

接種痘兒ハ種痘後六日乃至八日間ニ於テ種痘ヲ爲シタル醫師ニ就キ其檢診ヲ受クヘキナリ

各聯邦ニ於テハ種痘區ヲ設定シ各區ニ種痘醫ヲ置クヘシ種痘區ハ其區ノ種痘兒ニ無手数料ニテ種痘ヲ施行スヘキナリ

種痘兒名簿ハ當該官廳之ヲ調製シ種痘期ノ初メニ於テ種痘區ニ交付ス公私立學校生徒ノ種痘名簿ハ其校主之ヲ調製スヘキナリ種痘醫ハ名簿ノ各欄内ニ各事項ヲ記入シ曆年ノ終日ニ於テ當該官廳ニ差出スヘシ聯邦政府ハ痘苗製造所ヲ設立スヘシ

醫師ハ善感不善感ノ確定ニ就テ種痘證ヲ交付スヘシ

種痘ノ不必要又ハ種痘猶豫ヲ證明スヘキ醫師ノ證明書ニハ各其理由ヲ記載セラルヘキナリ

兩親保護者又ハ後見人ハ官廳ノ請求アル場合ニハ種痘兒ノ種痘終了又ハ其猶豫ニ關シ之ヲ證明スヘキ義務

アルナリ

公私立學校々主ハ生徒入學ノ際ニ其種痘ノ了否ニ關シ證明書ヲ以テ之ヲ確定シ且ツ生徒在學中ハ種痘義務ヲ完了セシムルノ責任ヲ有ス校主ハ又學年終了ノ四週間前ニ當該官廳ニ向テ未種痘兒表ヲ提出スヘキナリ以上ノ法律ニ基キ普魯亞國ニ於テハ千八百七十五年種痘法施行ニ關スル法律ヲ發布セリ即チ郡ヲ以テ種痘區ト爲シ種痘醫ノ設置及痘苗製造所ノ設立並其經費以外ノ費用ヲ負擔スルコトニ定メタリ而シテ其郡ニ於テ負擔スヘキ費用ノ大要ハ種痘醫ノ手當、事務費其他種痘證等ノ印刷費ニ過キサルナリ

町村ハ種痘ヲ施行スル場所又ハ種痘兒檢診所ヲ供出スヘク又出張セル種痘醫ニ必要ナル書記ヲ供給スル義務アルナリ

伯林ニ於テハ種痘ニ關スル取締事務ハ總テ警視廳ノ管理スル所ニシテ各警察署ヲ以テ種痘區トナシ種痘兒名簿ハ警察署ニテ調製スルナリ而シテ當該種痘醫以外ノ手ニ依リテ種痘シタル者、疾病ニ依リ種痘シ難キ者、又ハ痘瘡ヲ了シタル者等ノ證明ハ總テ警視廳ニ提出スヘキモノナリ故ニ各警察署ニ於テハ精細ナル種痘ニ關スル名簿ヲ備フルヲ以テ之ヲ督促スルニ最モ便宜ナルモノ、如シ(督促ニ付テハ單ニ催告ヲ爲スノミニテ足レリト云ヘリ理由ナクシテ之ニ應セサルモノ、如キハ絶テナシト云ヘリ)

善感不善感ハ名簿ニ詳記シテ種痘證ヲ附與ス皆種痘醫ノ事務ナリ檢診ノ場合ニ於テ痘漿採取ヲ拒ム者ハ處罰セラル、ナリ

別紙種痘ニ關スル用紙ハ聯邦會議ニ於テ決定シタルモノニシテ通常醫師モ此用紙ヲ採用スルナリ用紙ハ帝

國印刷局ニ於テ印刷シ一定ノ代價ヲ以テ賣下クルナリ
通常醫師ハ種痘ヲ爲シタルトキハ同シク名簿ヲ調製シ翌年一月二十五日マテニ之ヲ警視廳ニ差出スナリ
(第一號様式)……

種痘證 (用紙赤色)
種痘名簿第 號
種痘區名

姓 名

生 年 月 日

右 何 年 月 日 第 回ノ種痘ヲ爲シタルニ

種痘ヲ受ケテ法定ノ義務ヲ履行シタルモノナリ

感ナリ

年 月 日 種痘醫 姓 名

(裏 面)

種痘ハ毎年無償ニテ豫メ各種痘區内ニ公告シタル場所日時ニ於テ施行ス初種ハ小兒生後滿一年以內
ニ之ヲ受クヘシ再種ハ日曜學校夜學校ヲ除キ其他ノ公立又ハ私立學校ノ生徒ハ十二歳ニ達シタル年
内ニ於テ爲スヘシ醫師ノ檢診ニヨリ不感ナルトキハ遅クモ其翌年迄ニ再ヒ種痘スヘシ種痘兒ハ種痘
ヲ受ケタル日ヨリ六日後八日前ニ醫師ノ檢診ヲ受クヘシ父母養父母又ハ後見人ハ其子女又ハ被後見

人ヲシテ法定ノ理由ナク且ツ官廳ノ要求アルニモ拘ラス種痘ヲ受ケシメサルカ又ハ出頭セシメサル
トキハ罰金又ハ拘留ニ處セラレヘシ

備 考

赤色様式一ハ凡ノ初種ニ使用ス(種痘法第一條第一項)之ニヨリ法定ノ義務ヲ履行シタルモノナリ
其他區別スヘキコト左ノ如シ

- 一、初種又ハ再種善感ナリシトキハ「第 上ニ「善」字ヲ記入スヘシ 回「兩字ノ間ニ「一」若クハ「二」ト記入シ「感」ノ
- 二、第三回ノ種痘(種痘法第三條)ヲ爲シタルトキハ「第 回「ノ間ニ「三」ト記入シ其結果

(第一號様式)ノ二

種痘證(再種) (用紙綠色)
(表面及裏面前證ト同一ナルヲ以テ略ス)

備 考

綠色様式一ハ凡テ再種ニ使用ス(種痘法第一條第二項) (以下前證ト同シ)
第二號様式

種痘證書